

高尾山天然林の生態ならびにフロアの研究

林 弥 栄⁽¹⁾・小山芳太郎⁽²⁾・小林義雄⁽³⁾
大河原利江⁽⁴⁾・峯尾林太郎⁽⁵⁾・飯田重良⁽⁶⁾

目 次

I. 緒 言	3
II. 高尾山国有林の沿革	4
III. 高尾山国有林の概況	4
IV. 高尾山の気象	5
V. 高尾山の地質と土壌	5
1. 笹 野 層	6
2. 小 伏 層	6
3. 川 乗 層	6
4. 土 壌	6
VI. 高尾山の森林概説	8
1. 天 然 林	8
2. 人 工 林	10
VII. 高尾山天然林の生態学的解析	10
1. モミ天然林	11
2. カシ類を主とする常緑広葉樹の天然林	28
3. ブナ類を主とする落葉広葉樹の天然林	44
4. アカマツ天然林	64
VIII. 高尾山天然林の遷移考察	77
付録. 高尾山主要樹種別の大木	84
IX. 高尾山およびその周辺に自生する高等植物の分布概説	85
1. 暖地性植物要素	85
2. 寒地性植物要素	86
3. 固 有 植 物	87
X. 高尾山およびその周辺を原産地とする高等植物	87
1. 既 発 表 の 植 物	87
2. 新 発 表 の 植 物	97
XI. 高尾山およびその周辺に産する高等植物中分類地理学上注目すべき種類	98
XII. 高尾山およびその周辺に産する高等植物の生活形	105
XIII. 高尾山およびその周辺に産する高等植物目録	106
植物目録和名索引	147
植物目録学名(科名)索引	161
文 献	162
Résumé	164
Plate	1~14

(1) 浅川実験林樹木研究室長兼浅川実験林主任・理学博士

(2)(3)(4) 浅川実験林樹木研究室 (5)(6) 浅川実験林



高尾山周辺の航空写真

I. 結 言

近年植物分類学、植物生態学ならびに植物地理学は新しい観点にたつて進展しつつある。1つの山、1地区、あるいは1地域を限ったフロラの調査や生態調査の報告が、毎年かなり発表されている。このような調査記録は一見価値の少ないつまらぬもののように思われがちであるが、こうした小さい調査が沢山集まってはじめて広い範囲の分類、地理、生態の考察に役立ちよくその進展に寄与し、かつ応用研究に、直接間接に貢献していると思う。林業においては林木の適地植栽や天然更新の基礎資料として直接役にたつ研究だと思われる。

そうした研究意図のもとに昨年「浅川実験林内天然林の生態学的研究」を発表した。本年は浅川実験林天然林よりさらにスケールが大きく、この地方に残された天然林としては最も偉大な高尾山の天然林を生態学的ならびに分類地理学的観点からこれを調査し取りまとめを行なったものである。生態調査とフロラ調査のため、のべ数十日をついやした。高尾山の生態調査報告は今までにまだ全然発表されていない。フロラの調査発表は昭和11年東京府土木部で発刊の東京緑地計画調査彙報第7号、「武州高尾山の植物」がある。これは現農大教授常谷幸雄氏の調査結果をもとにしたもので比較的确实であり、最大の資料である。そのご東京都建設局公園緑地部が東大教授前川博士に依頼されて作った都立自然公園保護植物調査書がある。これは精細なものであるが非売品である。その他吉山寛氏発行の「八王子植物誌」、本田正次博士ほか2名の調査になる東京都教育委員会発行の南多摩文化財総合調査報告「浅川流域の植物」、城山については人事院総裁の佐藤達夫氏の「武蔵国元八王子城山およびその附近恩方村山地所産植物目録予報」などがあるが、両者とも高尾山より調査範囲が広いので高尾山については見のがしの植物もかなりある。その他断片的に高尾山の植物が発表されているものは幾らかある。ここに発表のものは時代の進歩にもよるが、そのいずれよりも正確で精しいものと思っている。

高尾山天然林を大観するとモミ林・カシ類を主とする常緑広葉樹林、ブナを主とする落葉広葉樹林、およびアカマツ林の4林相からなっている。このうち最も広範囲に分布し、かつ本数のいちばん多いのはモミである。ついでカシ類、ブナ類、アカマツの順である。これら諸林相について在来の方形調査(コードラート)と帯状調査(トランセクト)を行ない、森林の構成状態を解析した。モミ林は浅川実験林と同様モミノハラアカマイマイによって年々食い荒されているが、現在のところ浅川実験林のように被害は甚大ではない。頂上付近のカツラ、クヌギ、コナラ、カシワなどの落葉広葉樹植栽林下ではモミの稚樹が密に生じ、どんどん成長している。その他の箇所でもモミの稚樹が沢山生じているところがある。ブナ特にイ樹はところによりかなり多く生じている。カシ類の稚樹は母樹林下のほか、モミ林ヌブナの稚樹下、ブナ林下はいうにおよばずアカマツ林下までもよく生じている。アカマツは浅川実験林と同様大径木はマツクイムシなどの被害でだいに枯死しつつあり、その林下にはモミ、カシなどが密生しているところが多い。以上を考察してみて高尾山の天然林は大きな遷移の途上にあるといえる。すなわち、ながらく続いた極盛相の林が虫害その他によって一部分から崩れつつある。このときにあたり、現在の天然林を種々の面で分析し取りまとめておくことは大いに意義があることと思われる。とくに高尾山天然林の植生の遷移考察は、現在の風致保安林のよりよき保存のため参考となることと思う。ここに集録された多数のフロラは植物分類地理研究者には一指針となり、植物愛好者にはいろいろ参考となることと思う。

本調査研究にあたり、生態分野で常に種々ご教導を得ている広島大学教授理学博士堀川芳雄氏、日大教

授農学博士栗田 勲氏，採集植物を鑑定していただいた国立科学博物館第1研究部長理学博士佐竹義輔氏，同館図書課長理学博士大井次三郎氏，同館植物課奥山春季氏，東大理学部教授理学博士前川文夫氏，同理学博士原 寛氏，東大農学部教授理学博士倉田 悟氏，農学博士室井 緯氏，都立牧野腊葉館理学博士水島正美氏，同松山庫三氏など，種々ご教示をえた八王子市在住の植物分類研究者畔上浦治郎氏，畔上能力氏，吉山 寛氏，菱山忠三郎氏，芹沢俊介氏など，また種々ご高配ならびにご指示をえた林業試験場長農学博士坂口勝美氏，同造林部長加藤善忠氏，同調査室長農学博士橋本与良氏，造林科長草下正夫氏に深甚なる謝意を表するしだいである。高尾山周辺の航空写真は経営部航測研究室長農学博士中島 巖氏のご厚志によるものである。その他調査にあたりいろいろご援助をえた浅川実験林の井上浅五郎，榎本光次郎両氏，前職員三好卓三氏などにお礼申し上げる。なお本研究報告のうち生態関係の外業はほとんど全員で実行し，図表の作製と製図は小山が主として行ない，このデータの整理は大河原，峰尾，飯田がこれを助けた。植物分類地理関係の調査研究は林と小林が主となり，小山，大河原，峰尾がこれを助けたものである。そして生態関係の執筆は林が行ない，分類，地理関係の執筆は林と小林が行なった。写真は大部分林が，一部小林が撮影したものである。

II. 高尾山国有林の沿革

高尾山は遠く第45代聖武天皇の御代天平16年に行基菩薩が勅命を奉じてこの地に薬王院有喜寺を建立してから，ずっと高尾山別当の管理するところであった。この間代々竹林を保護し増殖してきたが，中世になって北条氏照の支配のとき出された竹林保護に関する制札をみると，その当時の保護がいかに厳しいものであったかが知られる。こうして保護された竹木は，ときどき開所構築用や公方用として一定の監督の下に伐採され，使用されていたことは当時の文書によりうかがい知ることができる。このような山林保護は北条氏滅亡ごも相変わらず行なわれた。そのご徳川幕府となってからは御林山として代官を置き管理させた。このことは八王子代官大久保硯守長安のだした制札により知ることができる。現在高尾山の巨木により形成されているうっそうたる森林はこうした保護によるたまものであると思う。しかし，その大部分は薬王院の御朱印地であったため，薬王院の信徒の篤志家が進んで苗木を寄進して植林された。そのご徳川末期に一時江川太郎左衛門が代官となり，この地方一帯にスギ，ヒノキを植林させた。現在高尾山にもその当時植栽のものと思われる林が残存している。明治4年一般社寺上地の例によって高尾山も頂上の薬王院付近約10haを院内山林として残し，他は全部上地された。明治22年帝室御料林に編入され，御料局東京支庁八王子出張所の管理するところとなったが，大正10年2月16日帝室林野局官制改正にともない帝室林野管理局林業試験場の創設により，その所管となった。大東亜戦争ごの昭和22年林政統一により国有林に移管され東京営林局，東京営林署の管理するところとなり今日に及んでいる。

III. 高尾山国有林の概況

高尾山は東京の都心部から西へ約50kmの中央線高尾駅から西方にやく3kmの地点にあり，八王子市に属している。

高尾山は小仏峠の1支脈の隆起したもので，その東南に位し，数条の尾根を派出している。海拔は603mを最高位とし，その山麓は約200mである。地勢は一般に急峻で深い溪谷を刻んでいる。北側は小仏川，南側は案内川で山麓を囲み，上門田橋付近で南浅川に合流している。高尾山国有林は25林班から51

林班までの26箇林班でその総面積は505.88 haである。天然林はモミ、アカマツを主とする針葉樹、カシ類を主とする常緑樹、ブナ類を主とする落葉広葉樹からなる高齢林分である。人工林はスギ、ヒノキを主としその大部分が伐期に達し、優良林分が多い。この高尾山は東京営林署に属し、東京経営区として管理されている。本区域は都立自然公園の主体をなす地域で、高尾国有風致保安林と多摩風致地区の一環として経営されている。また鳥獣特別保護区に指定されている区域も広い。都立自然公園に指定されている区域面積は477.75 haあり、全域が特別地域となっている。地帯区分は第1種、第2種、第3種に区分されており、風致保安林鳥獣特別保護区とそれぞれ重複している。風致保安林は団地東側一帯の天然林の地域で、昭和4年に指定され、その面積は122.04 haである。鳥獣特別保護区は、昭和27年高尾鳥獣保護区として指定を受けていたものが、昭和38年3月鳥獣保護法の改正により区域の一部をのぞき、昭和39年3月農林省告示第282号により指定されたもので、その面積は403.51 haである。

IV. 高尾山の気象

高尾山には観測所がないのでこまかい気象状況はわからない。それで、付近にある当浅川実験林気象観測所の永年にわたる気象データをあげ参考に供したいと思う。

浅川実験林における昭和2年から昭和34年までの33年間の平均気象状況

気 温 (°C)					湿 度	降 水			
平均気温	平均最高	平均最低	高 極	低 極	平均湿度 (%)	総年 平均 量 (mm)	最大日量 (mm)	平均日数 (0.1mm) 以上	平均日数 (1mm) 以上
13.4	18.4	8.4	36.4	-10.6	64	1856.23	332.7	150	110

風		平均日照時数	平均蒸発量 (mm)	日 数			
平均風速 (m/s)	極 地 最大風速 (m/s)			快 晴	曇 天	霜	雪
1.1	20.0	1904.0	2.9	96	164	77	10

北緯 35°39′, 東経 139°17′, 海拔 183.49m

(浅川実験林気象観測所調)

この浅川実験林の気象観測所は海拔約184mのところであり、高尾山麓と気温も大体同じくらいと思われる。ケーブルやリフトの終点は海拔およそ450m、頂上は海拔603mの高さにあり、かつ北からの寒風をまともに受けるので冬はかなり温度がさがるものと思う。おそらく山麓より3~4°の違いがあるものと思う。真夏でも温度は低く非常に涼しい。降水量は高尾山麓では大した差はなく、山頂付近ではいくぶん多いと思われる。冬山麓が雨のときでも山頂付近では雪となることが多い。積雪量は山麓よりかなり多い。

V. 高尾山の地質と土壌

高尾山の地質はいわゆる小仏層群に属しているが、この小仏層にはまだ構成された時代を論ずるにいたるような化石が発見されていないため、十分なことはわかっていない。この層は1888年鈴木博士の研究によってはじめて小仏層と命名されたものである。その当時は古生代にできたものと考えられていたが、そのご1925年に至り江原博士によって小仏層のできた時代について研究され、四国地方の類似地質から

推察してみても、これを中生代の上部ジュラ紀にできたものとされた。そしてこの地層が古生代に該当するものか、あるいは上部ジュラ紀のものか検討してみると、どちらの地層にも相対している点と相違している点とがあるという。さらにこの研究を困難にしているものは、第三紀層鮮新生以後の地層によって不整合におおわれているので、現代の段階ではその明らかな時代は不明であっても岩層上から第三紀より古いことは確実で、この層を白堊紀またはジュラ紀に属していると見るのが最も妥当であるといわれている。なおこの小仏層は、約 700m 以上の厚さをもっているものと推定されている。高尾山国有林の基岩は小仏層群に属する笹野層、小伏層および川乗層がその主体となっている。

1. 笹野層

おもに硬砂岩および礫岩層で、硬砂岩はときどき粗粒または礫岩質になり、ときには稜角のある泥岩類の破片を含むことがある。礫岩の礫は径 5 cm 以下の硬砂岩、角岩および硅岩などである。

2. 小伏層

粘板岩を主体とする地層で薄い砂岩層を挟んでいる。粘板岩は普通黒色または暗灰色を呈し、片理の発達著しい。部分によって千枚岩といえるものがあり、石墨片岩のような外観を呈するものもある。挟まれている砂岩も片状石理を呈することが多い。

3. 川乗層

砂岩と粘板岩の互層である。砂岩中には偽層をなすことがあり、粘板岩は黒色を呈し一般に片理がよく発達している。

4. 土壌

高尾山国有林土壌調査の結果は第 1 図のようである。それによると大部分が褐色森林土で BA 型、BB 型、BC 型、BD 型、BE 型の基準土壌型が見られる。局部的に地下水 (G 型) 土壌が見られる。その分布状態は次のようである。

団地名	面積率	BA	BB	BC	BD	BE
高尾山団地 (ha)	505.88	68.13	8.99	30.53	342.31	55.92
同上歩合 (%)	100	13	2	6	68	11

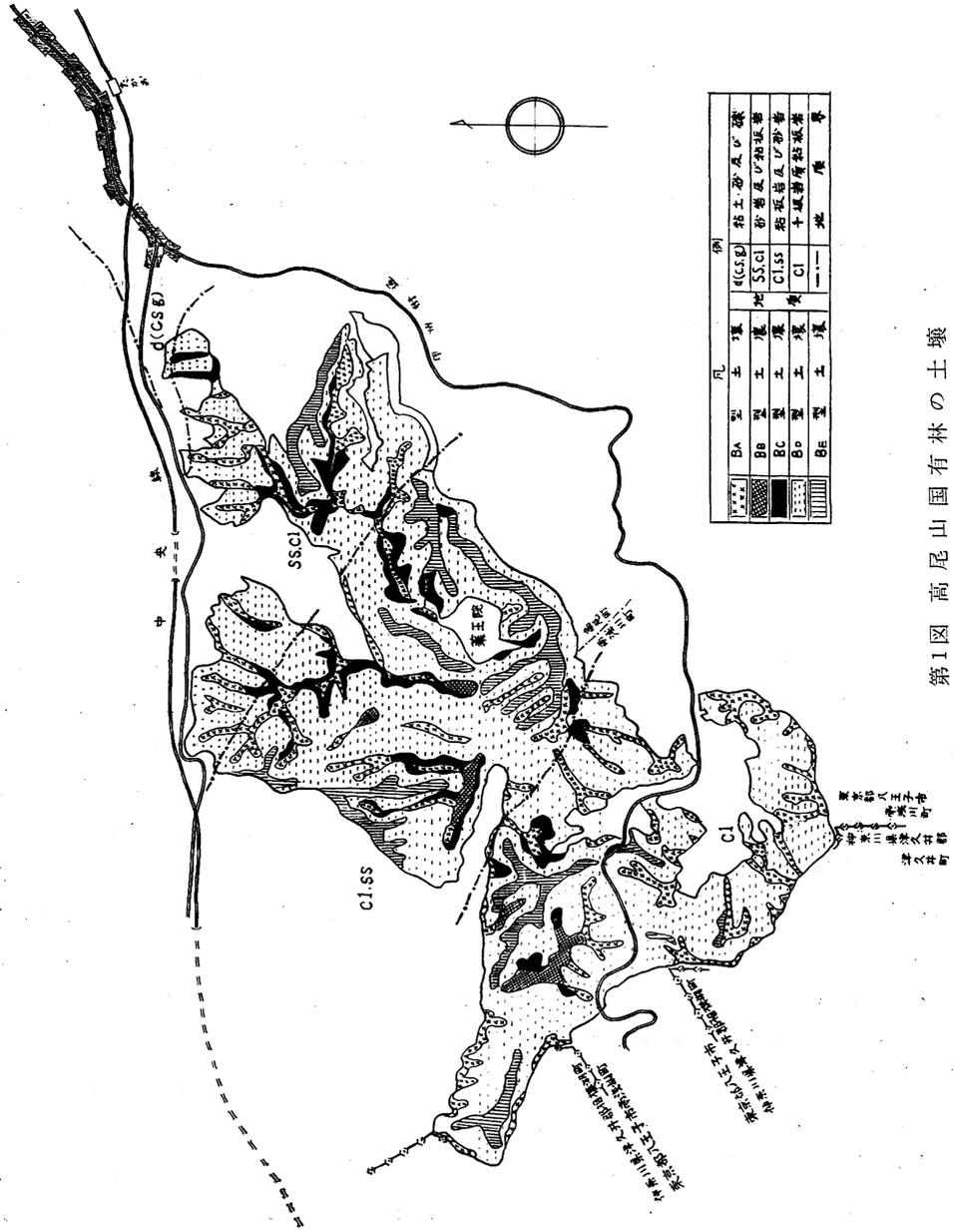
この表によってみると適潤性褐色森林土 (BD 型土壌) が最も多く、高尾山団地の 68% を占めている。ついで乾性褐色森林土、傾斜地型 (BA 型土壌) 13%、弱湿性褐色森林土 (BE 型土壌) 11%、弱乾性褐色森林土 (BC 型土壌) 6%、乾性褐色森林土、緩斜地型 (BB 型土壌) 2% の順である。つぎに高尾山主要樹種の生育と土壌型との関係をあげてみよう。

(1) スギの成長は BE 型土壌において最良であり、BD 型土壌において中庸の成長をする。BC、BD、BA 型土壌の順で不良となる。また崩積土は定積土より成長良好である。

(2) ヒノキも BE、BD 型崩積土で最良を示し、スギと同様の順で成長不良となるが、土壌型のちがいによる成長の差異はスギほど著しくなく、また乾性土壌に対する適応力はスギより強い。

(3) アカマツはさらに土壌に対する適応性が強い。しかし造林木の成長は BE 型、BD 型崩積土で最良であるが、天然更新の適地はむしろ乾性土壌である。そして人工、天然とも膨軟な土壌の成長が良い。

(4) モミの適地はアカマツと同様であるが、緊密な土壌に対する適応性はアカマツより強い。



第1図 高尾山国固有林の土壤

VI. 高尾山の森林概説

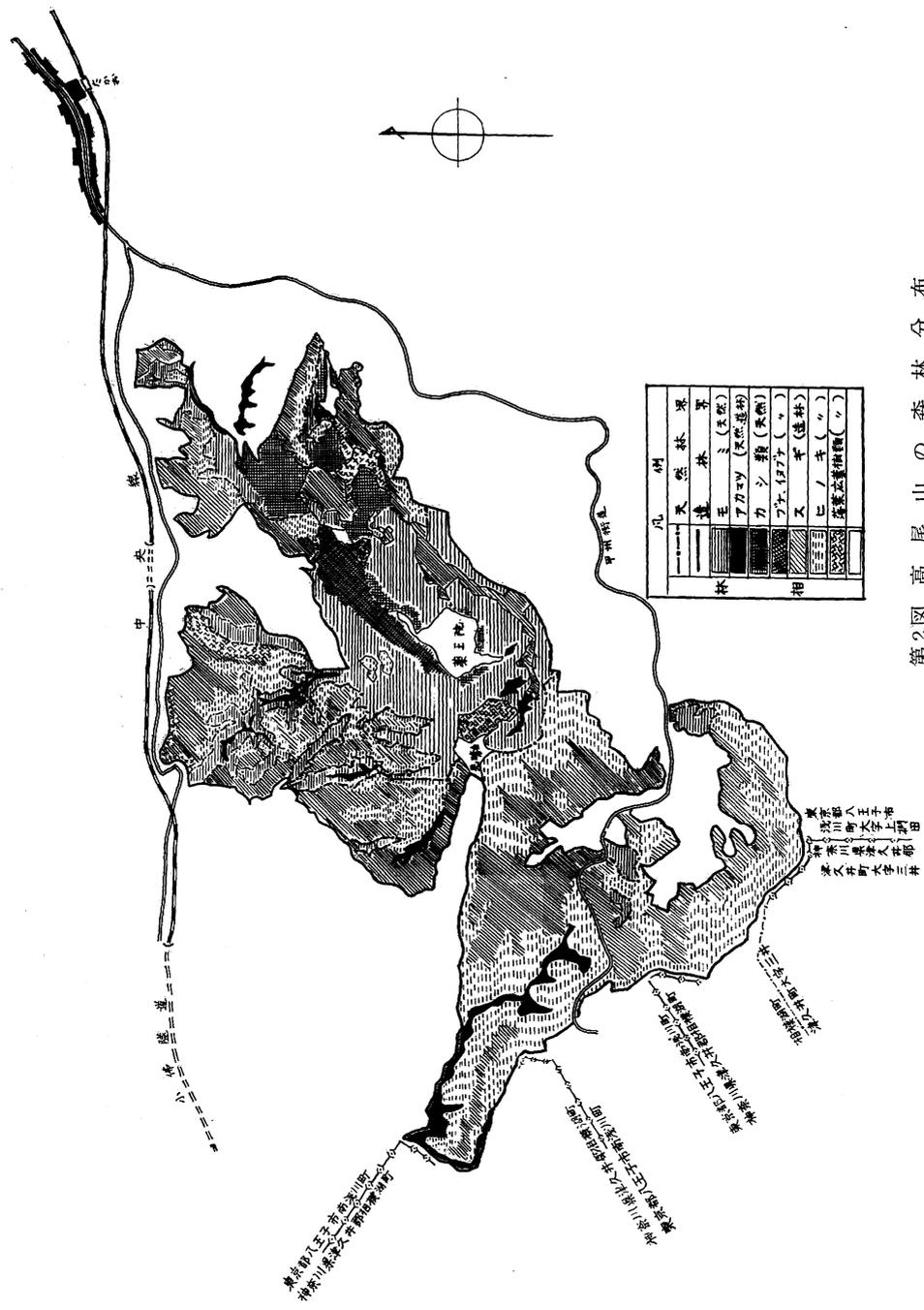
高尾山の森林を天然林と人工林に分け概説する。その森林の分布は第2図のようである。

1. 天 然 林

高尾山の森林は水平的日本森林帯からみると暖帯林北部にあたる。この林は大部分がカシ類、シイ、ツバキ、サカキなどを主とする常緑広葉樹からなり、それにナラ類、クリ、シデ類、カエデ類などの落葉樹がかなり混生するもので、これを垂直的にみると丘陵帯にあたる。山の上部の一部分はブナ、イヌブナ、サクラ類、カエデ類などからなる落葉広葉樹の純林がある。これは垂直的にみると低山帯であり、水平的に見ると温帯に相当する。

高尾山の森林はさきにも述べたように戦略上と信仰上から特別な保護が加えられ、明治維新後御料林に編入され、終戦後は国有林となり風致保安林などとして特別の保護が加えられた結果、この地方固有の林相が良く保存されている。この高尾山天然林はモミ林、カシ類を主とする常緑広葉樹林、ブナ類を主とする落葉広葉樹林、およびアカマツ林の4つに分けられる。もちろんこれらの林相がはっきり分けられずモミ、カシ類、ブナ類などが混生したり、モミとアカマツが混交したりしている地域もある。モミ林は高尾山の天然林のうちもっとも広範囲に分布し、かつ生育本数が最も多い。高木階はモミが最も優勢で、他にアカマツ、カヤ、ハリモミ（ごくまれ）などの針葉樹、少数のアカガシ、ウラジログシ、アラカシ、オオツクバネガシ、ツクバネガシ、タブノキ、カゴノキなどの常緑広葉樹、ブナ、イヌブナ、アサダ、コナラ、クリ、アカシデ、イヌシデ、ケヤキ、ホオノキ、ヤマザクラ、カスミザクラ、ウワミズザクラ、イヌザクラ、フジキ、イロハモミジ、オオモミジ、エンコウカエデ、ウラゲエンコウカエデ、ハリギリ、ミズキ、ヤマトアオダモなどの落葉広葉樹が混交している。しかし、モミの純林もいたるところに見られる。亜高木層はモミが最も優勢であるが、ほかにカヤ、イヌガヤなどの針葉樹、ウラジログシ、アラカシ、アカガシ、ツクバネガシ、オオツクバネガシ、シラカシ、カゴノキ、ヒサカキ、ヤブツバキ、イヌツゲ、ヒイラギなどの常緑広葉樹、イヌブナ、コナラ、クリ、サワシバ、クマシデ、イヌシデ、アカシデ、ケヤキ、ダンコウバイ、ホオノキ、ヤマザクラ、カスミザクラ、ウワミズザクラ、ウラジロノキ、フジキ、ネムノキ、イロハモミジ、オオモミジ、ウリカエデ、ウラゲエンコウカエデ、エンコウカエデ、オニイタヤ、アオハダ、シラキ、アワブキ、クマノミズキ、ハクウンボク、エゴノキ、ヤマボウシ、リョウブ、ヤマガキ、ハリギリ、コバノトネリコなどの落葉樹からなっている。以上の樹種のうちウラジログシ、アワブキ、カヤ、アラカシ、ヤブツバキ、ヤマボウシ、エンコウカエデ、イヌブナなどが多い。低木層はアオキが最も多く、アラカシ、ムラサキシキブ、ヒサカキ、ヤブムラサキ、ウラジログシ、クロモジ、コバノガマズミ、ヒイラギ、モミなどがこれについている。

カシ類を主体とする常緑広葉樹林は表山道を境としておもに東南斜面に生じ、モミ林について分布範囲が広い。高木層としてウラジログシ、アカガシ、アラカシ、オオツクバネガシ、シラカシ、ツクバネガシ、スダジイ（少）などの常緑樹のほかケヤキ、アサダ、イヌブナ、イロハモミジ、エンコウカエデ、イヌシデ、ヤマザクラ、コナラ、ケンボナシ、エゾエノキ、エノキ、フジキ、アカメガシワなどの落葉樹が混交することがある。亜高木層では、アラカシ、ウラジログシ、オオツクバネガシ、サカキ、ヒイラギ、ヒサカキなどの常緑広葉樹のほかモミ、カヤ、イヌガヤなどの針葉樹も見られる。そのほかイヌブナ、ウラジロノキ、ヤマボウシ、アオハダ、エンコウカエデ、コバノトネリコ、ケヤキなどの落葉広葉樹が混生



第2図 高尾山の森林分布

していることがある。低木層はアオキ、アラカシ、ウラジログシ、ヒサカキ、ムラサキシキブなどが多く、ヒイラギ、カヤ、コバノガマズミ、シロダモ、モミなどがこれについている。

ブナ類を主とする落葉広葉樹林は表山道を境として高海拔の北斜面または北西斜面に分布している。高木層にはイヌブナが最も多く、ついでブナが多い。イヌブナは純林をなすところが多いが、ブナと混交しているところもある。まれではあるがブナの純林も見られる。そのほかケヤキ、ヤマザクラ、カスミザクラ、イヌザクラ、ウワミズザクラ、フジキ、イロハモミジ、オオモミジ、エンコウカエデ、ウラゲエンコウカエデ、イイギリ、アサダ、コナラ、アカシデ、イヌシデ、ハリギリなどの落葉広葉樹が、かなり混生しているところもある。またモミ、カヤなどの常緑針葉樹やアカガシ、ウラジログシなどの常緑広葉樹が混交することがある。ブナとアカガシが混生することは関東南部以西ではときに見られるが、これは比較的珍しい現象である。亜高木層ではイヌブナが最も多い。そのほかモミ、カヤ、イヌガヤ、アカシデ、ウラジロノキ、ヤマボウシ、アワブキ、シラキ、アカガシ、ヒサカキ、イヌツゲなどが見られる。低木層にはアオキとモミが多く、そのほかミツバツツジ、アカガシ、コメウツギ、コバノガマズミ、ヤブムラサキ、ウラジログシ、マルバウツギ、イヌツゲ、アオハダなどがある。

アカマツ林は多く南または西南の尾根筋に見られる。高木層はアカマツが最も多く純林をなすところもあるが、モミ、ウラジログシ、ヤマザクラ、ウラゲエンコウカエデ、エンコウカエデ、アラカシなどと混交しているところも多い。亜高木層にはモミが最も多く、アカマツ、アラカシ、エンコウカエデ、オオモミジ、ヤブツバキ、アオハダ、コバノトネリコ、ツクパネガシ、アワブキ、カマツカ、クリ、コナラなどがある。低木層にはアオキが最も多く、ついでアラカシ、コナラ、ヤブムラサキ、ウラジログシ、クロモジ、ムラサキシキブ、ヤブツバキ、シラキ、コバノガマズミ、モミ、マルバウツギなどの順である。上記の組成からみてもわかるように、東部のコンピラ方面のアカマツ林をのぞいて他の方面に見られるアカマツ林は、モミに周囲からと下部から圧迫されこれにとってかわられようとしている。高尾山のアカマツ林は極相に達し、一般に見られるアカマツ林とは違った様相を呈している。

2. 人 工 林

人工林は主として高尾保安林外部の林地であり、保安林地区にはわずかに見られるにすぎない。表口参道両側と42, 43林班沢通りにあるスギの老齢林は樹齢およそ110年で、優良な成長を示している。そのほかケーブルカー沿線の40, 41林班にあるキタヤマダイスギは明治44, 45年, 大正2, 6年度の植栽で成績は一般に良好で風致的にみてもすばらしい。保安林外郭地は主として明治33年以降の植栽で、スギ、ヒノキを主として、アカマツ、カラマツ、カツラなどがこれにつぎ、他にサワラ、クロマツ、ケヤキ、キハダ、ホオノキ、プラタナスなどがわずかにある。カラマツ、カツラの植栽林はこの地方では珍しい。カツラは数か所に見られるがりっぱな林をなしている。また樹齢120年前後の江川太郎左衛門植栽のいわゆる江川ヒノキが少面積に見られ、特有の林相を呈している。スギ、ヒノキの人工林は優良林分が多くhaあたり蓄積は280~350 m³である。

VII. 高尾山天然林の生態学的解析

凡 例

1. 各林の組成要約表中、各階層別、各樹種ごとに表わされている5, 4, 3, 2, 1, +などの数字は被度 (Cover degree) と頻度 (Abundance) の両方を考慮して優占度を判定した全測定法による数値

を示したものである。

r ……非常に数が少なく、被度もきわめて低い。

+ ……少数で被度も小。

1 ……多数ではあるが、被度が小さいかあるいは少数であるが被度がかなり大きい。

2 ……多数であって、調査面積の 1/20 以上をおおう。

3 ……個体数は任意であるが、調査面積の 1/4~1/2 をおおう。

4 ……個体数は任意であるが、調査面積の 1/2~3/4 をおおう。

5 ……調査面積の 3/4 以上をおおう。

1. 常在度 (Constancy) とは群落の中に多数の標準地をとって、ある組成種の出現する割合を示したものをいい、その階級は次のようである。

I …… 0 ~20%

II ……21~40%

III ……41~60%

IV ……61~80%

V ……81~100%

1. 総合優占度 (被度値 Coverage value) とは群落を構成する各分群集における組成種の優占度を示すもので、これを求める式は次のようである。

$$\frac{\text{百分率被度の平均値の合計}}{\text{群集組成表の中の測定方形区数}} \times = \text{総合優占度}$$

百分率被度の平均値は優占度 5 ……87.5

4 ……62.5

3 ……37.5

2 ……17.5

1 …… 5.0

+ …… 0.1

r …… 0

この総合優占度の最大値は 8750 であって各組成種間の繁生程度の判断が 優占度平均により 明りょうに示される。

1. 方形区調査図中カッコ内の数字は胸高直径、カッコ外の数字は樹高を表わしている。

1. モミ天然林

i. 方形調査区

高尾全山を歩き回り、モミが優占する天然林中に 10m 平方の方形区を 40 か所とり、その組成を要約した表をあげると第 1 表のようである。

この表を見ればわかるように、高木層ではもちろんモミの総合優占度が最も高く、森林の上層林冠の大部分を占め、純林をなし常在度も V で最も高い。このモミ林中に高木層として見られる他樹種はハリギリ、ヤマザクラ、アカマツ、オオモミジ、カヤ、ウワミズザクラ、イヌザクラ、アカシデ、アサダ、イヌブナ、ヤマトアオダモ、ホオノキなどである。常在度はいずれも 1 で点生するにすぎない。

亜高木層もモミの総合優占度が最も高いが高木層にくらべると低い、常在度は II である。この層に見ら

れる他樹種はウラジロガシ、アワブキ、カヤ、アラカシ、ヤブツバキ、ヤマボウシ、エンコウカエデ、イヌブナ、アオハダ、ウリカエデ、オオモミジ、イロハモミジ、ウラゲエンコウカエデ、シラキ、アカガシ、オニイタヤ、ウラジロノキ、サワシバ、ヒイラギ、ヤマザクラ、イヌツグ、ツクバネガシ、クマシデ、アカシデ、ホオノキ、ヒサカキ、ヤマガキ、イヌガヤ、コナラ、ダンコウバイ、オオツクバネガシ、ハリギリ、コパノトネリコ、ウワミズザクラ、ハクウンボク、リョウブ、ケヤキなどであるが、このうち常在度Ⅱのものはアラカシだけで、他はすべてⅠである。

低木層ではアオキの総合優占度が高く、常在度はⅤで普遍的に分布している。これについてアラカシ、ムラサキシキブ、ヒサカキ、ヤブムラサキ、ウラジロガシ、クロモジ、コパノガマズミ、ヒイラギ、モミ、ツリバナ、シラキ、アブラチャン、ミツバツツジ、カマツカ、ハナイカダ、ダンコウバイ、ヤブツバキ、ヤマボウシなどの総合優占度が高いが、アラカシとムラサキシキブをのぞくと他は少ない。常在度はムラサキシキブとウラジロガシがⅣであり、アラカシ、ヒサカキ、ヤブムラサキ、クロモジ、コパノガマズミ、ツリバナなどがこれについてⅢである。

草本層では低木層と同様アオキの総合優占度が最も高く、ついでテイカカズラ、ミヤマシキミ、ジャノヒゲ、ツルシキミ、チゴユリ、ミゾシダ、コウヤボウキ、ヒサカキ、シケシダ、ヤブコウジ、アラカシ、オオイトスゲ、オオバジャノヒゲ、オクモミジハグマの順に高い。しかしテイカカズラ、ミヤマシキミ、ジャノヒゲ、ツルシキミ、チゴユリ、ミゾシダなどをのぞくと他は低い。ミヤマシキミとその変種ツルシキミを合わせると、モミ林下の草本層はアオキ、テイカカズラ、ミヤマシキミの3種によって代表されているといえる。常在度はアオキとテイカカズラがⅤであり、ミヤマシキミとジャノヒゲがⅣである。ミヤマシキミとその変種ツルシキミを同一種としてあつかうとミヤマシキミの常在度はⅤとなる。チゴユリ、コウヤボウキ、ヤブコウジ、イヌガヤがこれらについて高くⅢである。

つる植物ではテイカカズラの総合優占度が最も高く、常在度もⅤであり、モミその他の樹幹に巻きつき20数メートルの頂きまで繁生している状景がいたるところに見られる。これについてツタウルシ、キヅタ、ツルグミ、ツルマサキ、シラクチヅル、キジョランなどの総合優占度が高い。このうちツタウルシとキヅタの常在度がともにⅡで比較的高く他はいずれもⅠである。

着生植物ではノキシノブの常在度がいちばん高くⅢで、ヒメノキシノブがこれについて高くⅡである。カヤラン、ヨウラクラン、ミヤマノキシノブなどは少ない。調査区外ではムギラン、ベニカヤラン、クモラン、マメヅタ、ウチワゴケなどがモミなどの樹幹にまれに着生しているのが見られる。

モミ方形調査区のうちその代表的だと思われるものを7か所あげると第3～9図のようである。

調査したモミ林40か所の樹高階別の本数配分表は第2表のようである。この表を見ればわかるようにモミは5～10mから45～50mの間に存在し、20～25mのものが最も本数が多く、ついで25～30mのものが多し。最高のもは45mに及ぶ。

モミ林の胸高直径階別の本数配分は第3表のようである。この表を見ればわかるように、モミは5～10cmから120～125cmの間に生じ、30～35cmのものが最も本数が多く、ついで40～45cmと45～50cmがともに同数で多い。最も太いものは121cmである。

ii. 帯状調査区

モミの代表的な林と思われる箇所に長さ50m、幅5mの帯状調査区を4か所とり調査した。その林木配置の状態は第10図から第13図のとおりである。またこれら帯状調査区の樹高階別本数配分表はそれぞれ

第1表 モミ林組成要約表

Table 1. Summarized association table of *Abies firma* forest.

標準地号 番号 Quadrat	標準地面積 Area m ²	地形 Configuration	海拔高 Altitude m	傾斜方向 Exposure of slope	傾斜角度 Steepness of slope	最大林分高 Maximum height of stand	最大胸高直 Maximum d.b.h.
1	100	中腹	280	ES	30°	23	49
2	100	中腹	280	S	31°	23	51
3	100	中腹	290	ES	34°	25	54
4	100	中腹	290	ES	26°	23	53
5	100	中腹	390	ES	15°	22	60
6	100	中腹	340	S	16°	24	52
7	100	中腹	400	S	37°	22	46
8	100	中腹	400	S	40°	25	60
9	100	中腹	490	E	29°	26	72
10	100	尾根	480	N	19°	27	76
11	100	尾根	420	N	32°	27	85
12	100	尾根	430	N	37°	28	82
13	100	尾根	440	NW	32°	26	55
14	100	尾根	440	N	29°	32	82
15	100	中腹	490	EN	36°	35	90
16	100	中腹	540	ES	42°	38	121
17	100	尾根	560	E	32°	26	59
18	100	尾根	570	W	42°	45	91
19	100	中腹	580	W	15°	26	53
20	100	中腹	540	ES	24°	30	59
21	100	尾根	500	S	24°	38	85
22	100	中腹	520	WS	32°	41	92
23	100	中腹	230	E	35°	25	39
24	100	中腹	260	NE	40°	28	50
25	100	中腹	260	ES	41°	26	40
26	100	尾根	280	N	31°	28	65
27	100	中腹	320	NW	35°	28	40
28	100	尾根	340	N	40°	32	47
29	100	尾根	320	NW	15°	31	48
30	100	尾根	400	NE	32°	27	64
31	100	尾根	420	W	30°	30	48
32	100	尾根	400	N	28°	32	63
33	100	尾根	360	N	30°	35	100
34	100	中腹	490	NW	15°	30	59
35	100	尾根	330	NE	42°	26	50
36	100	尾根	380	NE	36°	31	68
37	100	中腹	440	NW	36°	31	59
38	100	尾根	510	E	38°	30	65
39	100	中腹	380	W	26°	28	46
40	100	中腹	370	N	40°	32	67

第1表 (づつき)

Table 1. (Continued)

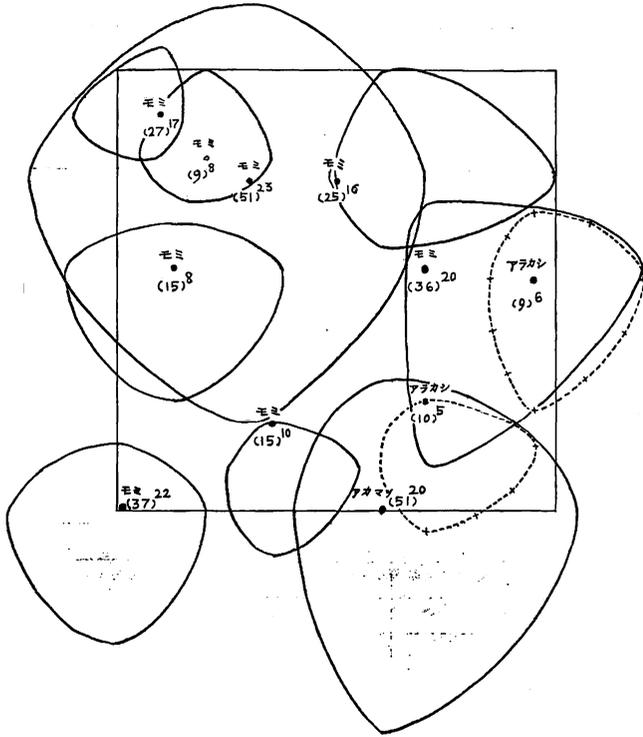
階層 Layer	樹 種 名 Species																	
					1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	
高 木 層 (AP)	モ	リ	ギ	ミ	<i>Abies firma</i>	5	5	5	4	5	4	4	4	4	4	5	5	5
	ハ	マ	ザ	リ	<i>Kalopanax pictus</i>													
	ヤ	カ	マ	ラ	<i>Prunus jamasakura</i>													
	ア	オ	モ	ツ	<i>Pinus densiflora</i>		1					1						
高 木 層 (AP)	オ	オ	モ	ジ	<i>Acer palmatum</i> var. <i>amoenum</i>													
	カ	ワ	ズ	ヤ	<i>Torreya nucifera</i>													
	ウ	ミ	ザ	ク	<i>Prunus grayana</i>													
	イ	ス	ザ	ク	<i>Prunus buergeriana</i>													
高 木 層 (AP)	ア	カ	シ	デ	<i>Carpinus laxiflora</i>													
	ア	サ	サ	ダ	<i>Ostrya japonica</i>													
	イ	ヌ	ブ	ナ	<i>Fagus japonica</i>													
	ヤ	マ	ト	オ	<i>Fraxinus longicuspis</i>													
高 木 層 (AS)	ホ	オ	ノ	キ	<i>Magnolia obovata</i>													
	モ	ラ	ジ	ロ	<i>Abies firma</i>			2	+	1		2		+	2	2	1	1
	ウ	ア	カ	ワ	<i>Quercus salicina</i> var. <i>stenophylla</i>							1			1	2	1	1
	ア	カ	ラ	カ	<i>Meliosma myriantha</i>												3	2
高 木 層 (AS)	ア	ラ	カ	シ	<i>Torreya nucifera</i>	2	2	1	2	3	1	1	+				1	
	ア	ラ	カ	シ	<i>Quercus glauca</i>													
	ヤ	マ	ツ	バ	<i>Camellia japonica</i>					1	3	1	2	2			1	
	ヤ	マ	ボ	ウ	<i>Cornus kousa</i>								2	2				1
高 木 層 (AS)	エ	ン	コ	ウ	<i>Acer mono</i> var. <i>marmoratum</i>											1		1
	エ	ン	コ	ウ	f. <i>dissectum</i>				2									1
	イ	ヌ	ブ	ナ	<i>Fagus japonica</i>													2
	ア	オ	ハ	ダ	<i>Ilex macropoda</i>							2						1
高 木 層 (AS)	ウ	リ	カ	エ	<i>Acer crataegifolium</i>							1						
	オ	オ	モ	ミ	<i>Acer palmatum</i> var. <i>amoenum</i>							1						1
	イ	ロ	ハ	モ	<i>Acer palmatum</i> var. <i>palmatum</i>	1												
	ウ	ラ	ゲ	エ	<i>Acer mono</i> var. <i>connivens</i>	2												
高 木 層 (AS)	シ	ラ	エ	キ	<i>Sapium japonicum</i>								1					
	ア	カ	ガ	シ	<i>Quercus acuta</i>													
	オ	ニ	イ	タ	<i>Acer mono</i> var. <i>ambiguum</i>													
	ウ	ラ	ジ	ロ	<i>Sorbus japonica</i>													
高 木 層 (AS)	サ	ワ	シ	バ	<i>Carpinus cordata</i>													
	ヒ	イ	ラ	ギ	<i>Osmanthus ilicifolius</i>								1					
	ヤ	マ	ザ	ク	<i>Prunus jamasakura</i>											1		
	イ	ツ	ク	バ	<i>Ilex crenata</i>													1
高 木 層 (AS)	ク	マ	シ	デ	<i>Quercus sessilifolia</i>													
	ク	マ	シ	デ	<i>Carpinus japonica</i>													
	ア	ラ	オ	カ	<i>Aucuba japonica</i>	1	+	3	1	+	2	+	2	3	2	+	1	3
	ア	ラ	オ	カ	<i>Quercus glauca</i>	2	1	2	1		1	1	2	+	2	+	+	1
低 木 層 (F)	ム	ラ	サ	キ	<i>Callicarpa japonica</i>	+	2	+	1		1	1	+				+	+
	ヒ	サ	ム	カ	<i>Eurya japonica</i>		+	1	2		1	1	+			1	1	+
	ヤ	ブ	ム	ラ	<i>Callicarpa mollis</i>	1	1	+										+
	ウ	ラ	ジ	ロ	<i>Quercus salicina</i> var. <i>stenophylla</i>						+	+	+	+	+	+	2	+
低 木 層 (F)	ラ	ジ	ロ	ガ	<i>Lindera umbellata</i>	1	+	+			1	+	+	+	+	+	+	+
	コ	バ	ノ	ガ	<i>Viburnum erosum</i> var. <i>punctatum</i>	+	+	+									+	+
	ヒ	イ	ラ	ギ	<i>Osmanthus ilicifolius</i>	+		1	+		+	1	+	+				+
	モ			ミ	<i>Abies firma</i>						+							+

標準地番号 Quadrat																				常在度 Cons- tancy	総合 優占度 Cover- age value								
14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	32	33			34	35	36	37	38	39	40	
5	5	5	4 3	5	5	4	4	4	4	5	5	5	5	4	5	5	5	4	5	4	4	5	5	5	5	5	V I I I I I I I I I I I I	5469 94 77 69 56 44 44 44 13 13 13 13 13	
2	3		1 1		1	1	2				2		1	2		1	2		2	2	3	2	1	2	1	2	2 + 1	II I I I I II I I I I I I I I I I I I I I I	700 319 312 258 219 175 125 113 113 100 81 69 57 56 50 44 44 44 44 38 25 25 25 14
4	3 + +	4 1 +	3 +	4 +	3 +	4 +	3 +	4 +	1 4 1 1 +	1 2 +	2 1 +	2 1 2 1 +	+	1 2 +	2 +	3 +	3 +	3 +	2 +	3 +	2 +	1 2 1 +	2 1 1 +	3 +	2 +	3 +	V III IV III III IV III III II I	2482 520 284 189 180 167 140 135 78 70	

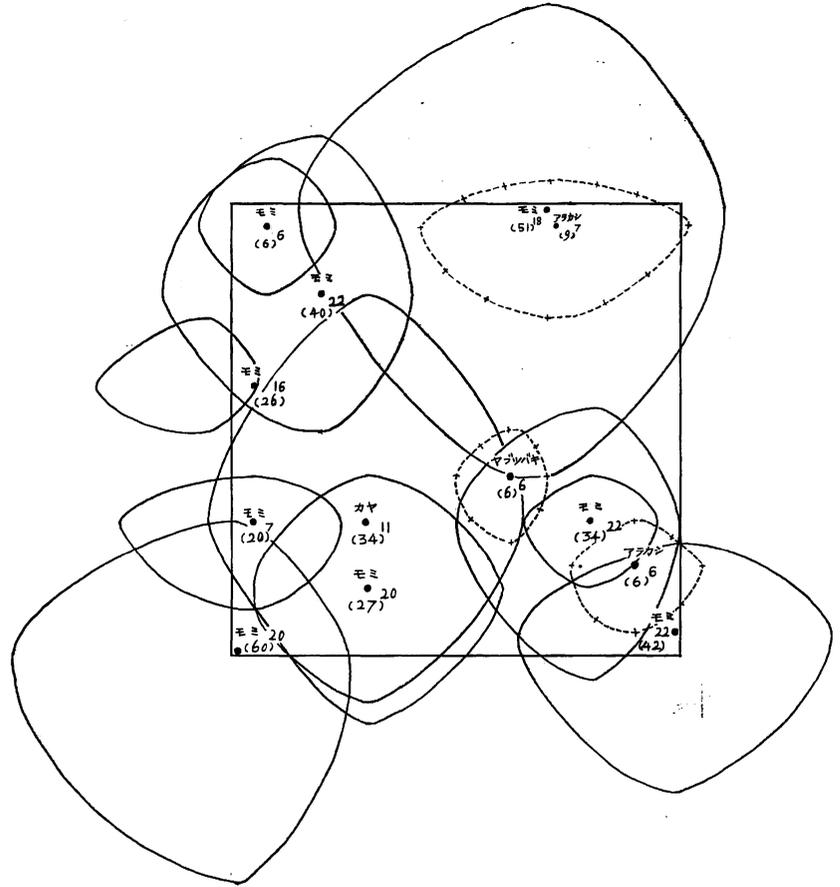
第 1 表 (つづき)

Table 1. (Continued)

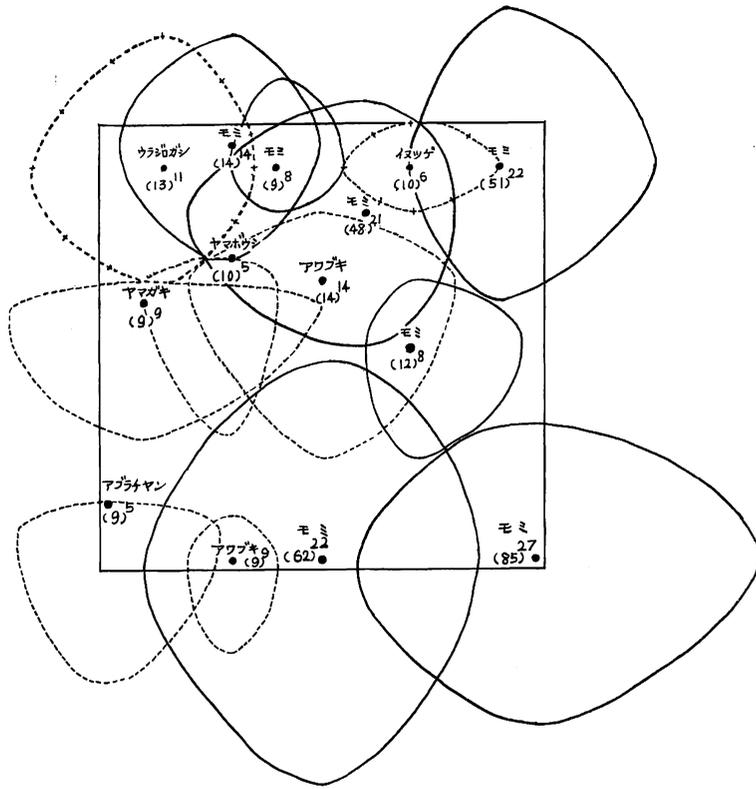
階層 Layer	樹 種 名 Species																		
				1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13			
低 木 層 (F)	ツシ	リ	ナ	<i>Euonymus oxyphyllus</i>	1	+	1										+	+	1
	ア	ブ	キ	<i>Sapium japonicum</i>		1								+	+		+	+	
	ミ	ツ	ツ	<i>Parabenzoin praecox</i>	+													+	
	カ	マ	ツ	<i>Rhododendron dilatatum</i>					1					1				+	+
				<i>Pourthiaea villosa</i>											+			+	+
		ハ	イ	ダ	<i>Helwingia japonica</i>	+													
		ダ	コ	ウ	<i>Lindera obtusiloba</i>	+									+	+			+
		ヤ	ブ	バ	<i>Camellia japonica</i>						+	2						+	+
		ヤ	マ	ボ	<i>Cornus kousa</i>	+								+				+	2
		イ	ス	ツ	<i>Ilex crenata</i>														
		ヤ	マ	ウ	<i>Rhus trichocarpa</i>	+													
		ア	ワ	ブ	<i>Meliosma myriantha</i>					1									
	イ	ヌ	ガ	<i>Cephalotaxus harringtonia</i>									+						
	シ	ロ	ダ	<i>Neolitsea sericea</i>										+	+			+	
	イ	ヌ	ブ	<i>Fagus japonica</i>										+	+				
	ク	ル	ウ	<i>Castanea crenata</i>															
	マ	バ	ツ	<i>Deutzia scabra</i>										+	+				
	ミ	ヤ	マ	<i>Viburnum wrightii</i>	+	1								+	+				
	カ	ガ	マ	<i>Torreya nucifera</i>													+	+	
	シ	ラ	カ	<i>Quercus myrsinaefolia</i>	+	+													
	オ	オ	モ	<i>Acer palmatum</i> var. <i>amoenum</i>															
	オ	ツ	バ	<i>Quercus takaoyamensis</i>													+	+	
	ア	カ	ガ	<i>Quercus acuta</i>															
	ゴ	ン	ズ	<i>Euscaphis japonica</i>															
	ウ	ラ	ゲ	<i>Acer mono</i> var. <i>connivens</i>															
	ウ	リ	カ	<i>Acer crataegifolium</i>															
	ガ	マ	ズ	<i>Viburnum dilatatum</i>															
	イ	ヌ	シ	<i>Carpinus ischonoskii</i>															
	ク	マ	シ	<i>Carpinus japonica</i>															
	サ	ワ	フ	<i>Symplocos chinensis</i> var. <i>leucocarpa</i> f. <i>pilosa</i>															
	ツ	ク	バ	<i>Abelia spathulata</i>													+	+	
																	+	+	
草 本 層 (H)	ア	オ	キ	<i>Aucuba japonica</i>	1	+	1	+	1	1	+			2	1	2	1	4	
	テ	イ	カ	<i>Trachelospermum asiaticum</i>	1	3	2	3	4	3	3	3		1	1	1	1	+	
	ミ	ヤ	マ	<i>Skimmia japonica</i>		+		+	1	1	+	+		1	2	1	1	2	
	ジ	ヤ	ノ	<i>Ophiopogon japonica</i>	2	1	2	1	1	2	2	2		1	1	+	+	+	
	ツ	ル	シ	<i>Skimmia japonica</i> var. <i>repens</i>															
		チ	ゴ	ユ	<i>Disporum smilacinum</i>	+	+								+	1	+	+	
		ミ	ソ	シ	<i>Leptogramma mollissima</i>												+		
		コ	ウ	ボ	<i>Pertya scandens</i>	+	+	+				+						+	
		ヒ	サ	カ	<i>Eurya japonica</i>	+	1		+		+	+			1			1	
		シ	ケ	シ	<i>Athyrium japonica</i>														
		ヤ	ブ	ウ	<i>Ardisia japonica</i>	+			+	+					+			+	
		ア	ラ	カ	<i>Quercus glauca</i>				+					+	+			+	
	オ	オ	イ	<i>Carex sachalinensis</i> var. <i>alterniflora</i>				+						1			+		
	オ	オ	バ	<i>Ophiopogon planiscapus</i>														+	
	オ	ク	モ	<i>Ainsliaea acerifolia</i>															
	ア	ズ	マ	<i>Pleioblastus chino</i>															
	イ	ヌ	ガ	<i>Cephalotaxus harringtonia</i>	+					+	+			+	+		+		
	カ	ヒ	メ	<i>Torreya nucifera</i>		+	+							+	+		+		
				<i>Carpesium rosulatum</i>	+	+	+							+	+		+		



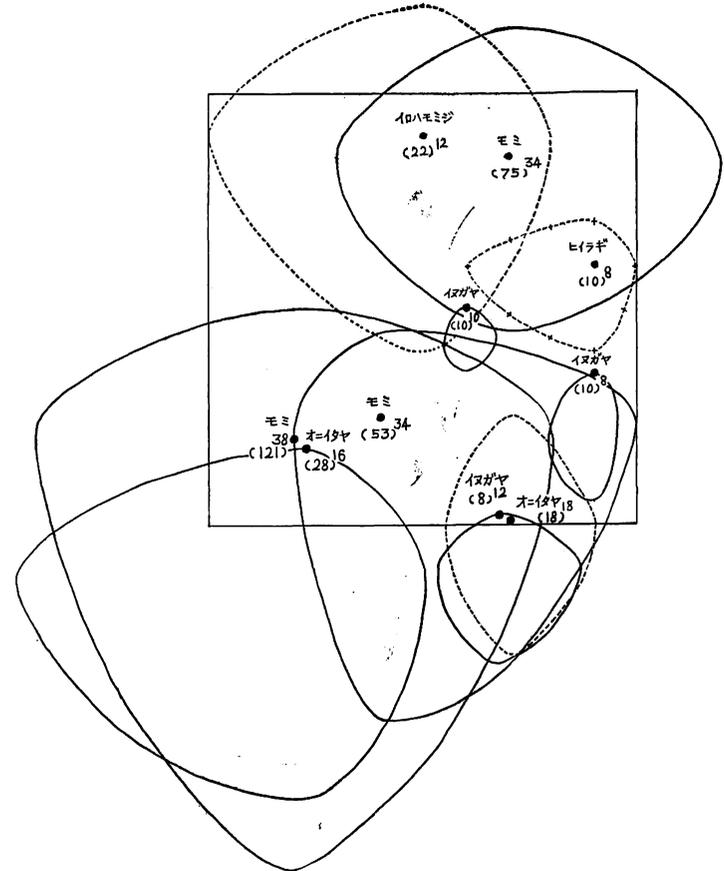
第3図 モミ林方形調査
 (地形中腹, 方位 S, 傾斜角 31°, 標高 280m)
 Fig. 3 Quadrat of *Abies firma* forest.



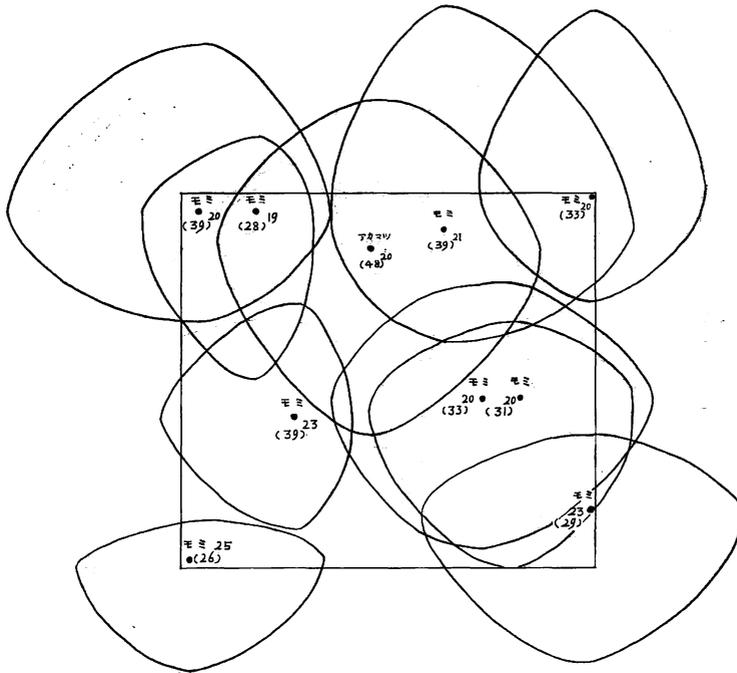
第4図 モミ林方形調査 (地形中腹, 方位 ES, 傾斜角 15°, 標高 390m)
 Fig. 4 Quadrat of *Abies firma* forest.



第5図 モミ林方形調査 (地形 尾根, 方位 N, 傾斜角 32°, 標高 420m)
 Fig. 5 Quadrat of *Abies firma* forest.

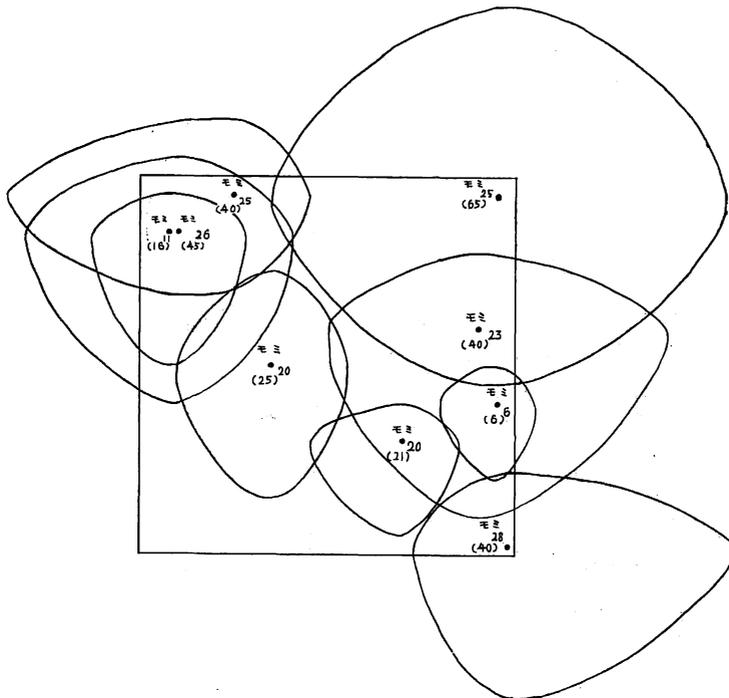


第6図 モミ林方形調査
 (地形 中腹, 方位 ES, 傾斜角 42°, 標高 540m)
 Fig. 6 Quadrat of *Abies firma* forest.



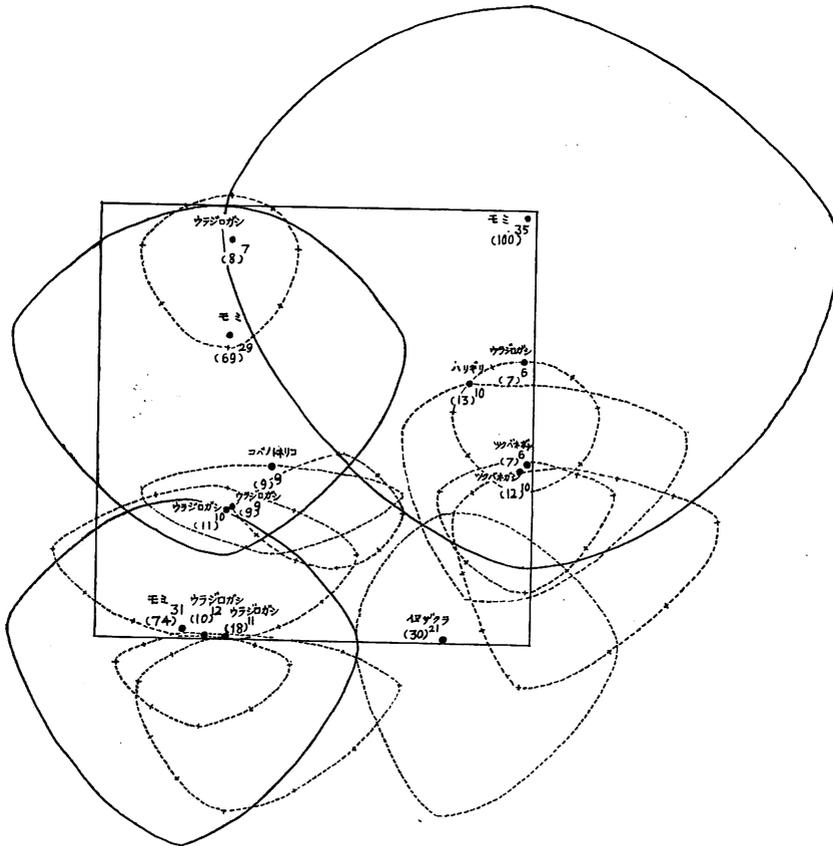
第 7 図 モミ林方形調査 (地形 中腹, 方位 E, 傾斜角 35°, 標高 230m)

Fig. 7 Quadrat of *Abies firma* forest.



第 8 図 モミ林方形調査 (地形 尾根, 方位 N, 傾斜角 31°, 標高 280m)

Fig. 8 Quadrat of *Abies firma* forest.



第9図 モミ林方形調査 (地形 尾根, 方位 N, 傾斜角 30°, 標高 360m)

Fig. 9 Quadrat of *Abies firma* forest.

れ第4表, 第7表, 第10表および第13表のようであり, 胸高直径階別本数配分表はそれぞれ第5表, 第8表, 第11表, 第14表のようである。

以上の図と表を見れば明らかなように高木層ではどの箇所でもモミが優占し, 純林をなし他の樹種はきわめて少ない。モミは樹高5~10mから35~40mの間に存在し, 20~25mのものが本数が多い。最大樹高は38mである。またモミは胸高直径5~10cmから130~135cmの間にあり, 30~35cmと40~45cmのものが本数が多い。最も太いものは130cmである。

高木層にはモミのほかケヤキがまれにある。亜高木層ではモミのほかアカガシ, ウラジロガシ, アラカシ, ヤブツバキ, イヌブナ, イロハモミジ, オオモミジ, エンコウカエデ, クマシデ, イヌシデ, アワブキ, シラキ, ケヤキ, イヌガヤ, カヤ, イヌツゲ, コナラ, アカメガシワ, ヒイラギ, ミズキなど多くの樹種が見られる。モミ林下の低木層以下の植物被度表はそれぞれ第6表, 第9表, 第12表および第15表のようである。低木層では第1調査区~第3調査区ではアオキが最も多いが, 第4調査区ではヤブツバキが最も多い。そのほかムラサキシキブ, ヤブムラサキ, コバノガマズミ, クロモジ, イヌガヤ, カマツカ, ツクパネウツギ, ダンコウパイ, エンコウカエデ, カヤ, アラカシなどがそれぞれの区で比較的多い。草本階では第1調査区から第3調査区まではアオキとミヤマシキミが多いが, 第4調査区ではテイカ

第2表 モミ林樹高階別樹木本数配分表 (40区集計)
 Table 2. *Abies firma* forest. Number of trees in each height grade in
 (No. 1~40) quadrat.

樹種名 Species	樹高 (m) Height										計 Total
	5 ~ 10	10 ~ 15	15 ~ 20	20 ~ 25	25 ~ 30	30 ~ 35	35 ~ 40	40 ~ 45	45 ~ 50		
モミ <i>Abies firma</i>	31	24	52	92	67	17	4	2	2	291	
アカシ <i>Quercus glauca</i>	25	4								29	
ウラボシ <i>Q. salicina</i> var. <i>stenophylla</i>	15	7								22	
ヤブツバキ <i>Camellia japonica</i>	12									12	
カヤ <i>Torreya nucifera</i>	6	4	1							11	
オオモミ <i>Acer palmatum</i> var. <i>amoenum</i>	5	1	2							8	
アワブキ <i>Meliosma myriantha</i>	7	1								8	
ヒイラギ <i>Osmanthus ilicifolius</i>	8									8	
エンコウカエデ <i>Acer mono</i> var. <i>marmoratum</i> f. <i>dissectum</i>	6	1								7	
イヌブナ <i>Fagus japonica</i>	3	3	1							7	
ツクバネガシ <i>Quercus sessilifolia</i>	6									6	
ウリカエデ <i>Acer crataegifolium</i>	5									5	
アオハダ <i>Ilex macropoda</i>	5									5	
ヤマボウシ <i>Cornus kousa</i>	5									5	
ヤマザクラ <i>Prunus jamasakura</i>	1	2	1	1						5	
イヌガヤ <i>Cephalotaxus harringtonia</i>	4	1								5	
イロハモミ <i>Acer palmatum</i> var. <i>palmatum</i>	3	2								5	
アカマツ <i>Pinus densiflora</i>			3							3	
イヌツゲ <i>Ilex crenata</i>	3									3	
ハリギリ <i>Kalopanax pictus</i>	2				1					3	
シラカシ <i>Quercus myrsinaefolia</i>	3									3	
ダンコウバイ <i>Lindera obtusiloba</i>	3									3	
シラキ <i>Sabium japonicum</i>	2									2	
コバノトネリコ <i>Fraxinus lanuginosa</i> var. <i>serrata</i>	2									2	
ヒサカキ <i>Eurya japonica</i>	2									2	
ホオノキ <i>Magnolia obovata</i>		1	1							2	
オニタヤ <i>Acer mono</i> var. <i>ambiguum</i>			2							2	
クマシ <i>Carpinus japonica</i>	2									2	
ウワミズザクラ <i>Prunus grayana</i>	1			1						2	
ウラゲエンコウカエデ <i>Acer mono</i> var. <i>marmoratum</i> f. <i>dissectum</i>	1									1	
アカシ <i>Carpinus laxiflora</i>	1									1	
ヤマガキ <i>Diospyros kaki</i> var. <i>sylvestris</i>	1									1	
アブラチャ <i>Parabenzoim praecox</i>	1									1	
アサダ <i>Ostrya japonica</i>	1									1	
アカガシ <i>Quercus acuta</i>	1									1	
ウラボシ <i>Quercus salicina</i> var. <i>stenophylla</i>			1							1	
チドリノキ <i>Acer carpiniifolium</i>		1								1	
コナラ <i>Quercus serrata</i>	1									1	
ミズキ <i>Cornus controversa</i>	1									1	
イヌザクラ <i>Prunus buergeriana</i>				1						1	
ムラサキシキブ <i>Callicarpa japonica</i>	1									1	
リョウブ <i>Clethra barbinervis</i>	1									1	
計 Total	177	53	63	95	68	17	4	2	2	481	

第3表 (つづき)

Table 3. (Continued)

樹種名 Species	胸高直径 (cm) Breast-height diameter														計 Total								
	5 10	10 15	15 20	20 25	25 30	30 35	35 40	40 45	45 50	50 55	55 60	60 65	65 70	70 75		75 80	80 85	85 90	90 95	95 100	100 125	125 130	
アカシデ <i>Carpinus laxiflora</i>	1																						1
ヤマガキ <i>Diospyros kaki</i> var. <i>sylvestris</i>	1																						1
アブラチャン <i>Parabenzoin praecox</i>	1																						1
アサダ <i>Ostrya japonica</i>	1																						1
アカガシ <i>Quercus acuta</i>		1																					1
ウラジロノキ <i>Quercus salicina</i> var. <i>stenophylla</i>	1																						1
チドリノキ <i>Acer carpinifolium</i>		1																					1
コナラ <i>Quercus serrata</i>	1																						1
ミズキ <i>Cornus controversa</i>	1																						1
イヌザクラ <i>Prunus buergeriana</i>				1																			1
ムラサキシキブ <i>Callicarpa japonica</i>	1																						1
リョウウブ <i>Clethra barbinervis</i>	1																						1
計 Total	138	50	36	24	29	39	27	33	33	21	15	9	7	6	3	5	2	2	1	1			481

第4表 モミ林帯状調査区樹高階別本数配分表 (1)

Table 4. *Abies firma* forest. Number of trees in each height grade in No. 1 belt-transect.

樹種名 Species	樹高 (m) Height										計 Total	
	5 10	10 15	15 20	20 25	25 30	30 35	35 40	40 45	45 50	50 55		
モミ <i>Abies firma</i>	10	1	3	4	9							27
ヤマギ <i>Zelkova serrata</i>	1		1									2
アカガシ <i>Quercus acuta</i>	1	1										2
ウラジロノキ <i>Carpinus japonica</i>	1	1										2
ウラジロガシ <i>Quercus salicina</i> var. <i>stenophylla</i>	1											1
イロハモミジ <i>Acer palmatum</i> var. <i>palmatum</i>	1											1
イヌシデ <i>Carpinus tschonoskii</i>	1											1
アワブキ <i>Meliosma myriantha</i>	1											1
ツクバネガシ <i>Quercus sessilifolia</i>	1											1
アカメガシ <i>Mallotus japonica</i>	1											1
アオキ <i>Aucuba japonica</i>	1											1

第5表 モミ林帯状調査区胸高直径階別本数配分表 (1)

Table 5. *Abies firma* forest. Number of trees in each diameter grade No. 1 belt-transect.

樹種名 Species	胸高直径 (cm) Breast-height diameter												計 Total
	5 10	10 15	15 20	20 25	25 30	30 35	35 40	40 45	45 50	50 55	55 60	60 65	
モミ <i>Abies firma</i>	7	2	2	1		3	3	2	3	2	1	1	27
ヤマギ <i>Zelkova serrata</i>		1				1							2

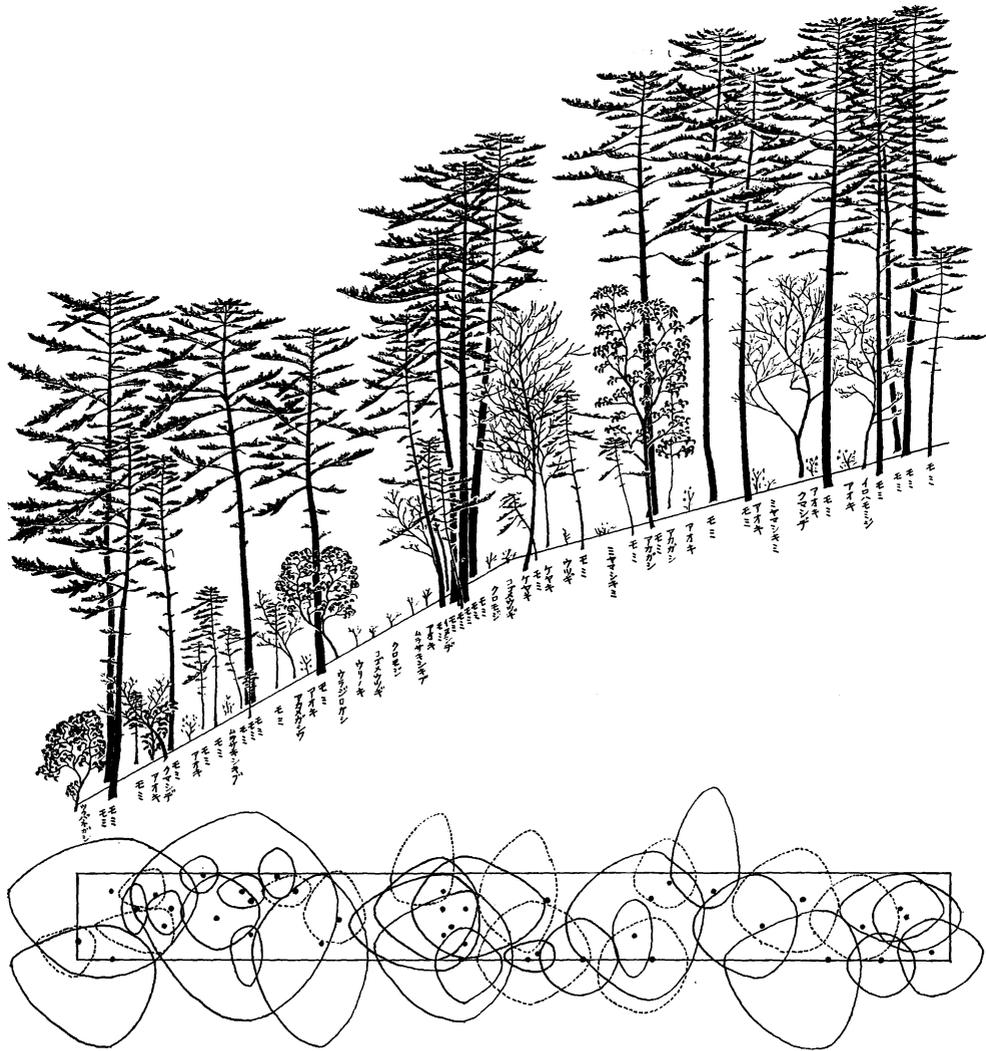
第5表 (つづき) Table 5. (Continued)

樹種名 Species	胸高直径 (cm) Breast-height diameter											計 Total	
	5 10	10 15	15 20	20 25	25 30	30 35	35 40	40 45	45 50	50 55	55 60		60 65
クマシデ <i>Carpinus japonica</i>	1				1								2
アカガシ <i>Quercus acuta</i>	1	1											2
イロハモミジ <i>Acer palmatum</i> var. <i>palmatum</i>		1											1
ウラジロガシ <i>Quercus salicina</i> var. <i>stenophylla</i>	1												1
イヌシデ <i>Carpinus tschonoskii</i>	1												1
アカメガシワ <i>Mallotus japonica</i>	1												1
アワブキ <i>Meliosma myriantha</i>	1												1
ツクバネガシ <i>Quercus sessilifolia</i>	1												1
アオキ <i>Aucuba japonica</i>	1												1

第6表 モミ林の帯状調査区材床植物被度表 (1)

Table 6. *Abies firma* forest. Cover degree of the plants in No. 1 belt-transect.

階層 Layer	種 Species	類 類	被度 Cover degree
低木層 (F)	アオキ	<i>Aucuba japonica</i>	5
	アイヌシ	<i>Cephalotaxus harringtonia</i>	1
	イロハモミジ	<i>Quercus myrsinaefolia</i>	1
	ムラサキ	<i>Callicarpa japonica</i>	1
	ヤブサミ	<i>Callicarpa mollis</i>	1
	クモシ	<i>Lindera umbellata</i>	1
	アカガシ	<i>Quercus acuta</i>	1
	ガクマ	<i>Viburnum dilatatum</i>	1
	コノハ	<i>Viburnum erosum</i> var. <i>punctatum</i>	+
	ウラジロ	<i>Quercus salicina</i> var. <i>stenophylla</i>	+
	アワブキ	<i>Meliosma myriantha</i>	+
	コノハ	<i>Stephanandra incisa</i>	+
	ミツバ	<i>Staphylea bumalda</i>	+
	マツ	<i>Deutzia scabra</i>	+
草本層 (H)	アオキ	<i>Aucuba japonica</i>	4
	ヤマモミ	<i>Skimmia japonica</i>	3
	チヂミ	<i>Oplismenus undulatifolius</i>	1
	チゴユ	<i>Disporum smilacinum</i>	1
	テカカズ	<i>Trachelospermum asiaticum</i>	1
	ハナカ	<i>Helwingia japonica</i>	+
	ハナグ	<i>Elaeagnus glabra</i>	+
	シユン	<i>Cymbidium virescens</i>	+
	モミ	<i>Abies firma</i>	+
	キウハグ	<i>Ainsliaea apiculata</i>	+
	ミツシ	<i>Leptogramma mollissima</i>	+
	オゾ	<i>Carex sachalinensis</i> var. <i>alterniflora</i>	+
	オイ	<i>Cephalotaxus harringtonia</i>	+
	シロヨメ	<i>Aster leiophyllus</i>	+
タチボ	<i>Viola grypceras</i>	+	
タマノカン	<i>Aristolochia tamaense</i>	+	
つる植物 (L)	ツル	<i>Rhus ambigua</i>	1
	テカカズ	<i>Trachelospermum asiaticum</i>	1
	ツル	<i>Euonymus fortunei</i> var. <i>radicans</i>	1
着生植物 (E)	ノキ	<i>Lepisorus thunbergianus</i>	+
	ヒメノ	<i>Lepisorus onoei</i>	+



第10図 モミ帯状区林木配置図(1)(尾根, 方位 WSW, 傾斜角 15~30°, 標高 527m)

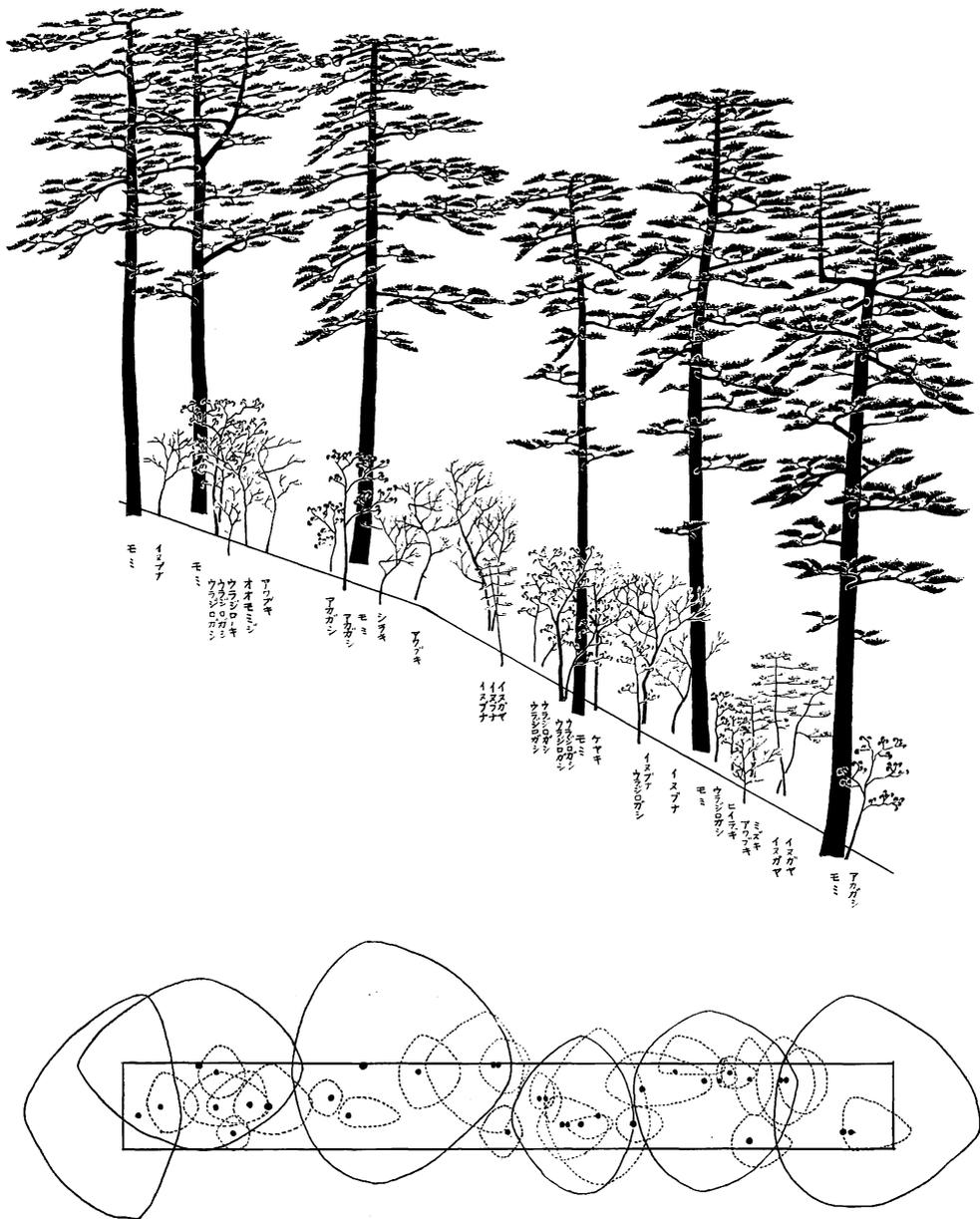
Fig. 10 Belt-transsect in *Abies firma* forest. (1)

カズラとジャノヒゲが多い。つる植物では4調査区ともテイカカズラが多い。着生植物は4調査区ともノキシノブが見られるが多くはない。

2. カシ類を主とする常緑広葉樹の天然林

i. 方形調査区

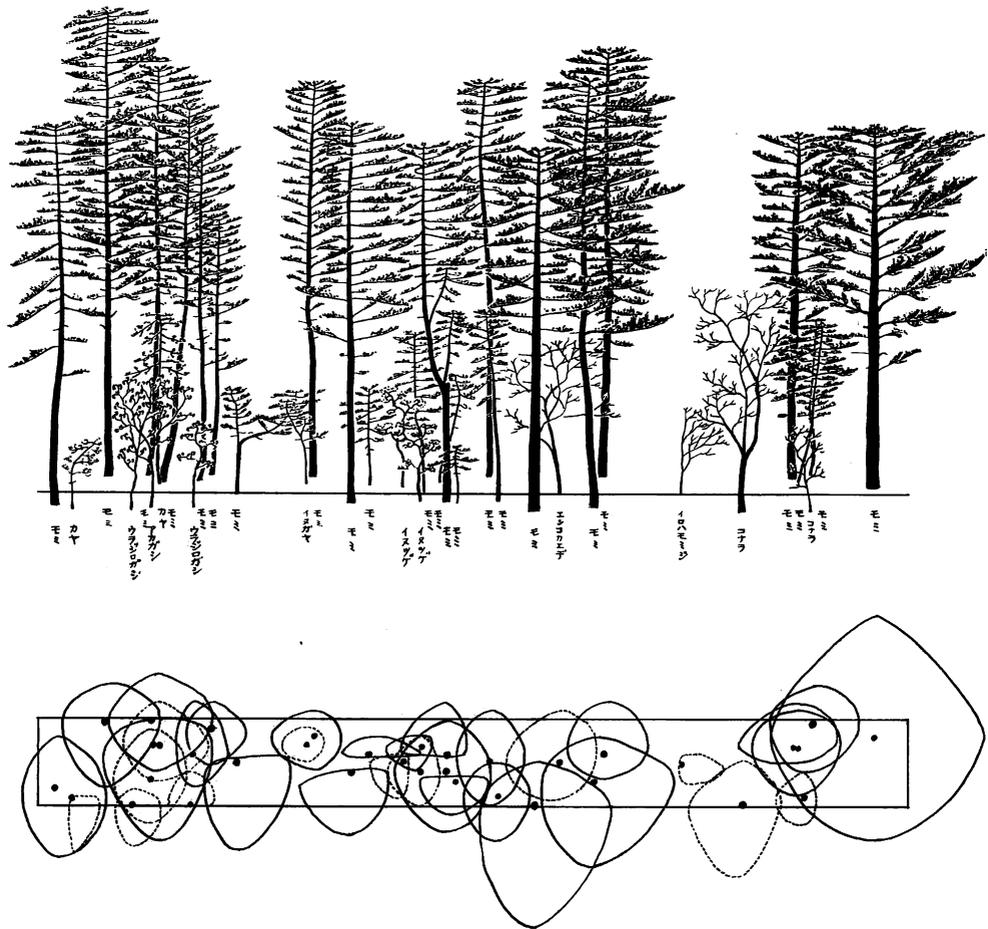
カシ類の優占する天然林中に10m平方の方形区を10か所とり、その組成を要約した表をあげると第16表のようである。この表を見ればわかるように、高木層の総合優占度はウラジロガシが最も高い。常在度もIVであり、最も高い。ついでアカガシとアラカシが高くともにIIIである。オオツクバネガシとシラカシはIである。カシ類のほか優高木層をなしているものはケヤキ、イヌブナ、エンコウカエデ、イヌシデ、



第11図 モミ帯状区林木配置図(2)(尾根~中腹, 方位 E, 傾斜角 19~30°, 標高 520m)

Fig. 11 Belt-transect in *Abies firma* forest. (2)

ヤマザクラ, コナラ, ケンボナシなどの落葉広葉樹であるが, 総合優占度はいずれも比較的 low, 常在度もケヤキがⅡであるほかすべてⅠである。スダジイはカシ林中にごくまれに生じているに過ぎなく, この調査区中には1本も現われていない。亜高木層ではアラカシの総合優占度が最も高く, イヌブナ, ウラジロガシ, サカキ, モミなどがこれにつづいて高い。しかし, 高木層の上位と比較すると非常に低い。いいかえると高木層が上層林冠をおおい, その下の層が貧弱であるということである。常在度はアラカシがⅣ



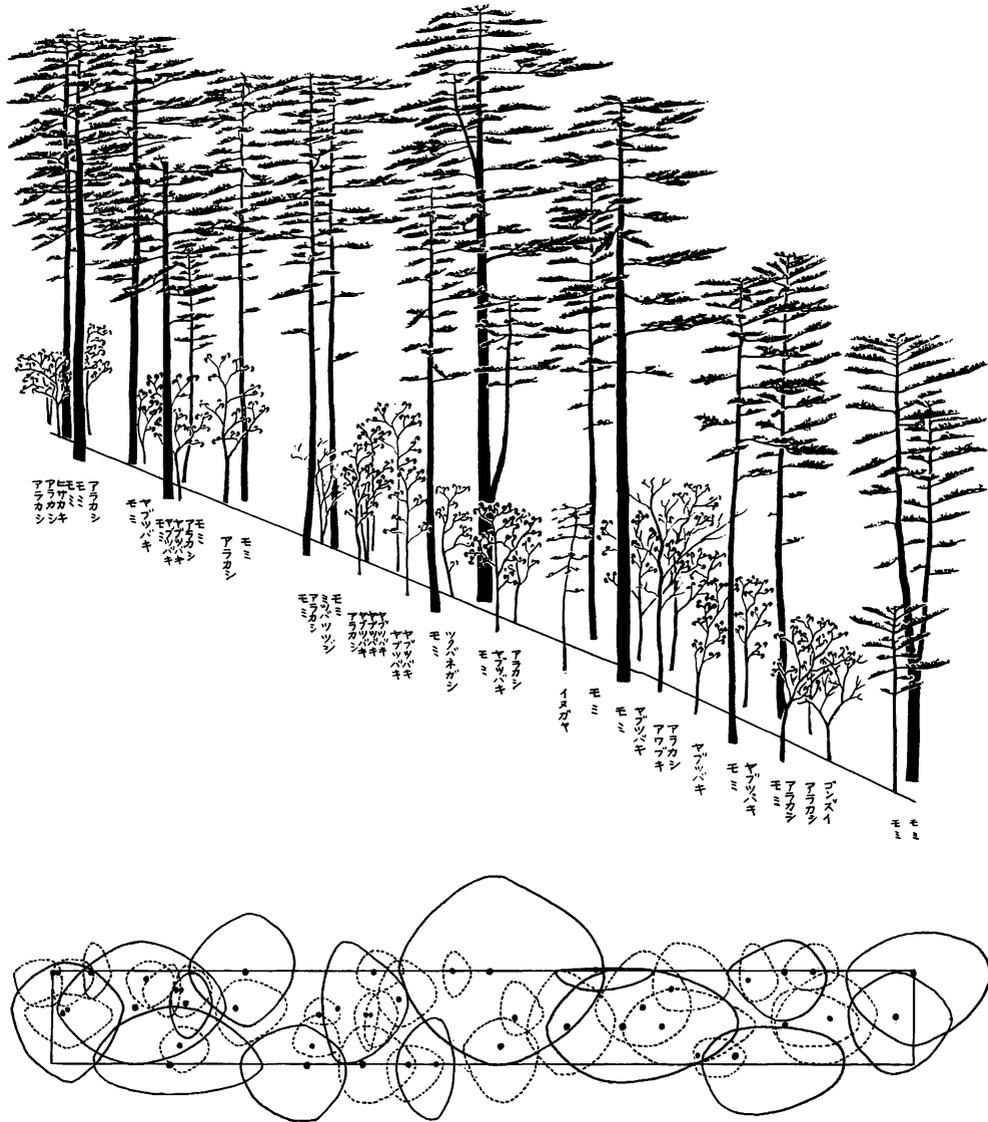
第12図 モミ带状区林木配置図 (3) (尾根, 方位 NE, 傾斜角 0°, 標高 473m)

Fig. 12 Belt-transect in *Abies firma* forest. (3)

第 7 表 モミ林带状調査区樹高階別本数配分表 (2)

Table 7. *Abies firma* forest. Number of trees in each height grade in No. 2 belt-transect.

樹種名 Species	樹高 (m) Height		5	10	15	20	25	30	35	計 Total
	5 10	10 15	10 15	15 20	20 25	25 30	30 35	35 40		
モイ ウ ラ							2	1	3	6
ア シ イ オ ケ ヒ ミ			6	1						7
ラ ワ カ ラ ガ ミ ヤ ギ キ			9							9
ブ ロ ブ ガ シ キ ヤ ギ キ			3							3
ミ ナ シ キ ヤ ギ キ			3							3
ア シ イ オ ケ ヒ ミ			1							1
ラ ワ カ ラ ガ ミ ヤ ギ キ			1							1
ブ ロ ブ ガ シ キ ヤ ギ キ			1							1
ア シ イ オ ケ ヒ ミ			1							1
ラ ワ カ ラ ガ ミ ヤ ギ キ			1							1
ブ ロ ブ ガ シ キ ヤ ギ キ			1							1
ア シ イ オ ケ ヒ ミ			1							1



第13図 モミ带状区林木配置図(4)(中腹, 方位 E, 傾斜角 22~25°, 標高 255m)

Fig. 13 Belt-transect in *Abies firma* forest. (4)

で最も高く、ウラジロガシがⅢ、モミがⅡでこれにつづいている。低木層の総合優占度はアオキ、アラカシ、ウラジロガシ、ヒサカキ、ムラサキシキブなどが比較的高い。しかし、モミ林やブナ林などの低木層を構成する樹種の総合優占度に比較すると非常に低い。このことは上層林冠の照葉が繁りすぎて下部への光線の射入が不足をきたす結果と思われる。常在度はアオキがⅤで最も高く、アラカシ、ヒサカキ、マルバウツギがともにⅢでこれについている。

草本層の総合優占度はジャノヒゲが最も高く、テイカカズラ、アラカシ、ウラジロガシ、アオキ、アカ

第8表 モミ林帯状調査区胸高直径階別本数配分表(2)。

Table 8. *Abies firma* forest. Number of trees in each diameter grade in No. 2 belt-transect.

樹種名 Species	胸高直径 (cm) Breast-height diameter										計 Total	
	5 10	10 15	65 70	70 75	75 80	80 85	85 90	90 95	95 100	130 135		
モイ ウイ ケ ア ア シ ヒ ア オ												
ヌ ラ イ イ ケ ア ア シ ヒ ア オ												
ブ ラ イ ケ ア ア シ ヒ ア オ												
ミ ナ シ ヤ キ シ キ キ キ シ												
<i>Abies firma</i>			1									6
<i>Fagus japonica</i>	5	2										7
<i>Quercus salicina</i> var. <i>stenophylla</i>	8	1			1	1	1			1	1	9
<i>Cephalotaxus harringtonia</i>												1
<i>Zelkova serrata</i>												1
<i>Meliosma myriantha</i>	3											3
<i>Quercus acuta</i>	3											3
<i>Sapium japonicum</i>	1											1
<i>Osmanthus ilicifolius</i>	1											1
<i>Aucuba japonica</i>	1											1
<i>Acer palmatum</i> var. <i>amoenum</i>	1											1

第9表 モミ林の帯状調査区林床植物被度表(2)

Table 9. *Abies firma* forest. Cover degree of the plants in No. 2 belt-transect.

階層 Layer	種 Species	類	被度 Cover degree						
低木層 (F)	アムコクイヒハカホヤウイマミツク	オキサマツラ	キブミジゲギダウキサガツキナズキ	<i>Aucuba japonica</i> <i>Callicarpa japonica</i> <i>Viburnum erosum</i> var. <i>punctatum</i> <i>Lindera umbellata</i> <i>Ilex crenata</i> <i>Osmanthus ilicifolius</i> <i>Helwingia japonica</i> <i>Zanthoxylum ailanthoides</i> <i>Magnolia obovata</i> <i>Callicarpa mollis</i> <i>Quercus salicina</i> var. <i>stenophylla</i> <i>Cephalotaxus harringtonia</i> <i>Deutzia scabra</i> <i>Cornus controversa</i> <i>Euonymus oxyphyllus</i> <i>Cornus brachypoda</i>	5 1 1 1 + + + + + + + + + + +				
	草本層 (H)	ミアキジイイツヤカツカオコシケ	ヤマコノツリブシルカオウシケ	ミキマゲゲヤウサマキヤレゲキナメザ	<i>Skimmia japonica</i> <i>Aucuba japonica</i> <i>Ainsliaea apiculata</i> <i>Ophiopogon japonica</i> <i>Ilex crenata</i> <i>Cephalotaxus harringtonia</i> <i>Tripterispermum japonicum</i> <i>Syneilesis palmata</i> <i>Pertya robusta</i> <i>Euonymus fortunei</i> var. <i>radicans</i> <i>Torreya nucifera</i> <i>Viola grypoceras</i> <i>Carex sachalinensis</i> var. <i>alterniflora</i> <i>Pertya scandens</i> <i>Aster leiophyllus</i> <i>Oplismenus undulatifolius</i>	3 3 + + + + + + + + + + + + +			
		つる植物 (L)	テツキ	イルマツ	カカザ	ラキタ	<i>Trachelospermum asiaticum</i> <i>Euonymus fortunei</i> var. <i>radicans</i> <i>Hedera rhombea</i>	1 1 +	
			着生植物 (E)	ヒメノ	ノキ	キノ	ブ	<i>Lepisorus onoei</i> <i>Lepisorus thunbergianus</i>	+ +

第10表 モミ林帯状調査区樹高階別本数配分表 (3)

Table 10. *Abies firma* forest. Number of trees in each height grade in No. 3 belt-transect.

樹種名 Species			樹高 (m) Height		5 10	10 15	15 20	20 25	25 30	計 Total
			5 10	10 15						
モ		ミ	<i>Abies firma</i>					10	5	24
コ	ナ	ミ	<i>Quercus serrata</i>	8	1					2
カ		ミ	<i>Torreya nucifera</i>	1	1					2
イ	ヌ	ツ	<i>Ilex crenata</i>	1	1					2
イ	ヌ	ガ	<i>Cephalotaxus harringtonia</i>	2						1
イ	ロ	ハ	<i>Acer palmatum</i> var. <i>palmatum</i>	1						1
エ	ン	コ	<i>Acer mono</i> var. <i>marmoratum</i>	1						1
ウ	ラ	ジ	f. <i>dissectum</i>	1						1
ア	カ	ガ	<i>Quercus acuta</i>	1						1
ウ	ラ	ジ	<i>Quercus salicina</i> var. <i>stenophylla</i>	2						2

第11表 モミ林帯状調査区胸高直径階別本数配分表 (3)

Table 11. *Abies firma* forest. Number of trees in each diameter grade in No. 3 belt-transect.

樹種名 Species			胸高直径 (cm) Breast-height diameter													計 Total	
			5 10	10 15	15 20	20 25	25 30	30 35	35 40	40 45	45 50	50 55	55 60	60 65	65 70		
モ		ミ	<i>Abies firma</i>	2	4	3		2	3	1	2	1	3		1	2	24
コ	ナ	ミ	<i>Quercus serrata</i>	1					1								2
カ		ミ	<i>Torreya nucifera</i>	1		1											2
イ	ヌ	ツ	<i>Ilex crenata</i>	1	1												2
エ	ン	コ	<i>Acer mono</i> var. <i>marmoratum</i>	1	1												1
		カ	f. <i>dissectum</i>														
イ	ヌ	ガ	<i>Cephalotaxus harringtonia</i>	1													1
ウ	ラ	ジ	<i>Quercus salicina</i> var. <i>stenophylla</i>	2													2
イ	ロ	ハ	<i>Acer palmatum</i> var. <i>palmatum</i>	1													1
ア	カ	ガ	<i>Quercus acuta</i>	1													1

第12表 モミ林の帯状調査区林床植物被度表 (3)

Table 12. *Abies firma* forest. Cover degree of the plants in No. 3 belt-transect.

階層 Layer	種			類	被度 Cover degree	
	Species					
低木層 (F)	ア	ク	オ	キ	<i>Aucuba japonica</i>	3
	カ	バ	ウ	ギ	<i>Abelia spathulata</i>	1
	ヒ	マ	ツ	カ	<i>Pourthiaea villosa</i> var. <i>laevis</i>	1
	ケ	イ	ラ	ギ	<i>Osmanthus ilicifolius</i>	1
	ダ	ロ	モ	ジ	<i>Lindera umbellata</i>	1
	エ	ン	コ	ウ	<i>Lindera obtusiloba</i>	1
	モ	ン	コ	ウ	<i>Acer mono marmoratum</i> f. <i>dissectum</i>	1
	ツ	リ	バ	ナ	<i>Abies firma</i>	1
	ウ	ラ	ジ	ロ	<i>Ewonymus oxyphyllus</i>	1
	カ	ラ	ジ	ロ	<i>Quercus salicina</i> var. <i>stenophylla</i>	1
	ヤ	ブ	ム	ラ	<i>Torreya nucifera</i>	1
	ガ	マ	ノ	ズ	<i>Callicarpa mollis</i>	1
	コ	バ	ノ	ガ	<i>Viburnum dilatatum</i>	+
	イ	バ	ノ	ガ	<i>Viburnum erosum</i> var. <i>punctatum</i>	+
ヤ	マ	ツ	ツ	<i>Cephalotaxus harringtonia</i>	+	
ム	ラ	サ	キ	<i>Rhododendron kaempferi</i>	+	
草本層 (H)	ア	ミ	オ	キ	<i>Callicarpa japonica</i>	+
	ミ	ヤ	マ	シ	<i>Aucuba japonica</i>	3
	テ	イ	カ	カ	<i>Skimmia japonica</i>	2
	コ	ウ	ヤ	ボ	<i>Trachelospermum asiaticum</i>	2
	ジ	ヤ	ノ	ヒ	<i>Pertya scandens</i>	1
				<i>Ophiopogon japonica</i>	1	

第15表 モミ林の帯状調査区林床植物被度表(4)

Table 15. *Abies firma* forest. Cover degree of the plants in No. 4 belt-transect.

階層 Layer	種	Species	被度 Cover degree
低木層 (F)	ヤブツバキ	<i>Camellia japonica</i>	3
	アラカシ	<i>Quercus glauca</i>	2
	アマツジ	<i>Rhododendron dilatatum</i>	1
	ウラボシ	<i>Quercus salicina</i> var. <i>stenophylla</i>	+
	ウカヤ	<i>Torreya nucifera</i>	+
	ヒサキ	<i>Eurya japonica</i>	+
	コナリ	<i>Fraxinus lanuginosa</i> var. <i>serrata</i>	+
	ツバネガシ	<i>Quercus salicina</i>	+
	ゴザイ	<i>Euscaphis japonica</i>	+
	カサシ	<i>Zanthoxylum ailanthoides</i>	+
	ヤマウルシ	<i>Rhus trichocarpa</i>	+
草本層 (H)	テジカズラ	<i>Trachelospermum asiaticum</i>	3
	ヒヤノギ	<i>Ophiopogon japonica</i>	2
	アオキ	<i>Osmanthus ilicifolius</i>	1
	ヒサキ	<i>Aucuba japonica</i>	1
	シロヨメナ	<i>Eurya japonica</i>	1
	ケチマ	<i>Aster leiophyllus</i>	1
	ミヤザサ	<i>Oplismenus undulatifolius</i>	1
	シユンラン	<i>Skimmia japonica</i>	1
	イヌゲシ	<i>Liriope platyphylla</i>	+
	ホソバ	<i>Cymbidium vireescens</i>	+
	ヤナギ	<i>Cephalotaxus harringtonia</i>	+
	イサギ	<i>Lycopodium serratum</i> var. <i>serratum</i>	+
	サナギ	<i>Ardisia japonica</i>	+
	イサギ	<i>Carex lenta</i> var. <i>lenta</i>	+
	サタケ	<i>Ilex crenata</i>	+
	オオバ	<i>Lophatherum gracile</i>	+
	ヤマ	<i>Viola grypoceras</i>	+
	ミ	<i>Rohdea japonica</i>	+
	ケ	<i>Pseudosasa japonica</i>	+
	ウ	<i>Youngia denticulata</i>	+
ラ	<i>Goodyera schlechtendaliana</i>	+	
つる植物 (L)	テカズラ	<i>Trachelospermum asiaticum</i>	3
	ツタウルシ	<i>Rhus ambigua</i>	1
着生植物 (E)	ノキシノブ	<i>Lepisorus thunbergianus</i>	+
	ヒメノキシノブ	<i>Lepisorus onoei</i>	+

ガシ、オオバジャノヒゲなどがこれについている。常在度はジャノヒゲが最も高くVである。これについてヤブコウジが高くIV、テイカカズラ、アラカシ、ウラボシ、シユンランはそれぞれIIIである。つる植物はテイカカズラが普遍的に生じ、常在度はVである。これについてイタビカズラがIIである。フジ、ウラボシ、マタタビ、キジョランなどはまれに見られるにすぎない。着生植物ではノキシノブが比較的多く、常在度はIIIであり、ヒメノキシノブ、マメヅタがこれについて高くIIである。ヨウラクラン、カヤラン、ベニカヤランなどの着生はまれである。マメヅタはカシ類ことにウラボシの樹幹によく着生し、谷間などでは時に20m くらいの高さまでびっしり着生していることがある。この現象は、そこに空中湿度の非常に多いことをあらわしている。

カシ類の方形調査区のうちその代表的だと思われるものを3か所あげると第14～第16図のようである。調査したカシ林10か所の樹高階別の本数配分は第17表のようである。この表を見ればわかるようにカシ類を総括すると、5～10m から25～30m の間に存在し、10～15m のものが最も本数が多い。このカシ類中最も高いものはシラカシの22m である。カシ林の胸高直径階別の本数配分は第18表のようであ

第16表 カシ林組成要約表
Table 16. Summarized association table of *Quercus*.

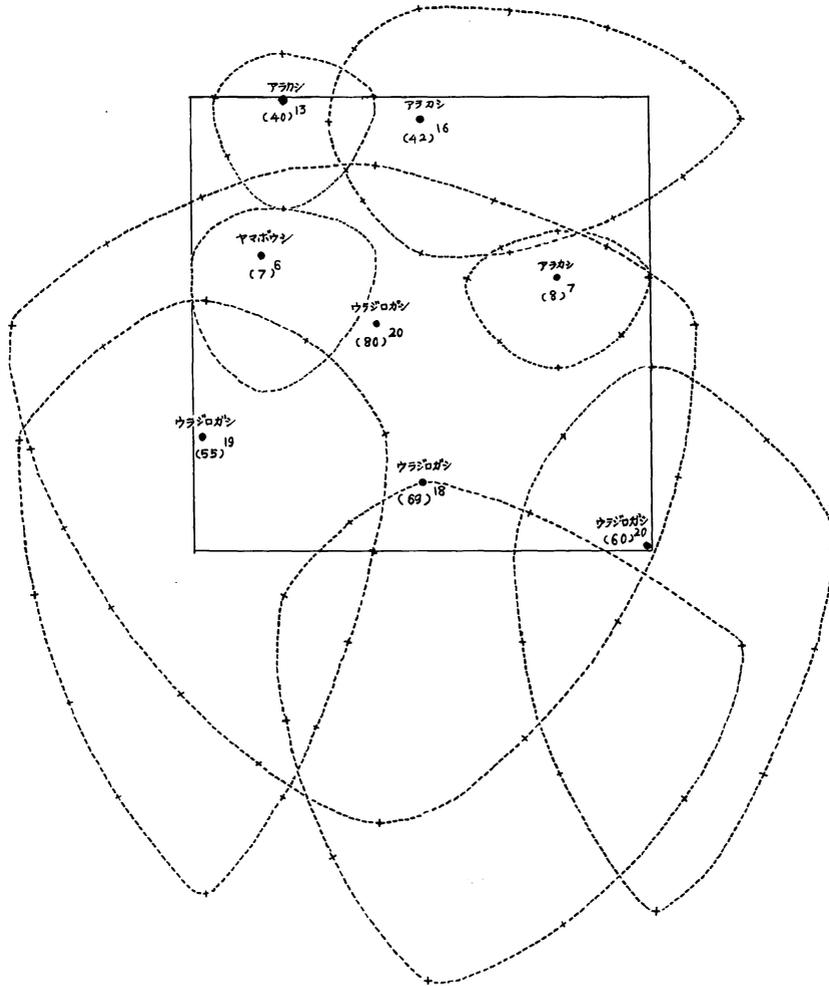
階層 Layer	種類 Species	標準地番号 Quadrat	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	常在度 Constancy	総合優占度 Coverage value	
		標準地面積(m ²) Area	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100			100
		地形 Configuration	中腹	中腹	尾根	尾根	中腹	中腹	中腹	尾根	山麓	尾根			
		海抜高(m) Altitude	380	330	330	400	480	390	320	560	160	230			
		傾斜方向 Exposure of slope	ES	ES	ES	ES	ES	ES	E	WS	S	S			
		傾斜角度 Steepness of slope	42	42	42	43	31	36	42	36	43	33			
		最大林分高 Maximum height of stand	20	22	20	22	20	22	20	18	18	17			
		最大胸高直径 Maximum d. b. h.	58	72	80	33	65	38	52	67	29	28			
高木層 (AP)	ウラジロガシ <i>Quercus salicina</i> var. <i>stenophylla</i>	5	5	3	3		2		1		5	IV	3600		
	アカガシ <i>Quercus acuta</i>	1		2		4	4		4			III	2100		
	オオツクバネガシ <i>Quercus glauca</i>	1			3			2		2	1	III	825		
	オオツクバネガシ <i>Quercus takaoyamensis</i>			4	2							I	800		
	シケラヤカシ <i>Quercus myrsinaefolia</i>							3		3		I	750		
	ケイヌブナ <i>Zelkova serrata</i>				1		2			2		II	400		
	エヌコウカエデ <i>Fagus japonica</i>					2			2			I	350		
	イヌシデ <i>Acer mono</i> var. <i>marmoratum</i> f. <i>dissectum</i>						1	2				I	225		
	イヤマザク <i>Carpinus tschonoskii</i>						2					I	175		
	ケンボナシ <i>Prunus jamasakura</i>									2		I	175		
						1					I	50			
									1		I	50			
亜高木層 (AS)	アイラカシ <i>Quercus glauca</i>	1	1	2	2		1	1		2	2	IV	900		
	ウラジロガシ <i>Fagus japonica</i>			1	1		1		2			I	350		
	サモケ <i>Quercus salicina</i> var. <i>stenophylla</i>						1				1	III	250		
	ウヤマシ <i>Cleyera japonica</i>						2					I	175		
	ヤマボウシ <i>Abies firma</i>			1	1			+				II	101		
	ヤヒオ <i>Sorbus japonica</i>					1					+	I	51		
	オオツクバネガシ <i>Cornus kousa</i>	1										I	50		
	アエ <i>Osmanthus ilicifolius</i>			1								I	50		
					1							I	50		
							1					I	50		
						1					I	50			

	コ	バ	ノ	ト	ネ	リ	コ	<i>Fraxinus lanuginosa</i> var. <i>serrata</i>	1				I	50									
低木層 (F)	ア		オ	カ	キ	シ		<i>Aucuba japonica</i>		1	1	2	2	1	1	2	2	1	+	+	V	776	
	ア	ラ						<i>Quercus glauca</i>	2		2	1			2	1	2			1	+	III	626
	ウ	ラ	ジ	ロ	ガ	シ		<i>Quercus salicina</i> var. <i>stenophylla</i>					2	1		2		2		2		II	575
	ヒ	ム	ラ	サ	キ	カ	シ		<i>Eurya japonica</i>		+	1		2	+		+			2		III	403
	ヒ	ム	ラ	サ	キ	カ	シ		<i>Callicarpa japonica</i>	2			+			+						I	176
	ヒ	ム	ラ	サ	キ	カ	シ		<i>Osmanthus ilicifolius</i>		+					+		1				II	53
	ヒ	ム	ラ	サ	キ	カ	シ		<i>Torreya nucifera</i>			1			+		+					II	52
	カ	コ	シ						<i>Viburnum erosum</i> var. <i>punctatum</i>			1			+		+					II	51
	シ		バ	ノ	ガ	マ	ズ		<i>Neolitsea sericea</i>				1	+								I	51
	シ		モ						<i>Abies firma</i>									+				I	50
	モ		マ						<i>Deutzia scabra</i>	+	+	+	+							+		III	5
	ヤ		ヤ						<i>Callicarpa mollis</i>	+	+	+	+							+		II	4
	ヤ		ヤ						<i>Camellia japonica</i>	+	+				+		+			+		II	3
	ク		ク						<i>Sapium japonicum</i>								+	+	+	+	+	II	3
	ハ		ハ						<i>Lindera umbellata</i>	+				+								I	2
ハ		ハ						<i>Helwingia japonica</i>	+					+							I	2	
ア		ア						<i>Parabenzoin praecox</i>												+	I	2	
シ		シ						<i>Illicium religiosum</i>													I	1	
ア		ア						<i>Quercus acuta</i>											+		I	1	
草本層 (H)	ジ		ヤ	ノ	ヒ	ゲ		<i>Ophiopogon japonica</i>	+	+		+	1	2	1	+	1	1			V	379	
	テ		テ	カ	カ	ズ		<i>Trachelospermum asiaticum</i>		+			+	2	2	1	+	1	1	1		III	277
	ア		ア	ラ	ラ	ガ		<i>Quercus glauca</i>	1	1	1									+		III	201
	ウ		ウ	ラ	ジ	ロ		<i>Quercus salicina</i> var. <i>stenophylla</i>	1	1	1											III	152
	ア		ア					<i>Aucuba japonica</i>								+	1			1		II	102
	ア		ア					<i>Quercus acuta</i>									+					I	51
	オ		オ	バ	ジ	ヤ	ノ	ヒ	<i>Ophiopogon planiscapus</i>							+	+					I	51
	ヤ		ヤ	ブ	コン	ウ	ジン		<i>Ardisia japonica</i>	+	+					+	+			+	+	IV	8
	シ		シ	ユ	ン	ラ	ダ		<i>Cymbidium virescens</i>								+	+		+		III	5
	ベ		ベ	ニ	シ	ダ			<i>Dryopteris erythrosora</i>	+	+											II	4
	ミ		ミ	ヤ	マ	シ	キ		<i>Skimmia japonica</i>								+	+				II	4
	オ		オ	バ	ノ	イ	ノ		<i>Pteris cretica</i>	+												II	3
	ヤ		ヤ	マ	イ	タ	チ		<i>Dryopteris bissetiana</i>													II	3
	モ		モ						<i>Abies firma</i>			+								+		II	3
	キ		キ						<i>Marsdenia tomentosa</i>				+									II	3
	カ		カ						<i>Torreya nucifera</i>					+	+							II	3
	オ		オ						<i>Carex sachalinensis</i> var. <i>alterniflora</i>											+		II	3
ク		ク						<i>Lindera umbellata</i>											+		II	3	
イ		イ						<i>Cephalotaxus harringtonia</i>											+		II	3	
ハ		ハ						<i>Polystichopsis simplicior</i>			+								+		I	2	
シ		シ						<i>Sapium japonicum</i>	+	+									+		I	2	
オ		オ						<i>Dryopteris pacifica</i>	+	+											I	2	
ヤ		ヤ						<i>Liriope platyphylla</i>													I	2	
ハ		ハ						<i>Helwingia japonica</i>			+										I	2	

第16表 (つづき)

Table 16. (Continued)

階層 Layer	種類 Species	標準地番号 Quadrat										常在度 Constancy	総合優占度 Coverage value	
		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10			
草本階 (H)	クマンワラビ <i>Dryopteris lacera</i>			+				+					I	2
	カミアンアオシロ <i>Asarum nipponicum</i>						+	+					I	2
	ミミガテンナンショウ <i>Arisaema limbatum</i>						+	+					II	2
	ナギキリスゲ <i>Carex lenta</i> var. <i>lenta</i>						+	+					I	2
	サクハネウツギ <i>Cremastra variabilis</i>							+	+				I	2
	ツクバネウツギ <i>Abelia spathulata</i>									+	+	+	I	2
	シケキ <i>Illicium religiosum</i>										+	+	I	2
	ケチヂミザサ <i>Oplismenus undulatifolius</i>							+	+				I	2
	ヤブムラサキ <i>Callicarpa mollis</i>									+	+		I	2
	ヒモイラシギ <i>Osmanthus ilicifolius</i>							+				+	I	2
	フモトシダ <i>Microlepia marginata</i>		+					+					I	1
	ウリノキ <i>Alangium platanifolia</i> var. <i>macrophyllum</i>							+					II	1
	アシラバハ <i>Meliosma myriantha</i>								+				I	1
カシワバハ <i>Quercus myrsinaefolia</i>												I	1	
									+			I	1	
つる植物 (L)	テイカカズラ <i>Trachelospermum asiaticum</i>	2	2	+	+	+	+	+	+	+	+	V	358	
	フウライ <i>Wisteria floribunda</i>			1	2							I	225	
	ウラジロ <i>Actinidia hypoleuca</i>				2							I	175	
	キジヨラ <i>Marsdenia tomentosa</i>			1								I	50	
	イタビ <i>Ficus nipponica</i>					+	+				+	II	3	
	キヅタ <i>Hedera rhombea</i>	+										I	1	
	イワガ <i>Schizophragma hydrangeoides</i>		+									I	5	
着生植物 (E)	ノキノシノ <i>Lepisorus thunbergianus</i>		+	+	+	+		+		+		III	6	
	ヒメキノ <i>Lepisorus onoei</i>	+	+			+				+		II	4	
	マメ <i>Lemmaphyllum microphyllum</i>	+	+	+								II	3	
	ヨウ <i>Oberonia japonica</i>	+										I	1	
	カヤ <i>Sarcochilus japonica</i>	+										I	1	
	ベニヤ <i>Gastrochilus matsuran</i>								+			I	1	



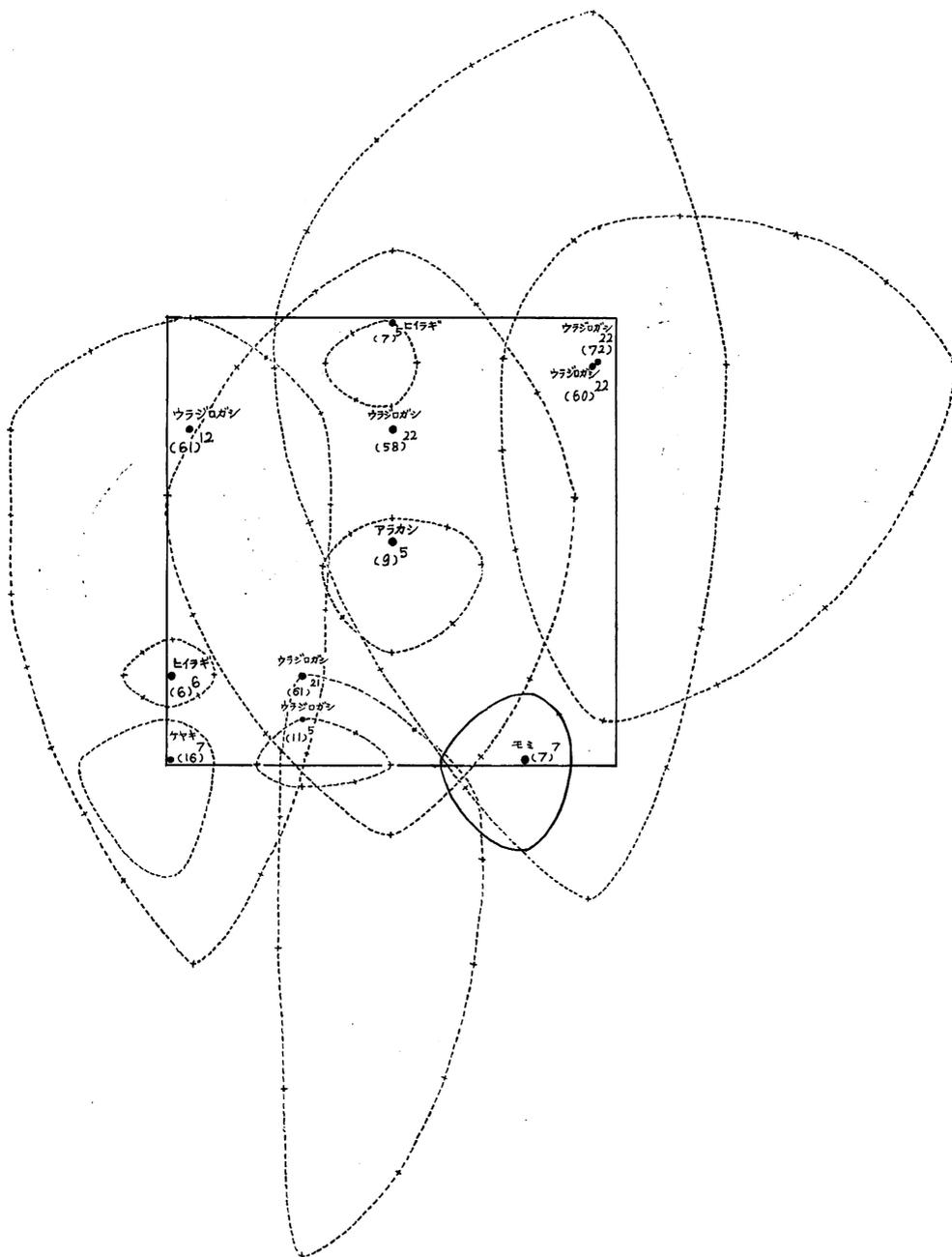
第14図 カシ林方形調査 (地形 中腹, 方位 ES, 傾斜角 42°, 標高 380m)

Fig. 14 Quadrat of *Quercus* forest.

る。この表を見ればわかるように、カシ類を総括すると5~10cmから75~80cmの間にあり、5~10cmのものが最も本数が多く、ついで10~15cmのものが多い。カシ林には太いものもかなり生じているが、その中に細いものが沢山生じている。

ii. 帯状調査区

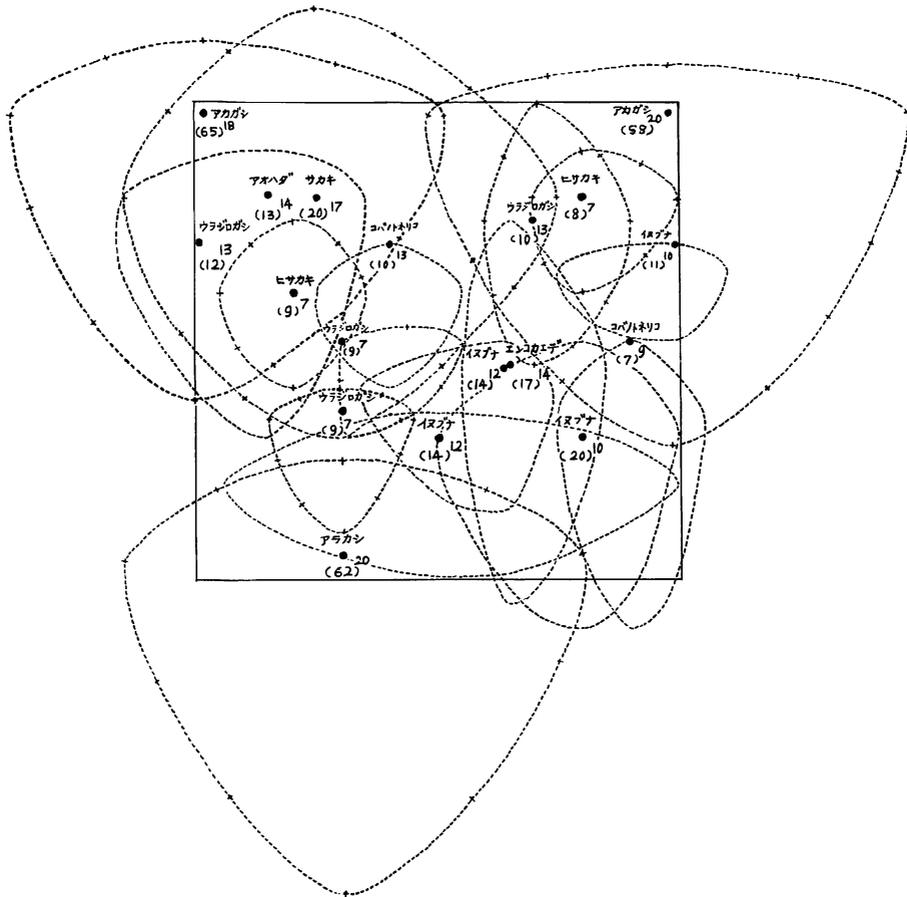
カシ類の代表的な林と思われる箇所に長さ50m、幅5mの帯状調査区を3か所とり、調査した林木配置の状態は第17~第19図のようである。また帯状調査区の樹高階別本数配分表はそれぞれ第19表、第22表および第25表のようであり、胸高直径階別本数配分表はそれぞれ第20表、第23表および第26表のようである。以上の図と表を見れば明かなように、カシ類の樹高は5~10mから20~25mの間に存在し、5~10mのものが本数が最も多い。最高はウラジロガシの22mである。胸高直径は5~10cmから90~95cmの間にあり、5~10cmのものが本数が最も多い。最高はウラジロガシの90cmである。カシ類の



第15図 カシ林方形調査 (地形 尾根, 方位 ES, 傾斜角 42°, 標高 330m)

Fig. 15 Quadrat of *Quercus* forest.

ほか高木層にはモミ, イヌブナ, ハリギリ, ミズキ, エンコウカエデなどが少し見られる。亜高木層にはカシ類のほかモミ, イヌブナ, ハリギリ, コパノトネリコ, アカシデなどが見られる。カシ林下の低木以下の植物被度表はそれぞれ第21表, 第24表および第27表のようである。低木層の被度は第1調査区で



第16図 カシ林方形調査 (地形 中腹, 方位 ES, 傾斜角 31°, 標高 480m)

Fig. 16 Quadrat of *Quercus* forest.

第17表 カシ林樹高階別樹木本数配分表 (10区集計)

Table 17. *Quercus* forest. Number of trees in each height grade in (No. 1~10) quadrat.

樹種名 Species	樹高 (m) Height	樹高 (m)					計 Total
		5 10	10 15	15 20	20 25	25 30	
ウラジロガシ <i>Quercus salicina</i> var. <i>stenophylla</i>		8	13	11	8		40
アラカガシ <i>Quercus glauca</i>		13	13	2	1		29
アカガシ <i>Quercus acuta</i>		1	5	7			13
シラカシ <i>Quercus myrsinaefolia</i>				6			6
イヌブナ <i>Fagus japonica</i>		2	2	1			5
モミ <i>Abies firma</i>		3		1			4
ヒサカキ <i>Eurya japonica</i>		4					4
ケヤキ <i>Zelkova serrata</i>		1		2	1		4
オオクバネガシ <i>Quercus takaoyamensis</i>		1		2			3
エンコウカエデ <i>Acer mono</i> var. <i>marmoratum</i> f. <i>dissectum</i>			2		1		3
カヒヤギ <i>Torreya nucifera</i>		2					2
イヌギ <i>Osmanthus ilicifolius</i>		2					2
コトネリコ <i>Fraxinus lanuginosa</i> var. <i>serrata</i>		2					2
ヤマボウシ <i>Cornus kousa</i>		1					1
ウラジロノキ <i>Sorbus japonica</i>		1					1
アオハダ <i>Ilex macropoda</i>		1					1

第17表 (つづき)

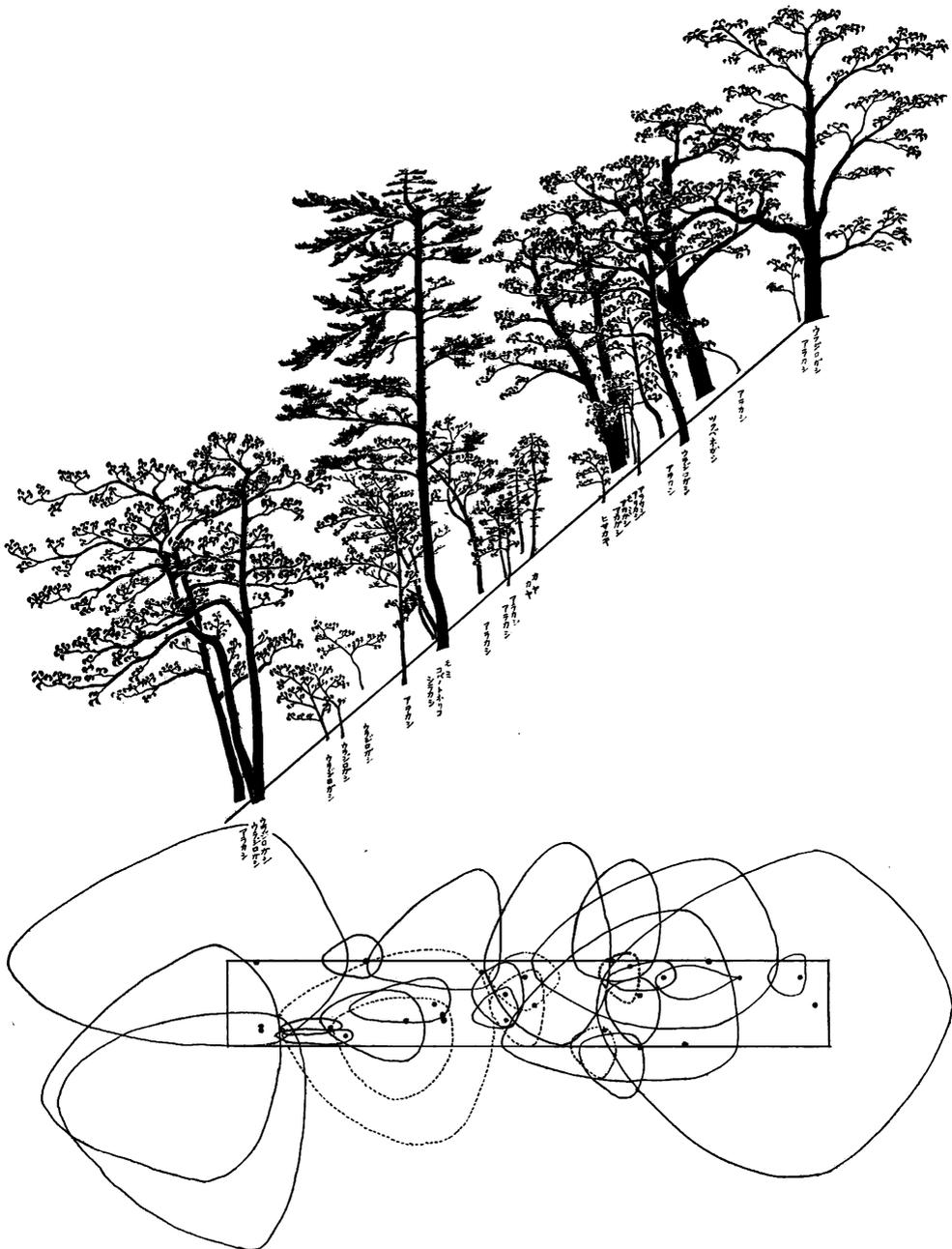
Table 17. (Continued)

樹種名 Species	樹高 (m) Height					計 Total
	5 10	10 15	15 20	20 25	25 30	
サカキ <i>Cleyera japonica</i>	1					1
オオカシ <i>Quercus acuta</i> var. <i>megaphylla</i>		1				1
イヌシ <i>Carpinus tschonoskii</i>			1			1
ユナシ <i>Quercus serrata</i>				1		1
ヤマザクラ <i>Prunus jamasakura</i>				1		1
ケンボシ <i>Hovenia dulcis</i>		1				1
計 Total	43	38	33	11	1	126

第18表 カシ林胸高直径階別樹木本数配分表 (10区集計)

Table 18. *Quercus* forest. Number of trees in each diameter grade in (No.1~10) quadrat.

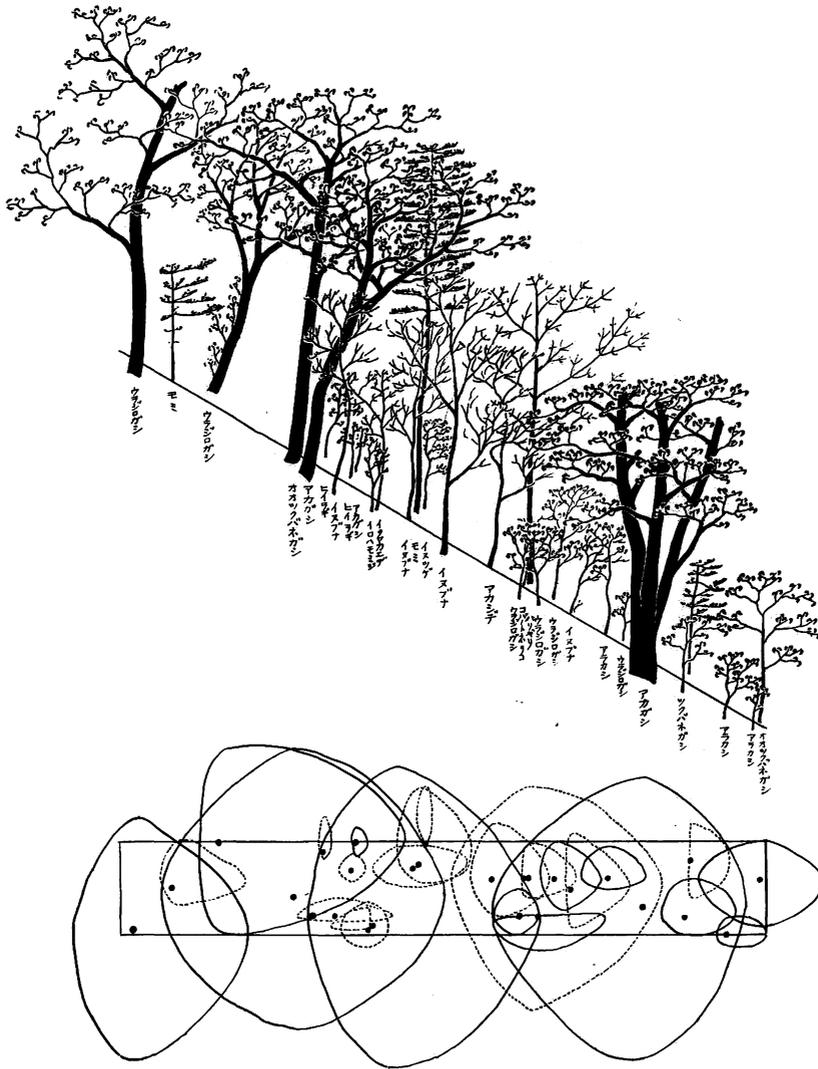
樹種名 Species	胸高直径 (cm) Breast-height diameter															計 Total
	5 10	10 15	15 20	20 25	25 30	30 35	35 40	40 45	45 50	50 55	55 60	60 65	65 70	70 75	75 80	
ウラジロガシ <i>Quercus salicina</i> var. <i>stenophylla</i>	8	5	3	4	6	4				1	4	2	1	1	1	40
アラカシ <i>Quercus glauca</i>	10	6	6	3	2		1	1								29
アカガシ <i>Quercus acuta</i>	1	1		1	1		1		3	1	1	2	1			13
シラカシ <i>Quercus myrsinaefolia</i>					2	2	1			1						6
イヌブナ <i>Fagus japonica</i>			3	1				1								5
モミ <i>Abies firma</i>		3			1											4
ヒサカキ <i>Eurya japonica</i>		4														4
ケヤキ <i>Zelkova serrata</i>		1				2	1									4
オオクバネガシ <i>Quercus takaoyamensis</i>		1				1					1					3
エンコウカエデ var. <i>marmoratum</i> f. <i>dissectum</i>				1	1	1										3
カヤ <i>Torreya nucifera</i>		2														2
ヒイラギ <i>Osmanthus ilicifolius</i>		2														2
コバノトネリコ <i>Fraxinus lanuginosa</i> var. <i>serrata</i>		1	1													2
ヤマボウシ <i>Cornus kousa</i>		1														1
ウラジロノキ <i>Sorbus japonica</i>		1														1
アオハダ <i>Ilex macropoda</i>			1													1
サカキ <i>Cleyera japonica</i>				1												1
オオカシ <i>Quercus acuta</i> var. <i>megaphylla</i>			1													1
イヌシ <i>Carpinus tschonoskii</i>							1									1
コナシ <i>Quercus serrata</i>					1											1
ヤマザクラ <i>Prunus jamasakura</i>							1									1
ケンボシ <i>Hovenia dulcis</i>				1												1
計 Total	35	18	13	13	15	8	3	1	3	3	6	4	2	1	1	126



第17図 カシ帯状区林木配置図(1) (地形 中腹, 方位 ES, 傾斜角 42°, 標高 382m)

Fig. 17 Belt-transsect in *Quercus* forests. (1)

はアラカシとウラジロガシが高く, 第2調査区ではアオキとウラジロガシが高く, 第3の調査区ではアオキが最も高い。草本層では第1調査区ではウラジロガシとアラカシの被度が高く, 第2調査区ではテイカカズラとジャノヒゲの被度が比較的高く, 第3調査区ではアオキの被度が最も高くなっている。つる植物は各調査区ともテイカカズラが最も多く普遍的である。着生植物は各調査区ともノキシノブが普通に見ら



第18図 カシ帯状区林木配置図(2)(地形 尾根~中腹, 方位 SSE, 傾斜角 31°, 標高 473m)

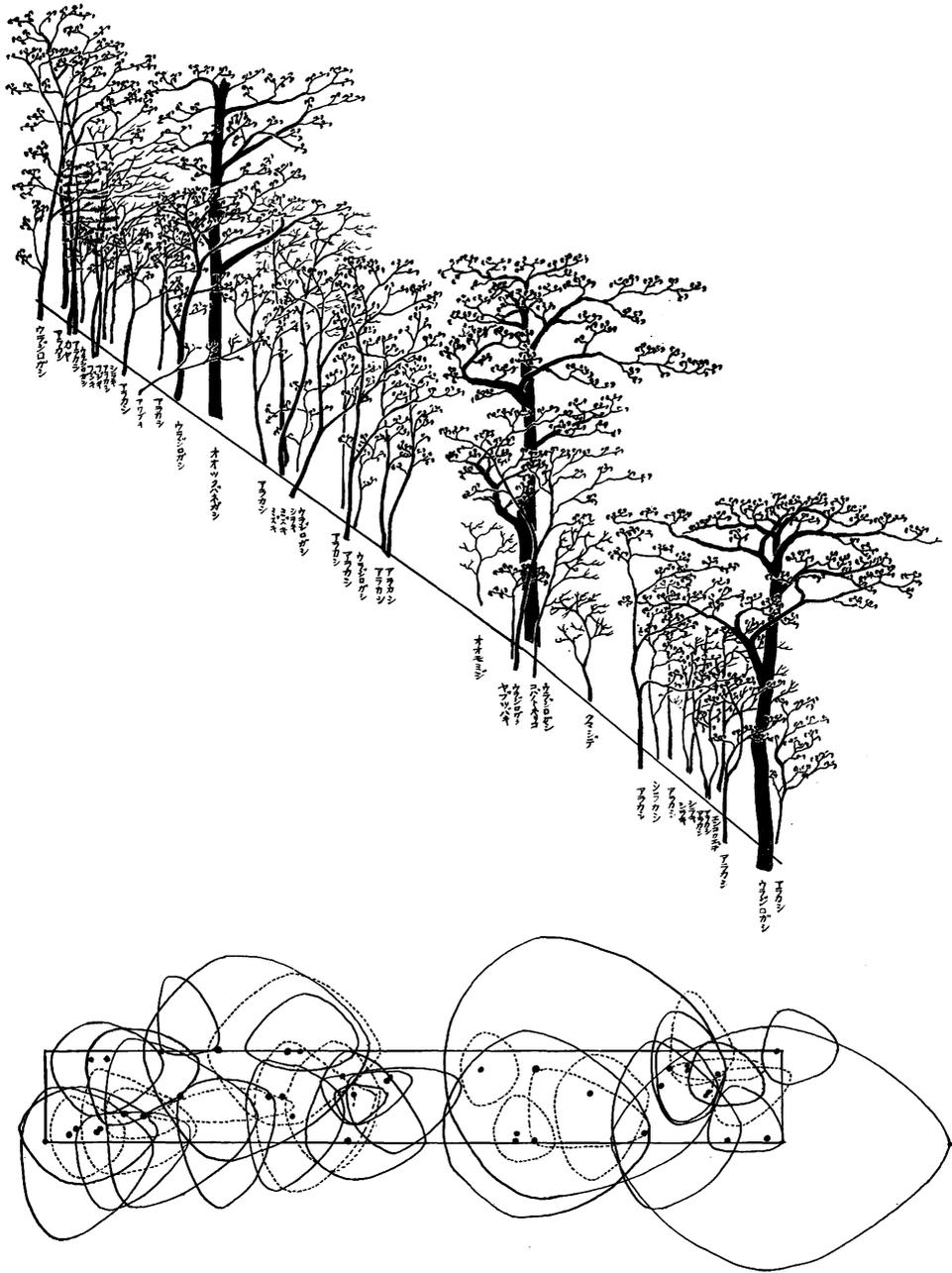
Fig. 18 Belt-transect in *Quercus* forests. (2)

れる。マメヅタは第1調査区の下部ではよく発達している。

3. ブナ類を主とする落葉広葉樹の天然林

i. 方形調査区

ブナ類の優占する天然林中に10m平方の方形区を10か所とり、その組成を要約した表をあげると第28表のようである。この表を見ればわかるように、高木層の総合優占度はイヌブナが最も高く、ブナがこれについて高い。そのほかイロハモミジ、ケヤキ、ヤマトアオダモ、ハリギリ、ヤマザクラ、モミ、エンコウカエデなどが見られるが総合優占度はイヌブナとブナにくらべると非常に低い。常在度はイヌブナがVでブナがⅢである。イロハモミジなどの他種の常在度はいずれもIで低い。亜高木層はイヌブナの総合優占度が最も高い。ついでモミ、カヤ、アカシデ、ウラジロノキ、ヤマボウシ、アワブキ、シラキ、アカガ



第19図 カシ帯状区林木配置図 (3) (地形 中腹, 方位 ESE, 傾斜角 35~40°, 標高 382m)

Fig. 19 Belt-transect in *Quercus* forests. (3)

シ, ヒサカキ, イヌツゲの順であるが, イヌブナと比較すると低い。常在度はイヌブナⅢで, いちばん高く, モミがこれについて高くⅡである。他樹種はいずれもⅠで低い。低木層ではアオキとモミの総合優占度が高い。これについてミツバツツジ, アカガシ, コゴメウツギ, コバノガマズミ, ヤブムラサキ, ウラジロガシ, マルバウツギ, イヌツゲなどが高いが前の2種にくらべるとはるかに低い。常在度はモミが

第19表 カシ林帯状調査区樹高階別本数配分表(1)

Table 19. *Quercus* forests. Number of trees in each height grade in No. 1 belt-transect.

樹種名 Species	樹高 (m) Height	樹高 (m)					計 Total
		5 ~ 10	10 ~ 15	15 ~ 20	20 ~ 25	25 ~ 30	
ウラジロガシ <i>Quercus salicina</i> var. <i>stenophylla</i>		3		3	1		7
アラカシ <i>Quercus glauca</i>		6	2	2			10
ツクバネガシ <i>Quercus sessilifolia</i>					1		1
アカガシ <i>Quercus acuta</i>				1			1
シラカシ <i>Quercus myrsinaefolia</i>		1					1
モミ <i>Abies firma</i>		1				1	2
コバノトネリコ <i>Fraxinus lanuginosa</i> var. <i>serrata</i>			1				1
カヤ <i>Torreya nucifera</i>		2					2
ヒサカキ <i>Eurya japonica</i>		1					1

第20表 カシ林帯状調査区胸高直径階別本数配分表(1)

Table 20. *Quercus* forest. Number of trees in each diameter grade in No. 1 belt-transect.

樹種名 Species	胸高直径 (cm) Breast-height diameter	胸高直径 (cm)																計 Total
		5 ~ 10	10 ~ 15	15 ~ 20	20 ~ 25	25 ~ 30	30 ~ 35	35 ~ 40	40 ~ 45	45 ~ 50	50 ~ 55	55 ~ 60	75 ~ 80	80 ~ 85	85 ~ 90	90 ~ 95		
ウラジロガシ <i>Quercus salicina</i> var. <i>stenophylla</i>		2	1									3					1	7
ツクバネガシ <i>Quercus sessilifolia</i>														1				1
アラカシ <i>Quercus glauca</i>		5			1		1	1		1	1							10
アカガシ <i>Quercus acuta</i>									1									1
シラカシ <i>Quercus myrsinaefolia</i>			1															1
モミ <i>Abies firma</i>		1											1					2
コバノトネリコ <i>Fraxinus lanuginosa</i> var. <i>serrata</i>				1														1
カヤ <i>Torreya nucifera</i>		2																2
ヒサカキ <i>Eurya japonica</i>		1																1

第21表 カシ林の帯状調査区林床植物被度表(1)

Table 21. *Quercus* forest. Cover degree of the plants in No. 1 belt-transect.

階層 Layer	種 Species	類 Species	被度 Cover degree
低木層 (F)	アラカシ <i>Quercus glauca</i>		2
	ウラジロガシ <i>Quercus salicina</i> var. <i>stenophylla</i>		2
	カヤ <i>Torreya nucifera</i>		1
	モミ <i>Abies firma</i>		1
	ヒサカキ <i>Eurya japonica</i>		1
	アオカキ <i>Aucuba japonica</i>		1
	マルバウツギ <i>Deutzia scabra</i>		1
	シロダモ <i>Neolitsea sericea</i>		+
	ガマズミ <i>Viburnum dilatatum</i>		+
	草本層 (H)	ウラジロガシ <i>Quercus salicina</i> var. <i>stenophylla</i>	
アラカシ <i>Quercus glauca</i>			3
ベニシダ <i>Dryopteris erythrosora</i>			1
シヤノヒゲ <i>Ophiopogon japonica</i>			1

第23表 (つづき)
Table 23. (Continued)

樹種名 Species	胸高直径 (cm) Breast-height diameter													計 Total	
	5 10	10 15	15 20	20 25	25 30	30 35	35 40	40 45	45 50	50 55	55 60	60 65	65 70		70 165
ア ラ カ シ <i>Quercus glauca</i>	4														4
ツクバネガシ <i>Quercus sessilifolia</i>	1														1
モ <i>Abies firma</i>	1	1		1											3
イヌブナ <i>Fagus japonica</i>	1	2	1												4
アカシデ <i>Carpinus laxiflora</i>			1												1
ヒイラギ <i>Osmanthus ilicifolius</i>	2														2
イロハモミジ <i>Acer palmatum</i> var. <i>palmatum</i>	1														1
イタヤカエデ var. <i>marmoratum</i> f. <i>heterophyllum</i>	1														1
イヌツゲ <i>Ilex crenata</i>	1														1
コバノトネリコ <i>Fraxinus lanuginosa</i> var. <i>serrata</i>	1														1

第24表 カシ林の帯状調査区林床植物被度表 (2)
Table 24. *Quercus* forest. Cover degree of the plants in No. 2 belt-transect.

階層 Layer	種 Species	類	被度 Cover degree		
低木層 (F)	アウヒコイツコヤアシ オラジイノバノヤラ シロラネブネガムラカダ キシギネコナシミキシモ <i>Aucuba japonica</i> <i>Quercus salicina</i> var. <i>stenophylla</i> <i>Osmanthus ilicifolius</i> <i>Fraxinus lanuginosa</i> var. <i>serrata</i> <i>Fagus japonica</i> <i>Quercus sessilifolia</i> <i>Viburnum erosum</i> var. <i>punctatum</i> <i>Callicarpa mollis</i> <i>Quercus glauca</i> <i>Neolitsea sericea</i>		2 1 1 + + + + + + +		
	草本層 (H)	テジャカヤシベシナクダカミチクア イヤカノブユニキサツチンヤチマ カノコンシヤリイボアマシワオ ズヒウラダガチスゴレイミサザキ ラゲヤジンダガチゴレイミサザキ <i>Trachelospermum asiaticum</i> <i>Ophiopogon japonicus</i> <i>Torreya nucifera</i> <i>Ardisia japonica</i> <i>Cymbidium virescens</i> <i>Dryopteris erythrosora</i> <i>Iris japonica</i> <i>Carex lenta</i> var. <i>lenta</i> <i>Rubus hirsutus</i> <i>Viola grypoceras</i> <i>Asarum nipponicum</i> <i>Skimmia japonica</i> <i>Oplismenus undulatifolius</i> <i>Dryopteris lacera</i> <i>Aucuba japonica</i>		1 1 + + + + + + + + + + + +	
		つる植物 (L)	テッキイ キジイ カヅラ カヅラ <i>Trachelospermum asiaticum</i> <i>Hedera rhombica</i> <i>Narsdenia tomentosa</i> <i>Ficus nipponica</i>		+ + + +
			着生植物 (E)	ノキシノブ ヒメノキシノブ <i>Lepisorus thunbergianus</i> <i>Lepisorus onoei</i>	+ +

第27表 カシ林の帯状調査区林床植物被度表(3)

Table 27. *Quercus* forest. Cover degree of the plants in No. 3 belt-transect.

階層 Layer	種				Species	類	被度 Cover degree
低木層 (F)	ア	オ	キ		<i>Aucuba japonica</i>		2
	ア	ラ	カ	シ	<i>Quercus glauca</i>		1
	モ			ミ	<i>Abies firma</i>		1
	ヒ	サ	カ	キ	<i>Eurya japonica</i>		1
	ミ	ツ	バ	ツ	<i>Rhododendron dilatatum</i>		1
	コ	バ	ノ	ガ	<i>Viburnum erosum</i> var. <i>punctatum</i>		1
	ツ	ク	バ	ネ	<i>Quercus sessilifolia</i>		+
	シ		キ	シ	<i>Illicium religiosum</i>		+
	ヒ	イ	ラ	ギ	<i>Osmanthus ilicifolius</i>		+
	ヤ	マ	ウ	ル	<i>Rhus trichocarpa</i>		+
	ウ	ラ	ジ	ロ	<i>Quercus salicina</i> var. <i>stenophylla</i>		+
	ア	オ	ハ	ダ	<i>Ilex macropoda</i>		+
	ク	オ	ロ	モ	<i>Lindera umbellata</i>		+
	ハ	ナ	イ	カ	<i>Helwingia japonica</i>		+
	ツ		ナ	バ	<i>Euonymus oxyphyllus</i>		+
	シ	ロ	ダ	ナ	<i>Neolitsea sericea</i>		+
	ヤ	ブル	ツ	バ	<i>Camellia japonica</i>		+
ツ		ル	ダ	<i>Elaeagnus glabra</i>		+	
草本層 (H)	テ	イ	カ	カ	<i>Trachelospermum asiaticum</i>		2
	ミ	ヤ	マ	シ	<i>Skimmia japonica</i>		1
	ウ	ラ	ジ	ロ	<i>Quercus salicina</i> var. <i>stenophylla</i>		1
	ア		オ	キ	<i>Aucuba japonica</i>		1
	ヒ	サ	カ	キ	<i>Eurya japonica</i>		+
	ジ	ヤ	ノ	シ	<i>Ophiopogon japonicus</i>		+
	ベ	ニ	ウ	シ	<i>Dryopteris erythrosora</i>		+
	ホ	ソ	バ	ウ	<i>Lycopodium serratum</i> var. <i>serratum</i>		+
	モ			シ	<i>Abies firma</i>		+
	イ	ヌ	ガ	ヤ	<i>Cephalotaxus harringtonia</i>		+
	ヤ	ブ	コ	ウ	<i>Ardisia japonica</i>		+
	シ	ユ	ン	ラ	<i>Cymbidium virescens</i>		+
	エ	ゴ	ノ	キ	<i>Styrax japonica</i>		+
	オ	オ	イ	ト	<i>Carex sachalinensis</i> var. <i>alterniflora</i>		+
シ	ロ	ダ	ス	<i>Neolitsea sericea</i>		+	
つる植物 (L)	フ		カ	カ	<i>Wisteria floribunda</i>		+
	テ	イ	カ	カ	<i>Trachelospermum asiaticum</i>		+
着生植物 (E)	ノ	キ	シ	ノ	<i>Lepisorus thunbergianus</i>		+

いちばん高くVであり、アオキとアカガシがIVである。これらについてコバノガマズミ、ウラジロガシがIIIである。

草本層の総合優占度はアオキが最も高く、ミヤマシキミ、ツルシキミ、モミ、コウヤボウキ、オオイトスゲ、オクモミジハグマ、カシワバハグマなどが順次高い。常在度はミヤマシキミとカシワバハグマがVでいちばん高く、アオキとモミがこれについて高くIVである。ツルシキミ、コウヤボウキ、オオイトスゲ、ジャノヒゲ、シュンラン、アカショウマ、クロモジはIIIである。つる植物ではテイカカズラとイワガラミの2種が見られたのみである。テイカカズラの常在度はIIIである。一般にブナ林ではモミ林やカシ林などに比較してつる植物の生育は不良である。着生植物の発達もモミ林やカシ林にくらべて悪く、ヒメノキシノブ、ノキシノブ、カヤラン、ピロウドシダなどがわずかに見られるに過ぎない。

ブナ林の方形調査区のうち、代表的だと思われるものを3か所あげると第20～第22図のようである。方形調査したブナ林10か所の樹高階別の本数配分は第29表のようである。この表を見ればわかるように、イヌブナは5～10mから20～25mの間にあり、そのうち15～20mのものが最も本数が多い。ブナは

第28表 ブナ林組成要約表

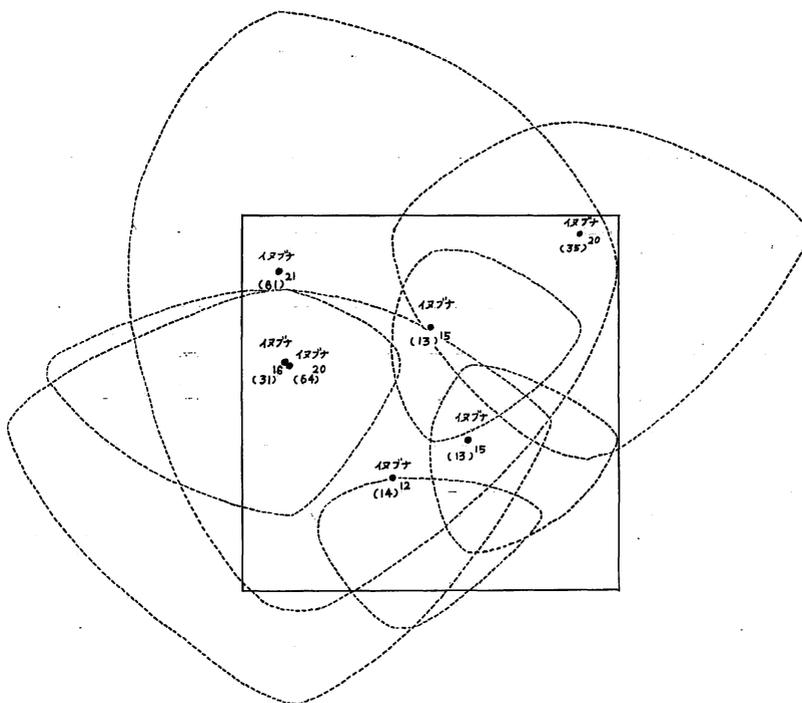
Table 28. Summarized association table of *Fagus*.

階層 Layer	種類 Species	標準地番号 Quadrat	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	常在度 Constancy	総合優占度 Coverage value		
		標準地面積(m ²) Area	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100			100	
		地形 Configuration	尾根	尾根	尾根	尾根	尾根	尾根	尾根	尾根	尾根	尾根			尾根	
		海拔高(m) Altitude	460	460	420	450	450	480	450	520	560	480				
		傾斜方向 Exposure of slope	N	EN	N	NW	NE	N	NW	N	NW	EN				
		傾斜角度(°) Steepness of slope	36	30	42	31	40	20	39	37	36	24				
		最大林分高 Maximum height of stand	22	19	20	23	25	25	21	23	22	20				
		最大胸高直径 Maximum d. b. h.	63	52	64	70	99	70	37	33	61	34				
高木層 (AP)	イブ	ヌ	ブ	ナ	<i>Fagus japonica</i>	5	5	5	3	3	4	4	4	4	V	5875
	イ	ロ	ハ	モ	ミ	<i>Fagus crenata</i>			4	4	3	3	2		III	3050
	イ	ケ	ハ	モ	ミ	<i>Acer palmatum</i> var. <i>palmatum</i>			3						I	375
	イ	ケ	ヤ	モ	ミ	<i>Zelkova serrata</i>			3				2		I	175
	オ	ヤ	オ	モ	ミ	<i>Acer palmatum</i> var. <i>amoenum</i>		1							I	50
	マ	ヤ	マ	ト	ア	<i>Fraxinus longicuspis</i>					1				I	50
	ハ	ヤ	マ	ト	ア	<i>Kalopanax pictus</i>						1			I	50
	ハ	ヤ	マ	ト	ア	<i>Prunus jamasakura</i>						1			I	50
	モ	エ	ン	コ	ウ	<i>Abies firma</i>						1			I	50
	エ	ン	コ	ウ	カ	<i>Acer mono</i> var. <i>marmoratum</i> f. <i>dissectum</i>						1			I	50
亜高木層 (AS)	イ	モ	カ	ア	ウ	ヤ	ア	シ	ア	ヒ						
	ヌ															
	ブ															
	ナ															
	<i>Fagus japonica</i>														III	1200
	<i>Abies firma</i>														II	650
	<i>Torreya nucifera</i>														I	225
	<i>Carpinus laxiflora</i>														I	225
	<i>Sorbus japonica</i>														I	175
	<i>Cornus kousa</i>														I	175
<i>Meliosma myriantha</i>														I	100	
<i>Sapium japonicum</i>														I	100	
<i>Quercus acuta</i>														I	50	
<i>Eurya japonica</i>														I	50	
<i>Ilex crenata</i>														I	50	

第28表 (つづき)

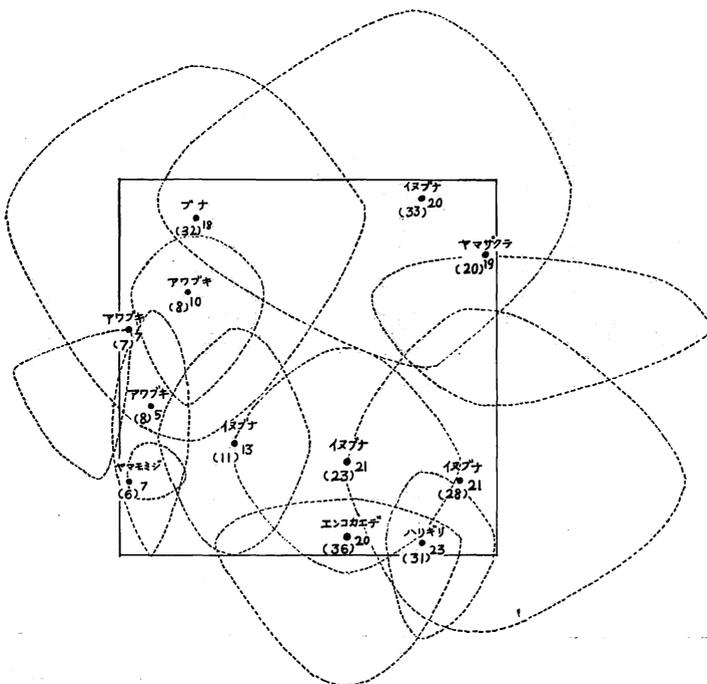
Table 28. (Continued)

階層 Layer	種類 Species	標準地番号 Quadrat										常在度 Constancy	総合優占度 Coverage value			
		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10					
低木層 (F)	アモミ	オ	キ	<i>Aucuba japonica</i>	3	1	2	3	2		2	2	1		IV	1550
	ミア	ツ	ツ	<i>Abies firma</i>		3	1	2	2		2	3	1	+	V	1426
	アコ	ツ	ツ	<i>Rhododendron dilatatum</i>										+	I	750
	コ	カ	ガ	<i>Quercus acuta</i>	1	1	1	+						+	IV	203
	コ	メ	ウ	<i>Stephanandra incisa</i>		+								+	I	176
	ヤ	ノ	マ	<i>Viburnum erosum</i> var. <i>punctatum</i>		+		1	1					+	III	152
	ウ	ム	ラ	<i>Callicarpa mollis</i>		1		+	+					1	II	101
	マ	ジ	ロ	<i>Quercus salicina</i> var. <i>stenophylla</i>	1		+	+	+					+	III	54
	イ	バ	ウ	<i>Deutzia scabra</i>		+		+			+			1	II	53
	イ	ヌ	ツ	<i>Ilex crenata</i>		+									II	52
	ア	オ	ハ	<i>Ilex macropoda</i>				+						1	I	51
	ダ	ン	コ	<i>Lindera obtusiloba</i>											I	51
	ヤ	マ	ボ	<i>Cornus kousa</i>			1								I	50
	カ		ウ	<i>Torreya nucifera</i>				1							I	50
	イ		ナ	<i>Fagus japonica</i>											I	50
	キ	ヌ	ブ	<i>Lespedeza buergeri</i>										1	I	50
	ツ	リ	ハ	<i>Euonymus oxyphyllus</i>	+				+					1	II	50
	ヒ	イ	バラ	<i>Osmanthus ilicifolius</i>	+		+		+					+	II	4
	シ	ラ	ラ	<i>Sapium japonicum</i>				+	+						II	3
	ア	ワ	ブ	<i>Meliosma myriantha</i>			+	+	+					+	II	3
	ク	ロ	モ	<i>Lindera umbellata</i>			+							+	I	2
	ア	カ	シ	<i>Carpinus laxiflora</i>			+	+							I	2
	ハ	ナ	イ	<i>Helwingia japonica</i>				+	+					+	I	2
ム	ラ	サ	<i>Callicarpa japonica</i>				+	+						I	1	
	アミツ	オ	キ	<i>Aucuba japonica</i>	3	1	3	3	1		2	1	1		IV	1500
	ツ	マ	シ	<i>Skimmia japonica</i>	1	2	1	2	1		+	+	1	1	V	602
	モ	シ	キ	<i>Skimmia japonica</i> var. <i>repens</i>	1	2	1	1	1		+	+	1	1	III	376
	コ			<i>Abies firma</i>	+	+	1	1	1		1	1	1	1	IV	302
	コ	ウ	ボ	<i>Pertya scandens</i>					+		1	1	1	1	III	201
	オ	ヤ	ト	<i>Carex sachalinensis</i> var. <i>alterniflora</i>				+	+		1	1	1	1	III	104
	オ	モ	ジ	<i>Ainsliaea acerifolia</i>					+		+	1	1	1	II	101
	カ	シ	ハ	<i>Pertya robusta</i>		+	+	+	+		+	1	1	+	V	58
	ア	ズ	マ	<i>Pleioblastus chino</i>		+	+	+	+		+	1	+		I	50
	ジ	ヤ	ノ	<i>Ophiopogon japonica</i>		+	+				+	+		+	III	6
	シ	ユ	ン	<i>Cymbidium virescens</i>		+	+	+			+	+		+	III	5
	ア	カ	シ	<i>Astilbe thunbergii</i>		+	+	+	+		+	+			III	5



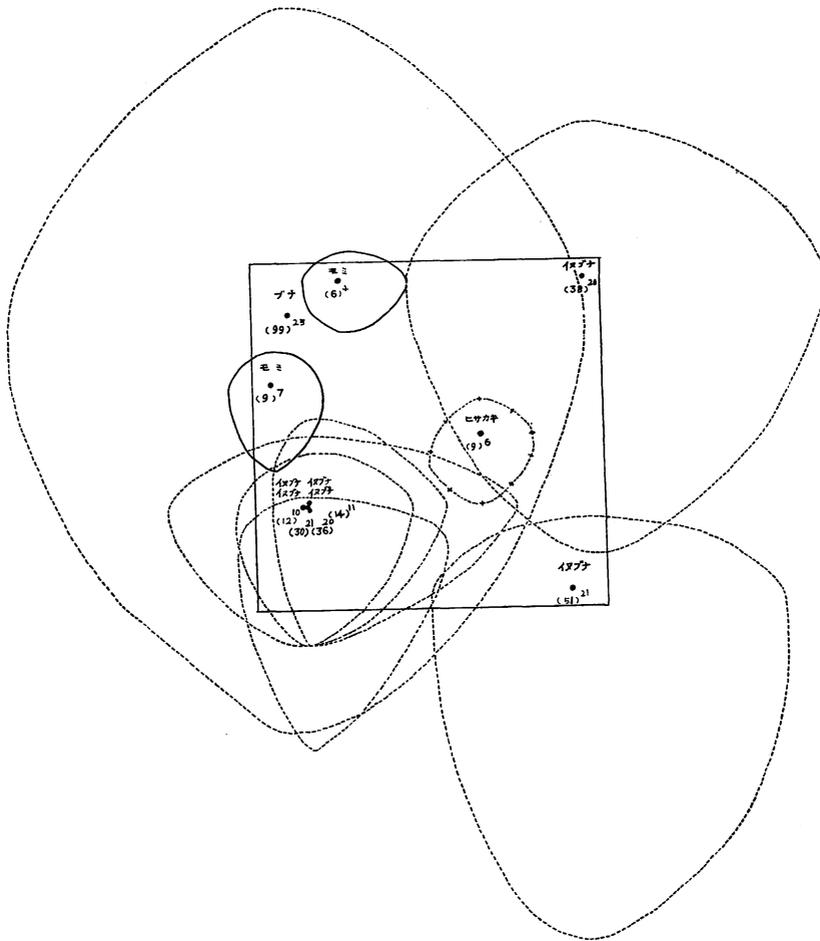
第20図 ブナ林方形調査 (地形 尾根, 方位 N, 傾斜角 42°, 標高 420m)

Fig. 20 Quadrat of *Fagus* forest.



第22図 ブナ林方形調査 (地形 尾根, 方位 N, 傾斜角 37°, 標高 520m)

Fig. 22 Quadrat of *Fagus* forest.



第21図 プナ林方形調査 (地形 尾根, 方位 NE, 傾斜角 40°, 標高 450m)

Fig. 21 Quadrat of *Fagus* forest.

15~20m と 20~25m の間に生じ、このうち 20~25m のものの本数が多い。ブナ林の胸高直径階別の本数配分は第 30 表のようである。この表を見ればわかるように、イヌブナは 5~10cm から 60~65cm の間にあり、10~15cm のものの本数がいちばん多く、最大のもは 65cm である。ブナは 30~35cm から 95~100cm の間に存在し、かなり太いものが多くそのうちいちばん太いものは 99cm である。

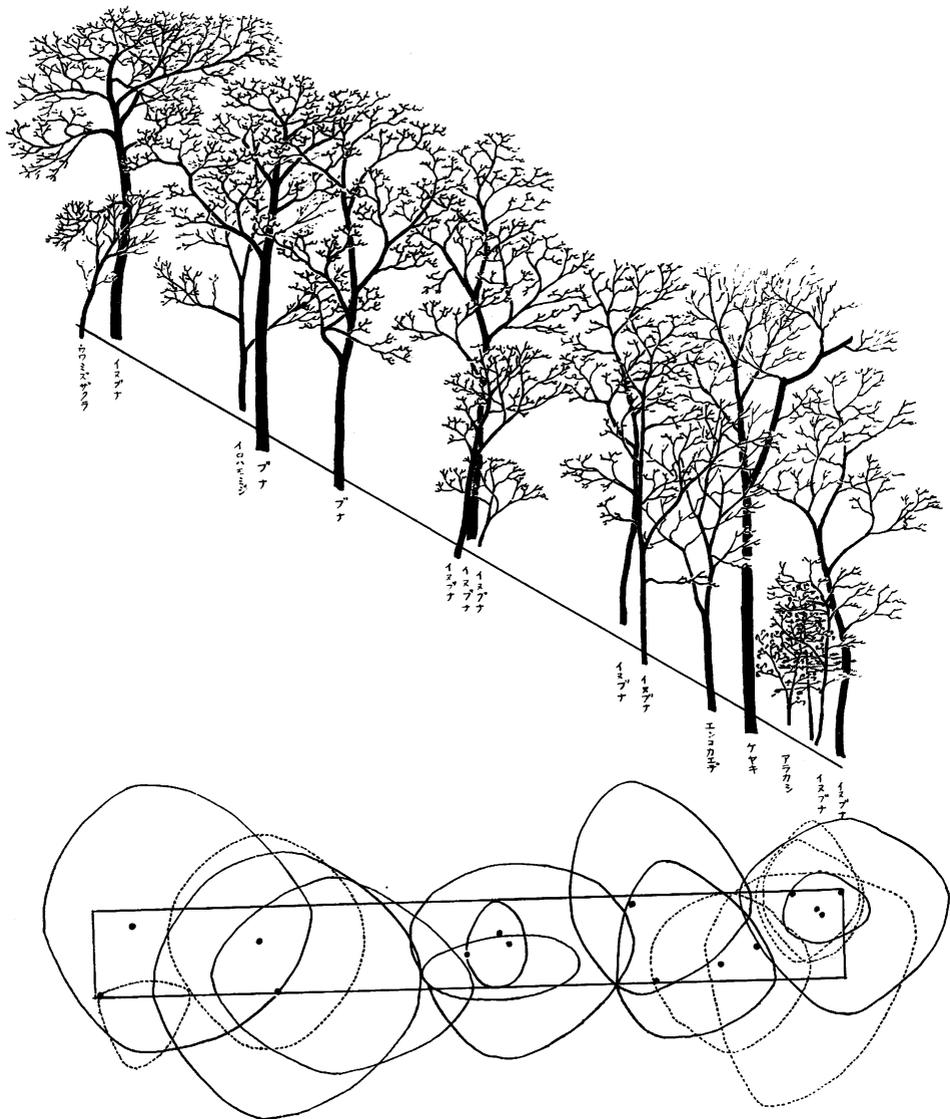
ii. 帯状調査区

ブナ類の代表的な林と思われる箇所には長さ 50m、幅 5m の帯状調査区を 3 か所とり調査した林木配置の状態は第 23 図~第 25 図のようである。また帯状調査区の樹高階別の本数配分はそれぞれ第 31 表、第 34 表および第 37 表のようであり、胸高直径階別の本数配分はそれぞれ第 32 表、第 35 表および第 38 表のようである。以上の図と表を見れば明らかなように、イヌブナの樹高は 5~10m から 25~30m の間に存在し、20~25m のものの本数が最も多い。最高は 30m である。ブナの樹高は 15~20m から 25~30m の間にあり、25~30m のものが本数が最も多い。最高は 24m である。胸高直径はイヌブナにおいては 5~10cm から 70~75cm の間にあり、5~10cm、25~30cm および 35~40cm のものが本数が多い。最も太い

第30表 (つづき)

Table 30. (Continued)

樹種名 Species	胸高直径 (cm) Breast-height diameter														計 Total						
	5	10	15	20	25	30	35	40	45	50	55	60	65	70		75	80	85	90	95	100
ヤマザクラ <i>Prunus jamasakura</i>				1																	1
ケヤキ <i>Zelkova serrata</i>					1																1
計 Total	26	15	9	6	6	14	6	1	5	4	1	4	2	1						1	101

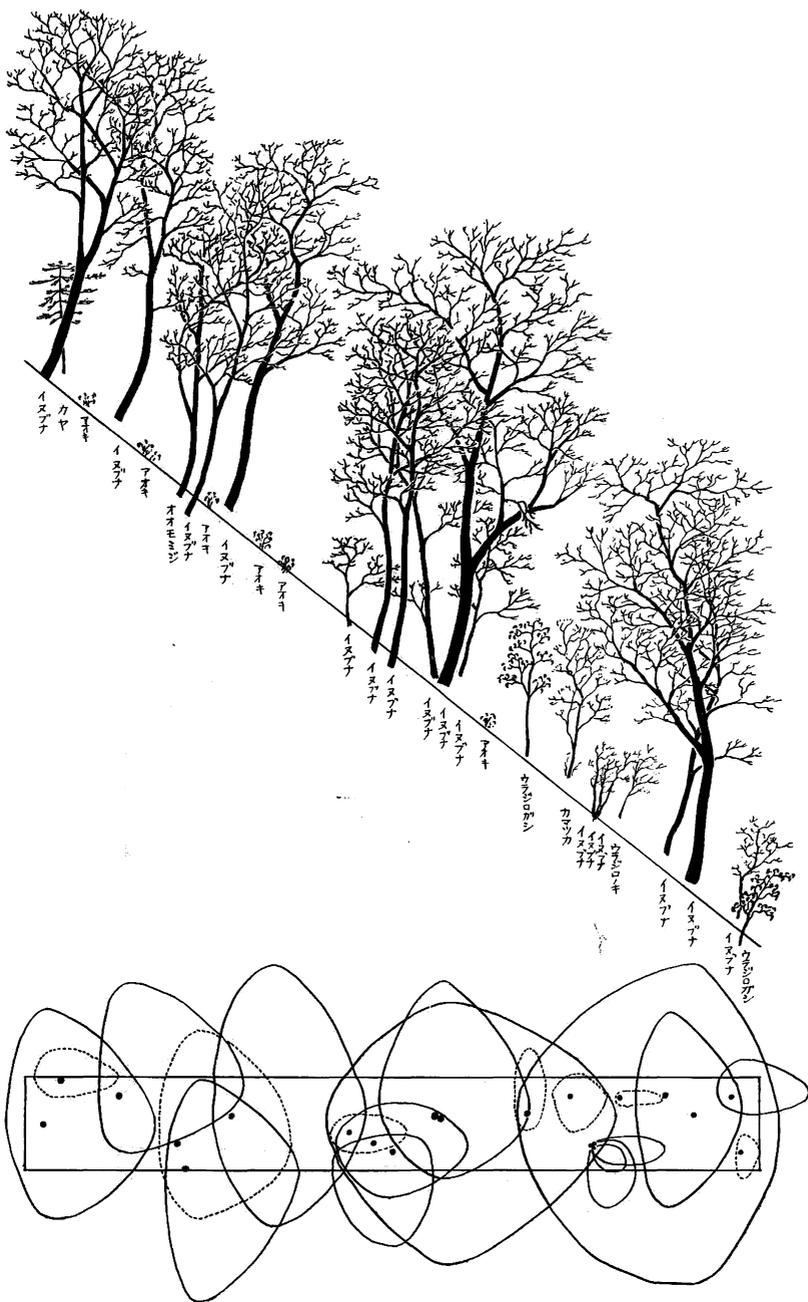


第23図 ブナ帯状区林木配置図 (1) (地形 中腹, 方位 NE, 傾斜角 32°, 標高 509m)

Fig. 23 Belt-transect in *Fagus* forest.

ものは72cmである。ブナは胸高直径は45~50cm から75~80cm の間に存在し、45~50cm のものが本数が多。最も太いものは78cmである。

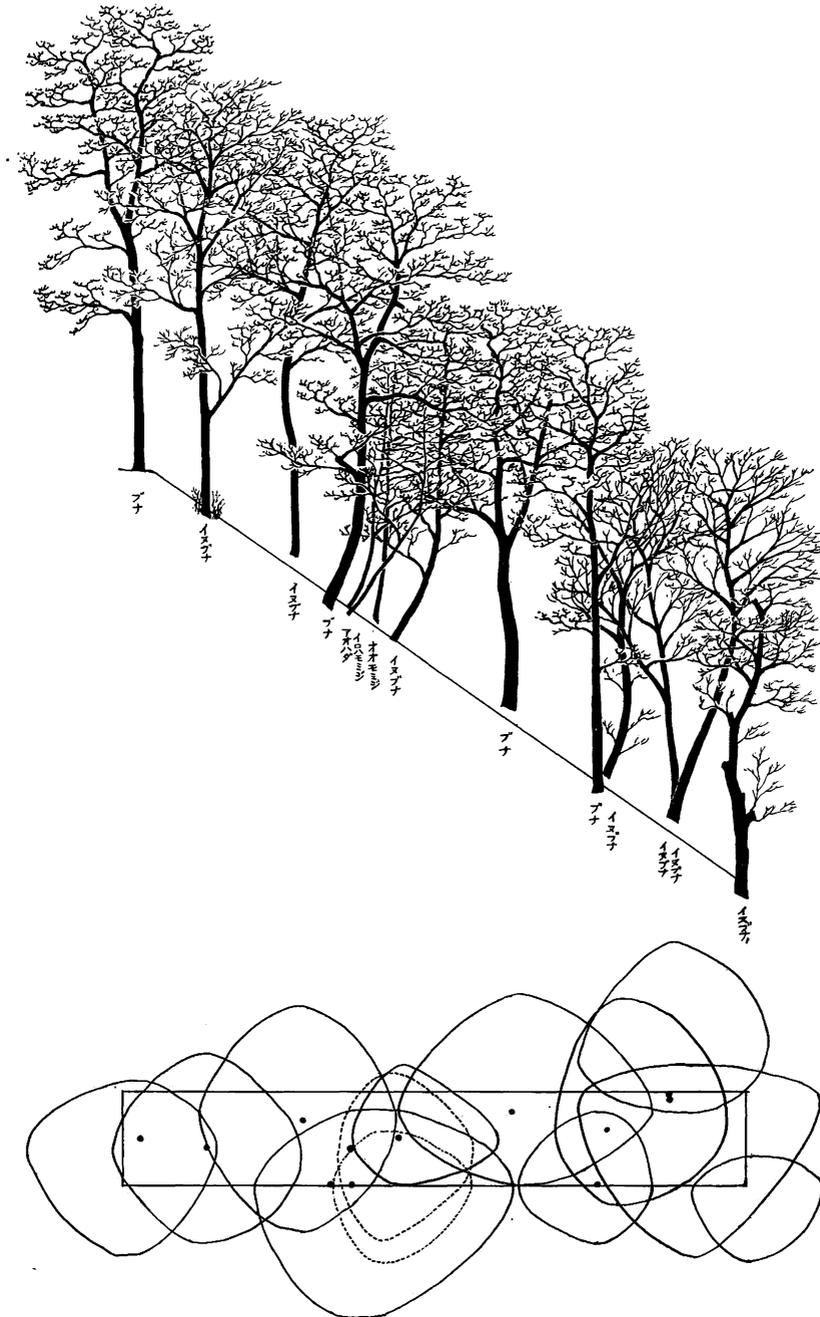
高木層にはブナのほかイロハモミジ、ケヤキ、エンコウカエデなどが少し見られる。亜高木層にはイス



第24図 ブナ帯状区林木配置図(2) (地形 中腹, 方位 NW, 傾斜角 30°, 標高 515m)

Fig. 24 Belt-transect in *Fagus* forest.

ブナ、ウラジログシ、イロハモミジ、オオモミジ、アカガシ、カヤ、ウワミズザクラ、カマツカ、ウラジロノキ、アオハダなどが生えている。ブナ林下の植物被度表はそれぞれ第33表、第36表および第39表のようである。第1～第2調査区の低木層はともにアオキの被度が最も高く林下を全面に被覆している。



第25図 ブナ帯状区林木配置図(3) (地形 中腹, 方位 N, 傾斜角 35°, 標高 540m)

Fig. 25 Belt-transect in *Fagus* forest.

第31表 ブナ林帯状調査区樹高階別本数配分表(1)

Table 31. *Fagus* forest. Number of trees in each height grade in No. 1 belt-transect.

樹種 Species	樹高 (m) Height					計 Total
	5 ~ 10	10 ~ 15	15 ~ 20	20 ~ 25	25 ~ 30	
ブ ナ <i>Fagus crenata</i>				2		2
イ ヌ ブ ナ <i>Fagus japonica</i>	1	2	1	4		8
ケ ヤ キ <i>Zelkova serrata</i>					1	1
エン コ ウ カ エ デ <i>Acer mono</i> var. <i>marmoratum</i> f. <i>dissectum</i>			1			1
イ ロ ハ モ ミ ジ <i>Acer palmatum</i> var. <i>palmatum</i>	1		1			2
ア カ ガ シ <i>Quercus acuta</i>	1					1
カ ヤ <i>Torreya nucifera</i>	1					1
ウ ワ ミ ズ ザ ク ラ <i>Prunus grayana</i>	1					1

第32表 ブナ林帯状調査区胸高直径階別本数配分表(1)

Table 32. *Fagus* forest. Number of trees in each diameter grade in No. 1 belt-transect.

樹種 Species	胸高直径 (cm) Breast-height diameter														計 Total	
	5 ~ 10	10 ~ 15	15 ~ 20	20 ~ 25	25 ~ 30	30 ~ 35	35 ~ 40	40 ~ 45	45 ~ 50	50 ~ 55	55 ~ 60	60 ~ 65	65 ~ 70	70 ~ 75		75 ~ 80
ブ ナ <i>Fagus crenata</i>									1						1	2
イ ヌ ブ ナ <i>Fagus japonica</i>		2	1				2	1	1		1					8
ケ ヤ キ <i>Zelkova serrata</i>												1				1
イ ロ ハ モ ミ ジ <i>Acer palmatum</i> var. <i>palmatum</i>						1										1
エン コ ウ カ エ デ <i>Acer mono</i> var. <i>marmoratum</i> f. <i>dissectum</i>						1										1
ア カ ガ シ <i>Quercus acuta</i>		1														1
カ ヤ <i>Torreya nucifera</i>		1														1
ウ ワ ミ ズ ザ ク ラ <i>Prunus grayana</i>	1															1

第33表 ブナ林の帯状調査区林床植物被度表(1)

Table 33. *Fagus* forest. Cover degree of the plants in No. 1 belt-transect.

階層 Layer	種 Species	類	被度 Cover degree	
低木層 (F)	ア オ キ <i>Aucuba japonica</i>		5	
	コ バ ノ ガ マ ズ <i>Viburnum erosum</i> var. <i>punctatum</i>		1	
	ア カ ガ シ <i>Quercus acuta</i>		1	
	モ ム ラ サ キ シ キ <i>Abies firma</i>		1	
	キ ガ マ ブ ズ シ <i>Callicarpa japonica</i>		1	
	ガ ハ ナ イ カ <i>Stachyurus praecox</i>		+	
	ヒ ナ イ ラ ギ <i>Viburnum dilatatum</i>		+	
	ア オ ハ ダ <i>Helwingia japonica</i>		+	
	シ シ ロ ラ <i>Osmanthus ilicifolius</i>		+	
			<i>Ilex macropoda</i>	+
			<i>Neolitsea sericea</i>	+
			<i>Sapium japonicum</i>	+
		ア オ キ <i>Aucuba japonica</i>		2
		ミ ヤ マ シ キ <i>Skimmia japonica</i>		2
	オ オ イ ト ス <i>Carex sachalinensis</i> var. <i>alterniflora</i>		+	

第33表 (つづき)

Table 33. (Continued)

階層 Layer	種 Species	類	被度 Cover degree	
草本層 (H)	カ シ ア オ イ テ ヲ カ カ ズ モ イ ノ ラ ヒ ャ ノ ヒ ジ オ イ ト ア オ オ ハ	イ ラ ミ ギ ゲ ゲ ダ	<i>Asarum nipponicum</i> <i>Trachelospermum asiaticum</i> <i>Abies firma</i> <i>Osmanthus ilicifolius</i> <i>Ophiopogon japonica</i> <i>Carex sachalinensis</i> var. <i>sericea</i> <i>Ilex macropoda</i>	+ + + + + + +
	キ ツ タ キ ジ ヨ ラ テ イ カ カ ズ	ラ ン ラ	<i>Hedera rhombea</i> <i>Narsdenia tomentosa</i> <i>Trachelospermum asiaticum</i>	+ + +
	着生植物 (E)	な し		

第34表 プナ林帯状調査区樹高階別本数配分表 (2)

Table 34. *Fagus* forest. Number of trees in each height grade in No. 2 belt-transect.

樹種 Species	樹高 (m) Height						計 Total
	5 ~ 10	10 ~ 15	15 ~ 20	20 ~ 25	25 ~ 30		
イ ス プ ナ オ オ モ ミ ジ ウ ラ ジ ロ ガ カ マ ツ ヤ ウ ラ ジ ロ ノ キ	6	1	3	6	1	16	
<i>Fagus japonica</i>						1	
<i>Acer palmatum</i> var. <i>amoenum</i>						3	
<i>Quercus salicina</i> var. <i>stenophylla</i>						1	
<i>Torreya nucifera</i>						1	
<i>Pourthiaea villosa</i> var. <i>laevis</i>						1	
<i>Sorbus japonica</i>						1	

第35表 プナ林帯状調査区胸高直径階別本数配分表 (2)

Table 35. *Fagus* forest. Number of trees in each diameter grade in No. 2 belt-transect.

樹種 Species	胸高直径 (cm) Breast-height diameter														計 Total
	5 ~ 10	10 ~ 15	15 ~ 20	20 ~ 25	25 ~ 30	30 ~ 35	35 ~ 40	40 ~ 45	45 ~ 50	50 ~ 55	55 ~ 60	60 ~ 65	65 ~ 70	70 ~ 75	
イ ス プ ナ <i>Fagus japonica</i>	5	1			3		2		1	1	1			2	16
オ オ モ ミ ジ <i>Acer palmatum</i> var. <i>amoenum</i>						1									1
カ マ ツ カ <i>Pourthiaea villosa</i>			1												1
ウ ラ ジ ロ ガ シ <i>Quercus salicina</i> var. <i>stenophylla</i>															3
カ ヤ <i>Torreya nucifera</i>															1
ウ ラ ジ ロ ノ キ <i>Sorbus japonica</i>															1

第3の調査区ではアオキの被度がいちばん多いが、第1, 第2調査区のように林下全面をおおうほどではない。第1調査区ではアオキのほかコバノガマズミ, アカガシ, モミ, ムラサキシキブなどの被度が比較的高い。第2の調査区ではアオキのほかは被度の高いものは見られず, ムラサキシキブ, ヒイラギ, アカガシなどが点生している。第3調査区ではアオキのほかクロモミジ, コバノガマズミ, ムラサキシキブなどの被度が比較的高い。

第36表 ブナ林の帯状調査区林床植物被度表(2)

Table 36. *Fagus* forest. Cover degree of the plants in No. 2 belt-transect.

階層 Layer	種 Species	類	被度 Cover degree						
低木層 (F)	アムヒアヤコクウカウヒマツハヤ	オサイカマノロジラジサバリナム	キシラガウマズモノガヤシカウツバカサ	<i>Aucuba japonica</i> <i>Callicarpa japonica</i> <i>Osmanthus ilicifolius</i> <i>Quercus acuta</i> <i>Cornus kousa</i> <i>Viburnum erosum</i> var. <i>punctatum</i> <i>Lindera umbellata</i> <i>Sorbus japonica</i> <i>Torreya nucifera</i> <i>Quercus salicina</i> var. <i>stenophylla</i> <i>Eurya japonica</i> <i>Deutzia scabra</i> <i>Euonymus oxyphyllus</i> <i>Helwingia japonica</i> <i>Callicarpa mollis</i>	4 + + + + + + + + + + + + +				
	草本層 (H)	テコナミオミカウヤシアイ	イジャウヤマオミヤカ	カノスミカイトシ	ズヒウサイタバスキ	<i>Trachelospermum asiaticum</i> <i>Ophiopogon japonica</i> <i>Pertya scandens</i> <i>Viola bisseti</i> <i>Oxalis acetosella</i> <i>Calex sachalinensis</i> var. <i>alterniflora</i> <i>Skimmia japonica</i> <i>Torreya nucifera</i> <i>Quercus salicina</i> var. <i>stenophylla</i> <i>Ardisia japonica</i> <i>Cymbidium virescens</i> <i>Quercus acuta</i> <i>Cephalotaxus harringtonia</i>	+ + + + + + + + + + + + + +		
		つる植物 (L)	テシ	イラ	カク	カチ	ズラ	<i>Trachelospermum asiaticum</i> <i>Actinidia arguta</i>	+ +
			着生植物 (E)	ノヒ	キシメ	シノ	キノ	ブ	<i>Lepisorus thunbergianus</i> <i>Lepisorus onoei</i>

第37表 ブナ林の帯状調査区樹高階別本数配分表(3)

Table 37. *Fagus* forest. Number of trees in each height grade in No. 3 belt-transect.

樹種 Species	樹高(m) Height						計 Total
	5 ~ 10	10 ~ 15	15 ~ 20	20 ~ 25	25 ~ 30		
ブイアイオ							
ナブオハダ							
<i>Fagus crenata</i>							
<i>Fagus japonica</i>							
<i>Ilex macropoda</i>							
イロハモミ							
<i>Acer palmatum</i> var. <i>palmatum</i>							
オオモミ							
<i>Acer palmatum</i> var. <i>amoenum</i>							

草本層は第1調査区ではアオキとミヤマシキミの被度が比較的高く、オオイトスゲ、カンアオイなどがこれについている。第2調査区では被度の高いものはなく、テイカカズラ、ジャノヒゲ、コウヤボウキ、ナガバナスミレサイシンなどが点生しているに過ぎない。第3の調査区ではコウヤボウキの被度が最も高く、オクモミジハグマ、カシワバハグマ、スズダケ、ヤブコウジ、オオイトスゲ、カンアオイ、タカオヒゴタイなどの被度が比較的高い。つる植物は各調査区とも発達悪くテイカカズラ、キヅタ、キジョラン、シラクチヅルなどがわずかに見られるに過ぎない。着生植物の発育も悪く、第1調査区にはなく、第2~第3調査区ではノキシノブとヒメノキシノブがわずかに見られる。

第38表 ブナ林の帯状調査区胸高直径階別本数配分表 (3)

Table 38. *Fagus* forest. Number of trees in each diameter grade in No. 3 belt-transect.

樹種 Species	胸高直径 (cm) Breast-height diameter											計 Total			
	5 }	10 }	15 }	20 }	25 }	30 }	35 }	40 }	45 }	50 }	55 }		60 }	65 }	70 }
ブ <i>Fagus crenata</i>								1			1	1		1	4
イヌブ <i>Fagus japonica</i>					2	1	1	1	1	1					7
アオハダ <i>Ilex macropoda</i>			1												1
オオモミ <i>Acer palmatum</i> var. <i>amoenum</i>			1												1
イロハモミ <i>Acer palmatum</i> var. <i>palmatum</i>	1														1

第39表 ブナ林の帯状調査区林床植物被度表 (3)

Table 39. *Fagus* forest. Cover degree of the plants in No. 3 belt-transect.

階層 Layer	種 Species	類	被度 Cover degree
低木層 (F)	アオキ <i>Aucuba japonica</i>		2
	クノガシ <i>Lindera umbellata</i>		1
	コバノサキ <i>Viburnum erosum</i> var. <i>punctatum</i>		1
	ムシコ <i>Callicarpa japonica</i>		1
	シバ <i>Sapium japonicum</i>		+
	コバノトネリコ <i>Fraxinus lanuginosa</i> var. <i>serrata</i>		+
	アカガ <i>Quercus acuta</i>		+
草本層 (H)	コウモリ <i>Pertya scandens</i>		2
	ウミハグマ <i>Ainsliaea acerifolia</i>		1
	カシハグマ <i>Pertya robusta</i>		1
	ササヅケ <i>Sasa purpurascens</i>		1
	ヤブコウジ <i>Ardisia japonica</i>		1
	オオイトスゲ <i>Carex sachalinensis</i> var. <i>alterniflora</i>		1
	カオンアオイ <i>Asarum nipponicum</i>		+
	タカオヒゴ <i>Saussurea sinuatooides</i>		+
	シユンラ <i>Cymbidium virescens</i>		+
	アウロギ <i>Aucuba japonica</i>		+
	ウラボシ <i>Quercus salicina</i> var. <i>stenophylla</i>		+
	クモミジ <i>Abies firma</i>		+
	ウグイスカグ <i>Lindera umbellata</i>		+
	ウグイスカグ <i>Lonicera gracilipes</i>		+
	ウツギ <i>Viburnum dilatatum</i>		+
	アカシヨウ <i>Stephanandra incisa</i>		+
	アキヒゲ <i>Astilbe thunbergii</i>		+
アキヒゲ <i>Ophiopogon japonicus</i>		+	
つる植物 (L)	テイカカズラ <i>Trachelospermum asiaticum</i>		+
着生植物 (E)	ノキシノブ <i>Lepisorus thunbergianus</i>		+
	ヒメノキシノブ <i>Lepisorus onoei</i>		+

4. アカマツ天然林

i. 方形調査区

アカマツ林は大きな尾根または小尾根、まれに南面の中腹に見られる。先にあげた 3 つの森林にくらべると分布面積が狭い。東部の金比羅台を除いた他のアカマツ林の多くは大径木が一部に群生し、遠望すると立派なアカマツ純林の様相を呈している。しかし森林内には大小のモミが沢山生じ、低木層や草本層の構成植物はモミ林下と大差ない状態である。

さてアカマツの優占する森林中に 10m 平方の方形区を 10 か所とり、その組成を要約した表をあげると第 40 表のようである。この表を見ればわかるように、高木層ではアカマツが断然多く上層林冠を占有し、総合優占度が最も高い。アカマツのほかはモミ、ヤマザクラ、ウラゲエンコウカエデ、エンコウカエデ、アラカシなどが少し混生しているが総合優占度は高くない。常在度はアカマツが V であり、ついでモミのみ II であり、他樹種はすべて I である。亜高木層では総合優占度はモミが最も高く、アカマツは第 2 位ではあるがかなり低い。そのほかアラカシ、エンコウカエデ、ヤブツバキ、アオハダ、コバノトネリコなどが見られるが少ない。常在度はモミが III であるほか他はすべて I である。低木層では総合優占度のいちばん高いのはアオキであり、ついでアラカシ、コナラ、ヤブムラサキ、ウラジロガシ、クロモジ、ムラサキシキブ、ヤブツバキ、シラキ、コバノカマズミ、コバノトネリコ、モミなどの順に高いが、モミ林下などのように 1 樹種で独占するようなことはない。常在度はアオキ、アラカシ、ヤブムラサキ、クロモジ、ムラサキシキブ、コバノカマズミの 6 種が III であり、コナラ、ウラジロガシ、ヤブツバキ、シラキ、コバノトネリコ、モミ、マルバウツギ、ツリバナ、ウロミズザクラ、ハナイカダ、ダンコウバイ、イヌガヤが II である。

草本層で総合優占度のいちばん高いのはチゴユリであり、これについてコウヤボウキ、ミヤマシキミ、テイカカズラ、コナラ、アオキなどが高い。常在度はミヤマシキミが V でいちばん高く、チゴユリ、コウヤボウキ、テイカカズラ、ジャノヒゲが IV でこれについている。アオキ、モミ、ヒイラギ、シュンランは III である。つる植物ではテイカカズラの常在度が高く IV であり、他のツタウルシ、キヅタ、フジ、ミツバアケビなどは常在度 I で僅少である。着生植物はアカマツが尾根筋に多く生じ、乾燥し、空中湿気が少ない関係や、樹皮の形態などにより発達悪く、ノキシノブとヒメノキシノブがわずかに見られるにすぎない。

アカマツ方形調査区のうち、その代表的なものを 3 か所あげると第 26 図～第 28 図のようである。方形調査したアカマツ林 10 か所の樹高階別の本数配分は第 41 表のようである。この表を見ればわかるようにアカマツの樹高は 5～10m から 30～35m の間にあり、5～20m と 25～30m のものが最も本数が多い。30～35m の高さのものが 9 本ある。アカマツ林の胸高直径階別の本数配分は第 42 表のようである。この表を見ればわかるようにアカマツは 5～10cm から 90～95cm の間にあり、20～25cm、55～60cm および 60～65cm のもの本数が多い。かなり太い木が多く、最も太いものは 94cm におよぶ。

ii. 帯状調査区

アカマツの代表的な林と思われる 3 か所に長さ 50m、幅 5 m の帯状調査区を 3 か所とり調査した林木配置の状態は第 29 図～第 31 図のようである。また帯状調査区の樹高階別の本数配分はそれぞれ第 43 表、第 46 表および第 49 表のようであり、胸高直径階別本数配分はそれぞれ第 44 表、第 47 表および第 50 表のようである。

第40表 アカマツ林組成要約表

Table 40. Summarized association table of *Pinus densiflora* forest.

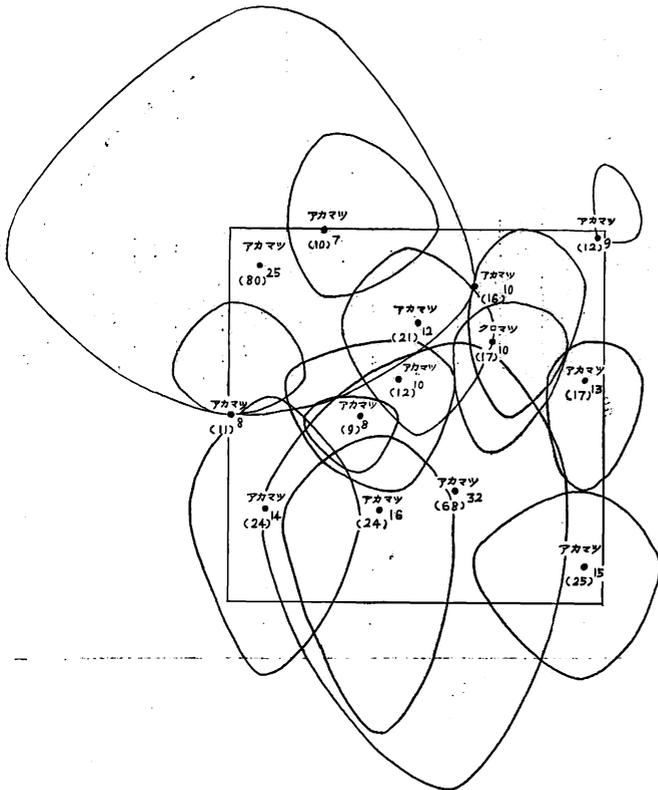
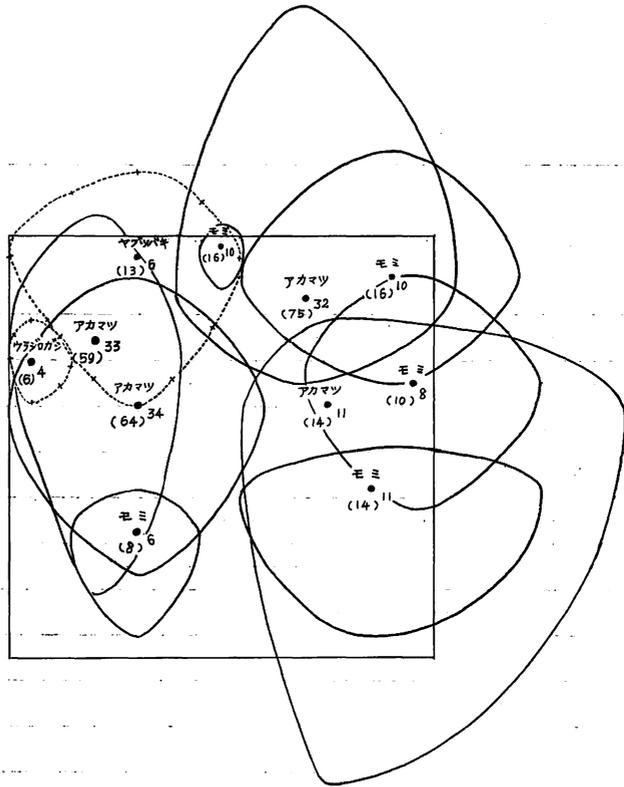
階層 Layer	種類 Species	標準地番号 Quadrat	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	常在度 Constancy	総合優占度 Coverage value	
		標準地面積(m ²) Area	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100			100
		地形 Configuration	尾根	中腹	中腹	尾根									
		海拔高(m) Altitude	450	420	530	490	250	200	250	220	220	480			
		傾斜方向 Exposure of slope	W	W	WS	S	WS	S	WS	ES	S	W			
		傾斜角度(°) Steepness of slope	32	29	26	4	30	25	25	33	32	36			
		最大林分高 Maximum height of stand	34	34	34	32	32	20	28	23	24	29			
		最大胸高 Maximum d. b. h.	75	77	75	94	80	45	74	56	53	66			
高木層 (AP)	アカマツ <i>Pinus densiflora</i>	5	5	4	4	4	4	5	4	4	4	V	7000		
	ウラボシ <i>Quercus salicina</i> var. <i>stenophylla</i>											I	375		
	モミ <i>Abies firma</i>					1				1	2	II	275		
	ヤマザクラ <i>Prunus jamasakura</i>			2	1							I	225		
	ウラボシ <i>Acer mono</i> var. <i>connivens</i>			2								I	175		
	エンコウカエデ <i>Acer mono</i> var. <i>marmoratum</i> f. <i>dissectum</i>											2	I	175	
	アラカシ <i>Quercus acuta</i>								1	1			I	100	
亜高木層 (AS)	モミ <i>Abies firma</i>	3	2	4	4						1	2	III	2025	
	アカマツ <i>Pinus densiflora</i>					4			1				I	675	
	アラカシ <i>Quercus glauca</i>									1	3		I	425	
	エンコウカエデ <i>Acer mono</i> var. <i>marmoratum</i> f. <i>dissectum</i>								3				I	375	
	ヤマザクラ <i>Camellia japonica</i>		2										I	175	
	アオハダ <i>Ilex macropoda</i>				1					1			I	100	
	コナラ <i>Fraxinus lanuginosa</i> var. <i>serrata</i>					1				1			I	100	
	ウラボシ <i>Acer mono</i> var. <i>connivens</i>				1								I	50	
	ヤマザクラ <i>Prunus jamasakura</i>					1							I	50	
	クマノシ <i>Pinus thunbergii</i>						1						I	50	
	ツバキ <i>Quercus sessilifolia</i>									1			I	50	
	オウゴン <i>Acer palmatum</i> var. <i>amoenum</i>									1			I	50	
	ウラボシ <i>Quercus salicina</i> var. <i>stenophylla</i>										1		I	50	
	アカカ <i>Meliosma myriantha</i>											1	I	50	
	カ <i>Pourthiaea villosa</i>												I	1	
ク <i>Castanea crenata</i>				+					+			I	1		

第40表 (つづき) Table 40. (Continued)

階層 Layer	種類 Species	標準地番号 Quadrat										常在度 Constancy	総合優占度 Coverage value
		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10		
低木層 (F)	アオキ	3	3		1			+	1	1		III	901
	アラカシ	+				3	1		2	2		III	776
	アカナシ					1	3	1	1	1		II	475
	ヤマブキ		1		1			1	+	1	1	III	251
	ウラボシ						2	+	+		+	II	178
	クサギ	1	1	+			+					III	152
	ムササビ	1	+			1			+	1	1	III	152
	ヤシバ	1	1						1			II	150
	シラカシ	1	1								1	II	150
	コナラ	+	+		+				+	1	1	III	104
	モミ		+			1	1				+	II	102
	マツ	1	+		1		1		+			II	101
	ツバキ	+	+			+			+	+		II	53
	ワザレ		+		1							II	52
	ハナダ	+	1					+		+		II	52
	ダウソウ			+							1	II	52
	アツギ			1			+			+	1	II	52
	クミ				1							I	50
	ミヤマザクラ								1			I	50
	イヌツギ	+	+							1		I	50
	ヒメツギ	+	+							+		II	3
	イヌゲ	+									+	I	2
	ヤマウルシ	+					+		+		+	I	2
	ヤマモミ								+	+		I	2
	チゴキ	1	+	2	3			2	+	+	2	IV	953
	ウヤマキ		+	2	3	1	2	1	+	+	+	IV	828
ヤマカキ	2	2	+	3	+		+	+	+	+	V	780	
テカラ	+	+	1		2		1	+	+	+	IV	454	
コナラ					+		2		+	+	I	376	
アオキ	2	1				3		1			I	277	
ジャコウチ	+			+	+		1	1	+	+	III	277	
ツバキ				+	+		1	1	+		IV	154	
ナガバノコ			+		1	1	1		+		II	102	
モミ	1	+			1		1	+			I	100	
ヤマウルシ			+			+		+			I	55	
ヤマモミ			+			1	1	1			I	51	
アノコ						1	1	1			I	50	
コナラ						1	1	1			I	50	

第26図 アカマツ林方形調査
 (地形 尾根, 方位 W, 傾斜角
 32°, 標高 450m)

Fig. 26. Quadrat of *pinus densiflora* forest.

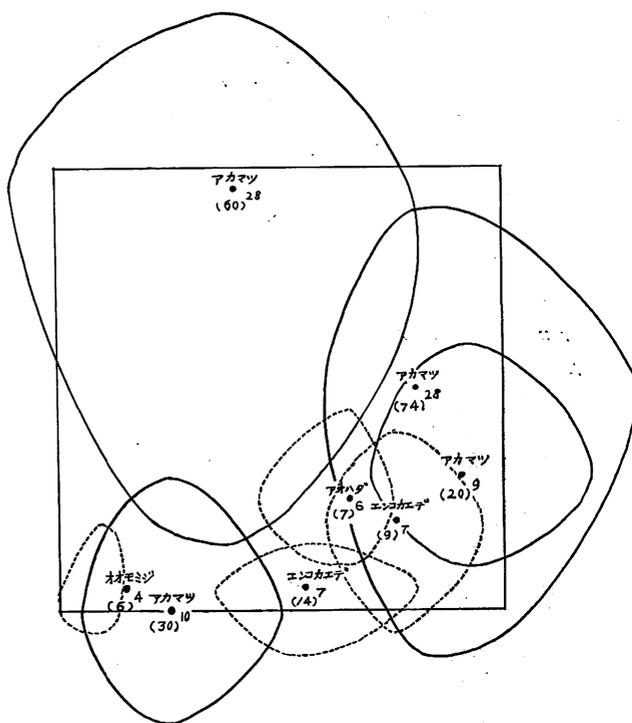


第27図 アカマツ林方形調査
 (地形 尾根, 方位 WS, 傾斜角
 30°, 標高 250m)

Fig. 27. Quadrat of *pinus densiflora* forest.

第28図 アカマツ林方形調査
(地形 尾根, 方位 WS, 傾斜角
25°, 標高 250m)

Fig. 28 Quadrat of *pinus densiflora* forest.



第41表 アカマツ林樹高階別樹木本数配分表 (10区集計)

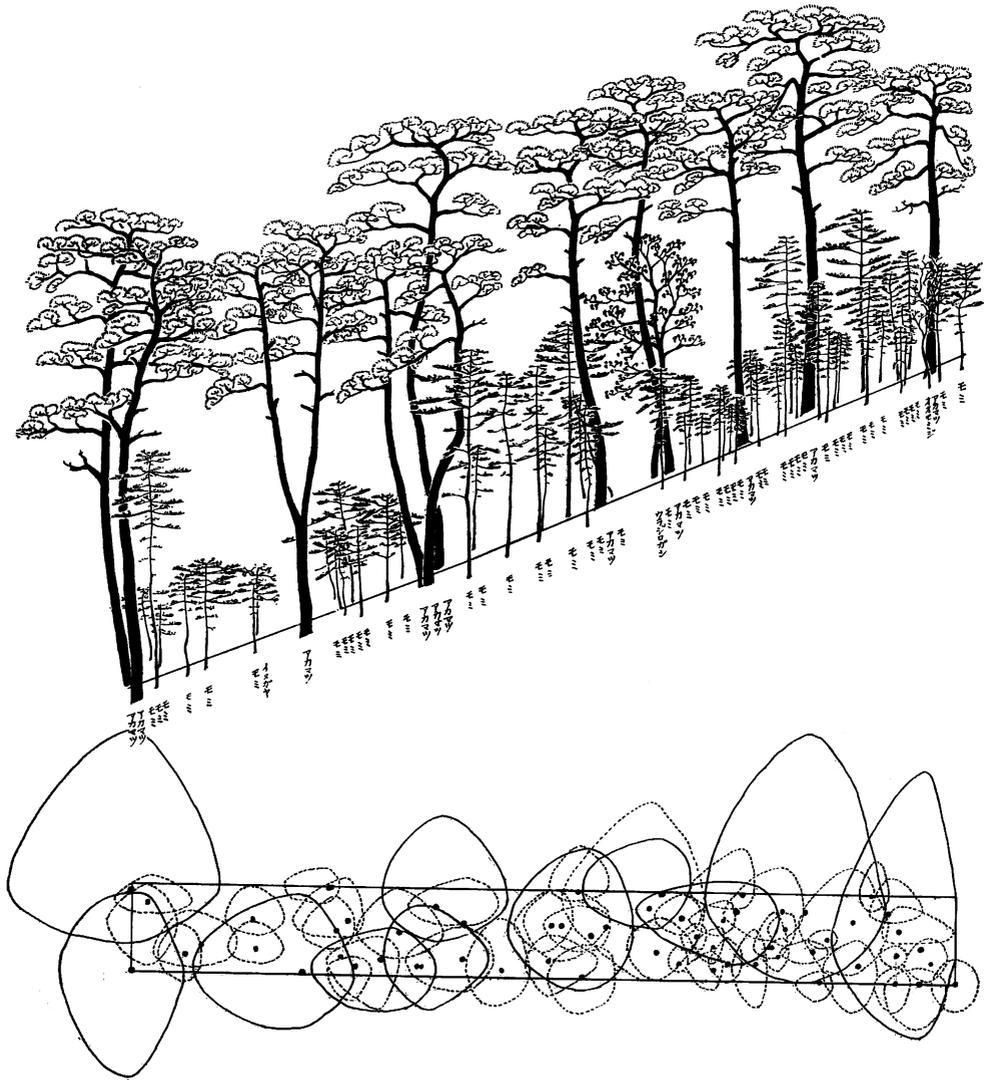
Table 41. *Pinus densiflora* forest. Number of trees in each height grade in (No. 1~10) quadrat.

樹種名 Species	樹高 (m) Height							計 Total
	5 10	10 15	15 20	20 25	25 30	30 35		
アカマツ <i>Pinus densiflora</i>	7	5	15	11	15	9	62	
アモミ <i>Abies firma</i>	28	10	6				44	
エンコウカエデ <i>Acer mono</i> var. <i>marmoratum</i> f. <i>dissectum</i>	4	1					5	
アシラカシ <i>Quercus glauca</i>	4		1				5	
ウシロガシ <i>Quercus myrsinaefolia</i>	4						4	
ヤマザクラ <i>Quercus salicina</i> var. <i>stenophylla</i>	2		1				3	
コナラ <i>Prunus jamasakura</i>		2		1			3	
コナラ <i>Quercus serrata</i>		2					2	
ヤマブキ <i>Fraxinus lanuginosa</i> var. <i>serrata</i>		2					2	
ツバキ <i>Camellia japonica</i>	1						1	
ウラゲ <i>Acer mono</i> var. <i>connivens</i>		1					1	
クロマツ <i>Pinus thunbergii</i>	1						1	
オオモミ <i>Acer palmatum</i> subsp. <i>amoenum</i>	1						1	
オオハダ <i>Ilex macropoda</i>	1						1	
クヌギ <i>Castanea crenata</i>	1						1	
ツバキ <i>Quercus sessilifolia</i>	1						1	
カシ <i>Torreya nucifera</i>	1						1	
ヒメキ <i>Eurya japonica</i>	1						1	
アワキ <i>Meliosma myriantha</i>	1						1	
計	60	21	23	12	15	9	140	

第42表 アカマツ林胸高直径階別樹木本数配分表 (10区集計)
 Table 42. *Pinus densiflora* forest. Number of trees in each diameter grade
 in (No. 1~10) quadrat.

樹種名 Species	胸高直径 (cm) Breast-height diameter																	計 Total	
	5 10	10 15	15 20	20 25	25 30	30 35	35 40	40 45	45 50	50 55	55 60	60 65	65 70	70 75	75 80	80 85	85 90		90 95
アカマツ <i>Pinus densiflora</i>	2	2	5	6	5	4	3	1	4	5	6	6	4	4	1	2	1	1	62
モミ <i>Abies firma</i>	13	21	7	2	1														44
エンコウカエデ <i>Acer mono</i> var. <i>marmoratum</i> f. <i>dissectum</i>	3		1		1														5
アラカシ <i>Quercus glauca</i>	3	1		1															5
シラカシ <i>Quercus myrsinaefolia</i>	3	1																	4
ウラジロガシ <i>Quercus salicina</i> var. <i>stenophylla</i>	2				1														3
ヤマザクラ <i>Prunus jamasakura</i>			1		2														3
コナラ <i>Quercus serrata</i>	2																		2
コバノトネリコ <i>Fraxinus lanuginosa</i> var. <i>serrata</i>	2																		2
ヤブツバキ <i>Camellia japonica</i>			1																1
ウラゲエンコウカエデ <i>Acer mono</i> var. <i>connivens</i>			1																1
クロマツ <i>Pinus thunbergii</i>				1															1
オオモミジ <i>Acer palmatum</i> var. <i>amoenum</i>	1																		1
アオダマ <i>Ilex macropoda</i>	1																		1
クリ <i>Castanea crenata</i>	1																		1
ツクバネガシ <i>Quercus sessilifolia</i>	1																		1
カヤ <i>Torreya nucifera</i>	1																		1
ヒサカキ <i>Eurya japonica</i>	1																		1
アワブキ <i>Meliosma myriantha</i>	1																		1
計 Total	37	28	14	12	7	4	3	1	4	5	6	6	4	4	1	2	1	1	140

以上の図と表を見れば明らかなように、アカマツの老木が上層林冠の大部分を占有し、まれにエンコウカエデ、モミ、アラカシ、ウラジロガシ、ヤマザクラなどが混生している。アカマツは5~10mから30~35mの間にあり、15~20mと25~30mのものが本数が多い。最高は30mである。胸高直径は5~10cmから90~95cmの間にあり、20~25cm、55~60cmおよび60~65cmのものが本数が多い。最大のものは90cmである。亜高木層は第1~第2調査区ではモミが優占し、他にヤマザクラ、ホオノキ、アラカシ、シラカシ、ウラジロガシ、コバノトネリコ、ウラゲエンコウカエデなどが混交している。第3調査区はアカマツだけが繁生し他樹は全くない。アカマツ林下の低木層以下の植物被度表はそれぞれ第45表、第48表および第51表のようである。低木層は第1と第2調査区ではモミとアオキの被度が高く、これについてクロモジ、ムラサキシキブ、マルバウツギなどの被度が高い。第3調査区ではヤマウルシ、ウリカエデ、アオキの被度が比較的高く、ウラジロガシ、ヤブムラサキ、アラカシ、コバノトネリコ、コナラ、ツクバネウツギ、コバノガマズミ、コゴメウツギなどの被度がこれにつぎ、調査区内に点生している。



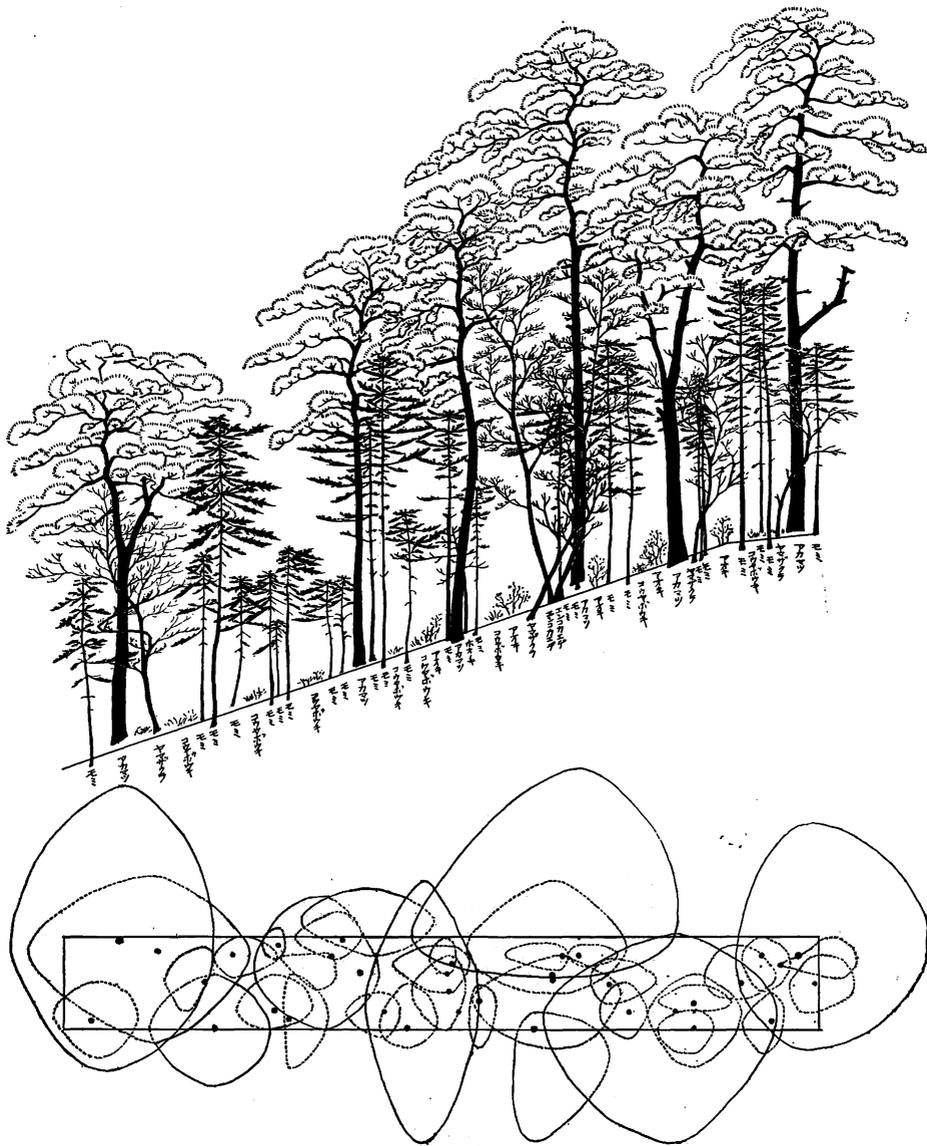
第29図 アカマツ帯状区調査林木配置図(1) (地形 中腹尾根, 方位 SSE, 傾斜角 22~23°, 標高 473m)

Fig. 29 Belt-transect *pinus densiflora* forest.

第43表 アカマツ林帯状調査区樹高階別本数配分表(1)

Table 43. *Pinus densiflora* forest. Number of trees in each height grade in No. 1 belt-transect.

樹種名 Species	樹高(m) Height					計 Total
	5 ~ 10	10 ~ 15	15 ~ 20	20 ~ 25	25 ~ 30	
アカマツ <i>Pinus densiflora</i>			3	5	3	11
アモウラ <i>Abies firma</i>	42	7				49
ウラジロガシ <i>Quercus salicina</i> var. <i>stenophylla</i>		1				1
オモミジヤ <i>Acer palmatum</i> var. <i>amoenum</i>	1					1
イヌガヤ <i>Cephalotaxus harringtonia</i>	1					1



第30図 アカマツ帯状区調査林木配置図(2)(地形 尾根, 方位 S, 傾斜角 19°, 標高 518m)

Fig. 30 Belt-transect *pinus densiflora* forest.

草本層は第1調査区ではミヤマシキミ, コウヤボウキ, チヂミザサの被度が高く, 第2調査区ではミヤマシキミのみの被度が高い。第3調査区ではテイカカズラ, コウヤボウキ, ジャノヒゲ3種の被度が高い。つる植物は第1調査区ではテイカカズラ, 第2調査区ではツタウルシ, ツルグミ, テイカカズラ, 第3調査区ではテイカカズラなどが比較的好く発達している。着生植物は少なく第1調査区でヒメノキシノブ, 第2調査区でノキシノブとヒメノキシノブ, 第3調査区でノキシノブが少し見られるのみである。

第48表 アカマツ林帯状調査区林床植物被度表(2)

Table 48. *Pinus densiflora* forest. Cover degree of the plants in No. 2 belt-transect.

階層 Layer	種 Species	類	被度 Cover degree
低木層 (F)	ア オ キ	<i>Aucuba japonica</i>	3
	モ ム キ	<i>Abies firma</i>	2
	ラ サ キ シ キ	<i>Callicarpa japonica</i>	1
	マ ル バ ウ ツ	<i>Deutzia scabra</i>	1
	イ シ ヌ ガ	<i>Cephalotaxus harringtonia</i>	+
	コ ゴ メ ウ ツ	<i>Illicium religiosum</i>	+
	ク ロ モ ツ	<i>Stephanandra incisa</i>	+
	カ マ ツ	<i>Lindera umbellata</i>	+
	シ ラ ツ	<i>Pourthiaea villosa</i> var. <i>laevis</i>	+
	ミ ツ バ ツ ツ	<i>Sapium japonicum</i>	+
		<i>Rhododendron dilatatum</i>	+
草本層 (H)	ミ ヤ マ シ キ	<i>Skimmia japonica</i>	3
	イ ヌ ガ	<i>Cephalotaxus harringtonia</i>	1
	エ ビ オ	<i>Calanthe discolor</i>	+
	ア キ	<i>Aucuba japonica</i>	+
	イ ヌ ツ	<i>Ilex crenata</i>	+
	ヒ イ	<i>Osmanthus ilicifolius</i>	+
	ツ ル マ ノ サ	<i>Euonymus fortunei</i> var. <i>radicans</i>	+
	ジ ャ ノ ヒ	<i>Ophiopogon japonica</i>	+
	シ ャ ノ	<i>Cymbidium virens</i>	+
	キ ャ ツ	<i>Hedera rhombea</i>	+
	ヤ ブ コ ウ	<i>Ardisia japonica</i>	+
	テ イ カ カ	<i>Trachelospermum asiaticum</i>	+
	ツ ゼ ミ ザ	<i>Oplismenus undulatifolius</i>	+
	ヒ ル リ ン	<i>Tripterospermum japonicum</i>	+
	<i>Tipularia japonica</i>	+	
つる植物 (L)	ツ タ ウ ル	<i>Rhus ambigua</i>	2
	ツ ル グ	<i>Elaeagnus glabra</i>	+
	テ イ カ カ	<i>Trachelospermum asiaticum</i>	+
	キ ャ ツ	<i>Hedera rhombea</i>	+
	マ ツ ブ	<i>Schisandra nigra</i>	+
着生植物 (E)	ノ キ シ ノ ブ	<i>Lepisorus thunbergianus</i>	+
	ヒ メ ノ キ シ ノ ブ	<i>Lepisorus onoei</i>	+

第49表 アカマツ林帯状調査区樹高階別本数配分表(3)

Table 49. *Pinus densiflora* forest. Number of trees in each height grade in No. 3 belt-transect.

樹種 Species	樹高 (m) Height					計 Total
	5 ~ 10	10 ~ 15	15 ~ 20	20 ~ 25	25 ~ 30	
ア カ マ ツ <i>Pinus densiflora</i>	8	10		3	2	23
ア ラ カ シ <i>Quercus glauca</i>	5					5
ウ リ カ エ デ <i>Acer crataegifolium</i>	4					4
コ ナ ラ <i>Quercus serrata</i>	2					2
オ オ モ ミ ジ <i>Acer palmatum</i> var. <i>amoenum</i>	2					2
ヤ マ ウ ル シ <i>Rhus trichocarpa</i>	2					2
シ ラ カ シ <i>Quercus myrsinaefolia</i>	1					1
エ ン コ カ エ デ <i>Acer mono</i> var. <i>marmoratum</i> f. <i>dissectum</i>	1					1
ク ロ マ ツ <i>Pinus thunbergii</i>	1					1

第50表 アカマツ林帯状調査区胸高直径階別本数配分表(3)

Table 50. *Pinus densiflora* forest. Number of trees in each diameter grade in No. 3 belt-transect.

樹種名 Species	胸高直径 (cm) Breast-height diameter										計 Total									
	5	10	15	20	25	30	35	40	45	50		55	60	65	70	75	80	85	90	
アカマツ <i>Pinus densiflora</i>		3	10	1	3			1							1	1	1	1	1	23
ウリカエデ <i>Acer crataegifolium</i>	3	1																		4
クロマツ <i>Pinus thunbergii</i>			1																	1
アラカシ <i>Quercus glauca</i>	5																			5
ヤマウルシ <i>Rhus trichocarpa</i>	2																			2
コナラ <i>Quercus serrata</i>	1																			1
シラカシ <i>Quercus myrsinaefolia</i>	2																			2
オオモミジ <i>Acer palmatum</i> var. <i>amoenum</i>	1																			1
エンコウカエデ <i>Acer mono</i> var. <i>marmoratum</i> f. <i>dissectum</i>	2																			2

第51表 アカマツ林の帯状調査区林床植物被度表(3)

Table 51. *Pinus densiflora* forest. Cover degree of the plants in No. 3 belt-transect.

階層 Layer	種 Species	類 Species	被度 Cover degree
低木層 (F)	ヤマウルシ <i>Rhus trichocarpa</i>		2
	ウリカエデ <i>Acer crataegifolium</i>		2
	アウオ <i>Aucuba japonica</i>		2
	ウラジロガシ <i>Quercus salicina</i> var. <i>stenophylla</i>		1
	ヤブムラサキ <i>Callicarpa mollis</i>		1
	アコナラ <i>Quercus glauca</i>		1
	コバノトネリ <i>Fraxinus sieboldiana</i> var. <i>serrata</i>		1
	ココク <i>Quercus serrata</i>		1
	ツクバノガウツギ <i>Abelia spathulata</i>		1
	ココバゴメ <i>Viburnum erosum</i> var. <i>punctatum</i>		1
	ダシメウツギ <i>Stephanandra incisa</i>		1
	カシマツバ <i>Lindera obtusiloba</i>		+
	シガラマツカ <i>Pourthiaea villosa</i> var. <i>laevis</i>		+
	ガヒマツカ <i>Quercus myrsinaefolia</i>		+
	ヒカヤギ <i>Viburnum dilatatum</i>		+
	カヤギ <i>Osmanthus ilicifolius</i>		+
	ヤマツツギ <i>Torreya nucifera</i>		+
	エンコウカエデ <i>Rhododendron kaempferi</i>		+
	イヌツツギ <i>Acer mono marmoratum</i> f. <i>dissectum</i>		+
	ヤマコウツギ <i>Ilex crenata</i>		+
	ウニシバ <i>Lindera glauca</i>		+
	ムラサキシキ <i>Deutzia crenata</i>		+
	ヤオモミ <i>Euonymus alatus</i>		+
	シラカシ <i>Deutzia scabra</i>		+
	ウミザクラ <i>Callicarpa japonica</i>		+
	オオモミ <i>Prunus jamasakura</i>		+
	シラカシ <i>Acer palmatum</i> var. <i>amoenum</i>		+
	ウミザクラ <i>Rubus palmatus</i> var. <i>coptophyllus</i>		+
	ウミザクラ <i>Sapium japonicum</i>		+
	ウミザクラ <i>Prunus grayana</i>		+
	テコヤギ <i>Trachelospermum asiaticum</i>		3
	ジャマカ <i>Pertya scandens</i>		2
ヤマカ <i>Ophiopogon japonicus</i>		2	
ヤマカ <i>Brachypodium sylvaticum</i>		1	

第51表 (つづき)

Table 51. (Continued)

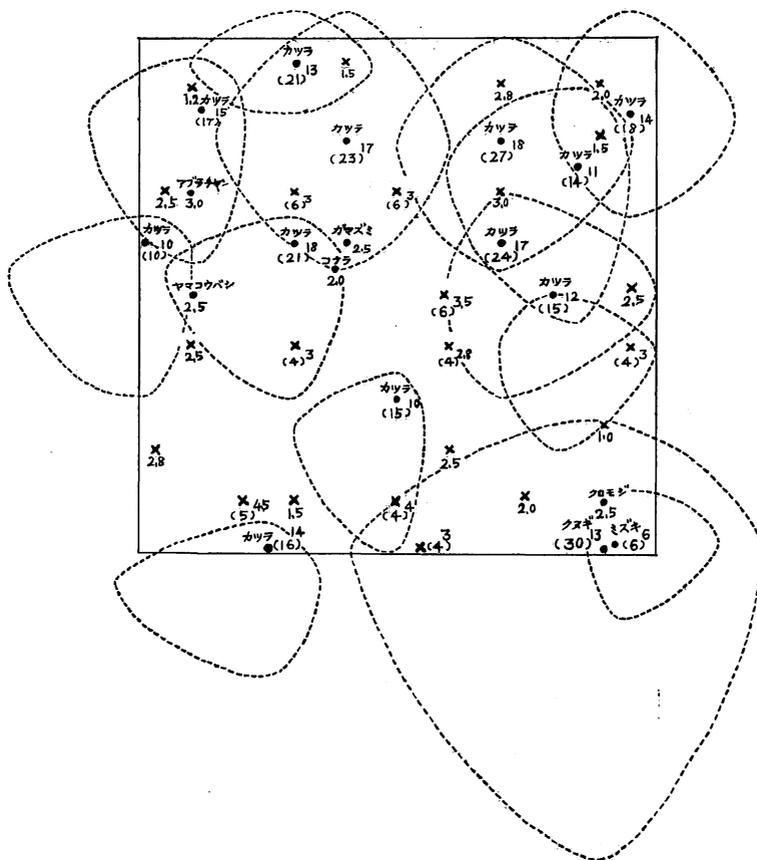
階層 Layer	種	種類	被度 Cover degree		
草本層 (H)	ス	ス	キ	<i>Miscanthus sinensis</i>	1
	イ	ヌ	ツ	<i>Ilex crenata</i>	+
	シ	ユ	ン	<i>Cymbidium virescens</i>	+
	ヤ	ブ	コ	<i>Ardisia japonica</i>	+
	ヒ	サ	カ	<i>Eurya japonica</i>	+
	シ	ロ	ヨ	<i>Aster leiophyllus</i>	+
	ナ	キ	メ	<i>Carex lenta</i> var. <i>lenta</i>	+
	オ	ロ	ケ	<i>Atractylodes japonica</i>	+
	シ	ラ	ヤ	<i>Aster scaber</i>	+
	ミ	ヤ	マ	<i>Skimmia japonica</i>	+
	ワ	ラ	シ	<i>Pteridium aquilinum</i> var. <i>latiusculum</i>	+
	ア	ラ	カ	<i>Quercus glauca</i>	+
	ア	オ	キ	<i>Aucuba japonica</i>	+
	イ	タ	ド	<i>Polygonum cuspidatum</i>	+
	チ	ゴ	ユ	<i>Disporum smilacinum</i>	+
	コ	マ	ユ	<i>Euonymus alatus</i> f. <i>ciliato-dentatus</i>	+
	モ			<i>Abies firma</i>	+
	オ	オ	バ	<i>Ophiopogon planiscapus</i>	+
オ	バ	ギ	<i>Hosta montana</i>	+	
つる植物 (L)	テ	イ	カ	<i>Trachelospermum asiaticum</i>	+
	サ	ン	カ	<i>Vitis flexuosa</i>	+
	ミ	ツ	バ	<i>Akebia trifoliata</i>	+
	ス	イ	カ	<i>Lonicera gracilipes</i>	+
着生植物 (E)	ノ	キ	シ	<i>Lepisorus thunbergianus</i>	

VIII. 高尾山天然林の遷移考察

植生はいつまでも変わらないものではなく、年月のたつにつれて変わっていくものである。数十年の年月を経てようやく変化の目だつものもあれば、数十日、数か月で変化のわかる場合もある。伐採跡地や風水害跡地などでは環境状態が変化し、幾分乾燥した裸出地となるため、陽性の樹種からなる植生が成立し、環境がしだいに第1次の植生によって変化するにしたがって、その林内に耐陰性の強い常緑樹または針葉樹が侵入してきて、漸次陽樹を圧迫し、これによってかわるようになるのがこの地方の低地では普通現象である。この遷移は時間のたつにしたがって緩慢となり、ついにはその立地を支配する気候と完全に調和した、ほとんど変化のないような安定した植生となる。高尾山天然林をこまかく踏査した資料にもとづいて遷移を考察してみたいと思う。

高尾山の天然林を概観するに全山の広範囲にわたり分布しているモミ林、主として南面に分布しているカシ類を主とする常緑広葉樹林、上部の主として北面に分布しているブナ類を主とする落葉広葉樹林、尾根筋に分布しているアカマツ林などにより一応安定した植生をなしている。しかしモミ林の一部は虫害や風害によって破壊されたところがあり、またアカマツ(特に老木)はマツクイムシなどの被害を受け枯死しつつあり、安定していた植生が部分的にこわされ、第2次的の植生連続が行なわれつつあるところがある。すなわち150~200年以上を経た老齢のモミは部分的にモミノハラアカマイマイの被害を受け枯死し、またたびたびの台風によって倒されたところがあり、山中のところどころに白骨をさらし、かなり大きな穴のあいたところがある。しかし大局的にみて高尾山のモミ林は、浅川実験林天然林のように虫による甚大な被害を受けていない。そして林下にモミの稚、幼樹を沢山生じているところがあり、また他の違った

森林である落葉広葉樹林下やアカマツ林下などにも稚、幼樹を大量に生じ、将来の高尾山におけるモミ林の安泰さを証明し、かつ裏づけている。カシ類を主とする常緑広葉樹林は現在すっかり安定し、林下に沢山の子孫を温存し、他の異なった森林であるモミ林、アカマツ林、ならびにブナを主とする落葉広葉樹林下などにまで侵入し、勢力範囲を広めつつある。ブナ類を主とする落葉広葉樹林下にはブナの稚樹を生ずることはきわめて少ない。イヌブナは部分的にかなり稚、幼樹を生じているところがある。将来大径木となりうるカエデ類、サクラ類、シデ類、ケヤキ、ホオノキなどの稚、幼樹は全地域に普遍的に生じている。落葉広葉樹下にはアオキが最も優占しているが、前にも述べたようにその中にはモミやカシ類がかなりはいってきているところがある。現在あるブナやイヌブナの大径木が寿命に達し、枯れたあと、どんな林になるかいまここで推すことはむずかしいが、イヌブナ林としてうけつがれるところもあり、またモミ林となったり、一小部分ではあるがアカガシを主とするカシ林となるところもあるだろうと思われる。アカマツ林は主として東部や南部の尾根筋に分布し、老齢な大径木が亭立し、モミ林とは違った美しい景観をなしている。しかし、最近マツクイムシの食害を受けしだいに枯死しつつある浅川実験林のアカマツと同様に、近い将来その大部分が枯死してしまうのではないかと推察される。ほんとおしいことであるが、助ける手段はほとんどない。このアカマツ林の下には現在耐陰性のかなりあるモミの中径木、小径



第32図 モミの稚樹(カツラ林内、地形 尾根、方位 S、傾斜角 35°、標高 445m)

Fig. 32 Young growth of *Abies firma*.

木、幼樹、稚樹が數段をなし、びっしり生えているところが多い。こうしたところではたとえ上木のアカマツが枯死しても、後継のモミがひかえているので、土地が裸出することはなく、上木がアカマツからモミに変わっても低木層以下の植物はそのままの状態では生育ができる。アカマツは著しい陽樹であるので、もちろんアカマツ林下にはそのままの環境では稚樹を生じ得ない。ただし東南部の尾根コンピラ方面によく発達しているアカマツ林は、老木がかなりの間隔をおいて点生している関係で林下によく日があたり、アカマツの稚、幼樹が生えそれがりっぱに生育している。この地域では上層林冠をなすアカマツの大径木が枯死しても、同種の後継樹があるので次代もアカマツ林として存続するものと思う。リフト、ケーブルの沿線や頂上から西北にのびる尾根などに見られるアカマツの壮齡林は大部分植栽になるものであるという。高尾山では皆伐その他により大きな裸地ができ、そのままに放任されると尾根や尾根がかった乾燥気味の地ではアカマツの稚樹が沢山生じ、将来アカマツ林として成林するものと思われる。

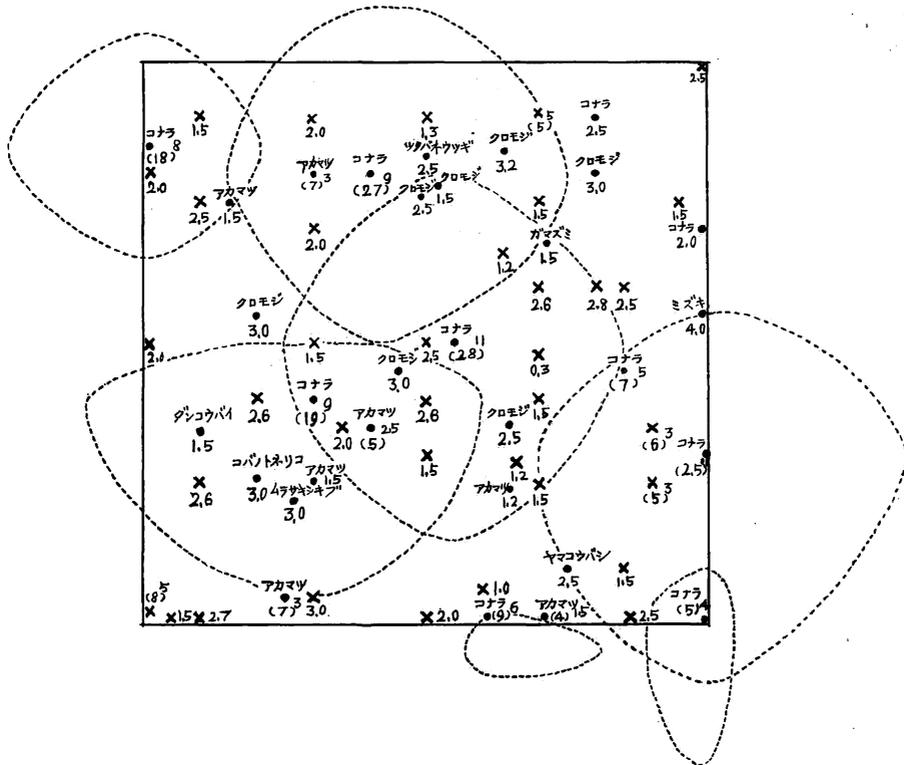
第52表 モミ稚樹調査表

Table 52. Young growth of *Abies firma*, and cover degree of the plants.

階層 Layer	植 物 Species	名 名	被度 Cover degree
高木層 (A P)	カ ツ ラ	<i>Cercidiphyllum japonicum</i>	4
	ク ヌ ギ	<i>Quercus acutissima</i>	2
	キ ハ ダ	<i>Phellodendron amurense</i>	+
亜高木層 (A S)	ミ ズ キ	<i>Cornus controversa</i>	1
低木層 (F)	モ ガ マ ズ ミ	<i>Abies firma</i>	4
	ガ マ コ ウ バ	<i>Viburnum dilatatum</i>	!
	ヤ マ コ ナ シ	<i>Lindera glauca</i>	1
	コ ナ ナ	<i>Quercus serrata</i>	+
	ク ロ モ ジ	<i>Lindera umbellata</i>	+
	ウ ツ モ	<i>Deutzia crenata</i>	+
	コ ノ ト ネ リ	<i>Fraxinus lanuginosa</i> var. <i>serrata</i>	+
	オ オ フ ジ イ バ	<i>Rosa luciae</i>	+
	ア プ ラ チ ャ	<i>Parabenzoin praecox</i>	+
	草本層 (H)	キ マ ツ タ	<i>Hedera rhombea</i>
ル バ ウ ツ		<i>Deutzia crenata</i>	1
モ ミ ジ イ チ		<i>Rubus palmatus</i> f. <i>coptophyllus</i>	1
シ ロ ヨ メ		<i>Aster ageratoides</i> subsp. <i>leiophyllum</i>	1
コ ウ ヤ ボ ウ		<i>Pertya scandens</i>	1
ア オ ナ		<i>Aucuba japonica</i>	+
コ ナ		<i>Quercus serrata</i>	+
チ デ ミ ザ		<i>Oplismenus undulatifolius</i>	+
エ ン コ ウ カ エ		<i>Acer mono</i> var. <i>marmoratum</i> f. <i>dissectum</i>	+
シ ャ ャ		<i>Cymbidium virescens</i>	+
ホ オ ノ		<i>Magnolia obovata</i>	+
ハ ナ イ カ		<i>Helwingia japonica</i>	+
ジ ヤ ノ カ		<i>Ophiopogon japonicus</i>	+
ノ ガ リ ヤ ス		<i>Calamagrostis arundinacea</i> var. <i>brachytricha</i>	+
ケ ス		<i>Carex duvaiana</i>	+
コ マ ャ		<i>Euonymus alatus</i>	+
タ チ ツ ボ ス		<i>Viola grypoceras</i>	+
オ オ イ ト ス		<i>Carex sachalinensis</i> var. <i>alterniflora</i>	+
ジ ャ ノ ヒ		<i>Ophiopogon japonicus</i>	+
つる植物 (L)		キ ツ ル マ サ	<i>Hedera rhombea</i>
	ミ ツ バ ア ケ	<i>Euonymus fortunei</i> var. <i>radicans</i>	+
		<i>Akebia trifoliata</i>	+
着生植物 (E)	ノ キ シ ノ プ	<i>Lepisorus thunbergianus</i>	+

高尾山の中腹以上で、大木の枯損跡地、崩壊地などの裸地に生じている植物を調査した結果、被度の多い順にあげると樹木では、モミジイチゴ、クサギ、ミズキ、クマノミズキ、タラノキ、ムラサキシキブ、カラスザンショウ、ヤブムラサキ、ニガイチゴ、コウゾ、アカシデ、クマイチゴ、ヤマハギ、イヌシデ、コバノトネリコ、ネムノキ、コウヤボウキ、アカメガシワ、ヤマウルシ、ウロミズザクラなどであり、草本類ではススキ、カラムシなどであった。近い将来こうした陽性の植物の中に、カシ類やモミなどの耐陰性があり大径木となる性質をもった樹木が生じ、互いに競争ししだいにそれらをあつうしていくものと思われる。

高尾山のモミ林は広範囲に分布している。モミは耐陰性のかかなり強いものであるのでモミ林下でも稚樹を生じどんどん成長しているところがある。しかし高尾山では、モミ林下といわずあらゆる森林下にアオキがびっしり生えているので、モミその他の将来の上層林冠を形成しうるような樹種の発芽と生育をそがいしているように思われるところがある。モミの稚樹、幼樹、小径木などが密生し、最もよく生育している地域は頂上から東南面の一帯である。ここはアカマツの老齡林、カツラの造林地、コナラの造林地、クヌギの造林地などに区画されているが、いずれの森林下にもモミがよく生え生育している。特にアカマツ老齡林下ではモミの生育がよく、大きいものは高木層をなし、アカマツの樹冠にせまろうとしているものから、亜高木層をなしているもの、低木層を優占しているもの、地表草本層にあるものなど頻度も高く、複層林をなしている。付近にはモミの大木が点生している。カツラ植栽林下のモミの稚幼樹を調査した結



第33図 モミの稚樹 (コナラ林内, 地形 尾根, 方位 SSW, 傾斜角 26°, 標高 550m)

Fig. 33 Young growth of *Abies firma*.

第53表 モミ稚樹調査表

Table 53. Young growth of *Abies firma*, and cover degree of the plants.

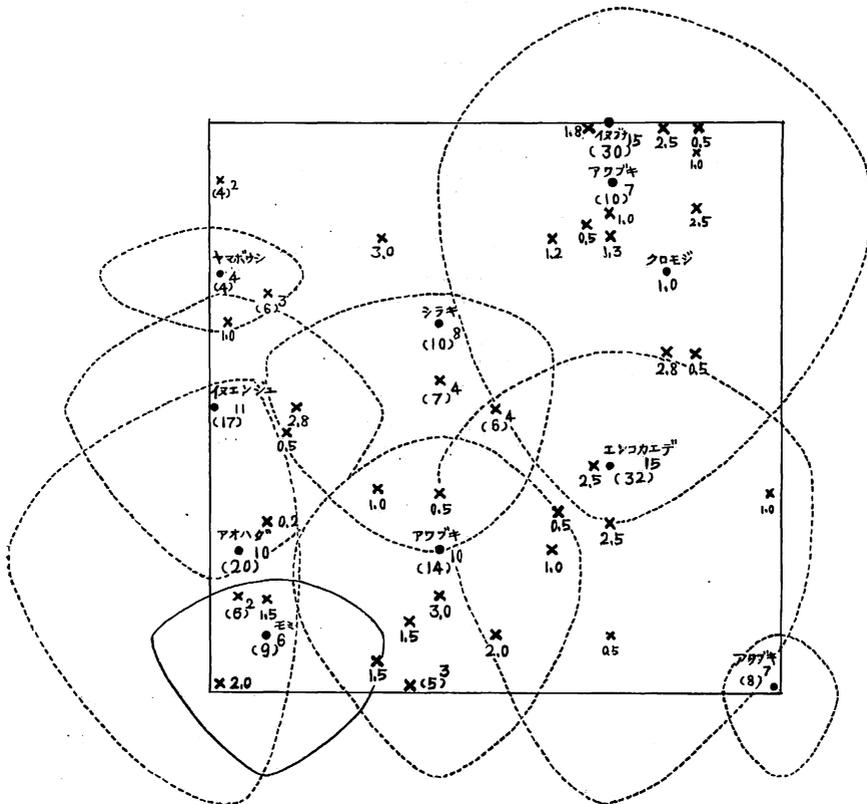
階層 Layer	植 物 Species	名	被 度 Cover degree	
高木層 (AP)	コ ナ ラ	<i>Quercus serrata</i>	3	
亜高木層 (AS)	ア カ マ ツ モ コ ナ ミ コ ナ ミ	<i>Pinus densiflora</i> <i>Abies firma</i> <i>Quercus serrata</i>	+ + +	
低木層 (F)	モ ク ロ モ ミ コ ナ ナ ミ ナ ナ ツ バズ ウ ツ ガ マ ノ ミズ ク バ ノ トネ ウ ヌ ザ シ ヤ マ コ ウ ク ラ サ キ ア カ カ マ イ ヌ エ イ ヌ シ エ コ ウ カ	<i>Abies firma</i> <i>Lindera umbellata</i> <i>Quercus serrata</i> <i>Cornus controversa</i> <i>Abelia spathulata</i> <i>Viburnum dilatatum</i> <i>Cornus controversa</i> <i>Fraxinus lanuginosa</i> var. <i>serrata</i> <i>Deutzia crenata</i> <i>Zanthoxylum schinifolium</i> <i>Lespedeza bicolor</i> f. <i>acutifolia</i> <i>Castanea crenata</i> <i>Carpinus japonica</i> <i>Lindera glauca</i> <i>Callicarpa japonica</i> <i>Pinus densiflora</i> <i>Maackia amurensis</i> var. <i>buergeri</i> <i>Carpinus tshonoskii</i> <i>Acer mono</i> var. <i>marmoratum</i> f. <i>dissectum</i> <i>Lindera obtusiloba</i>	4 2 1 1 1 1 + + + + + + + + + + + +	
	コ ウ ヤ ボ ウ ツ ク バ ネ ウ ス ノ ガ リ ヤ モ ミ ジ イ チ シ ユ ゼ ミ ラ ケ ワ チ デ ミ ザ セ ン ボ ン ヤ ヤ オ プ レ ガ オ オ バ ギ ボ ジ ャ ン ノ ヒ リ カ ト ド ウ ア キ ノ キ ラ タ イ ア ザ チ ゴ ユ	<i>Pertya scandens</i> <i>Abelia spathulata</i> <i>Miscanthus sinensis</i> <i>Calamagrostis arundinacea</i> var. <i>brachytricha</i> <i>Rubus palmatus</i> f. <i>coptophyllus</i> <i>Cymbidium virescens</i> <i>Oplismenus undulatifolius</i> <i>Pteridium aquilinum</i> var. <i>latiusculum</i> <i>Leibnitzia anandria</i> <i>Syneilesis palmata</i> <i>Hosta montana</i> <i>Ophiopogon japonicus</i> <i>Gentiana scabra</i> var. <i>buergeri</i> <i>Lysimachia clethroides</i> <i>Solidago japonica</i> <i>Cirsium comosum</i> var. <i>incomptum</i> <i>Disporum smilacinum</i>	3 1 1 + + + + + + + + + + + + + +	
	つる植物 (L)	ミ ツ バ ア ケ ビ	<i>Akebia trifoliata</i>	+
	着生植物 (E)			なし

果は第32図および第52表のようである。

カツラは昭和4年ころの植栽でやや谷がかった地形に植栽され、調査区の平均胸高直径は19cm、平均樹高は15mであり、最大胸高直径は27cm、最大樹高は18mである。カツラのほか高木層をしているものは植栽のクスギとキハダが少しあるのみである。亜高木層はほとんどなくミズキがわずかに見られるだけである。低木層にはモミが優占し、ほかにガマズミ、ヤマコウバシなどの被度が比較的高く、コナラ、クロモジ、ウツギ、コバノトネリコ、ヤマテリハノイバラ、アブラチャンが点生している。草本層は地面

をはったキツタが優占し、他にマルバウツギ、モミジイチゴ、コウヤボウキ、シロヨメナなどの被度が比較的高く、他にアオキ、コナラ、チヂミザサ、エンコウカエデ、シュンラン、ホオノキ、ハナイカダ、ジャノヒゲ、サイトウガヤ、ケスゲ、タチツボスミレ、オオイトスゲ、リュウノウギクなどが点生している。つる植物の発達は悪く僅少のキツタ、ツルマサキ、ミツバアケビなどが見られる。着生植物はわずかにノキシノブが見られるにすぎない。地形は谷間で土壌はかなり湿っている南面であり、かつ上木が落葉樹である関係で空中湿気は少ないように思われる。この地に沢山生えたモミは樹高が0.3m から2.8m ぐらいで1.5m 以上のものが多い。このすぐ付近にはモミの大木は生じていないが、少しはなれた両側の尾根があったところには沢山のモミの大径木が見られる。このモミの発生は種々の点から推察してみるに、今から10年くらい前にモミの球果の大豊作の年があり、両側の高い木から台風によってこの付近一帯に沢山の種子を散布し、豪雨によってさらに広められ、落葉の下で土壌層まで種子をながし込み、土壌の好条件と相まって翌春の気象状態が種子の発芽に適し、その後の稚苗の成長も順調で今日の状態をなしたものである。ここから東寄り中腹で南南西にむき傾斜角26°あるコナラの植栽林下のモミの稚、幼樹を調査した結果は第33図および第53表のようである。

高木層はコナラである。亜高木層にはアカマツ、モミ、コナラがわずかにある。低木層はモミが優占し、これについてクロモジ、ミズキ、ツクバネウツギ、ガマズミ、コナラなどの被度が比較的高い。その



第34図 モミの稚樹 (ブナ林内、地形 中腹、方位 NW、傾斜角 35°、標高 473m)

Fig. 34 Young growth of *Abies firma*.

第54表 モミ稚樹調査表

Table 54. Young growth of *Abies firma* and cover degree of the plants.

階層 Layer	植 Species	物 名	被 Cover degree						
高木層 (AP)	イ エ	ヌ コ	ブ ウ	ナ カ	エ デ	<i>Fagus japonica</i>	2		
						<i>Acer mono</i> var. <i>marmoratum</i> f. <i>dissectum</i>	2		
	イ ア	ヌ オ	エ ハ	ン ジ	ユ ダ	<i>Maackia amurensis</i> var. <i>buergeri</i>	1		
	ア	ワ	ラ	ブ	キ	<i>Ilex macropoda</i>	1		
	シ					<i>Meliosma myriantha</i>	1		
亜高木層 (AS)	ア	ワ	ブ	キ	<i>Meliosma myriantha</i>	+			
低木層 (F)	モ				ミ	<i>Abies firma</i>	3		
	ア		オ		キ	<i>Aucuba japonica</i>	2		
	ク		ロ	モ	ジ	<i>Lindera umbellata</i>	+		
	コ	ゴ	メ	ウ	ツ	ギ	<i>Stephanandra incisa</i>	+	
	ミ	ヤ	マ	ホ	ウ	ソ	<i>Meliosma tenuis</i>	+	
	ウ	ラ	ジ	ロ	ガ	シ	<i>Quercus salicina</i>	+	
	コ	バ	ノ	ガ	マ	ズ	<i>Viburnum erosum</i>	+	
	ハ	ク	ウ	ン	ボ	ク	<i>Pytrax obassia</i>	+	
草本層 (H)	コ	ウ	ヤ	ボ	ウ	キ	<i>Pertya scandens</i>	1	
	ミ	ヤ	マ	シ	キ	ミ	<i>Skimmia japonica</i>	1	
	ナ	ガ	バ	ノ	コ	ウ	ヤ	<i>Pertya glabrescens</i>	+
	シ	ユ	ン	ラ				<i>Cymbidium virescens</i>	+
	オ	オ	イ	ト	ス	ゲ		<i>Carex sachalinensis</i> var. <i>alterniflora</i>	+
	カ	ン	ア	オ	イ	ナ		<i>Asarum nipponicum</i>	+
	イ	ア	ウ	ブ	キ			<i>Fagus japonica</i>	+
	ア	ジ	ヤ	ノ	ヒ	ゲ		<i>Meliosma myriantha</i>	+
	ジ	カ				ヤ		<i>Ophiopogon japonicus</i>	+
	カ	ヒ	イ	ラ	ギ			<i>Torreya nucifera</i>	+
	ヒ	モ				ミ		<i>Osmanthus ilicifolius</i>	+
	ア					キ		<i>Abies firma</i>	+
	ア		オ			キ		<i>Aucuba japonica</i>	+
	ケ	チ	ヂ	ミ	ザ	サ		<i>Oplismenus undulatifolius</i>	+
	シ	ミ	ジ	イ	チ	ゴ		<i>Rubus palmatus</i> f. <i>coptophyllus</i>	+
			ラ		キ		<i>Sapium japonicum</i>	+	
つる植物 (L)	テ	イ	カ	カ	ズ	ラ	<i>Trachelospermum asiaticum</i> var. <i>intermedium</i>	+	
着生植物 (E)								なし	

ほかクマノミズキ、コバノトネリコ、ウツギ、イヌザンショウ、ヤマハギ、クリ、クマシデ、ヤマコウバシ、ムラサキシキブ、アカマツ、イヌエンジュ、イヌシデ、エンコウカエデ、ダンコウバイなどがわずかに見られる。草本層ではコウヤボウキの被度が最も高く、ついでツクパネウツギ、ススキである。そのほかサイトウガヤ、モミジイチゴ、シュンラン、チヂミザサ、ワラビ、センボンヤリ、ヤブレガサ、オオバギボウシ、リュウノヒゲ、リンドウ、オカトラノオ、アキノキリンソウ、タイアザミ、チゴユリなどが点生している。つる植物はミツバアケビがわずかに見られるのみである。着生植物はない。このコナラ植栽林下のモミの稚、幼樹の発生と成長を考察してみたいと思う。

ここに生えているモミの稚幼樹は30cm くらいのももあるが、大部分のものは1.5~2mの高さがある。前述のカツラ植栽林と同様、いろいろの好条件が重なりモミがいつせいに発芽し、成長したものである。カツラ林下にくらべると平均して樹高が低いこれは土壤条件の差であり、発芽年代は同じであろうと思う。つぎに仏舎利塔下部の方位北西、中腹、傾斜角35°の落葉広葉樹からなる天然林下のモミの稚、幼樹の調査を行なった結果は第34図および第54表のようである。

高木層はイヌブナ、エンコウカエデ、イヌエンジュ、アオハダ、アワブキなどの落葉広葉樹からなり、このうち被度はエンコウカエデ、イヌブナが高い。亜高木層にはシラキ、ヤマボウシ、アワブキなどが少しく見られる。低木層はモミの被度が最も高く、ついでアオキであり、そのほかクロモジ、コゴメウツギ、ミヤマハウソ、コバノガマズミ、ハクウンボク、ウラジロガシなどが点生している。低木層はミヤマシキミ、コウヤボウキの被度がやや高く、ほかにナガバノコウヤボウキ、シュンラン、オオイトスゲ、カンアオイ、イヌブナ、アワブキ、ジャノヒゲ、カヤ、ヒイラギ、モミ、アオキ、チヂミザサ、モミジイチゴ、シラキなどが少しく見られる。つる植物はわずかにテイカカズラが見られるのみで着生植物はない。

この地のモミはさきへのべた2か所の調査地とは条件がかなりことなっている。ここからあまり遠く離れていないところにモミの大径木が沢山あり、モミの種子の散布をうけるチャンスは数多くあると思う。そのうえ土壌は軽しゅうであり、上木は落葉広葉樹の疎林であり、ともにモミの発芽と生育には好条件である。だから、この調査地に引きつづいた同一林相の林下には、かなり広い面積に数多いモミがいっせいに生育している。遠からずこの落葉広葉樹林の一部はモミにあっとうされ、その様相を一変し、モミを主としその一部に落葉広葉樹と僅少のカシ類を交じえた林となるものと推察される。

要するに現在高尾山のモミ林はかなり広大な面積を占めているが、その一部は虫害や老衰で枯死するであろうが、後継のモミはいたるところに生じどんどん生育しているので、将来は今より以上にモミ天然林の面積は広がり長く繁栄するものと思われる。

〔附 録〕 高尾山主要樹種別の大木

高尾山に自生するものまたは植栽されている主要樹木の最大胸高直径と最大樹高を樹種別にあげると次のようである。

ただし、この目的のため高尾全山にある樹木を1本1本あつめたのではないので、ここにとりあげたものの以上の大木がほかにもあるかもわからない。また直径の最大のものが必ずしも樹高が最大とは限らないので、ここでは直径と樹高を切り離して各種ごとに直径の最大のものと樹高の最大のものをあげた。

	樹 種	大		備 考		樹 種	大		備 考
		胸高直径	最大樹高				胸高直径	最大樹高	
針 葉 樹	スギ	225cm	55m	植栽	落 葉 広 葉 樹	トチノキ	162cm	31m	天然生
	モミ	146	47	天然生		ケヤキ	146	32	〃
	アカマツ	120	41	〃		コナラ	111	29	〃
	カヤ	91	21	〃		ブナ	100	25	〃
	クロマツ	80	39	〃		イヌブナ	95	23	〃
	ヒノキ	70	27	植栽		ヤマザクラ	86	20	〃
							ハリギリ	82	24
常 緑 広 葉 樹	アカガシ	187	22	天然生	イロハモミジ	75	20	〃	
	ウラジロガシ	146	22	〃	イヌシデ	70	20	〃	
	スダジイ	68	21	〃	アサダ	70	20	〃	
	オオツクバネガシ	61	20	〃	メグスリノキ	67	18	〃	
	アラカシ	54	22	〃	ホオノキ	61	22	〃	
					ヨグソミネバリ	56	18	〃	
				カゴノキ	110	17	〃		
				エゾエノキ	42	20	〃		

IX. 高尾山およびその周辺に自生する高等植物の分布概説

植物の分布には2つの型がある。その1つは気候との関連が強く、同じ気候の地域に広く分布している種類がある。いま1つは気候との関連があっても、それよりも生育する地域の地史とより密接に結びつきのある種類である。この2つの型の間さまざな中間的なものがあり、はっきりしないものが多いが、大ざっぱにわけると気候型と地史型の2つの分布型に分けることができる。気候型に属する植物はその種類が多く、地史型に属するものはその種類が少ない。気候型のうちでは気温が最も植物の分布に関係が深い。特にシダ植物は温度に支配されることが多いようである。また降水量(含む積雪)の総量は植物の分布に大きな影響を与えることはもちろんであるが、日本のように年間降水量の総量が1,000mm以下のところがほとんどない国では、その総量よりも降水の配布(配分)状態のほうが一層関係が深いようである。日本海側と太平洋側とでは、植物の種類が著しく違うのは気温の状態の差異もあるが、降水の配布状態のちがいが大きく影響しているものと思われる。

上述のように高尾山の気温や降水量については、山に観測所がないのははっきりしたことはわからない。山麓から東北にやく3kmの位置にある浅川実験林には観測設備がある。ここで観測した昭和2年から昭和34年までの33年間の観測値によると平均気温は13.4°C、降水量の年平均は1,856.2mmである。また気温の高の極は36.4°C、低の極は-10.6°Cである。この観測所は海拔約184mのところであり、高尾山麓とは気温も大体同じくらいと思われる。ケーブルやリフトの終点は海拔およそ450m、頂上は海拔603mの高さにあり、かつ北からの寒風をまともに受けるので冬はかなり温度がさがるとと思われる。浅川実験林の本年度の最低気温は1月21日の-9.3°Cであったが、高尾山頂ではこの時おそらく-12~-13°Cにさがったものと思われる。反対に真夏でも山頂は温度低く非常に涼しい。降水量は山麓では大した差はなく、山頂付近ではいくぶん多いと思われる。冬山麓が雨のときでも山頂付近では雪となることが多い。積雪量は山麓よりかなり多い。こうした気候ごとに気温の状態は南面および東面では暖地性植物の生育に適し、また北面や山頂付近では寒地性植物の生育も許しうる。だから高尾山の自生植物を大観すると、暖地性植物はもちろん多いが、また寒地性植物もかなり見られる。

高尾山とその周辺に産する高等植物の総数は153科、1,596種類である。これらの植物を暖地性植物と寒地性植物とに分け、その主なるものをあげると次のようである。

1. 暖地性植物要素

ここにいう暖地性植物要素とは日本の中央部の南部以西、近畿、中国、四国、九州(各高地を除く)の各地方、あるいはそれ以南の暖地に分布の本拠をおく植物をいい、高尾山およびその周辺ではその数はかなり多い。そのおもなるものをあげると次のようである。

i. 木 本 類

イヌガヤ、カヤ、ハリモミ、ツガ、ゴゴメヤナギ、スダジイ、アカガシ、ツクバネガシ、シラカシ、ウラジロガシ、アラカン、クスギ、イチイガシ、エノキ、ムクノキ、イタビカズラ、マツグミ、オオバウマノスズクサ、ツヅラフジ、シキミ、ピナンカズラ、カゴノキ、ヤマコウバシ、ダンコウバイ、タブノキ、シロダモ、ガクウツギ、オオフジイバラ、テリハノイバラ、フユイチゴ、ミヤマフユイチゴ、イヌザクラ、リンボク、エドヒガン、クサボケ、ネムノキ、フジキ、ユクノキ、キハギ、ジャケツイバラ、カラスザンショウ、ミヤマシキミ、ニガキ、ツゲ、コクサギ、アカメガシワ、ゴンズイ、シラキ、ケンボナシ、

マユミ、ムクロジ、ウラジロマタタビ、サカキ、ヤブツバキ、ヒサカキ、イイギリ、コガンビ、ミヤマウコギ、アオキ、キツタ、クミノミズキ、ツルグミ、イワナンテン、アセビ、シナノガキ、タンナサワフタギ、オオバアサガラ、マンリョウ、ヒイラギ、テイカカズラ、キジョラン、ヤブムラサキ、テリハコバノガマズミ、ゴマギ、ナガバノコウヤボウキ。

ii. 草 本 類

スギラン、カタヒバ、オオバヤシャゼンマイ、カニクサ、コシダ、ウラジロ、ホソバコケシノブ、アオホラゴケ、ハイホラゴケ、フモトシダ、オオバノイノモトソウ、アまくサシダ、イワガネソウ、イノモトソウ、タチシノブ、ハコネシダ、オオバノハチジョウシダ、ホラシノブ、セイタカシケシダ、シロヤマシダ、ホソバイヌワラビ、シケシダ、ベニシダ、トウゴクシダ、オオベニシダ、ヒメイタチシダ、サイコクベニシダ、マルバベニシダ、ヒロハイスワラビ、シケチシダ、キヨスミヒメワラビ、イブキシダ、ハシゴシダ、ホシダ、ヤワラシダ、エビラシダ、ヘラシダ、ハカタシダ、オニカナワラビ、オニイノデ、カタイノデ、サイコクイノデ、イノデモドキ、アカメイノデ、ツヤナシイノデ、ヒメカナワラビ、オオキヨズミシダ、チャボイノデ、ドウリョウイノデ、ハコネイノデ、オンガタイノデ、コモチシダ、コバノヒノキシダ、マメヅタ、クリハラン、サジラン、ナガバヤブマオ、ヒメウワバミソウ、マルミヤマゴボウ、ヒメウズ、シギンカラマツ、オノマンネングサ、マルバマンネングサ、ヨゴレネコノメ、ヤシウネコノメ、コミヤマスマレ、ナガバノスマレサイシン、フモトスマレ、ハナビゼリ、オオバチドメグサ、チドメグサ、コナスビ、サワリソウ、オオルリソウ、ヤマルリソウ、シモバシラ、タニジャコウソウ、レモンエゴマ、トラノオジソ、オカタツナミソウ、コバノタツナミソウ、ミヤマナミキ、ハグロソウ、キツネノマゴ、イナモリソウ、カラスウリ、キカラスウリ、ツルギキョウ、ヒメガンクビソウ、トキンソウ、シュウブンソウ、テバコモミジガサ、ササクサ、イトハナビテンツキ、ヤマオオイトスゲ、ケスゲ、モエギスゲ、ウバユリ、ヤマラッキョウ、ヒオウギ、ムギラン、マヤラン、セッコク、ベニカヤラン、フウラン、ヨウラクラン、カヤラン、クモラン、ヒトツボクロ。

2. 寒地性植物要素

本州の北部から北海道またはそれより以北の寒地に分布の本拠をもつ植物をいい、高尾山ならびにその周辺では暖地性植物要素よりその数は幾分少ないがかなりある。そのおもなものをあげると次のようである。

i. 木 本 類

オノエヤナギ、ヤマネコヤナギ、サワグルミ、ケヤマハンノキ、サワシバ、ブナ、ミズナラ、エゾエノキ、ハルニレ、カツラ、ホオノキ、チョウジザクラ、カスミザクラ、イヌエンジュ、エゾヤマハギ、キハダ、オニイタヤ、ヒトツバカエデ、メグスリノキ、トチノキ、シナノキ、サルナシ、マタタビ、タラノキ、ハリギリ、ミヤマイボタなど。

ii. 草 本 類

ヒロハハナヤスリ、カラクサシダ、イワデンダ、フクロシダ、ジュウモンジシダ、ミヤマシダ、ナライシダ、シノブカグマ、オシダ、ミヤマワラビ、ホソイノデ、カラハナソウ、トキホコリ、オオヤマフスマ、ワダソウ、ワチガイソウ、フクジュソウ、アズマイチゲ、レンゲショウマ、オオバショウマ、トウゴクサバノオ、ルイヨウボタン、チョウセンキンミズヒキ、ミツモトソウ、マルミノウルシ、イブキシミレ、シャクジョウソウ、クサレダマ、オオキヌタソウ、ハシリドコロ、レンプクソウ、フクシマシャジ

ン、ソバナ、タニギキョウ、シデシャジン、オクモミジハグマ、ヤマハハコ、タマブキ、ノッポロガンクビソウ、オオガンクビソウ、マルバダケブキ、メタカラコウ、ヒメヒゴタイ、ハンゴンソウ、コウリンカ、オヤマボクチ、キクアザミ、アオヤギソウ、ユキザサ、カキラン、サカネランなどである。

3. 固有植物

これは1地方、1地域または1地区のみに自生し、他の場所には分布しない植物をいう。現在固有植物と思われるものでも、各地のフロラの調査がすすめば固有でなくなるものもでてくる。

高尾山およびその周辺に自生する高等植物のうちで、この地区に固有と思われる種類は少ない。そのおもなものをあげると次のようである。

1. アズマナシ *Pyrus kunoriana* KOIDZ.
2. タルミヤシャブシ *Alnus peculiaris* HIYAMA
3. ケタニタデ *Circaea dubia* HARA var. *makinoi* HARA
4. タカオワニグチソウ *Polygonatum desoulavyi* KOMAR. var. *azegamii* OHWI
5. ウチダシナガバノコウヤボウキ *Pertya glabrescens* SCHULTZ-BIPONTINUS f. *impressa* HARA
6. ヨコヤマタツノヒゲ *Diarrhena japonica* FR. et SAV. f. *musashiensis* HIYAMA
7. ミドリヒメフタバラン *Listera shikokiana* MAKINO f. *viridis* HIYAMA
8. シロバナオカタツナミソウ *Scutellaria brachyspica* NAKAI et HARA f. *albiflora* HAYASHI et
KOBAYASHI-YOSHIO
9. ホソバノミミガタテンナンショウ *Arisaema limbatum* NAKAI et F. MAEKAWA f. *angustifolium* HAYASHI
10. ヤエキツネノカミソリ *Lycoris sanguinea* MAXIM. f. *plena* YAMAZAKI
11. ベニガクウツギ *Hydrangea scandens* SERINGE f. *rosea* HIYAMA
12. タカオヤブマオ *Boehmeria sieboldiana* BL. f. *decomposita* HIYAMA
13. キイロミミガタテンナンショウ *Arisaema limbatum* NAKAI et F. MAEKAWA f. *viridiflavum*
HAYASHI
14. ミドリミツバウツギ *Staphylea bumalda* DC. f. *kobotokensis* HAYASHI
15. ムラサキイチリンソウ *Anemone nikoensis* MAXIM. f. *violacea* HAYASHI
16. オオバナハンショウズル *Clematis japonica* THUNB. f. *grandiflora* HAYASHI
17. タカオコバノガマズミ *Viburnum erosum* THUNB. f. *aurantiacum* HAYASHI

などである。

X. 高尾山およびその周辺を原産地 (Type-locality) とする高等植物 (発表年代順)

1. 既発表の植物

- (1) ヤグルマカエデ *Acer pictum* THUNB. var. *dissectum* WESMAEL subvar. *subtrifidum*
MAKINO カエデ科, 植物学雑誌 18: 114 (1904)

牧野富太郎博士が1903年11月高尾山にて発見命名したものである。これは小木について発表されたもので、ウラゲエンコウカエデに似て、裂片は全縁あるいは1~2大歯牙がある。最近では若木のみに見られる形として区別しないこともある。しかし大木の成形葉になっても葉が中裂して、そのうえ裂片にはつき

りした歯牙が出るものもあるから品種として区別すべきであると思う。高尾山にもこの型の大木がある。学名は *A. mono* MAXIM. var. *connivens* HARA f. *subtrifidum* REHDER となる。

(2) シロミノアオキ *Aucuba japonica* THUNB. var. *leucocarpa* MATSUM. et. NAKAI ミズキ科、植物学雑誌 22: 152 (1908)

中井猛之進博士が高尾山中にて発見し、松村任三博士と共同で命名発表されたものである。のちに久内清孝氏は高尾山にて採集したシロミノアオキを栽培して、その花が緑花であることを知り、中井博士に相談されたので中井博士は植物研究雑誌 11: 530 (1935) に追加の記相文を発表されている。牧野富太郎博士はアオキの緑花品にアオバナアオキ *Aucuba japonica* THUNB. f. *viridiflora* MAKINO なる品種を発表しておられる。〔植物研究雑誌 1: 17 (1917)〕これは久内清孝氏が箱根湯本にて採集された雄本？である。しかし、原 寛博士は日本種子植物集覧 III—331 (1954) でアオバナアオキの学名を起用してシロミノアオキの学名をその異名とされている。林の観察によると、シロミノアオキの花は緑花である。しかし緑花のものが必ずシロミノアオキであるとはかぎらない。緑花のアオキで果実は赤色になるものが多い。また紫褐色花と緑花の間色色のものもある。本書にてはシロミノアオキを品種としてあつかい *A. japonica* THUNB. f. *leucocarpa* OHWI を採用した。

(3) タカオヒゴタイ *Saussurea sinuata* KOMAR. f. *japonica* NAKAI キク科、植物学雑誌 23: 192 (1909)

舟橋氏が高尾山で採集され、中井博士によって命名発表されたものであるが、その後植物学雑誌 29: 197 (1915) において種に引きあげ、*S. sinuatoides* NAKAI と改められた。

茎は細く、高さ 35~60cm で毛がある。下部の葉は広卵形または卵形で長さ 7~11cm、深く大きく波状に湾入し、不整の歯牙がある。質は薄く両面に短軟毛がある。9~10月ころ頭花はまばらな散房状につき、花冠は帯紫色長さ 13~14mm、総苞には密に蜘蛛毛があり、総苞片は皮針形で上半は反曲する。関東西南部に分布する。裏高尾縦走路から恩方地区方面の尾根にはオンガタヒゴタイ *Saussurea* × *satowi* KITAMURA というタカオヒゴタイとセイタカトウヒレンの雑種がある。これは佐藤達夫氏が元恩方村において 1934 年にはじめて採集されたものである。これは頭花の形状と葉が茎に沿下する性質はセイタカトウヒレンに似ているが、葉の形状特に湾入欠刻のあるところと頭花に灰白色の綿毛のあるのはタカオヒゴタイに似ている。

(4) キランニシキゴロモ *Ajuga bastarda* MAKINO — *A. decumbens* THUNB. × *A. yezoensis* MAXIM. シソ科、植物学雑誌 26: 175 (1912)

1912年5月5日に牧野富太郎博士が高尾山で、はじめて採集され、茎および花の色はキランソウに似るが、葉の形、色、そしてきめのようすはニシキゴロモに似ているのでキランソウとニシキゴロモとの中間種として発表された。当時ニシキゴロモとしてあつかわれた高尾山産のものは、前年に中井博士が変種として発表されたツクバキンモンソウにあたる。

(5) アコモヤマスマレ *Viola maximowicziana* MAKINO f. *rubescens* MAKINO スミレ科、植物学雑誌 26: 151 (1912)

コモヤマスマレは高尾山では谷添いの林下にたくさん見られるが、これらに混じって葉、特に葉裏が暗赤色を帯びるものがあり、牧野博士が高尾山で採集されたものをタイプとして発表されたものである。

(6) ヤマミゾソバ *Polygonum thunbergii* SIEB. & ZUCC. var. *oreophilum* MAKINO タデ科、

植物学雑誌 27: 251 (1913)

牧野富太郎博士はじめて高尾山で採集発表されたものである。山地の樹下に生える陰地植物で、全体に刺も毛も少なく、莖は直立しないで、葉身は幅が広く左右の裂片の上でくびれない。また葉柄に翼が出ないことなどで、ミゾソバの変種とされていたが、松山庫三氏はヤマミゾソバの小堅果は著しい光沢があり、形もミゾソバよりいっそう円味が灰色が掛かっているという理由で、独立種 *Persicaria oreophila* HIYAMA とした。本州の福島県から関東地方、東海地方に分布する。

(7) レモンエゴマ *Perilla ocimoides* LINN. f. *citriodora* MAKINO シソ科, 植物学雑誌 28:180(1914)

高尾山において1913年にはじめて牧野富太郎博士によって採集されたが、その後本州(金華山以南の太平洋側)、四国、九州に分布することが知られている。エゴマに似ているが、レモンよりの芳香がある。莖は高さ20~70cmで短軟毛をやや多く密生している。葉の下面に腺点があり、脈上には長軟毛および細毛がある。8~10月ころ多数の花をつけた花穂を出し、のちに伸長して長さ10~18cmに達し、がくは果時に長さ6~8mmで、分果の径は1.2~1.5mmである。学名は現在 *Perilla frutescens* BRITT. var. *citriodora* OHWI が用いられている。

(8) ヤブザクラ *Prunus incisa* THUNB. var. *tomentosa* G. KOIDZUMI バラ科, 植物学雑誌 29: 314 (1915)

1910年4月小泉源一博士が高尾山で採集されたものが基準標本であるが、久内清孝氏も1915年4月横浜市立野町で採集し、これにヤブザクラなる和名を与え、小泉博士のもとに送られたので上記のような名で発表され、その後1937年になって、久内清孝氏はマメザクラに似るものがく片に必ず鋸歯が出ることははっきりした区別点であるといわれ、また花柱に散生毛が出たり、萼筒が短く基部がふくれたり、また大きい葉が出たり、花がやや大きいなどの理由で種に引き上げられ、学名は *Prunus hisauchiana* G. KOIDZUMI と変更された。しかし当初区別点としていた花梗の毛は普通のマメザクラより多いが大したことではないと久内氏のものべておられる。高尾山、南高尾などの林中にまれに見られ、梅ノ木国有林の沢添いの道には数本並んで生えているところがある。

(9) ノコギリバノマメザクラ *Prunus incisa* THUNB. var. *serrata* G. KOIDZUMI バラ科, 植物学雑誌 29: 314 (1915)

箱根山および高尾山で採集された葉の鋸歯が長く鋭いものであるが、現今ではとくに区別し記載している学者はほとんどない。

(10) サツキヒナノウスツボ *Scrophularia musashiensis* BONATI ゴマノハグサ科, Bull. Soc. Bot. France LVIII: 520 (1911)。植物学雑誌 30: 110 (1916)

樹林下に4~5月ころ黒紫色のだるま状つぼ形の小花を長い柄の先につける多年草で、莖は4稜あり高さ40~80cmに達する。葉は卵形または卵状長円形で辺縁には重きよ歯があり葉質は薄い。関東西部にのみ産し、学名のもとになった産地は詳しい説明がなされていないが、高尾山であろうといわれている。和名は古海正福氏の命名されたものである。

(11) トラノオジソ *Perilla hirtella* NAKAI シソ科, 植物学雑誌 31: 286 (1917)

中井猛之進博士が高尾山で発見命名されたが、学名はのちに *P. frutescens* BRITTON var. *hirtella* MAKINO et NEMOTO と変更された。シソに似たかおりがある。レモンエゴマより葉はやや狭く、莖には粗毛が散生し、包は緑色をおびる。花はレモンエゴマより時季がおくれて咲き、花は小形で、花序は細

長い穂状である。がくは花時 2～3 mm で小さい。本州、四国、そして中国中部に分布する。

- (12) シロバナオオバジャノヒゲ *Ophiopogon wallichianus* HOOK. fil. var. *leucanthus* MAKINO
ユリ科, 植物研究雑誌 II-3: 12 (1919)

牧野富太郎博士が高尾山で発見されたオオバジャノヒゲの純白花品であって、高尾山およびその付近の山地に見られるが数量は少ない。学名は奥山春季氏により *O. planiscapus* NAKAI f. *leucanthus* OKU-YAMA と品種に改められた。

- (13) オオツクバネガシ *Quercus takaoyamensis* MAKINO ブナ科; 植物研究雑誌 II-4: 13 (1920)

関東以西のアカガシとツクバネガシの混生地帯では、その間種とおもわれる種々の中間的形質を現わしたものがみられる。久内清孝氏および牧野富太郎博士が高尾山で発見し、牧野博士によってオオツクバネガシと命名、発表されたものもその一型と思われ、その Type tree といわれているものが表参道脇に現在も生存している。葉形はツクバネガシに近くて葉の先端近くに少数の鋸歯があり、葉が大形でやや厚く、柄が少し長い点はアカガシの性質も出ている。

- (14) シタキツルウメドキ (オオツルウメドキ) *Celastrus articulatus* THUNB. var. *stephanotiifolius* MAKINO ニシキギ科, 植物研究雑誌 III-6: 24 (1926)

1926 年牧野富太郎博士が高尾山で採集し、発表されたもので、同年の12月に同誌 III-12: 46 (1926) において *C. stephanotiifolius* MAKINO として種に引上げられた。葉はガガイモ科のシタキノウを思わせる形をしているので上記の和名がつけられ、広だ円形またはだ円形、ときにはやや円形または卵円形をなし、下面の中肋および脈上に短立毛を密生する。このものは牧野博士が先に植物学雑誌 7: 102 (1893) に発表されたオオツルウメドキ *C. articulatus* THUNB. var. *pubescens* MAKINO と同じである。本州の関東以西、四国、九州、南朝鮮にまれに産する。

- (15) ホシザキイナモリソウ *Pseudopyxis depressa* MIQ. var. *angustiloba* MAKINO アカネ科,
植物研究雑誌 III-6: 24 (1926)

イナモリソウの花冠片が 6～7 裂片あり、裂片は狭くて、辺縁がまくれている。牧野富太郎博士が高尾山で採集したものについて発表された。のちに原 寛博士はこれを品種とされ、f. *angustiloba* (MAKINO) HARA と改めた。

- (16) フイリイナモリソウ *Pseudopyxis depressa* MIQ. var. *variegata* MAKINO アカネ科, 植物研究雑誌 III-6: 24 (1926)

高尾山で牧野富太郎博士が採集され、発表されたものである。これはイナモリソウの葉の表面に淡色の模様のはいたものである。現在高尾山では樹林下にフイリ品のみで群落をなしているところのみみられる。学名は原 寛博士によって f. *variegata* (MAKINO) HARA と改められた。

- (17) ミヤマクマザサ *Sasa hayatae* MAKINO イネ科, 植物研究雑誌 III-4: 16 (1926)

牧野富太郎博士が高尾山で採集され、新種として発表されたもので、種名は当時の東京大学教授早田文蔵博士を記念して献名されたものである。稈は直生して、上部は分枝し、枝は各節に単立する。葉は長だ円状皮針形または皮針形、鋭尖頭、鈍脚にして上面は無毛、下面に毛を散生する。葉柄は短く基部に毛を密生する。葉鞘ははじめ有毛、のち無毛となり、冬期には葉縁がやや白くふちどられる。高尾山真近くにある。東京都のほか静岡県にも分布している。

- (18) タカオホオズキ *Physaliastrum kimurai* MAKINO ナス科, 植物研究雑誌 III-10, 37 (1926)

アオホオズキに似て果実が球形のものを1962年10月24日高尾山にて木村康一博士が採集された。これに牧野富太郎博士がタカオホオズキと命名され、発表した。のちに大井次郎博士はこれをアオホオズキの品種として *P. Savatieri* MAKINO f. *kimurai* OHWI と改められた。しかし、高尾山でもまれに見られるのみである。なお、丹沢山山集の札掛、塔ヶ岳方面にも稀産する。

(19) タカオホロシ *Solanum takaoyamense* MAKINO ナス科, 植物研究雑誌 III-10: 38 (1926)

ヤマホロシに似て葉に牙齒があり、果実は広だ円形のものを牧野富太郎博士が高尾山で採集され、命名発表された。のちに原 寛博士はヤマホロシの変種として *S. japonense* NAKAI var. *takaoyamense* HARA と学名を改められた。高尾山ではまれに見られるにすぎない。なお、伊豆天城山や東京都下の他山にもある。

(20) タカオスマレ *Viola yesoensis* MAXIM. var. *discolor* NAKAI スミレ科, 植物学雑誌 42: 588 (1928)

小泉秀雄氏が高尾山で採集された葉裏の赤褐色なるヒカゲスマレの1変種であるが、松山庫三氏は後に品種 f. *discolor* HIYAMA に改められた。中井猛之進博士の発表文のなかにも「今は現場は荒されて見るかげもなし」とあるが、その後だれも採集したということを開いていない。しかし、スマレの研究をしておられる国立科学博物館伊藤栄子氏の話では、軽井沢などで葉裏の赤褐色なるヒカゲスマレ、すなわちタカオスマレを見ているとのことである。葉表面の赤褐色によごれるハグロスミレは高尾山および付近に沢山ある。

(21) タカオシケチシダ *Cornopteris musashiensis* NAKAI オシダ科, 植物学雑誌 44: 8 (1930)

1930年中井猛之進博士はシケチシダ属を新設され、このとき高尾山で採集された新種タカオシケチシダを発表された。シケチシダとは葉裏の脈上、羽軸等に軟毛があるので区別できる。1938年伊藤 洋博士はシケチシダの変種として *C. decurrenti-alata* NAKAI var. *pilosella* H. ITO と学名を改められた。高尾山では主として南面のピワ滝道に生ずる。

(22) ウスゲスビトハギ *Desmodium podocarpum* DC. var. *glabrieus* NAKAI マメ科, 植物学雑誌 44: 36 (1930)

マルバヌスビトハギに似て茎葉に毛が少なく、茎はほとんど無毛のもので、松村任三博士がかつて高尾山で採集された標本を Type として中井博士が発表されたものである。のちに松山庫三氏は学名を *D. racemosum* DC. var. *villosum* OHWI f. *glabrieus* HIYAMA と改められた。

(23) アサカワソウ *Festuca musashiensis* HONDA イネ科, Monogr. Poac. Jap. 47 (1930)

1928年久内清孝氏が採集されたものを本田正次博士が新種とし、和名も当時の町名からアサカワソウと命名、発表された。自生品はなく栽植されたものばかりであって、葉が細長く糸状で、株をなしたところが美しいので、高尾山麓の一部の民家には現在も栽植されている。オオウシノケグサに似ていて、緑色無毛であって、線状皮針形の円錐花序をつけ、小穂は細い。包穎および護穎の辺縁は有毛である。大井次郎博士はオオウシノケグサの変種として学名を *F. rubra* LINN. var. *musashiensis* OHWI と改められた。この草がどこからだれがもってきたものか、あるいはどういう経路をへてこの地に野化したものか不明である。

(24) アズマナシ *Pyrus kunoriana* KOIDZ. ナシ科, 植物分類, 地理 3: 39 (1934)

昭和8年12月4日九里聰雄氏によって小仏峠において発見されたもので、学名は同氏を記念してつけら

れた。その木は現在なお残っている。枝は黒色あるいは褐黒色で無毛、葉は割合にうすく、卵形または卵円形を呈し、たいらに平臥した小鋸歯があり、その先端は針状となる。急鋭尖頭、円脚で長さ8~11.5 cm、幅5~7.5cmほどである。果実はやや球形である。

(25) タカオスゲ *Carex musashiensis* OHWI スゲ科, Cyp. Jap. I : 512 (1936)

ナルコスゲとアゼスゲの天然雑種であって、南高尾で T. SUTO 氏が採集し、大井次三郎博士が命名発表された。現在も梅ノ木平から峯の薬師に行く途中の小川の縁などに見られる。秋山茂雄博士はタカオスゲをシャリスゲの変種 *Carex sharensis* FRANCH. var. *musashiensis* AKIY. としている。また、本種をナルコスゲとヤマアゼスゲの天然雑種だろうとっている人もある。

(26) タカオミサキカグマ *Dryopteris chinensis* KOIDZ. var. *takaoyamensis* H. ITO オシダ科, 植物学雑誌 50 : 38 (1936)

1909年高尾山中井猛之進博士が採集された標本にもとづいて、伊藤 洋博士が発表されたもので、ミサキカグマとは、羽片が長だ円形で卵状三角形でなく、小羽片は線形または長だ円形なる点で区別されたが、その後サクライカグマ *D. gymnophylla* C. CHR. の異名とされ、これを区別しなくなった。

(27) ヒイラギイヌシデ *Carpinus tschonokii* MAXIM. lus. *incisa* INOKUMA カバノキ科, 東京大学農学部演習林報告 25 : 23 (1937)

イヌシデの枝変わりであって、下葉は普通葉にちかいが、上位の葉は狭長だ円形で、羽状にせん裂するもので、元八王子で採集され、猪熊東大名誉教授によって命名、発表されたものである。

(28) ナガホハナタデ *Persicaria yokusaiana* NAKAI var. *laxiflora* HARA タデ科, 植物研究雑誌, 17 : 338 (1941)

中井猛之進博士は1913年10月27日に高尾山で採集されたものを Type として、*Persicaria posumba* var. *laxiflora* NAKAI, in Rep. Veg. Quelp. 41 (1914) なる学名をつけられた。しかしこのものは裸名であったので原 寛博士が上記の変種名とともに正式に記載文をのせ発表された。その後松山庫三氏は品種としてあつかい、*P. yokusaiana* f. *laxiflora* HIYAMA に改められた。ナガホハナタデは北海道より九州まで広く分布し、台湾、朝鮮、満州にまでおよび、ハナタデより穂の花が隔たってまばらにつくものである。

(29) ウチダシナガバノコウヤボウキ *Pertya glabrescens* SCHULTZ-BIPONTINUS var. *impressa* HONDA キク科, 植物学雑誌 59 : 16 (1946)

本田正次博士が旧浅川町上栲田の山林において見出されたナガバノコウヤボウキの葉脈が上面から下面に向かって強く打ち出されたものである。学名はのちに原 寛博士により品種とされ、*P. glabrescens* f. *impressa* HARA に改められた。

(30) トガリシオデ *Smilax higoensis* MIQ. var. *maximowiczii* KITAGAWA f. *acuta* HIYAMA ユリ科, 植物研究雑誌 26 : 156 (1951)

シオデの果実の先のとがるもので、松山庫三氏が景信山で採集し、命名された。学名は *S. riparia* A. DC. var. *ussuriensis* HARA et T. KOYAMA f. *acuta* (HIYAMA) KOBAYASHI-YOSHIO comb. nov. と新しく組み合わせる。

(31) ヨコヤマタツノヒゲ *Diarrhena japonica* FR. et SAV. f. *musashiensis* HIYAMA イネ科, 植物研究雑誌 28 : 218 (1953)

タツノヒゲの *Palea* 竜骨は一般に無毛平滑であるが、浅川実験林内には竜骨上に微細な刺状睫毛があってざらつくものがある。小林が発見し、松山庫三氏により命名、発表されたものである。和名は当時の村名である横山村にもとづいて命名された。

- (32) ミドリヒメフタバラン *Listera shikokiana* MAKINO f. *viridis* HIYAMA ラン科, 植物研究雑誌 28: 152 (1953)

ヒメフタバランは一名ムラサキフタバランといわれているが、浅川実験林にはこれらに混じて全株緑色のものがある。小林によって発見され、松山庫三氏が品種として命名発表された。学名は *L. japonica* を起用するならば新しい組合せが必要であり、*Listera japonica* BLUME f. *viridis* (HIYAMA) KOBAYASHI-YOSHIO comb. nov. とする。

- (33) アツカワザンショウ *Zanthoxylum piperitum* A.P. DE CANDOLLE f. *corticolum* KUSAKA ミカン科, 林業試験場研究報告 58: 43 (1953)

ザンショウの樹皮の性質には2型あることを草下正夫氏は旧横山村産のものについて発表された。その1つコルク層が全面に発達したものをアツカワザンショウという。次のイボザンショウは樹皮のコルク層がいぼ状になっているものである。

- (34) イボザンショウ *Zanthoxylum piperitum* A.P. DE CANDOLLE f. *verrucatum* KUSAKA ミカン科, 林業試験場研究報告 58: 44 (1953)

- (35) ヒロハヤブムラサキ *Callicarpa mollis* SIEB. et ZUCC. f. *latifolia* KUSAKA クマツヅラ科, 林業試験場研究報告 58: 44 (1953)

ヤブムラサキの葉の幅が広くなり、卵形を呈し、葉脚が広楔形のを浅川実験林に隣接する山地で草下正夫氏が採集され、命名したものである。

- (36) ケヒメカンスゲ *Carex × insolita* T. KOYAMA—*C. conica* BOOTT×*C. duvariana* FR. et SAV. カヤツリグサ科, 植物研究雑誌 30: 135 (1955)

小山鉄夫博士は南高尾の峯の薬師で採集されたものを Type として、ヒメカンスゲとケスゲの雑種を2つの形に分けて発表された。峯の薬師で採集したものは、ヒメカンスゲより全体が強く、葉は幅4 mm くらいでかなり幅広く、葉鞘の底が褐紫色のもの。他の型は千葉県鋸山で採集されたものでケスゲより全体に小さく、細長い型で、葉は幅2 mm ほどで細く、葉鞘の底はやや褐色を呈するものである。

- (37) ムラサキオニシバリ *Daphne pseudo-mezereum* A. GRAY f. *atropurpurea* HIYAMA ジンチウゲ科, 植物研究雑誌 32: 114 (1957)

オニシバリの花のがくの外面が暗紫色を呈するもので、南高尾の梅ノ木平で飯泉 優氏が採集されたものを松山庫三氏が命名されたものである。このように着色した花は当地方ではしばしばみることができる。

- (38) コボトケスマレ *Viola phalacrocarpa* MAXIM. f. *chionantha* HIYAMA スマレ科, 植物研究雑誌 32: 288 (1957)

小仏峠と城山との中間の尾根で矢野 佐氏が発見したアカネスマレの白花品であって、松山庫三氏が採集地の名前をとってコボトケスマレと命名、発表された。

- (39) アケボノミヤマシキミ *Skimmia japonica* THUNB. f. *rosea* HAYASHI ミカン科, 林業試験場研究報告 107: 28 (1958)

基本種のみヤマシキミにくらべてがくと花梗が紅色でやや褐色を帯び、つぼみと花卉は紅色を呈する。高尾山で林および小林が採集したものである。

- (40) ウスベニニンソウ *Anemone flaccida* FR. SCHMIDT f. *rosea* HAYASHI キンポウゲ科,
林業試験場研究報告 107: 29 (1958)

花色に濃淡の差があるが、ニンソウの花弁状を呈するがく片が紅色を呈するものである。高尾山のものについて林が発表した。

- (41) タカオイノデ *Polystichum* × *takaosanense* KURATA—*P. longifrons* × *P. ovato-paleaceum* オン
ダ科, 北陸の植物 8: 17 (1959)

アイアスカイノデとツヤナシノデの雑種で 1954 年末に渡嘉敷裕氏が高尾山で採集し、翌年同氏と同行して倉田 悟博士がピロ滝上流を調査され、新雑種としたもので、アカメイノデに近いが、葉面の色が黄色味を帯び、葉柄の堅い黒色りん片はアカメイノデに比しずっと不顕著で、ただ葉柄下部に多少栗色のたてじまを有するりん片が出るのみである。ソーラスの付き方はほぼアカメイノデに一致し、羽片および小羽片の先端から基部に向かって配列する。高尾山における産量は少ないが、本州における分布は武蔵、駿河、三河、伊勢、近江、越前におよんでいる。

- (42) ケタニタデ *Circaea* × *dubia* HARA var. *makinoi* HARA アカバナ科, 植物研究雑誌 34: 316
(1959)

1921年に高尾山で牧野富太郎博士が採集された標本をのちに東京大学の原 寛博士が研究され、タニタデとウシタキノソウの雑種と考え命名、発表された。全体は小形で茎は高さ 10~15cm あり、毛が多く、葉はやや心形をなし上面にかなり長い毛がある。花序はタニタデに近く無毛で、花梗は細く、子房にやや柔らかい太い毛がある。林は高尾山の大ダルミ方面やジャ滝方面で見た。

- (43) アツカワサワラ *Chamaecypris pisifera* SIEB. et ZUCC. f. *crassa* HAYASHI ヒノキ科, 林
業試験場研究報告 125: 72 (1960)

基本種のサワラより樹皮が厚く海綿質でフワフワして柔らかく、縦に長い溝を生じたものである。現在は八王子市市有林になっている旧さいの神国有林のヒノキ造林地中に 3 本あったものである。しかし学名発表のあと台風のために根本から折れてしまった。この母樹からとった穂木を接木ならびに挿木したものが浅川実験林には十数本育っている。富士山の青木が原天然林内にはサワラに混じってアツカワサワラが 2 本自生することが山梨県林業試験場の斎藤技師によって見いだされ、今年の 3 月に林および小林がこれを確認してきた。

- (44) クリハダヒノキ *Chamaecypris obtusa* SIEB. et ZUCC. f. *hasegawana* HAYASHI ヒノキ科,
林業試験場研究報告 125: 72 (1960)

樹皮がやや白く、縦に割れ目を生じ、全くクリのような肌をしている。長谷川孝三博士が帝室林野局林業試験場の当時に、小仏事業区区劃班 2 イの大正 4 年度植栽のスギ、ヒノキ林中で発見されたものである。数本あったという。その後、台風被害のためその林地は伐採されてしまった。現在、浅川実験林には、この母樹から穂をとり挿木したものが 1 本ある。群馬県小根山林業試験地には同様に挿木したものが十数本植栽されている。

- (45) ヒレノブキ *Adenocaulon himalaicum* EDGEW. f. *uropterum* HAYASHI キク科, 林業試験
場研究報告 125: 76 (1960)

高尾山およびその付近の沢ぞいの道を埋めて生えるソブキは基本種のものとは違って、葉の長柄にある翼が幅広く、かつ羽状に不整深裂して長いヒレ状をなしている。林が高尾山の調査中にこのことに気づき区別して発表した。

- (46) マルバカシワバハグマ *Pertya robustum* BEAUVERD. f. *rotundatum* HAYASHI キク科, 林業試験場研究報告 125:76 (1960)

基本種カシワバハグマに比し葉が丸く、やや円形または卵円形を呈し、牙齒または不整欠刻が非常に浅く、両面にほとんど毛なく、かつ縁毛を生じないもので、林が高尾山で採集し、命名したものであるが誤植につきここに *Pertya robusta* BEAUVERD f. *rotundata* HAYASHI と訂正する。

- (47) シロバナオカタツナミソウ *Scutellaria brachyspica* NAKAI et HARA f. *albiflora* HAYASHI et KOBAYASHI-YOSHIO シソ科, 林業試験場研究報告 125:76 (1960)

オカタツナミソウの白花品で、花筒部は白色、頭の裂片の端にのみわずかに淡紫色が残り、唇弁には白地に淡紫色の斑点がある。花筒にある短腺毛は無色で、雄蕊のやくは白色である。浅川実験林内で小林が発見した。

- (48) ホソバノミミガタテンナンショウ *Arisaema limbatum* NAKAI et MAEKAWA f. *angustifolium* HAYASHI サトイモ科, 林業試験場研究報告 125:76 (1960)

ミミガタテンナンショウの葉は、一般には2枚出て小葉は7~11個あり、先端の鋭く上がった長だ円形で幅広いものであるが、林は高尾山で葉が著しく細長く、狭皮針形ないし長だ円状皮針形のものを採集し、これに上記の和名を与えた。

- (49) エダウチミゾシダ *Leptogramma mollissima* CHING. f. *takaoyamensis* HAYASHI オシダ科, 林業試験場研究報告 125:77 (1960)

ミゾシダの葉身が2~4岐した品種で、林が高尾山で採集したものに命名、発表した。

- (50) ヤエキツネノカミソリ *Lycoris sanguinea* MAXIM. f. *plena* YAMAZAKI ヒガンバナ科, 植物研究雑誌 35:178 (1960)

キツネノカミソリの八重咲品でおしべが全部弁化したもので、1つの花に15~20枚の花被がある。高尾山の日影沢で小沢元之助、榎本一郎両氏が採集し、山崎敬博士が命名、発表された。これと前後して林は浅川実験林内にもまれにあることを発見した。

- (51) ベニガクウツギ *Hydrangea scandens* SER. f. *rosea* HIYAMA ユキノシタ科, 植物研究雑誌 36:331 (1961)

南高尾の中沢で松山庫三氏が採集し、発表したガクウツギの紅花品で、花はあざやかな紅色で装飾花の葉片の内面が帯色して美しいものである。

- (52) タルミヤシャブシ *Alnus* × *peculiaris* HIYAMA — *A. firma* SIEB. & ZUCC. × *A. pendula* MATSUM. カバノキ科, 植物研究雑誌 37:153 (1962)

大垂水峠で松山庫三氏が発見し、発表したヤシャブシとヒメヤシャブシの自然雑種で、葉はヤシャブシによく似ているが、それよりやや狭長で基脚がゆがんだ鈍形をなし、側脈は16本ばかりで、葉柄の長さは10mm内外ある。しかし雌花穂は2~5個をつけて直立せず、その小柄の長くて細い点はヒメヤシャブシに似る。球果は長さ20mm内外のだ円形で大きさはヤシャブシに近いが、そのりん片にはヒメヤシャブシ特有の微毛がわずかながら見られ、堅果は不稔である。しかしなお検討を要する種類と思われる。

- (53) キイロミミガタテンナンショウ *Arisaema limbatum* NAKAI et F. MAEKAWA f. *viridiflavum* HAYASHI サトイモ科, 北陸の植物 11:117 (1963)

ミミガタテンナンショウの仏炎包は普通は濃紫黒色であるが、峯尾の長女峯尾喜久子君が南高尾の峯の薬師付近で、淡黄緑色を呈するものを見いだした。これに上記の和名と学名を林が発表したものである。これは現在浅川実験林内に植栽されており、年々変わらない淡黄緑色の花を開く。

- (54) タカオヤブマオ *Boehmeria sieboldiana* BL. f. *decomposita* HIYAMA イラクサ科, 植物研究雑誌 39:24 (1964)

ナガバヤブマオで雌花序が総状に分枝して複生するもので、桧山庫三氏と小林が1962年高尾山で採集したもので、桧山氏によって命名、発表された。

- (55) フイリタマアジサイ *Hydrangea involucrata* SIEB. f. *variegata* HAYASHI ユキノシタ科, 林業試験場研究報告 170:80 (1964)

タマアジサイの葉の全面に黄色の斑のはいったもので、高尾山で林が発見し、発表した。

- (56) シロバナヒナスミレ *Viola tokubuchiana* MAKINO var. *tenuicornis* F. MAEKAWA et HASHIMOTO f. *albiflora* HAYASHI スミレ科, 林業試験場研究報告 170:83 (1964)

ヒナスミレの白花品で畔上能力氏が高尾山で見いだしたものである。

- (57) ウスベニアカショウマ *Astilbe thunbergii* MIQ. f. *rosea* HIYAMA ユキノシタ科, 植物研究雑誌 40:89 (1965)

アカショウマの花の淡紅色を呈する美しいものである。南高尾の中沢の谷で桧山庫三氏が採集し、命名したものであるが、このものは浅川実験林にもある。また丹沢山にも生ずる。

- (58) タカオワニグチソウ *Polygonatum desoulavii* KOMAR. var. *azegamii* CHWI ユリ科, 大井次三郎著, 日本植物誌改訂版 1439 (1965)

コウライワニグチソウにくらべて、全体がほとんど平滑となり、包が小梗の下端につきいちじるしく開出するものである。花の形はワニグチソウ、花の内部構造はアマドコロにやや似ており、葉の形はミヤマナルコユリによく似ている。これは南高尾で畦上浦治郎および畦上能力の両氏が発見されたもので、ごく一部分にしかなく稀品である。現在浅川実験林に数株植栽してあり、年々開花する。

変種名の *azegamii* は大井次三郎博士が発見者を記念して命名されたものである。

- (59) ヤエクサボケ *Chaenomeles japonica* LINDL. f. *plena* HIYAMA et KOBAYASHI-YOSHIO バラ科 植物研究雑誌 (投稿中)

八重咲のクサボケで、城山国有林内にて、昭和41年4月桧山庫三氏と小林が見いだしたものである。このものは浅川実験林内にもある。

以上のほか調査区域外の近接地域を原産地とする種類をあげると次のようである。

- (1) *Polystichum* × *ongataense* KURATA—*P. ovato-paleaceum* × *P. pseudo-makinoi* オンガタイノデ (サイゴクイノデとツヤナシイノデの雑種) 産地, 恩方村 (現八王子市恩方町)。
- (2) *Athyrium satowi* H. ITO トラノオイヌワラビ 産地, 恩方村 (現八王子市恩方町)。これはヘビノネゴザの奇形品と思われる。

2. 新発表の植物

- (1) ムラサキイチリンソウ キンボウゲ科

基本種イチリンソウは5個ある花弁状のがく片は楕円形で通常白色であるが、ときに外面の少しく淡紫色を帯びているものもある。

この品種はつぼみは濃い紫色でありがく片も裏面のみでなく表面までもあざやかな紫藍色を呈するものである。

最初植物愛好家金子蓮造氏が林に指摘されたもので、南高尾の一局部に群生している。

ここに1品種として記載発表する。

(2) オオバナハンショウズル キンボウゲ科

葉は卵形または楕円形で大きく、長さ8~10cm、幅3~5cmあり、葉質著しく厚い。がく片は4個で、形大きく長さ3~5cm、全長の2/3の上部は紅紫色、下部の1/3は白色であり、質が著しく厚い。浅川実験林の西部白山団地に自生する。他ではまだ見ていない。

(3) ミドリミツバウツギ ミツバウツギ科

基本種ミツバウツギは5~6月ころ今年でた若枝の先にせまい円錐花序を出し、白色の花を開く。花弁、がく片ともに5個である。本品種は花弁とがく片、花茎などが緑色をなすものである。他の形質は基本種とちがわぬ。八王子市の植物研究者畔上能力氏が小仏で採集されたものである。類似品に f. *viridis* (NAKAI) HARA シロバナミツバウツギが記載されているが、これは幼条や葉上面は花軸とともに緑色を帯び、小梗は緑白色で花は純白色のものであるので別品種である。

(4) タカオコバナガマズミ スイカズラ科

これはテリハコバナガマズミの果実が球形で長さ6~7mmあり、橙黄色をなすものである。

さきに果実の黄熟するものにはキミノコバナガマズミが記載発表されているが、これは果実の色彩がはっきり違うものである。

高尾山北部の尾根で生態調査を行っていた際、小山芳太郎が発見したものである。赤色の果実をつけたテリハコバナガマズミの中に2本混生していたが、はっきり区別できた。

その1本は現在浅川実験林内に植栽されている。

(5) シロバナフクシマシャジン キキョウ科

基本種の茎は直立し毛があり、葉は通常3~4枚輪生することが多いが、ときに対生または互生し楕円形で先は尖り、もとは細まり、ふちにはきょ歯がある。夏に茎頂にややまばらな円錐花序をつくり、紫色または紫白色花を開く。この新品種は、他の形質にはほとんど違いは認められないが、花が純白色を呈するものである。八王子市の畔上能力氏が高尾見張台付近で採集されたものである。この品種はまた群馬県勢多郡東村にもまれにある。

(付一1) アケボノコゴメウツギ パラ科

コゴメウツギの基本種は花弁もがく片も白色であるが、これはつぼみ、花弁、がく片、花梗などが薄紅色をなすものである。乾燥標本にしても色が美しく残っている。八王子市恩方の植物研究者菱山忠三郎氏が恩方の山地で採集されたものである。こんどの調査区域からは少しはずれるが調査範囲にある小下沢とは同一山塊であるのでここに特にあげた次第である。

(1) *Anemone nikoensis* MAXIM.
form. *violacea* HAYASHI form. nov.

Flores violacei.

Nom. Jap. Murasaki-Ichirinsō

Hab. in Hondo, Prov. Musashi; Mt. Takao

(Yasaka HAYASHI, April 15, 1965, typus in Herb. Gov. For. Exp. Sta.)

(2) *Clematis japonica* THUNB.

form. grandiflora HAYASHI form. nov.

Foliola 3. ovata vel elliptica crassa, 8~10cm longa 3~5cm lata, calyces 4, purpureati 3~3.5cm longi basi albid.

Nom. Jap. Ōbana-Hanshyozuru

Hab. in Hondo, Prov. Musashi; Asakawa

(Yasaka HAYASHI, May 23, 1966, typus in Herb. Gov. For. Exp. Sta.)

(3) *Staphylea bumalda* DC.

form. kobotokensis HAYASHI form. nov.

Flores viridi.

Nom. Jap. Midori-Mitubautsugi

Hab. in Hondo, Prov. Musashi Kobotoke

(Chikara AZEGAMI May 20, 1962. Typus in Herb. Gov. For. Exp. Sta.)

(4) *Viburnum erosum* THUNB.

form. aurantiacum HAYASHI form. nov.

Fructus aurantiacus. Laevis globosus 6~7mm, diam.

Nom. Jap. Takao-Kobano-Gamazumi

Hab. in Hondo, Prov. Musashi; Mt. Takao

(Yasaka HAYASHI October 15, 1965, typus in Herb. Gov. For. Exp. Sta.)

(5) *Adenophora divaricata* FRANCH. et SAVAT.

form. albiflora HAYASHI form. nov.

Flores albi.

Nom. Jap. Shirobana-Fukushimashajin.

Hab. in Hondo, Prov. Musashi Mt. Takao.

(Chikara AZEGAMI Sep. 20, 1965, typus in Herb. Gov. For. Exp. Sta.)

(付1) *Stephanandra incisa* ZABEL.

form. rosea HAYASHI form. nov.

Flores, calyces, et pedunculi rosei

Nom. Jap. Akebono-Kogomeutsugi

Hab. in Hondo, Prov. Musashi; Ongata

(Chiuzaburo HISHIYAMA, May 27, 1966, typus in Herb. Gov. For. Exp. Sta.)

XI. 高尾山およびその周辺に産する高等植物中分類地理学上注目すべき種類

高尾山とその周辺の指定区域内に自生する植物のうち、分類地理学上注目すべき植物あるいは興味ある植物はかなり多いが、そのうちでわたくしたちが特筆する価値のあると思われたものを28種類選び簡単な解説をする。なお、前項X. であげた高尾山およびその周辺を原産地 (Type-locality) とする植物中には、分類地理学上注目すべき植物が多いがここでは重複をさけあげないこととした。

1. シロヤマシダ *Diplazium hachijoense* NAKAI オシダ科

常緑性の大形のシダで葉身は三角状卵形で長さ、幅ともに50~100cmぐらい、2回羽状に深く裂ける。

葉柄は葉身とほぼ同長である。胞子のう群は線形で小羽片の小脈上につき、中肋とへりの中間に並び、包膜は膜質である。本州 (関東地方南部、富山県富崎神社社叢以西)、四国、九州、琉球、濟州島に分布する。教育大学生芹沢俊介君が高尾山の東北部で発見し、東大の倉田博士に確認してもらい1965年報告されたが、高尾山でははなはだまれなものである。

このほかに高尾山付近では産量が少なく、まれなシダとしては、暖地性のもものではサイコクベニシダ、アマクサシダ、オニノデ、アカメイノデ、イブキシダ、ヘラシダ、クリハランなどがあり、温帯性のもものではシノブカグマ、ミヤマワラビ、ミヤマクマワラビ、オシダ、トヨクチイノデ、ホソイノデ、オシヤクジデンダ、ナライシダなどがある。

2. フジオシダ *Dryopteris* × *watanabei* KURATA — *D. crassirhizoma* NAKAI × *D. uniformis* MAKINO オシダ科

オシダとオクマワラビの雑種で、最近倉田 悟博士が北陸の植物 14: 34 (1965) に御殿場市で湯山五策氏が採集されたものをタイプとして発表されたものである。和名は同市に住む渡辺 正氏がつけられたもので、学名の種名は同氏を記念して名付けられた。この発表のときに研究したフジオシダの標本のなかには南高尾で著者の1人林が1960年に採集したものがふくまれている。そして他にも本州 (常陸、武蔵、駿河、信州) の各地に分布するという。葉形は倒皮針形で細長く、羽片は20~25対あり、下部羽片はかなり短縮し、葉柄は短く、葉身の約1/5長でオシダに類似するが、羽片は幅広く線状皮針形、その切込みは深く、裂片間は多少離れ、下部裂片は独立小羽片となり、幅広く約7mmあり、また特に下部羽片は幅広くその小羽片は大形となる。

3. ハリモミ *Picea polita* CARR. マツ科

日本特産の常緑の針葉高木で、葉は太くて湾曲し、先は針状ですどくとがる。球果は卵状楕円形または卵形で、はじめ緑色のち緑褐色となり、肉桂色に成熟し光沢がある。天然分布の北限地は福島県下の帝王寺山、北緯およそ37°35'であり、それより以南関東、東海、近畿各地方、四国、九州に広く分布し、天然分布の南限地は鹿児島県高隈山の北緯およそ31°28'である。東京都下では日原山、川苔山、大岳などに点生している。山梨県富士山麓の山中湖近くには日本一の大群生があり有名で、天然記念物に指定されている。また神奈川県丹沢山集や埼玉県秩父山集にもかなりある。高尾山には猿園の近くに1本だけある。おそらく自生品と思われる。広い目でみると決して珍しい木ではないが、高尾山としては貴重な樹木の一つである。

4. ミズメ (ヨグソミネバリ) *Betula glossa* SIEB. et ZUCC. カバノキ科

別名をアズサ、ともいう。本州 (岩手県北緯40°15'以南)、四国、九州の温帯または暖帯に広く分布し、天然分布の南限地は鹿児島県高隅山の北緯およそ31°27'である。落葉高木で、樹皮は灰褐色ではじめは平滑であるが、老木ではやや不規則に亀裂し、枝の内皮にサロメチールと同様の臭気がある。葉は互生し、卵形ないし卵状長楕円形で先は鋭尖形、もとは浅い心臓形でふちに不規則な二重きょ歯がある。雌雄同株で5月ころ開花する。雄花の尾状花穂は小枝の端から垂れ下がり、黄褐色の多数の細かい花を密着する。雌花の花穂は雄花の下にある短枝の端に1個つき、上に向き多数の緑色の花を密につける。果穂は楕円形で直立し、長さ2~3cmある。葉と果穂の大形のヨグソミネバリと、葉と果穂のやや小形のミズメとをわけている学者もあるが、極端なものは区別がつくが、中間形が多く一般には鑑別困難である。高尾山にはケーブル終点とリフト終点の間の道路わきに大きく根を張って生えている大木がある。もとはこ

の木が高尾山ではただ1本あるだけといわれていたが、これから少し下方に2本の中径木がありよく果実がついている。母樹から種子が落ち生えたものと思う。付近の陽地には稚樹もはえている。広い目でみると決して珍しい木ではないが、高尾山としてはこれまた貴重な木のひとつである。

5. エゾエノキ *Celtis jessoensis* KOIDZ. ニレ科

北海道, 本州, 四国, 九州, 対島, 韓国, 満州などに広く分布する落葉高木である。葉は互生し, 卵形または卵状楕円形で長さは5~10cmあり, 先は有尾鋭尖形でふちに鋭い鋸歯がある。表面は濃い緑色で, やや平滑かまたはざらつき, 下面は淡緑色または灰色である。花は5月ごろ新枝の葉えきに目立たない花を開く。核果には長い柄があって少し下垂し, 径7~8mmあり秋黒熟する。高尾山では南面中腹の傾斜地に胸高直径49cm, 樹高19mのもの胸高直径42cm, 樹高21mのものが2本ある。このほかにもまだどこかにあるものと思われる。しかし高尾山としては, やはり貴重な樹木のひとつである。

6. タマノカンアオイ *Asarum tamaense* MAKINO ウマノズクサ科

常緑多年生草本で葉は円卵形, 先は円形, もとは心臟形で長さ5~13cmあり, 葉肉やや厚く, 表面には光沢があり, 脈は網目状となり落ちこんでいる。4~5月ごろ暗紫色で径3~4cm大形の花を開く。東京都, 神奈川県にわたる多摩丘陵を主産地としてまれに狭山, 府中, 深大寺, 八王子市郊外など限られた地区に分布する。高尾山では西北部の小地域にだけ見られる。このほか高尾山ではカンアオイ, ランヨウアオイなどの類似種を産する。

7. フクジュソウ *Adonis amurensis* REGEL et RADD. キンポウゲ科

草質のやわらかい多年生草本で, 葉は互生し, 長い柄があり, 3回羽状複葉をなす。2~3月ごろ新葉とともに茎の頂に径3cmぐらいの黄色い美しい花を1個つけ, 日が当たると上向きに正開する。普通草花として広く栽培される。本州北部から北海道, 樺太, 韓国, 満洲, 中国北部, アムールなど寒地に多く自生するが, 本州南部, 四国, 九州などにもまれに分布する。高尾山では西北部の小仏方面にまれに見られる。

8. レンゲシヨウマ *Anemonopsis macrophylla* SIEB. et ZUCC. キンポウゲ科

直立無毛の多年生草本で, 高さは50~80cmとなる。葉は大形で互生し, 根生葉と茎葉があり, 2回3出, 3回3出, または4回3出複葉をなし, 小葉は卵形でふちには鋭尖形の不規則なきょ歯がある。7~8月ごろ茎の上部に長い花枝を出し, 上部はまばらな総状花序をなし, 3~3.5cmもある大形の淡紫色の花をやや下向きに開き美しい。日本特産の植物で宮城県から奈良県大峯山脈の間の高地に分布している。主産地は関東地方である。近くでは奥多摩や丹沢山塊には群生地があるが, 高尾山周辺にはまれで木下沢で見たのみである。

9. シギンカラマツ *Thalictrum actaeifolium* SIEB. et ZUCC. キンポウゲ科

全株無毛の多年生草本で, 茎の高さは30~60cmとなる。茎の地下にある部分は著しい黄色を呈する。葉は互生し, 2回3出, または3回3出の複葉である。小葉は薄い洋紙質で下面は粉白色をなし, 葉脈が隆起している。7~10月疎なる円錐花序を出し, 小花を開く。花弁はなく, がく片は白色で外面は紅紫色をおびる。おしべは多数で花糸は白色をなし輪状に並ぶ。本種は埼玉県以西の本州, 四国, 九州に分布するがどこにもざらにあるというものではない。高尾山周辺では日蔭沢や小仏道に少し見られるのみである。

10. ヌクノキ (ミヤマフジキ) *Cladrastis sikokiana* MAKINO マメ科

本州 (埼玉県秩父以南), 四国, 九州, 対島の深山に自生する落葉高木である。若枝には褐色の綿毛が

ある。芽は葉柄の基部に包まれている。葉は互生し、9~11個の小葉からなる奇数羽状複葉である。小葉は羽軸上に互生し、長楕円形全縁、葉質は薄く、左右不斉で下面は粉白色を帯び中肋上には毛がある。側脈は各側に13~15個。6~8月複総状花序を枝先に生じ、白色蝶形花をやや密に開く。がくは浅く五裂し、軟毛がある。雄しべは10個ありゆ着しない。花後、平たくほとんど翼のない長い豆果を出し、中に数個の種子を生じ、通常裂開しない。高尾山にはわたしたちの調査では、ケーブル終点の西側に、胸高直径25cm、樹高13mくらいの木が1本発見されたのみである。まだこの木以外にもある可能性が多い。隣接の恩方には点生している。高尾山にはこのユクノキに類似したフジキ *Cladrastis platycarpa* MAKINO が沢山生えているので見あやまりやすい。この両種のおもな区別点をあげてみると次のようである。フジキの葉裏は淡緑色で網状脈が隆起している。小葉の側脈は各8~13個、冬芽は薄い白紙状の袋に包まれている。花期が早い。豆果の両側に著しい翼がある。これに反しユクノキの葉裏は粉白色で網状脈は隆起していない。小葉の側脈は各側に13~15個冬芽は赤褐色の毛を密生している。花期がフジキよりおそい。豆果の両側に翼がない。

11. タカオフウロ *Geranium wilfordi* MAXIM. var. *chinense* HARA フウロソウ科, 植物研究雑誌 38:60 (1963)

牧野富太郎博士が1910年に高尾山で採集された標本にミツバフウロで、がく片や小花柄に開出した長毛の出るものがある。しかし、同じ個体でもがくなどに開出長毛のほとんど、または全くないものも混じっている。この標本について研究された桧山庫三氏は中国、台湾に産するものに原寛博士が *G. wilfordi* var. *chinense* なる学名をあたえたものと同物とみて、学名はこれにしたがい和名をタカオフウロと命名、日本における新産地として発表された。

12. マルミノウルシ *Euphorbia ebracteolata* HAYATA トウダイグサ科

地下の根茎は非常に太く、茎の高さは40~50cmである。芽立ちのときは、紫紅色を帯びて美しいのでベニタイゲキともいわれる。のちには緑色となる。葉は下部では互生し、上部では輪生する。広倒皮針形、または倒卵状長だ円形で長さ5~10cm、幅1.5~2.5cm、裏面には茎の上部とともに軟毛がある。杯状花序は1個の花のように見え、4個の腺体は円心形、円頭で暗褐色、径約2.5mmある。総包葉は卵状三角形、鈍頭で基部は截形で長さ約2~3cm、幅1~2cmである。さく果は平滑でノウルシのように突起が無い。北海道、本州の一部に分布するが、当地方では裏高尾にわずかに見られるのみである。かつて中央線の沿線にあったものは最近の複線工事のために絶滅してしまった。

13. トチノキ *Aesculus turbinata* BLUME トチノキ科

本種は北海道(渡島半島、銭函付近以南)、本州、四国、九州(熊本県国見岳以北)に天然分布する。東北地方には最も多く産し、九州にはまれである。落葉の大高木、樹皮は灰褐色、老木では厚い片となつてはがれ、特有な紋をなす。冬芽は大形でよくねばる。対生の葉は掌状複葉で、小葉は普通7個あり、倒長卵形または倒卵状長楕円形でへりには鈍い重きよ歯がある。上面は無毛、下面には赤褐色の軟毛がある。5~6月ころ若枝の先に15~25cmくらいの円錐花序を出し、多数の帯紅白色の花を開く。花は4弁で直径1.5cmくらい。両性花と雄花とがある。ともに雄蕊は7本である。果実は倒円錐形で3裂する。種子は赤褐色で光沢がある。高尾山には薬王院少し手前の植栽大杉のすぐ下の谷間に2本ある。1本は太く胸高直径1.62mに及ぶ。高尾山では、今のところこのほかにはみあたらないが、他の場所にもあるかもしれない。広い目でみれば決して珍しい木ではないが、高尾山ではまれな木のひとつである。

14. ウラジロマタタビ *Actinidia hypoleuca* MAKINO マタタビ科

本州（関東南部以西）、四国、九州（屋久島まで）の暖帯林中に自生するつる植物である。小枝は無毛、平滑である。葉は長楕円形で基部は円形または急鋭形、上面は無毛で下面は帯粉白色をなし、褐色の腋毛がある。葉質は堅い草質で、長さ 6～10cm あり縁にはとげ状の鋸歯がある。雌雄異株。5～6 月ころ、白色の花を小枝の上方に腋生して開く。雄花は集散花序をなし 1～10 花、雌花は 1 個ずつつく。雄、雌花とも花弁とがく片は 5 個。花序、がく、子房はいずれも無毛である。果実は液果で広楕円形をなし、長さ 2～3cm あり、やや明色の斑点を疎に生ずる。10～11 月ころ緑がかかった肉色に熟す。中に細かい種子が沢山ある。よく成熟したものは甘ずっぱい味があり食べられる。類似種サルナシとは葉裏の粉白色であること、花序とがくの辺縁に密毛のないことにより区別される。和名は普通ウラジロマタタビといわれているが、ウラジロサルナシとしたほうがよからうと思う。なぜなら本種はマタタビよりもサルナシに近似のものであるからである。高尾山には諸々に見いだされモミ、カヤ、カシなどの大木にまきつき太いものは径 6～8cm くらいとなり、20～25m の高所までのぼっている。高尾山は分布の北限地に近いと思われる。

15. ミヤマウコギ *Acanthopanax trichodon* FRANCH. et SAV. ウコギ科

本州（関東南部、東海道、近畿）、四国（徳島県のみ）の比較的かぎられた地域に分布する落葉の小低木で、樹林下に生える。枝は帯灰白色無毛で細い刺針がある。葉柄は帯赤紫色で 2～5 cm ある。小葉は 5 個あり薄質で菱形または楔状倒卵形で両端はとがり長さ 3～6 cm、幅 1～2 cm、へりに不整のとがった鋭き歯があり、表面の脈の上へりに小さなとげが散生する。裏面にはとげも毛もない。5～6 月ころ本年のびた長枝の先に散形花序を出し、黄緑色 5 弁の小花を 10 個あまり開く。果実は平たい球形で径 6 mm ぐらいで 9～10 月ころ紫黒色に熟す。高尾山では主に東南面のモミ林やカシ林下にまれに自生しているにすぎない。

16. ハナビゼリ *Angelica inaequalis* MAXIM. セリ科

箱根で採用されたものがタイプになっている植物で本州、四国、九州に分布し、高尾山の頂上付近樹林下にもあるが産量の少ないものである。高さ 120cm ぐらいとなり、全株無毛茎は中空で紫褐色をおびる。葉は 2～3 回 3 出複葉で小葉は卵状皮針形、鋭尖頭で葉質は薄い。散形花序をなして小さい淡紫色の 5 弁花を 8～9 月ころに開き、果実は楕円形、長さ 6～8 mm で翼がやや幅広くて 5～6 mm ぐらいある。本種に類似し葉体の上部に細毛があり、葉はやや厚く、花梗の長さが同じである。イワニンジンは南高尾にある。

17. シナノガキ *Diospyros japonica* SIEB. et ZUCC. カキノキ科

一名リュウキュウマメガキという。本州（関東以南）、四国、九州、琉球、台湾、南鮮、中国中部の暖帯に広く分布する落葉の高木である。葉は互生し、15～25mm の柄があり長楕円形で両端とがり、全縁、表面は深緑色、裏面は灰白色で毛はない。雌雄同株。6 月ころ新枝の葉のわきに短い花柄のある黄白色の小さい花を開く。花冠はつぼ状で先が 4 裂する。雄花は 16 本の雄しべをもち、雌花は 1 本の雌しべと退化した 8 本の雄しべをもつ。果実は径 1.5cm 前後の小さい液果で長楕円形または球形で、晩秋熟して黄色となる。高尾山にはまれに大木があり、秋黄褐色に熟した果実が沢山実っているのが見られる。幼樹もところどころに見られる。高尾山としては珍しい樹木のひとつである。

18. ヤマトアオダモ *Fraxinus longicuspis* SIEB. et ZUCC. モクセイ科

本州（全土）、四国、九州の温帯ならびに暖帯の森林中に点生する落葉高木である。若枝にははじめ淡

褐色の多細胞縮毛があるが、のち灰褐色となる。5~7小葉よりなる奇数羽状複葉である。小葉は広皮針形、広倒皮針形または長楕円状皮針形で尾状鋭尖頭をなし、縁には低い鋸歯がある。葉質やや厚く表面には光沢がある。羽軸は通常ジクザグ形をなす特徴がある。花冠はない。がくは洋杯形で小形の歯がある。翼果は倒皮針形で長さ3~4cm、幅約6mm、凹頭または鈍頭、秋成熟する。高尾山にはかなりの大木が2~3本見つかっている。これまた高尾山としては珍しい樹木のひとつである。稚樹もまれに見られる。シオジも高尾の谷筋にまれにあると書いてある報告書もあるが、わたしどもの調査の結果では、まだ見いだされていない。おそらくこのヤマトアオダモの見あやまりではなかろうかと思う。

19. キジョラン *Marsdenia tomentosa* MORREN et DECAISNE ガガイモ科

本州(茨城県以南および能登半島以南)、四国、九州、琉球、朝鮮半島(南部)の暖帯林下に生える常緑のつる植物で、下部は木質、上部は緑色草質で、十数メートルの高さまでよじ登る。葉は有柄で対生し、全縁、ほぼ円形で先は鋭くとがり、長さ幅とも7~13cm、表面には光沢がある。8~9月葉腋に短い柄を出し、淡黄白色の小さい花を散形状に集まってつける。花冠は鐘形で深く5裂する。花筒の内部には毛がはえている。袋果は緑色、楕円形で長さ10~15cmあり大きい。種子には著しい白色の冠毛がある。高尾山ではモミ林やカシ林下に生じ、南面のウラジロガシ林下などには群生地がある。

20. ムラサキ *Lithospermum erythrorhizon* SIEB. et ZUCC. ムラサキ科

やや乾燥した山地草原に生える多年草で、根は太く、乾くと紫色となる。根を紫根と称し、薬用に用いかつては染料とした。高さ40~70cmに直立する茎には斜上する粗毛がふる。葉は無柄で、長さ3~7cmで皮針形または長だ円形で、先はとがり粗毛がある。6~7月ころ白色の径約4mmの花を開き、花冠は5裂し、長さ約6mmの筒がある。のどの部分には横に突起がある。北海道、本州、四国、九州から朝鮮、満州、中国、アムールに分布し、かつては高尾山および周辺山地に多かったが、らん採され一時絶滅されたといわれていた。ところが最近精査の結果向陽の尾根に点生し小群生地もあることがわかった。

21. カイジンドウ *Ajuga ciliata* BUNGE var. *villosior* A. GRAY シソ科

山地の林中に生える多年草で、茎は30~40cmに直立して4稜条があり、全体に白毛が多い。葉は数対あって下部のものは小形で脱落し、中部の葉は卵形~広卵形で長さ3~8cm、幅2~4.5cmでやや鋭頭、基部は広くさび形で有翼の柄となっている。辺縁には不整の粗大な鋸歯がある。5~6月ころ青紫色の唇形花を輪状につけ、筒部は長さ12cm内外である。これに似たヒイラギソウの葉は鋭い欠刻状の牙齒があり、基部は円形または浅心形である。花冠の筒部は長さ約20mmに達し、大きいので区別できる。カイジンドウとは甲斐の国のリンドウを意味するといわれ、北海道、本州(北部、中部)、九州(鹿児島県)に分布するが、この地方では南高尾にきわめてまれに産するのみである。

22. シモバシラ *Keiskea japonica* MIQ. シソ科

ユキヨセソウとも呼ばれ、シモバシラとは冬になって霧柱で枯れた茎に氷の結晶ができるので名付けられた。山地の林中に生える多年草で茎は四角形で高さ60cm内外、やや堅く、葉は対生し広皮針形または狭卵形で、ふちには鋸歯があり、長鋭せん頭、基部も鋭く狭まる。ふちには鋸歯があり、9~10月ころ葉のわき片側にかたよった花穂を出し、小形の白色唇形花を多数つける。本州(関東地方以西)、四国、九州に分布し、この地方の山地にはやや多く見られる。葉だけみると同科のセキヤノアキチョウジによく似ており、まちがえやすい。

23. ヤマハウズキ *Physalis chamaesarachoides* MAKINO ナス科

山地の沢に近い林中に生える多年草で、茎は高さ30~60cmで分枝し、葉は卵形または卵状円形で長さ6~10cm、幅3~5cm、急鋭せん頭、基部は有翼の柄にながれる。薄質で少数の粗歯がある。8~10月ころ白色鐘形で先に3角形の5歯がある花を葉のわきに1個あて下垂する。花後には成長して球形の果実を包み、長さ12~15mmとなる。10肋あって翼状に隆起するが、ホオズキのように角ばらない。本州(関東以西)、四国、九州に分布するが、まれに産する植物である。高尾山、南高尾の樹林下にまれに見られる。

24. レンプクソウ *Adoxa moschatellina* LINN. レンプクソウ科

北半球の温帯に広く分布し、山地の林内にはえる多年草で1科、1属、1種の珍しいものである。むかし、フクジュソウに長い地下茎がつづいてきたのを見た人がはじめて連福草といい出したといわれ、一名ゴリンバナと称するのは小花が茎頂に5個ついたさまをいったものである。細長いふく枝をつけ、根茎は節々が少し肥厚する。根葉は長柄があり、3~9個の小葉に分裂する。茎は高さ8~17cmで根葉とほぼ同長、茎葉は1対で対生し3裂する。4~5月ころ茎頂に黄緑色の小花を5個頭状につける。頂端の花は花冠が4裂して8雄ずいあり、側方の4花冠が5裂して10雄ずいある。本州(近畿地方以東)、北海道に分布し、高尾山周辺では裏高尾、元八王子等の1部に産する。

25. ツルギキョウ *Campanumoea maximowiczii* HONDA キキョウ科

多年生のつる草で卵心形、裏面粉白で膜質の葉は長柄をもって対生または互生する。8~11月ころ、葉のわきに1個の内面紫色を帯びた鐘形花を下垂する。基部は子房と合着し、先は5裂し、裂片は鋭頭で反曲する。径1~1.2cmの扁卵球形の紫色の液果をつけ、基部にはがくが宿存している。本州(関東地方以西)、四国、九州、台湾に分布する。木村康一博士が高尾山にあることを植物研究雑誌、5巻、p.160(1928年)に発表されたのが関東地方に本種のあることが知られた最初である。なお、栃木県高館山が天然分布の北限地である。

高尾山ではらん採のため絶滅してしまったと一時いわれたが、最近の調査によると部分的に小群落をなし繁茂しているところがあることがわかった。しかし、高尾山では珍種にぞくする。

26. ノッポロガンクビソウ *Carpesium matsuei* TATEW. et KITAM. キク科

沢ぞいの林下に生えているやや大形の多年草であるが数は少ない。ガンクビソウに似ているが、下部の葉には長柄があり、卵形または広卵形、長さ7.5~14cm、幅5~11cm、基部は浅心形または円形で柄にくさび状に流れる。8~9月ころ頭花は点頭して枝に頂生し、総包は半球形である。当地方のものは頭花がやや大きいということで中井博士がタカオガンクビソウ *C. kishidai* NAKAI という学名を用意されたが、正式の学名としては発表されていない。本州(近畿地方以北)、北海道に分布する。

27. ヒトツバテンナンショウ *Arisaema monophyllum* NAKAI サトイモ科

武州御岳山を原産とする種類で本州の北・中部に分布するが、高尾山付近でも樹林下に少ないが見られる。葉は通常は1個であるからヒトツバテンナンショウと呼ばれているが、まれには2個のものもある。小葉は7~9個で卵状円形である。仏炎包は淡緑色で上端は皮針状3角形で尾状にとがり、内面の基部に山形の黒紫色の斑紋がある。花序の付属体は細くて上部が前傾している。

28. コアツモリソウ *Cypripedium debile* REICHB. fil. ラン科

山地の林中に生え、茎の高さ10~20cm、葉は心円形で対生して2個ある。5~6月ころ花径2cmほどの帯紫黄緑色の花を下垂してつける。花の柄はわん曲し、長さ2~3cmあり、唇弁は袋状で紅紫色の

条斑がある。北海道 (西南部), 本州, 四国, 九州, 中国に分布し, 高尾山およびその周辺では, かつてはしばしば見かけることができたが, 森林の伐採その他のために, 現今では非常に少なくなってしまった。同属の大型の美花をつけるクマガエソウも林下に群落をなしてよくみられたものであるが, やはり少なくなってしまった。

29. キバナノショウキラン *Yuania amagiensis* NAKAI et F. MAEKAWA ラン科

山地の樹林下に生ずる無葉のランで, はじめ伊豆天城山で発見されたが, その後本州の関東以西および九州に分布することがわかり, 箱根, 丹沢山, 埼玉県伊豆岳などからも知られ, 高尾山でもピロ滝道などにまれに見られる。根茎は肥厚してよく枝わかれている。茎は高さ 20~30cm で直立し, 三角形のりん片がまばらにつく。6~7月ころ淡黄色の花を総状に 6~15 個ぐらいつける。ショウキランに似ているが花色がちがいが (ショウキランは紫色), 花の数が多く, また唇弁の内面の距の入口に密毛があるので区別できる。

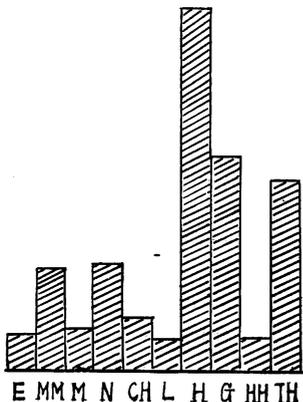
XII. 高尾山およびその周辺に産する高等植物の生活形

高尾山およびその周辺に産する高等植物を RAUNKIAER の方法により生活形を表示すると, 次の第 55 表のようである。ただし, ギンリョウソウのような寄生植物 6 種類, および植栽品 22 種類は除いてある (ただし, つる植物 Lianes は RAUNKIAER の原著にはなくあとから加えられたものである)。

第 55 表 Table 55.

植物自然分類 Natural classification of plants	生活形 Life form											計 Total
	E	MM	M	N	Ch	L	H	G	HH	Th		
羊歯植物 Pteridophyta	29			2	60		51	35	1	1	179	
裸子植物 Gymnospermae	9	2									11	
古生花被植物 Archichlamydeae	2	119	45	86	10	34	184	70	12	109	671	
後生花被植物 Metachlamydeae	1	13	14	40	3	6	136	86	1	85	385	
単子葉植物 Monocotyledoneae	7	4		13		3	120	91	30	56	324	
計 Total	48	138	59	141	73	43	491	281	44	251	1,570	
(%)	3.1	8.8	3.7	9.0	4.6	2.7	31.3	17.8	2.8	16.2	100	

略符号 E: 着生植物 Epiphytes. L: つる植物 Lianes.
 MM: 大型挺空植物 Megaphanerophytes. H: 半地中植物 Hemicryptophytes.
 M: 小型挺空植物 Microphanerophytes. G: 地中植物 Geophytes.
 N: 矮型挺空植物 Nanophanerophytes. HH: 水中, 水湿植物 Hydrophytes and
 Ch: 地表植物 Chamaephytes. Helophytes.
 Th: 1 年生植物 Therophytes.



この表を見ると半地中植物が最も多く 31.3% を占め, ついで地中植物が多く 17.8%, 1 年生植物の 16.2%, 矮型挺空植物が 9%, 大型挺空植物 8.8% でつづいて多い。最も少ないのはつる植物 2.7% である。

次にこの表から「スペクトラム」を組み立て図示してみると第 35 図のようである。

第 35 図 「ラウンキエール氏」の生活形スペクトラム
 Fig. 35 Biological spectrum.

XIII. 高尾山およびその周辺に産する高等植物目録

1. 調査区域：調査区を便宜上次の5区に別けて取りあつかった。高尾山国有林の大部分と薬王院所有林ならびに一部民有林を含めた高尾山区、農林省林業試験場浅川実験林、多摩御陵および御衣公園を含んだ東高尾区、高尾山大見晴しより西部で、大垂水から小仏峠を経て景信山に至るまでの西高尾区、甲州街道南部の梅木、大平両国有林ならびに梅木平から峯の薬師峠を経て大垂水峠を結んだ線内の民有林を含んだ南高尾区、城山、小下沢両国有林ならびに付近の民有林を含んだ北高尾区。植物名の次に産地区名の記してないものは、各調査区内に産するものである。カッコ内の氏は採集者名である。植栽植物は東高尾区の浅川実験林多摩御陵ならびに各調査区内の民家などに植えられているものは大部分省略した。

2. 学名は主として大井次三郎著「改訂新版日本植物誌」によったが、また北村四郎ほか著「原色日本植物図鑑(上・中・下)」、田川基二著「原色羊歯植物図鑑」、本田正次著「改訂日本植物名彙」、原 寛著「日本種子植物集覧」I~III、奥山春季著「原色日本野外植物図譜」1~7、杉本順一著「増補改訂版日本樹木総検索誌」、杉本順一著「日本草本植物総検索誌」などによったものもある。

3. 和名のあとに生活形をあげ、樹木の常緑、落葉を括弧内に示した。ただし、ギンリョウソウのような寄生植物および、植栽品は除いてある。高尾山およびその周辺の調査区内に生ずる高等植物の総数は153科、1,598種類であり、これを植物分類学上の区分により配列すると次の第56表のようである。

第56表 Table 56.

植 分 自 然 分 類 Natural classification of plants	科 Familia	種 Species	亜 種 Subspecies	変 種 Varietas	品 種 Forma	Lus.	計 Total
羊 歯 植 物 Pteridophyta	17	143		22	14		179
裸 子 植 物 Gymnospermae	6	15		1	2		18
古 生 花 被 植 物 Archichlamydeae	76	498	1	86	99	1	685
後 生 花 被 植 物 Metachlamydeae	34	268	2	72	50		392
単 子 葉 植 物 Monocotyledoneae	20	251		46	27		324
計 Total	153	1,175	3	227	192	1	1,598

このうち、(E) 常緑木本植物 (Evergreen ligneous plants) は94種類、(D) 落葉木本植物 (Deciduous ligneous plants) は311種類である。種類数の多い科を順次20あげると次の第57表のようである。

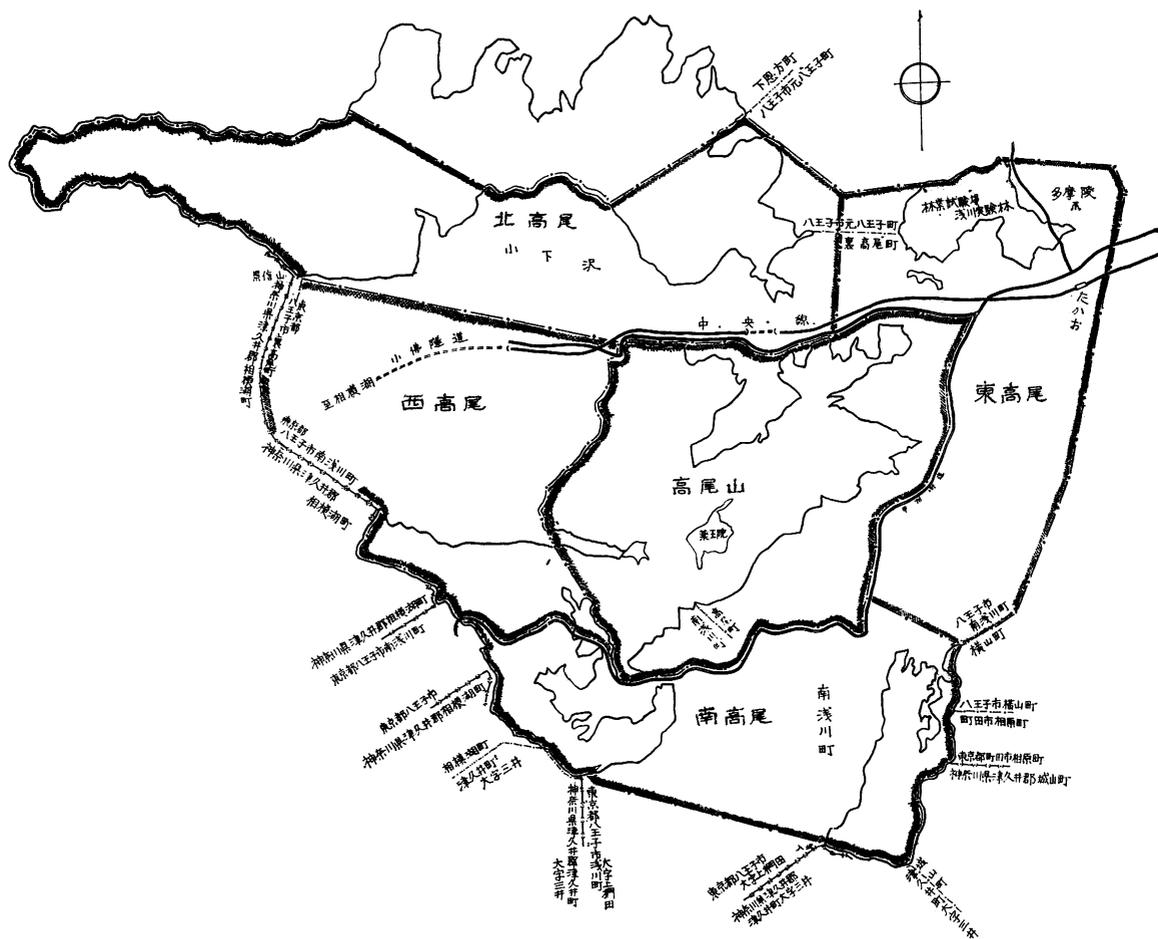
第57表 Table 57.

	科 名	種 類 数		科 名	種 類 数
1	キ ク 科 Compositae	129	11	キンボウゲ科 Ranunculaceae	39
2	オ シ ダ 科 Aspidiaceae	108	12	ラ ン 科 Orchidaceae	37
3	イ ネ 科 Gramineae	97	13	ユキノシタ科 Saxifragaceae	33
4	カヤツリグサ科 Cyperaceae	64	14	セ リ 科 Umbelliferae	26
5	パ ラ 科 Rosaceae	58	15	ゴマノハグサ科 Scrophulariaceae	25
6	マ メ 科 Leguminosae	57	16	ブ ナ 科 Fagaceae	23
7	シ ソ 科 Labiatae	55	17	スイカズラ科 Cæprifoliaceae	23
8	ユ リ 科 Liliaceae	53	18	イノモトソウ科 Pteridaceae	19
9	ス ミ レ 科 Violaceae	48	19	イラクサ科 Urticaceae	19
10	タ デ 科 Polygonaceae	43	20	アブラナ科 Cruciferae	19

この表を見ればわかるようにキク科が最も多く 129 種類、次でオンシダ科の 108 種類、イネ科の 97 種類、カヤツリグサ科の 64 種類などがこれにつづいて多い。

いままでに発表された高尾山およびその周辺の目録等には記載されているが、明らかに誤りと思われるもの、またはあってもよいが確認できず本目録には記載しなかったもの (16種類)。

オオメヤブマオ (常谷氏)	トネリコ (常谷氏)	シオジ (都緑公報告)
ミヤマヤブコウジ (常谷氏)	チョウジカズラ (常谷氏)	ニシキゴロモ (常谷氏)
オオカメノキ (草下氏)	マルバノニンジン (常谷氏)	タイミンガサモドキ (常谷氏)
ウセンチク (常谷氏)	ヤシャダケ (都公緑報告)	ハトムギ (常谷氏)
ホトトギス (常谷氏)	ショウキラン (都公緑報告)	
ホソバタデ (常谷氏)	ヤブイバラ (常谷氏)	



第36図 高尾山およびその周辺のフロラ調査区域図

高尾山およびその周辺の高等植物目録

PTERIDOPHYTA 羊歯植物門

Lycopodiaceae ヒカゲノカズラ科

- Lycopodium clavatum* LINN. var.
nipponicum NAKAI ヒカゲノカズラ
 東高尾, 稀。 Ch
- L. cryptomerinum* MAXIM.
 スギラン 高尾山 (芹沢氏)。 E
- L. serratum* THUNB. var. *serratum*
 ホソバトウゲシバ Ch
- L. serratum* THUNB. var. *serratum*
 f. *intermedium* NAKAI
 ヒロハントウゲシバ Ch

Selaginellaceae イワヒバ科

- Selaginella involvens* SPRING カタヒバ E
 北高尾, 稀。
- S. nipponica* FRANCH. et SAVAT.
 タチクラマゴケ Ch
- S. remotifolia* SPRING クラマゴケ Ch
- S. tamariscina* SPRING イワヒバ E

Isoetaceae ミズニラ科

- Isoetes japonica* A. BR. ミズニラ HH

Equisetaceae トクサ科

- Equisetum arvense* LINN. スギナ G
- E. palustre* LINN. イヌスギナ 南高尾, 稀。 G

Botrychiaceae ハナワラビ科

- Botrychium japonicum* UND. オオハナワラビ G
- B. strictum* UND. ナガボナツノハナワラビ G
- B. ternatum* SW. フユノハナワラビ G
- B. ternatum* SW. var.
nipponicum NAMEGATA アカハナワラビ G
- B. virginianum* SW. ナツノハナワラビ G

Ophioglossaceae ハナヤスリ科

- Ophioglossum thermale* KOMAROV
 var. *nipponicum* NISIDA コハナヤスリ G
 東高尾。

- O. vulgatum* LINN. ヒロハハナヤスリ G
 東高尾。

Osmundaceae ゼンマイ科

- Osmunda japonica* THUNB. ゼンマイ G
- O. lancea* THUNB. ヤシャゼンマイ G
 南高尾, 北高尾, 稀。
- O. lancea* THUNB. f. *intermedia* TAGAWA
 オクタマゼンマイ G
- O. lancea* THUNB. var. *latipinnula*
 TAGAWA オオバヤシャゼンマイ G

Schizaeaceae フサシダ科

- Lygodium japonicum* SW. カニクサ G

Gleicheniaceae ウラジロ科

- Gleichenia japonica* SPR. ウラジロ
 南高尾, 高尾山, 北高尾, 東高尾, やや稀。 N
- Dicranopteris linearis* UND.
 var. *dichotoma* HOLLT. コシダ
 北高尾, 東高尾, 稀。 N

Hymenophyllaceae コケシノブ科

- Crepidomanes insigne* FU. アオホラゴケ
 高尾山, 北高尾, 稀。 E
- Gonocormus minutus* V.D.B. ウチワゴケ E
- Hymenophyllum barbatum* BAKER
 コウヤコケシノブ E
- Mecodium paniculiflorum* COPEL.
 ヒメコケシノブ 北高尾, 稀。 E
- M. polyanthos* COPEL.
 ホソバコケシノブ, 稀。 E
- M. wrightii* COPEL. コケシノブ
 北高尾, 稀。 E
- Vandenboschia radicans* COPEL. var.
orientalis H. ITO ハイホラゴケ
 高尾山, 稀。 E
- V. titibuensis* H. ITO チチブホラゴケ
 北高尾, 稀。 E

Pteridaceae イノモトソウ科

- Adiantum monochlamys* EATON ハコネシダ H
- A. pedatum* LINN. クジャクシダ H

<i>Cheilanthes argentea</i> KUNZE ヒメウラジロ 西高尾, 稀。 E	<i>A. dimorphophyllum</i> TAGAWA セイタカシケシダ 高尾山, 東高尾, 稀。 H
<i>Coniogramme</i> × <i>fauriei</i> HIERON イヌイワガネソウ G	<i>A. frangulum</i> TAGAWA ミヤコイヌワラビ 高尾山, 北高尾, 稀。 Ch
<i>C. intermedia</i> HIERON イワガネゼンマイ G	<i>A. hachijoense</i> OHWI シロヤマシダ 高尾山 (芹沢氏), 稀。 G
<i>C. intermedia</i> HIERON f. <i>nosei</i> KURATA チチブイワガネ, 高尾山 (芹沢氏) G	<i>A. iseanum</i> ROS. ホソバイヌワラビ 高尾山, 稀。 Ch
<i>C. intermedia</i> HIERON f. <i>villosa</i> KURATA ウラゲイワガネ G	<i>A. japonicum</i> COPEL. シケシダ H
<i>C. japonica</i> DIELS イワガネソウ G	<i>A. mesosorum</i> MAKINO スリワラビ G
<i>Dennstaedtia hirsuta</i> METT. イヌシダ H	<i>A. niponicum</i> HANCE イヌワラビ G
<i>D. wilfordii</i> KOIDZ. オウレンシダ H	<i>A. niponicum</i> HANCE f. <i>metallicum</i> HONDA ニシキシダ G
<i>Microlepia marginata</i> C. CHR. フモトシダ H	<i>A. okuboanum</i> MAKINO オオヒメワラビ H
<i>Onychium japonicum</i> KUNZE タチシノブ H	<i>A. pycnosorum</i> CHRIST. ミヤマシケシダ Ch
<i>Pleurosoriopsis makinoi</i> FOMIN カラクサシダ 高尾山, 稀。 E	<i>A. squamigerum</i> OHWI キヨタキシダ Ch
<i>Pteridium aquilinum</i> KUHN. var. <i>latiusculum</i> UND. ワラビ G	<i>A. unifurcatum</i> C. CHR. オオヒメワラビモドキ, 高尾山, 稀。 H
<i>Pteris cretica</i> LINN. オオバノイノモトソウ G	<i>A. vidalii</i> NAKAI ヤマイヌワラビ Ch
<i>P. dispar</i> KUNZE アマクサシダ 高尾山, 稀。 G	<i>A. vidalii</i> NAKAI f. <i>pulvigerum</i> KURATA ケヤマイヌワラビ, 高尾山 Ch
<i>P. inaequalis</i> BAKER var. <i>aequata</i> TAGAWA オオバノハチジョウシダ G	<i>A. wardii</i> MAKINO ヒロハノイヌワラビ Ch
<i>P. multifida</i> POIR. イノモトソウ G	<i>A. wardii</i> MAKINO var. <i>majus</i> MAKINO オオヒロハイヌワラビ, 高尾山, 稀。 Ch
<i>Sphenomeris chusana</i> COPEL. ホラシノブ 東高尾, 稀。 H	<i>A. yokoscense</i> CHRIST. ヘビノネゴザ Ch
Parkeriaceae ミズワラビ科	<i>Cornopteris decurrenti-alata</i> NAKAI シケチシダ G
<i>Ceratopteris thalictroides</i> BRONGN. ミズワラビ, 稀。 Th	<i>C. decurrenti-alata</i> NAKAI var. <i>pilosella</i> H. ITO タカオシケチシダ 高尾山, 北高尾, 稀。 G
Davalliaceae シノブ科	<i>C. hakonensis</i> NAKAI ハコネシケチシダ 北高尾, 西高尾, 稀。 G
<i>Davallia mariesii</i> MOORE シノブ E	<i>Ctenitis maximowicziana</i> CHING キヨスミヒメワラビ, 高尾山, 稀。 G
Aspidiaceae オシダ科	<i>Cyclosorus acuminatus</i> NAKAI ホシダ H
<i>Athyrium clivicola</i> TAGAWA カラクサイヌワラビ Ch	<i>Cyrtomium caryotideum</i> PR. メヤブソテツ 高尾山, 稀。 Ch
<i>A. conilii</i> TAGAWA ホソバシケシダ H	<i>C. falcatum</i> PR. オニヤブソテツ 高尾山, 稀。 Ch
<i>A. conilii</i> TAGAWA var. <i>oldhami</i> TAGAWA ヤブシダ H	
<i>A. crenatum</i> RUPR. var. <i>glabrum</i> TAGAWA ミヤマシダ, 高尾山, 稀。 G	

<i>C. fortunei</i> J. SMITH ヤブソテツ	Ch	<i>D. sacrosancta</i> KOIDZ. ヒメイタチシダ	H
<i>C. fortunei</i> J. SMITH var. <i>clivicola</i> TAGAWA ヤマヤブソテツ	Ch	<i>D. saxifraga</i> H. ITO イワイタチシダ	E
高尾山にはノコギリヤマヤブソテツ f. <i>grossidens</i> にあたるものもあるが、区別 しないことにした。		<i>D. tokyoensis</i> C. CHR. タニヘゴ 多摩陵 (畔上氏), 稀。	Ch
<i>C. fortunei</i> J. SMITH var. <i>intermedium</i> TAGAWA ミヤコヤブソテツ		<i>D. uniformis</i> MAKINO オクマワラビ	Ch
高尾山 (畔上氏) 稀。	Ch	<i>D. × watanabei</i> KURATA フジオシダ 南高尾 (林弥栄), 稀。	Ch
<i>Diplazium subsinuatum</i> TAGAWA ヘラシダ		<i>Gymnocarpium oyamense</i> CHING エビラシダ 高尾山, 北高尾, 西高尾, 稀。	H
高尾山 (林弥栄), 稀。	H	<i>Lastrea glanduligera</i> MOORE ハシゴシダ	H
<i>Dryopteris atrata</i> CHING イワヘゴ		<i>L. japonica</i> COPEL. ハリガネワラビ	H
高尾山, 北高尾, やや稀。	Ch	<i>L. japonica</i> COPEL. var. <i>musashiensis</i> HONDA イワハリガネワラビ 高尾山 (坂本氏), 稀。	H
<i>D. atrata</i> CHING f. <i>cycadina</i> NAMEGATA et KURATA イヌイワヘゴ, 高尾山, 稀。	Ch	<i>L. japonica</i> COPEL. f. <i>viridescens</i> TAGAWA アオハリガネワラビ	H
<i>D. bissetiana</i> C. CHR. ヤマイタチシダ	H	<i>L. laxa</i> COPEL. ヤワラシダ	H
<i>D. championi</i> C. CHR. サイコクベニシダ 東高尾, 稀。	H	<i>L. miqueliana</i> TAGAWA コハシゴシダ	H
<i>D. chinensis</i> KOIDZ. ミサキカグマ	Ch	<i>L. oligophlebia</i> COPEL. var. <i>elegans</i> TAGAWA ヒメワラビ	H
<i>D. crassarhizoma</i> NAKAI オシダ 稀。	Ch	<i>L. subochthodes</i> TAGAWA イブキシダ 高尾山 (林弥栄), 稀。	H
<i>D. dickinsii</i> C. CHR. オオクジャクシダ 北高尾, 稀。	Ch	<i>L. thelypteris</i> BORY ヒメシダ	H
<i>D. erythrosora</i> O. KUNTZE ベニシダ	H	<i>L. viridifrons</i> TAGAWA ミドリヒメワラビ	H
<i>D. erythrosora</i> O. KUNTZE f. <i>viridisora</i> H. ITO ミドリベニシダ	H	<i>Leptogramma mollissima</i> CHING ミゾシダ	H
<i>D. fuscipes</i> C. CHR. マルバベニシダ 高尾山, 北高尾。	H	<i>L. mollissima</i> CHING f. <i>takaoyamensis</i> HAYASHI エダウチミゾシダ 高尾山 (林弥栄), 稀。	H
<i>D. gymnophylla</i> C. CHR. サクライカグマ 高尾山, 東高尾, 北高尾, 稀。	H	<i>Matteuccia orientalis</i> TREV. イヌガンソク	Ch
<i>D. hondoensis</i> KOIDZ. オオベニシダ	H	<i>M. struthiopteris</i> TODARO クサソテツ	Ch
<i>D. hondoensis</i> KOIDZ. f. <i>rubrisora</i> KURATA ホオベニオオベニシダ 北高尾 (芹沢氏)	H	<i>Onoclea sensibilis</i> LINN. var. <i>interrupta</i> MAXIM. コウヤワラビ	G
<i>D. lacera</i> O. KUNTZE クマワラビ	Ch	<i>Phegopteris decursive-pinnata</i> FÉE ゲジゲジシダ	Ch
<i>D. lacera</i> O. KUNTZE f. <i>intermedia</i> H. ITO アイノコクマワラビ	Ch	<i>P. polypodioides</i> FÉE ミヤマワラビ 北高尾 (畔上氏, 林弥栄), 稀。	H
<i>D. nipponensis</i> KOIDZ. トウゴクシダ	H	<i>Polystichopsis amabilis</i> TAGAWA オオカナワラビ, 高尾山, 北高尾。	H
<i>D. pacifica</i> TAGAWA オオイタチシダ	H	<i>P. miqueliana</i> TAGAWA ナライシダ 高尾山, 南高尾, 東高尾, 稀。	H
<i>D. polylepis</i> C. CHR. ミヤマクマワラビ 高尾山, 稀。	Ch		

<i>P. musica</i> TAGAWA シノブカグマ 高尾山 (林弥栄), 稀。 H	<i>P. pseudo-makinoi</i> TAGAWA サイコクイノデ Ch
<i>P. aristata</i> HOLTZ. ホソバカナワラビ 北高尾。 H	<i>P. retroso-paleaceum</i> TAGAWA var. <i>ovato-paleaceum</i> TAGAWA ツヤナシイノデ Ch
<i>P. simplicior</i> TAGAWA ハカタシダ H	<i>P. rigens</i> TAGAWA オニイノデ 高尾山, 稀。 Ch
<i>P. simplicior</i> TAGAWA var. <i>major</i> TAGAWA オニカナワラビ, 高尾山, 北高尾。 H	<i>P. tagawanum</i> KURATA イノデモドキ Ch
<i>P. standishii</i> TAGAWA リョウメンシダ H	<i>P. × takaosanense</i> KURATA タカオイノデ 高尾山, 稀。 Ch
<i>Polystichum × anceps</i> KURATA ドウリョウイノデ, 高尾山, (芹沢氏), 稀。 Ch	<i>P. × tripterum</i> PR. ジュウモンジシダ Ch
<i>P. braunii</i> FÉE ホソイノデ 高尾山 (畔上氏), 稀。 Ch	<i>P. tripterum</i> PR. f. <i>simplicissimum</i> TAGAWA ヒトツバジュウモンジシダ Ch
<i>P. craspedosorum</i> DIELS ツルデンダ E 南高尾, 稀。	<i>P. tsus-simense</i> J. SM. ヒメカナワラビ H
<i>P. × hakonense</i> KURATA ハコネイノデ 西高尾 (城所氏), 稀。 Ch	<i>P. tsus-simense</i> J. SM. var. <i>mayebarai</i> KURATA オオキヨズミシダ 高尾山, 稀。 H
<i>P. igaense</i> TAGAWA チャボイノデ Ch	<i>Woodsia manchuriensis</i> HOOK. フクロシダ E
<i>P. iidanum</i> KURATA アイカタイノデ 高尾山 (芹沢氏), 稀。 Ch	<i>W. polystichoides</i> EATON イワデンダ E
<i>P. × izuense</i> KURATA カタイノデモドキ 高尾山, 稀。 Ch	Blechnaceae シシガシラ科
<i>P. × jitaroi</i> KURATA ジタロウイノデ 北高尾 (芹沢氏), 稀。 Ch	<i>Struthiopteris amabilis</i> CHING オサシダ 北高尾, 稀。 Ch
<i>P. × kurokawae</i> TAGAWA アカメイノデ 高尾山, 稀。 Ch	<i>S. niponica</i> NAKAI シシガシラ Ch
<i>P. makinoi</i> TAGAWA カタイノデ Ch	<i>Woodwardia orientalis</i> SW. コモチシダ 稀。 Ch
<i>P. × mashikoi</i> KURATA アマギイノデ 高尾山, 稀。 Ch	Aspleniaceae チャセンシダ科
<i>P. ohmurae</i> KURATA トヨグチイノデ 高尾山 (畔上氏), 稀。 Ch	<i>Asplenium incisum</i> THUNB. トラノオシダ H
<i>P. × ongataense</i> KURATA オンガタイノデ 高尾山, 北高尾, 稀。 Ch	<i>A. sarelii</i> HOOK. コパノヒノキシダ E
<i>P. × okanum</i> KURATA ナメライノデ 北高尾 (芹沢氏), 稀。 Ch	<i>A. pekinense</i> HANCE トキワトラノオ 西高尾, 稀。 H
<i>P. polyblepharum</i> PR. イノデ Ch	<i>A. varians</i> WALL. イワトラノオ E
<i>P. polyblepharum</i> PR. var. <i>fibrilloso-paleaceum</i> TAGAWA アスカイノデ Ch	Polypodiaceae ウラボシ科
<i>P. polyblepharum</i> PR. var. <i>intermedium</i> KURATA アイアスカイノデ Ch	<i>Camptosorus sibiricus</i> RUPR. クモノスシダ 高尾山, 稀。 E
	<i>Crypsinus hastatus</i> COPEL. ミツデウラボシ E
	<i>Lemmaphyllum microphyllum</i> PR. マメツタ E
	<i>Lepisorus onoei</i> CHING ヒメノキシノグ E
	<i>L. thunbergianus</i> CHING ノキシノブ E

<i>L. ussuriensis</i> CHING var. <i>distans</i> TAGAWA	
ミヤマノキシノブ	E
<i>Loxogramme saziran</i> TAGAWA サジラン	
高尾山 (畔上氏), 北高尾, 稀。	E
<i>Neocheiropteris ensata</i> CHING クリハラン	
高尾山 (菱山氏, 芹沢氏), 稀。	Ch
<i>Polypodium fauriei</i> CHRIST.	
オシヤクジデンド, 北高尾 (畔上氏), 稀。	E
<i>Pyrrosia linearifolia</i> CHING ピロウドシダ	E

SPERMATOPHYTA 種子植物門

GYMNOSPERMAE 裸子植物亜門

GINKGOALES イチヨウ綱

Ginkgoaceae イチヨウ科

Ginkgo biloba LINN. イチヨウ, 植栽

CONIFERAE 球果植物綱

Taxaceae イチイ科

Torreya nucifera SIEB. et ZUCC. カヤ MM (E)

Cephalotaxaceae イヌガヤ科

Cephalotaxus harringtonia K. KOCH
イヌガヤ M (E)

Pinaceae マツ科

Abies firma SIEB. et ZUCC. モミ MM (E)

Larix leptolepis GORDON カラマツ, 植栽

Picea polita CARR. ハリモミ
高尾山, 稀。 MM (E)

Pinus densiflora SIEB. et ZUCC.
アカマツ MM (E)

P. pentaphylla MAYR キタゴヨウマツ, 植栽

P. thunbergii PARL. クロマツ
高尾山, 稀。 MM (E)

Tsuga sieboldii CARR. ツガ
東高尾, 北高尾, 稀。 MM (E)

Taxodiaceae スギ科

Cryptomeria japonica D. DON スギ
植栽, 野化。 MM (E)

C. japonica D. DON var. *radicans* NAKAI
キタヤマダイスギ, 植栽

Cupressaceae ヒノキ科

Chamaecyparis obtusa SIEB. et ZUCC.
ヒノキ, 植栽, 野化。 MM (E)

C. obtusa SIEB. et ZUCC. f. *hasegawana*
HAYASHI クリハダヒノキ, 植栽。

C. pisifera SIEB. et ZUCC. サワラ
植栽, 野化。 MM (E)

C. pisifera SIEB. et ZUCC. f. *crassa*
HAYASHI アツカワサワラ, 植栽。

Thujaopsis dolabrata SIEB. et ZUCC.
アスナロ, 植栽。

Juniperus rigida SIEB. et ZUCC.
ネズミサシ, 南高尾, 稀。 M (E)

ANGIOSPERMAE 被子植物亜門

DICOTYLEDONEAE 双子葉植物綱

ARCHICHLAMYDEAE 古生花被植物亜綱

Saururaceae ドクダミ科

Houttuynia cordata THUNB. ドクダミ G

Saururus chinensis BAILL. ハンゲショウ G

Chloranthaceae センリョウ科

Chloranthus japonica SIEB. ヒトリシズカ G

C. serratus ROEN. et SCHULT.
フタリシズカ G

Salicaceae ヤナギ科

Populus sieboldi MIQ. ヤマナラシ MM (D)

Salix bakko KIMURA
ヤマネコヤナギ (パッコヤナギ) MM (D)

S. futura SEEM.
オオネコヤナギ (キンメヤナギ) N (D)

<i>S. gracilistyla</i> MIQ. ネコヤナギ	N (D)	<i>C. tschonoskii</i> MAXIM. イヌシデ	MM (D)
<i>S. integra</i> THUNB. イヌコリヤナギ	N (D)	<i>C. tschonoskii</i> MAXIM. 1. <i>incisa</i> INOKUMA ヒイラギイヌシデ	
<i>S. japonica</i> THUNB. シバヤナギ	M (D)	北高尾 (猪熊氏), 稀。	MM (D)
<i>S. kinuyanagi</i> KIMURA キヌヤナギ, 野化。	M (D)	<i>Corylus sieboldiana</i> BLUME ツノハシバミ	M (D)
<i>S. sachalinensis</i> FR. SCHM. オノエヤナギ	MM (D)	<i>Ostrya japonica</i> SARG. アサダ	MM (D)
<i>S. serissaefolia</i> KIMURA コゴメヤナギ		Fagaceae ブナ科	
北高尾, 稀。	MM (D)	<i>Castanea crenata</i> SIEB. et ZUCC. クリ	MM (D)
<i>S. subfragilis</i> ANDERS タチヤナギ	M (D)	<i>Castanopsis cuspidata</i> SCHOTTKY	
<i>S. vulpina</i> ANDERS キツネヤナギ	N (D)	ツブラジイ, 東高尾, 稀。	MM (E)
Juglandaceae クルミ科		<i>C. cuspidata</i> SCHOTTKY var. <i>sieboldii</i> NAKAI スダジイ	MM (E)
<i>Juglans ailanthifolia</i> CARR. オニグルミ	MM (D)	<i>Fagus crenata</i> BLUME ブナ	MM (D)
<i>Pterocarya rhoifolia</i> SIEB. et ZUCC.		<i>F. japonica</i> MAXIM. イヌブナ	MM (D)
サワグルミ, 高尾山, 北高尾, 稀。	MM (D)	<i>Quercus acuta</i> THUNB. アカガシ	MM (E)
Betulaceae カバノキ科		<i>Q. acuta</i> THUNB. f. <i>megaphylla</i> OKUYAMA	
<i>Alnus firma</i> SIEB. et ZUCC. var. <i>hirtella</i> FRANCH. et SAVAT.		オオアカガシ, 高尾山, 稀。	MM (E)
ミヤマヤシャブシ	MM (D)	<i>Q. acuta</i> THUNB. var. <i>Yokohamensis</i> NAKAI ヒメアカガシ	MM (E)
<i>A. hirsuta</i> TURCZAN. ケヤマハンノキ	MM (D)	<i>Q. acutissima</i> CARR. クヌギ	MM (D)
<i>A. hirsuta</i> TURCZAN. var. <i>sibirica</i> SCHNEID. ヤマハンノキ	MM (D)	<i>Q. aliena</i> BLUME var. <i>pellucida</i> BLUME	
<i>A. japonica</i> STEUD. ハンノキ	MM (D)	アオナラガシワ, 高尾山, 北高尾, 稀。	MM (D)
<i>A. × peculiaris</i> HIYAMA		<i>Q. dentata</i> THUNB. カシワ	MM (D)
タルミヤシャブシ, 南高尾 (桧山氏), 稀。	MM (D)	<i>Q. nipponica</i> KOIDZ. ホソバガシワ	
<i>A. pendula</i> MATSUM.		高尾山, 北高尾, 稀。	MM (D)
ヒメヤシャブシ, 植栽。		<i>Q. gilva</i> BLUME イチイガシ	
<i>Betula grossa</i> SIEB. et ZUCC.		東高尾, 稀。	MM (E)
ヨグソミネバリ (ミズメ), 高尾山, 北 高尾, 稀。	MM (D)	<i>Q. glauca</i> THUNB. アラカシ	MM (E)
<i>B. platyphylla</i> SUKATCHEV var. <i>japonica</i> HARA シラカンバ		<i>Q. mongolica</i> FISCH. var. <i>grosseserrata</i> REHD. et WILS. ミズナラ	MM (D)
北高尾, 稀。	MM (D)	<i>Q. myrshinaefolia</i> BLUME シラカシ	MM (E)
<i>Carpinus cordata</i> BLUME サワシバ	MM (D)	<i>Q. sessilifolia</i> BLUME ツクバネガシ	MM (E)
<i>C. japonica</i> BLUME クマシデ	MM (D)	<i>Q. salicina</i> BLUME var. <i>stenophylla</i> HATSUSIMA ウラジロガシ	MM (E)
<i>C. laxiflora</i> BLUME アカシデ	MM (D)		

<i>Q. salicina</i> BLUME f. <i>latifolia</i> KOBAYASHI-YOSHIO ヒロハウラジロガシ	MM (E)
<i>Q. serrata</i> THUNB. コナラ	MM (D)
<i>Q. serrata</i> THUNB. var. <i>donarium</i> KITAM. et T. HORIKAWA テリハコナラ	MM (D)
<i>Q. takaoyamensis</i> MAKINO オオツクバネガシ 高尾山, 北高尾, 東高尾, 稀。	MM (E)
<i>Q. takatorensis</i> MAKINO コガシワ 南高尾, 稀。	MM (E)
Ulmaceae ニレ科	
<i>Aphananthe aspera</i> PLANCH. ムクノキ	MM (D)
<i>Celtis jessoensis</i> KOIDZ. エゾエノキ 高尾山, 稀。	MM (D)
<i>C. sinensis</i> PERS. var. <i>japonica</i> NAKAI エノキ	MM (D)
<i>Ulmus davidiana</i> PLANCH. var. <i>japonica</i> NAKAI ハルニレ	MM (D)
<i>Zelkova serrata</i> MAKINO ケヤキ	MM (D)
<i>Z. schneideriana</i> HAND.-MAZZ. トウゲヤキ, 高尾山, 東高尾, 稀。	MM (D)
Moraceae クワ科	
<i>Broussonetia kazinoki</i> SIEB. コウゾ	M (D)
<i>Fatoua villosa</i> NAKAI クワクサ	Th
<i>Ficus nipponica</i> FRANCH. et SAVAT. イタビカズラ	L (E)
<i>Humulus japonicus</i> SIEB. et ZUCC. カナムグラ	Th
<i>H. lupulus</i> LINN. var. <i>cordifolius</i> MAXIM. カラハナソウ	H
<i>Morus bombycis</i> KOIDZ. ヤマグラ	MM (D)
<i>M. bombycis</i> KOIDZ. f. <i>quinquefolia</i> HOTTA モミジバヤマグラ	MM (D)

Urticaceae イラクサ科	
<i>Boehmeria longispica</i> STEUD. ヤブマオ	H
<i>B. nippononivea</i> KOIDZ. カラムシ	H
<i>B. nippononivea</i> KOIDZ. var. <i>concolor</i> OHWI アオカラムシ	H
<i>B. paraspicata</i> NAKAI クサコアカソ f. <i>viridis</i> SATAKE 南高尾, 北高尾 アオコアカソ	H
<i>B. platanifolia</i> FRANCH. et SAVAT. メヤブマオ	H
<i>B. sieboldiana</i> BLUME ナガバヤブマオ	H
<i>B. sieboldiana</i> BLUME f. <i>decomposita</i> HIYAMA タカオヤブマオ, 稀。	H
<i>B. spicata</i> THUNB. コアカソ	N (D)
<i>B. tricuspis</i> MAKINO アカソ	H
<i>Elatostema densiflorum</i> FRANCH. et SAVAT. トキホコリ	Th
<i>E. umbellatum</i> BLUME ヒメウワバミソウ	HH
<i>E. umbellatum</i> BLUME var. <i>majus</i> MAXIM. ウワバミソウ	HH
<i>Laportea bulbifera</i> WEDDELL ムカゴイラクサ	H
<i>Nanocnide japonica</i> BLUME カテンソウ	H
<i>Pilea hamaoi</i> MAKINO ミズ	Th
<i>P. japonica</i> HAND.-MAZZ. ヤマミズ	Th
<i>P. mongolica</i> WEDDELL アオミズ	Th
<i>Urtica thunbergiana</i> SIEB. et ZUCC. イラクサ	H
Santalaceae ビャクダン科	
<i>Buckleya lanceolata</i> MIQ. ツクバネ	N (D)
<i>Thesium chinense</i> TURCZ. カナビキノウ	H
Lorantaceae ヤドリギ科	
<i>Taxillus kaempferi</i> DANSER マツグミ	E (E)
<i>Viscum album</i> LINN. var. <i>coloratum</i> OHWI ヤドリギ	E (E)
Aristolochiaceae ウマノスズクサ科	
<i>Aristolochia debilis</i> SIEB. et ZUCC. ウマノスズクサ	G

<i>A. kaempferi</i> WILLD.		<i>P. perfoliata</i> H. GROSS	イシミカワ	Th
オオバウマノスズクサ	(L) (D)	<i>P. pubescens</i> HARA f. <i>acuminata</i> HIYAMA		
<i>Asarum blumei</i> DUCH.	ランヨウアオイ	ボントクタデ		Th
<i>A. caulescens</i> MAXIM.	フタバアオイ	<i>P. sagittata</i> H. GROSS. var. <i>sieboldi</i> NAKAI		
北高尾, 稀。	H	アキノウナギツカミ		Th
<i>A. kooyanum</i> MAKINO var. <i>nipponicum</i>		<i>P. senticosa</i> H. GROSS.		
KITAM. カンアオイ	H	ママコノシリヌグイ		Th
<i>A. tamaense</i> MAKINO	タマノカンアオイ	<i>P. tenuiflora</i> HARA	オオイスタデ	Th
高尾山, 東高尾, 稀。	H	<i>P. tenuiflora</i> HARA f. <i>albiflora</i> MURAI		
Polygonaceae タデ科		シロバナオオイスタデ		Th
<i>Bilderdykia convolvulus</i> DUMERT	ソバカズラ	<i>P. thunbergii</i> H. GROSS	ミゾソバ	Th
ヨーロッパ, 西部アジア原産, 帰化。	Th	<i>P. thunbergii</i> H. GROSS f. <i>viridialba</i>		
<i>Fagopyrum sagittatum</i> GILIB.	ソバ, 野化。	IWATA	シロバナミゾソバ	Th
<i>Logunea cochinchinensis</i> LOUR var.		<i>P. debilis</i> H. GROSS	ミヤマタニソバ	Th
<i>pilosa</i> NAKAI	オオケタデ	<i>P. viscofera</i> H. GROSS	ネバリタデ	Th
印度, マレーシア, 中国原産, 帰化。	Th	<i>P. viscofera</i> H. GROSS subsp.		
<i>L. orientalis</i> NAKAI		<i>robusta</i> HIYAMA	オオネバリタデ	Th
アカオオケタデ (オオベニタデ)		<i>P. oreophila</i> HIYAMA	ヤマミゾソバ	Th
中国, タイ, インド原産, 帰化。	Th	<i>P. yokusaiana</i> NAKAI	ハナタデ	Th
<i>Persicaria conspicua</i> NAKAI	サクラタデ	<i>P. yokusaiana</i> NAKAI f. <i>albiflora</i> HARA		
<i>P. hastatotriloba</i> OKUYAMA	オオミゾソバ	シロバナハナタデ		Th
<i>P. hastatotriloba</i> OKUYAMA		<i>P. yokusaiana</i> NAKAI f. <i>laxiflora</i> HIYAMA		
f. <i>albiflora</i> HONDA		ナガボハナタデ		Th
シロバナオオミゾソバ	Th	<i>P. yokusaiana</i> NAKAI		
<i>P. hastatotriloba</i> OKUYAMA		f. <i>stenophylla</i> HIYAMA	ホソバナハナタデ	Th
f. <i>viridans</i> HONDA		<i>Polygonum aviculare</i> LINN.	ニワヤナギ	Th
アオバナオオミゾソバ	Th	<i>Reynoutria japonica</i> HOUTT.	イタドリ	G
<i>P. lapathifolia</i> S. F. GRAY	サナエタデ	<i>R. japonica</i> HOUTT. var. <i>compacta</i> HIYAMA		
<i>P. lapathifolia</i> S. F. GRAY var. <i>salicifolia</i>		f. <i>colorans</i> HIYAMA	メイゲツソウ	G
MIYABE	ウラジロサナエタデ	<i>Rumex acetosa</i> LINN.	スイバ	H
<i>P. longiseta</i> KITAGAWA	イスタデ	<i>R. acetosella</i> LINN.	ヒメスイバ	
<i>P. longiseta</i> KITAGAWA		ヨーロッパ, アジア原産, 帰化。		H
f. <i>albiflora</i> MASAM.	シロバナイスタデ	<i>R. conglomeratus</i> MURR.	アレチギシギシ	
<i>P. maackiana</i> NAKAI	サデクサ	ヨーロッパ原産, 帰化。		H
<i>P. mitis</i> GILIBERT var. <i>hirticaulis</i> HARA		<i>R. japonicus</i> HOUTT.	ギシギシ	H
et I. ITO	オオハルタデ	<i>R. obtusifolius</i> LINN.	エゾノギシギシ	H
<i>P. nepalensis</i> H. GROSS	タニソバ	<i>Sunania filiformis</i> RAFIN.	ミズヒキ	H
<i>P. nipponensis</i> H. GROSS	ヤノネグサ	<i>S. neofiliformis</i> HARA	シンミズヒキ	H
<i>P. paludicola</i> NAKAI	ヤナギヌカボ			

Chenopodiaceae アカザ科			
<i>Chenopodium album</i> LINN. シロザ			
欧亜大陸原産, 帰化。	Th		
<i>C. ambrosioides</i> LINN. ケアリタソウ 熱帯			
アメリカ原産, 帰化。	Th		
<i>C. ambrosioides</i> LINN. var. <i>anthermanticum</i>			
A. GRAY アメリカアリタソウ			
熱帯アメリカ原産, 帰化。	Th		
<i>C. ficifolium</i> SMITH コアカザ			
ヨーロッパ原産, 帰化。	Th		
Amaranthaceae ヒユ科			
<i>Achyranthes fauriei</i> LEV. et VAN.			
ヒナタイノコズチ	H		
<i>A. japonica</i> NAKAI イノコズチ	H		
<i>A. longifolia</i> MAKINO ヤナギイノコズチ	H		
<i>Amaranthus lividus</i> LINN. イヌビユ	Th		
<i>A. hybridus</i> LINN. var. <i>patulus</i> THELL.			
ホンアオゲイトウ			
熱帯アメリカ原産, 帰化。	Th		
<i>A. viridis</i> LINN. ホナガイヌビユ (アオビユ)			
熱帯アメリカ原産, 帰化。	Th		
Phytolaccaceae ヤマゴボウ科			
<i>Phytolacca americana</i> LINN.			
ヨウシュヤマゴボウ			
北アメリカ原産, 帰化。	G		
<i>P. esculenta</i> VAN HOUTTE ヤマゴボウ	G		
<i>P. japonica</i> MAKINO マルミノヤマゴボウ			
高尾山, 稀。	G		
Aizoaceae ザクロソウ科			
<i>Mollugo pentaphylla</i> LINN. ザクロソウ	Th		
<i>M. verticillata</i> LINN. クルマバザクロソウ			
北アメリカ原産, 東高尾, 稀, 帰化。	Th		
Portulacaceae スベリヒユ科			
<i>Portulaca oleracea</i> LINN.			
スベリヒユ	Th		
Caryophyllaceae ナデシコ科			
<i>Arenaria serpyllifolia</i> LINN. ノミノツヅリ	Th		
<i>Cerastium glomeratum</i> THUILL.			
オランダミミナグサ			
ヨーロッパ原産, 帰化。	Th		
<i>C. holosteoides</i> FRIES var.			
<i>hallaisanense</i> MIZUSHIMA ミミナグサ	Th		
<i>Cucubalus baccifer</i> LINN. var.			
<i>japonicus</i> MIQ. ナンバンハコベ	H		
<i>Dianthus superbus</i> LINN. var.			
<i>longicalycinus</i> WILLIAMS カワラナデシコ	H		
<i>Lychnis miqueliana</i> ROHRB.			
フシログロセンノウ	G		
<i>Melandryum firmum</i> ROHRB. フシグロ	Th		
<i>M. firmum</i> ROHRB. f. <i>pubescens</i> MAKINO			
ケフシグロ	Th		
<i>Moehringia lateriflora</i> FENZL.			
オオヤマフスマ, 東高尾。	H		
<i>Pseudostellaria heterophylla</i> PAX			
ワダソウ, 西高尾 (畔上氏), 稀。	H		
<i>Sagina japonica</i> OHWI ツメクサ	Th		
<i>Silene armeria</i> LINN. ムシトリナデシコ			
ヨーロッパ原産, 野化。	Th		
<i>Stellaria alsine</i> GRIMM. var. <i>undulata</i> OHWI			
ノミノフスマ	Th		
<i>S. aquatica</i> SCOP. ウシハコベ	H		
<i>S. diversiflora</i> MAXIM. サワハコベ	H		
<i>S. media</i> VILLARS コハコベ	Th		
<i>S. neglecta</i> WEIHE ハコベ (ミドリハコベ)	Th		
<i>S. monosperma</i> HAMILT. var.			
<i>japonica</i> MAXIM. オオヤマハコベ	G		
<i>S. sessiliflora</i> YABE ミヤマハコベ	H		
Nymphaeaceae スイレン科			
<i>Nuphar japonicum</i> DC. コウホネ			
東高尾, 稀。	HH		
Eupteleaceae フサザクラ科			
<i>Euptelea polyandra</i> SIEB. et ZUCC.			
フサザクラ	MM (D)		
<i>E. polyandra</i> SIEB. et ZUCC.			
f. <i>hypoleuca</i> MIZUSHIMA et YOKOUCHI			
ウラジロフサザクラ			
南高尾, 北高尾 (林弥栄), 稀。	MM (D)		

Cercidiphyllaceae カツラ科			
<i>Cercidiphyllum japonicum</i> SIEB. et ZUCC.			
カツラ, 北高尾。			
高尾山, 東高尾などに植栽林がある。	MM		
	(D)		
Ranunculaceae キンボウゲ科			
<i>Aconitum japonicum</i> THUNB. var.			
<i>montanum</i> NAKAI ヤマトリカブト	G		
<i>A. senanense</i> NAKAI ホソパトリカブト			
南高尾, 稀。	G		
<i>Adonis amurensis</i> REGEL et RADDE			
フクジュソウ, 西高尾, 北高尾, 稀。	G		
<i>Anemone flaccida</i> FR. SCHM. ニリンソウ	G		
<i>A. flaccida</i> FR. SCHM. f. <i>rosea</i> HAYASHI			
ウスベニニリンソウ	G		
<i>A. flaccida</i> FR. SCHM. f. <i>viridis</i> TATEWAKI			
ミドリニリンソウ, 高尾山, 稀。	G		
<i>A. nikoensis</i> MAXIM. イチリンソウ	G		
<i>A. nikoensis</i> MAXIM. f. <i>violacea</i> HAYASHI			
f. nov. ムラサキイチリンソウ	G		
南高尾, 稀。			
<i>A. nikoensis</i> MAXIM. f. <i>plena</i> SUGIMOTO			
ヤエイイチリンソウ, 南高尾, 稀。	G		
<i>A. hupehensis</i> LEMOINE var. <i>japonica</i>			
BOWLES et STEARN シュウメイギク			
中国原産, 野化。	H		
<i>A. pseudo-altaica</i> HARA			
キクザキイチリンソウ, 高尾山, 稀。	G		
<i>A. raddeana</i> REGEL アズマイチゲ	G		
<i>Anemonopsis macrophylla</i> SIEB. et ZUCC.			
レンゲシヨウマ, 北高尾, 稀。	G		
<i>Cimicifuga acerina</i> C. TANAKA var.			
<i>macrophylla</i> HARA オオバシヨウマ			
北高尾, 稀。	G		
<i>C. japonica</i> SPRENGEL イヌシヨウマ	G		
<i>C. simplex</i> WORMSK. サラシナシヨウマ	G		
<i>Clematis apiifolia</i> DC. ボタンヅル	L		
	(D)		
<i>C. apiifolia</i> DC. var. <i>biternata</i> MAKINO			
コボタンヅル	L		
	(D)		
<i>C. japonica</i> THUNB. ハンシヨウヅル	L		
	(D)		
<i>C. japonica</i> THUNB. f. <i>grandiflora</i> HAYASHI			
f. nov. オオバナハンシヨウヅル			
南高尾 (林弥栄), 稀。	L		
	(D)		
<i>C. stans</i> SIEB. et ZUCC. クサボタン	Ch		
	(D)		
<i>C. terniflora</i> DC. センニンソウ	L		
	(D)		
<i>Delphinium anthriscifolium</i> HANCE			
セリバヒエンソウ, 中国原産, 東高尾,			
帰化。	Th		
<i>Isopyrum trachyspermum</i> MAXIM.			
トウゴクサバノオ, 南高尾 (畔上氏), 稀。	H		
<i>Lycototum fudjisanense</i> NAKAI			
フジレイジンソウ, 西高尾, 北高尾, 稀。	G		
<i>Paeonia japonica</i> MIYABE et TAKEDA			
ヤマシャクヤク	G		
<i>P. japonica</i> MIYABE et TAKEDA			
f. <i>hirsuta</i> HARA ケヤマシャクヤク			
高尾山, 稀。	G		
<i>P. ovovata</i> MAXIM. ベニバナヤマシャクヤク	G		
<i>P. ovovata</i> MAXIM. f. <i>glabra</i> TAKEDA			
ケナシベニバナヤマシャクヤク	G		
<i>Pulsatilla cernua</i> SPR. オキナグサ			
高尾山, 北高尾, 稀。	H		
<i>Ranunculus cantoniensis</i> DC.			
ケキツネノボタン	HH		
<i>R. japonicus</i> THUNB. ウマノアシガタ	H		
<i>R. japonicus</i> THUNB. f. <i>pleniflorus</i> HONDA			
キンボウゲ, 南高尾, 東高尾, 稀。	H		
<i>R. quelpaertensis</i> NAKAI			
ヤマキツネノボタン	H		
<i>R. quelpaertensis</i> NAKAI var. <i>glaber</i> HARA			
キツネノボタン	HH		
<i>R. sceleratus</i> LINN. タガラシ	Th		
<i>Semiaquilegia adoxoides</i> MAKINO ヒメウズ	H		
<i>Thalictrum actaeifolium</i> SIEB. et ZUCC.			
シギンカラマツ, 西高尾, 稀。	H		
<i>T. minus</i> LINN. var. <i>hypoleucum</i> MIQ.			
アキカラマツ	H		
Lardizabalaceae アケビ科			
<i>Akebia</i> × <i>pentaphylla</i> MAKINO			
ゴヨウアケビ, 東高尾, 稀。	L		
	(D)		

A. quinata DECNE アケビ L
(D)

A. trifoliata KOIDZ. ミツバアケビ L
(D)

Berberidaceae メギ科

Berberis thunbergii DC. メギ N
(D)

Caulophyllum robustum MAXIM.
ルイヨウボタン G

Epimedium grandiflorum MORR. var.
thunbergianum NAKAI イカリソウ H

Nandina domestica THUNB.
ナンテン, 野化。 N
(E)

Menispermaceae ツツラフジ科

Cocculus trilobus DC. アオツツラフジ L
(D)

Sinomenium acutum REHD. et WILS.
ツツラフジ L
(D)

Magnoliaceae モクレン科

Lilium religiosum SIEB. et ZUCC. シキミ M
(E)

Kadsura japonica DUNAL ビナンカズラ L
(E)

Magnolia kobus DC. コブシ MM
(D)

M. obovata THUNB. ホオノキ MM
(D)

Schisandra repanda RADLK. マツブサ L
(D)

Lauraceae クスノキ科

Actinodaphne lancifolia MEISSN. カゴノキ MM
(E)

Cinnamomum camphora SIEB. クスノキ
東高尾, 植栽。

C. japonicum SIEB. ヤブニクケイ MM
(E)
東高尾, 野化。

Lindera glauca BLUME ヤマコウバシ M
(D)

L. obtusiloba BLUME ダンコウバイ M
(D)

L. obtusiloba BLUME f. *villosa* BLUME
ウラゲダンコウバイ M
(D)

L. umbelata THUNB. クロモジ M
(D)

Machilus thunbergii SIEB. et ZUCC.
タブノキ MM
(E)

Neolitsea sericea KOIDZ. シロダモ MM
(E)

Parabenzoin praecox NAKAI アブラチャン M
(D)

Papaveraceae ケシ科

Chelidonium japonicum THUNB.
ヤマブキソウ, 南高尾。 H

C. japonicum THUNB. f. *lanceolatum* OHWI
ホソバヤマブキソウ, 南高尾, 稀。 H

C. majus LINN. var. *asiaticum* OHWI
クサノオウ Th

Corydalis decumbens PERS.
ジロウボウエンゴサク G

C. incisa PERS. ムラサキケマン Th

C. incisa PERS. f. *pollescens* MAKINO
シロヤブケマン Th

C. lineariloba SIEB. et ZUCC.
ヤマエンゴサク Th

C. pallida PERS. var. *tenuis* YATABE
ミヤマキケマン Th

Macleya cordata R. BR. タケニグサ G

Cruciferae アブラナ科

Arabis glabra BERNH. ハタザオ Th

A. hirsuta SCOP. ヤマハタザオ Th

Capsella bursa-pastoris MEDICUS ナズナ Th

Cardamine anemonoides O. E. SCHULZ
ミツバコンロンソウ H

C. appendiculata FRANCH. et SAVAT.
ヒロハコンロンソウ, 南高尾, 北高尾。 HH

C. flexuosa WITH. タネツケバナ Th

C. flexuosa WITH. var. *fallax* O.E. SCHULZ
タチタネツケバナ Th

C. flexuosa WITH var. *latifolia* MAKINO
ミズタネツケバナ HH

C. impatiens LINN. ジャニンジン Th

C. scutata THUNB. オオバタネツケバナ HH

C. tanakae FRANCH. et SAVAT.
マルバコンロンソウ Th

Draba nemorosa LINN.
var. *hebecarpa* LEDEB. イヌナズナ Th

<i>Lepidium virginicum</i> LINN. マメグンバイナズナ 北アメリカ原産, 帰化。	Th	<i>C. macrostemon</i> MAXIM. var. <i>atrundrum</i> HARA ヨゴレネコノメソウ	H
<i>Nasturtium officinale</i> R. BR. オランダガラシ ヨーロッパ, アジア原産, 帰化。	HH	<i>C. sphaerospermum</i> MAXIM. var. <i>vidalii</i> HARA ヤシュウネコノメ, 高尾山, 稀。	H
<i>Rorippa indica</i> HIERON イヌガラシ	H	<i>Deinathe bifida</i> MAXIM. ギンバイソウ 北高尾, 稀。	G
<i>R. islandica</i> BORBAS スカシタゴボウ	Th	<i>Deutzia crenata</i> SIEB. et ZUCC. ウツギ	N (D)
<i>Thlaspi arvense</i> LINN. グンバイナズナ ヨーロッパ原産, 帰化。	Th	<i>D. crenata</i> SIEB. et ZUCC. f. <i>plena</i> MAXIM. ヤエウツギ	N (D)
<i>Wasabia tenuis</i> MATSUM. ユリワサビ	H	<i>D. gracilis</i> SIEB. et ZUCC. ヒメウツギ	N (D)
<i>W. japonica</i> MATSUM. ワサビ, 野化。	H	<i>D. scabra</i> THUNB. マルバウツギ	N (D)
Crassulaceae ベンケイソウ科		<i>D. scabra</i> THUNB. f. <i>longifolia</i> HAYASHI オオヤママルバウツギ	N (D)
<i>Sedum bulbiferum</i> MAKINO コモチマンネングサ	Th	<i>Hydrangea hirta</i> SIEB. et ZUCC. コアジサイ	N (D)
<i>S. japonicum</i> SIEB. メノマンネングサ	H	<i>H. hirta</i> SIEB. et ZUCC. f. <i>albiflora</i> OKUYAMA シロバナコアジサイ	N (D)
<i>S. kamtschaticum</i> FISCHER キリンソウ	H	<i>H. involucrata</i> SIEB. タマアジサイ	N (D)
<i>S. lineare</i> THUNB. オノマンネングサ	H	<i>H. involucrata</i> SIEB. f. <i>multiplex</i> OKUYAMA ヨウラクタマアジサイ, 高尾山 (林弥栄), 稀。	N (D)
<i>S. makinoi</i> MAXIM. マルバマンネングサ 南高尾, 稀。	H	<i>H. involucrata</i> SIEB. f. <i>variegata</i> HAYASHI フイリタマアジサイ, 高尾山 (林弥栄), 稀。	N (D)
<i>S. subtile</i> MIQ. ヒメレンゲ	H	<i>H. macrophylla</i> SERINGE var. <i>acuminata</i> MAKINO サワアジサイ (ヤマアジサイ)	N (D)
Saxifragaceae ユキノシタ科		<i>H. paniculata</i> SIEB. ノリウツギ	M (D)
<i>Astilbe microphylla</i> KNOLL チダケサシ	H	<i>H. scandens</i> SERINGE ガクウツギ (コンテリギ)	N (D)
<i>A. thunbergii</i> MIQ. アカシヨウマ	H	<i>H. scandens</i> SERINGE f. <i>rosea</i> HIYAMA ベニガクウツギ, 南高尾 (桧山氏), 稀。	N (D)
<i>A. thunbergii</i> MIQ. f. <i>rosea</i> HIYAMA ウスベニアカシヨウマ 南高尾, 東高尾, 稀。	H	<i>Mitella pauciflora</i> ROSEND. コチャルメルソウ, 高尾山, 北高尾, 稀。	H
<i>Cardiandra alternifolia</i> SIEB. et ZUCC. クサアジサイ, 南高尾, 北高尾, 稀。	H	<i>Parnassia palustris</i> LINN. ウメバチソウ	H
<i>Chrysosplenium album</i> MAXIM. var. <i>stamineum</i> HARA ハナネコノメソウ	H	<i>Philadelphus satsumi</i> SIEB. バイカウツギ	N (D)
<i>C. flagelliferum</i> FR. SCHM. ツルネコノメソウ	H	<i>P. satsumi</i> SIEB. var. <i>nikoensis</i> NEMOTO ケバイカウツギ	N (D)
<i>C. grayanum</i> MAXIM. ネコノメソウ	H		
<i>C. japonicum</i> MAKINO ヤマネコノメソウ	H		
<i>C. japonicum</i> MAKINO f. <i>tetrandrum</i> HARA ヨツシベヤマネコノメソウ	H		
<i>C. macrostemon</i> MAXIM. ミヤマネコノメソウ	H		

<i>Saxifraga stolonifera</i> MEERB. ユキノシタ	H	<i>P. kleiniana</i> WIGHT et ARNOTT	
<i>Schizophragma hydrangeoides</i> SIEB. et ZUCC.		オヘビイチゴ	H
イワガラミ	L (D)	<i>P. yokusaiana</i> MAKINO ツルキンバイ	H
Hamamelidaceae マンサク科		<i>Photinia glabra</i> MAXIM. カナメモチ	
<i>Hamamelis japonica</i> SIEB. et ZUCC.		東高尾, 稀に野化。	M (E)
マンサク, 北高尾, 稀。	M (D)	<i>Pourthiaea villosa</i> DENCNE	
<i>Disanthus cercidifolia</i> MAXIM.		オオカマツカ (ワタゲカマツカ)	M (D)
マルバノキ, 植栽, まれに北高尾に野化。	N (D)	<i>P. villosa</i> DECNE var. <i>laevis</i> STAPP	
Platanaceae スズカケノキ科		カマツカ	M (D)
<i>Platanus orientalis</i> LINN.		<i>Prunus apetala</i> FRANCH. et SAVAT.	
スズカケノキ, 小アジア, イラン, アフガニスタン原産, 植栽		チョウジザクラ	M (D)
<i>P. occidentalis</i> LINN.		<i>P. buergeriana</i> MIQ. イヌザクラ	MM (D)
アメリカスズカケノキ, 北米原産, 植栽		<i>P. grayana</i> MAXIM. ウワミズザクラ	MM (D)
Rosaceae バラ科		<i>P. incisa</i> THUNB. マメザクラ	M (D)
<i>Amelanchier asiatica</i> ENDL. ザイフリボク		<i>P. incisa</i> THUNB. var. <i>tomentosa</i> KOIDZ.	
北高尾 (畔上氏), 稀。	MM (D)	ヤブザクラ, 東高尾, 南高尾, 稀。	M (D)
<i>Agrimonia coreana</i> NAKAI		<i>P. pendula</i> MAXIM. f. <i>ascendens</i> OHWI	
チョウセンキンミズヒキ, 北高尾, 稀。	G	エドヒガン, やや稀。	MM (D)
<i>A. pilosa</i> LEDEB. キンミズヒキ	G	<i>P. jamasakura</i> SIEB. ヤマザクラ	MM (D)
<i>A. nipponica</i> KOIDZ. ヒメキンミズヒキ	G	<i>P. jamasakura</i> SIEB. f. <i>pubescens</i> OHWI	
<i>Chaenomeles japonica</i> LINDL. クサボケ	N (D)	ウスゲヤマザクラ	MM (D)
<i>C. japonica</i> LINDL. f. <i>plena</i> HIYAMA et KOBAYASHI-YOSHIO ヤエクサボケ		<i>P. lannesiana</i> WILS. var. <i>lannesiana</i>	
東高尾, 稀。	N (D)	サトザクラ, 植栽。	
<i>Duchesnea chrysantha</i> MIQ. ヘビイチゴ	H	<i>P. lannesiana</i> WILS. var. <i>speciosa</i> MAKINO	
<i>D. indica</i> FOCKE ヤブヘビイチゴ	H	オオシマザクラ, 高尾山, 植栽。	
<i>Genum japonicum</i> THUNB. ダイコンソウ	H	<i>P. spinulosa</i> SIEB. et ZUCC. リンボク	
<i>Kerria japonica</i> DC. ヤマブキ	N (D)	北高尾, 東高尾, 稀。	M (E)
<i>Malus sieboldii</i> REHD. ズミ	M (D)	<i>P. sieboldii</i> WITTMACK ナデン	
<i>M. sieboldii</i> REHD. var. <i>zumi</i> ASAMI		北高尾, 東高尾, 植栽。	
オオズミ, 高尾山 (都公緑報告), 稀。	M (D)	<i>P. verecunda</i> KOEHNE カスミザクラ	MM (D)
<i>M. tschonoskii</i> SCHNEID. オオウラジロノキ		<i>P. yedoensis</i> MATSUM. ソメイヨシノ, 植栽。	
高尾山, 南高尾, 北高尾, やや稀。	M (D)	<i>Pyrus Kunoriana</i> KOIDZ. アズマナシ	
<i>Potentilla cryptotaeniae</i> MAXIM.		西高尾, 稀。	MM (D)
ミツモトソウ	H	<i>P. pyrifolia</i> NAKAI ヤマナシ	MM (D)
<i>P. fragarioides</i> LINN. var. <i>major</i> MAXIM.		<i>Rosa luciae</i> FRANCH. et ROCHEBR.	
キジムシロ	H	ヤマテリハノイバラ (オオフジイバラ)	N (D)
<i>P. freyniana</i> BORN. ミツバツチグリ	H		

<i>R. luciae</i> FRANCH. et ROCHEBR.		
var. <i>fujisanensis</i> MAKINO フジイバラ	N (D)	
<i>R. luciae</i> FRANCH. et ROCHEBR. var. <i>hakonensis</i> FRANCH. et SAVAT.		
モリイバラ	N (D)	
<i>R. multiflora</i> THUNB. ノイバラ	N (D)	
<i>R. wichuraiana</i> CREP. テリハノイバラ	N (D)	
<i>Rubus buergeri</i> MIQ. フユイチゴ	Ch (D)	
<i>R. crataegifolius</i> BUNGE クマイチゴ	N (D)	
<i>R. hakonensis</i> FRANCH. et SAVAT.		
ミヤマフユイチゴ	Ch (E)	
<i>R. hirsutus</i> THUNB. クサイチゴ	C ^h (D)	
<i>R. microphyllus</i> LINN. fil. ニガイチゴ	N (D)	
<i>R. palmatus</i> THUNB. f. <i>coptophyllus</i> MAKINO		
モミジイチゴ	N (D)	
<i>R. parvifolius</i> LINN. ナワシロイチゴ	Ch (D)	
<i>R. phoenicolasius</i> MAXIM. エビガライチゴ	N (D)	
<i>Sanguisorba officinalis</i> LINN. ワレモコウ		G
<i>S. officinalis</i> LINN. var. <i>pilosella</i> OHWI		
ウラゲワレモコウ, 南高尾 (林弥栄), 稀。		G
<i>Sorbus amifolia</i> K. KOCH アズキナシ	MM (D)	
<i>S. japonica</i> HEDL. ウラジロノキ	MM (D)	
<i>Spiraea japonica</i> LINN. fil. シモツケ	N (D)	
<i>Stephanandra incisa</i> ZABEL コゴメウツギ	N (D)	
<i>S. tanakae</i> FRANCH. et SAVAT.		
カナウツギ, 南高尾 (畔上氏), 稀。	N (D)	
Leguminosae マメ科		
<i>Aeschynomene indica</i> LINN. クサネム		Th
<i>Albizzia julibrissin</i> DURAZZ. ネムノキ	MM (D)	
<i>Amphicarpha edgeworthii</i> BENTH.		
var. <i>japonica</i> OLIVER ヤブマメ		H
<i>Apios fortunei</i> MAXIM. ホド		G
<i>Astragalus sinicus</i> LINN.		
レンゲソウ (ゲンゲ), 中国原産, 野化。		Th
<i>A. reflexistipulus</i> MIQ.		
モメンヅル, 西高尾, 稀。		H
<i>Azukiangularis</i> OHWI		
var. <i>nipponensis</i> OHWI ヤブツルアズキ		Th
<i>Caesalpinia japonica</i> SIEB. et ZUCC.		
ジャケツイバラ		L (D)
<i>Cassia nomame</i> HONDA カワラケツメイ		Th
<i>Cladrastis platycarpa</i> MAKINO フジキ		MM (D)
<i>C. sikokiana</i> MAKINO ユクノキ		
高尾山 (林弥栄), 稀。		MM (D)
<i>Desmodium oldhami</i> OLIVER フジカンゾウ		G
<i>D. oldhami</i> OLIVER		
f. <i>leucanthum</i> OKUYAMA		
シロバナフジカンゾウ, 西高尾, 稀。		G
<i>D. racemosum</i> DC. ヌスビトハギ		G
<i>D. racemosum</i> DC. var. <i>dilatatum</i> OHWI		
ケヤブハギ		G
<i>D. racemosum</i> DC.		
var. <i>mandschricum</i> OHWI ヤブハギ		G
<i>D. racemosum</i> DC. var. <i>villosum</i> OHWI		
マルバノヌスビトハギ		G
<i>D. racemosum</i> DC. var. <i>villosum</i> OHWI		
f. <i>glabrius</i> HIYAMA ウスゲヌスビトハギ		G
<i>Dumasia truncata</i> SIEB. et ZUCC. ノササゲ		H
<i>Dunbaria villosa</i> MAKINO		
ヒメクズ (ノアズキ)		H
<i>Gleditsia japonica</i> MIQ. サイカチ		MM (D)
<i>Glycine soja</i> SIEB. et ZUCC. ツルマメ		Th
<i>Indigofera pseudo-tinctoria</i> MATSUM.		
コマツナギ		Ch (D)
<i>Kummerowia stipulacea</i> MAKINO		
マルバヤハズソウ		Th
<i>K. striata</i> SCHIND. ヤハズソウ		Th
<i>Lathyrus quinquerivius</i> LITW. レンリソウ		H
<i>Lespedeza bicolor</i> TURCZA. エゾヤマハギ		N (D)

<i>L. bicolor</i> TURCZA. f. <i>acutifolia</i> MATSUM.			
ヤマハギ	N (D)		
<i>L. buergeri</i> MIQ. キハギ	N (D)		
<i>L. cuneata</i> G. DON メドハギ	Ch (D)		
<i>L. cuneata</i> G. DON var. <i>serpens</i> OHWI			
ハイメドハギ	Ch (D)		
<i>L. cyrtobotrya</i> MIQ. マルバハギ	N (D)		
<i>L. cyrtobotrya</i> MIQ.			
var. <i>kawachiana</i> OHWI カワチハギ, 稀。	N (D)		
<i>L. homoloba</i> NAKAI			
ツクシハギ (ニッコウシラハギ)	N (D)		
<i>L. pilosa</i> SIEB. et ZUCC. ネコハギ	H		
<i>L. tomentosa</i> SIEB. イヌハギ, 東高尾, 稀。	N (D)		
<i>L. virgata</i> DC. マキエハギ	Ch (D)		
<i>Lotus corniculatus</i> LINN.			
var. <i>japonicus</i> REGEL ミヤコグサ	H		
<i>L. corniculatus</i> LINN. var. <i>japonicus</i> REGEL			
f. <i>versicolor</i> MAKINO ニシキミヤコグサ	H		
<i>Maackia amurensis</i> RUPR. et MAXIM.			
var. <i>buergeri</i> SCHNEID. イヌエンジュ	MM (D)		
<i>Pueraria lobata</i> OHWI クズ	L (D)		
<i>Rhynchosia acuminatifolia</i> MAKINO			
トキリマメ	H		
<i>R. volubilis</i> LOUR. タンキリマメ	H		
<i>Robinia pseudoacacia</i> LINN. ニセアカシア			
植栽, 野化。	MM (D)		
<i>Sophora flavescens</i> AITON クララ	H		
<i>Trifolium pratense</i> LINN. アカツメクサ			
ヨーロッパ原産, 帰化。	H		
<i>T. repens</i> LINN. シロツメクサ			
ヨーロッパ原産, 帰化。	H		
<i>Vicia amoena</i> FISCHER ツルフジバカマ	H		
<i>V. bifolia</i> NAKAI ミヤマタニワタシ	G		
<i>V. cracca</i> LINN. クサフジ	H		
<i>V. hirsuta</i> S. F. GRAY スズメノエンドウ	Th		
<i>V. pseudo-orobus</i> FISH. et MEY.			
オオバクサフジ, 東高尾, 稀。	H		
<i>V. sativa</i> LINN. subsp. <i>angustifolia</i> GAUDIN			
var. <i>segetalis</i> SER. ヤハズノエンドウ	Th		
<i>V. sativa</i> LINN. subsp. <i>angustifolia</i> GAUDIN			
var. <i>segetalis</i> SER. f. <i>normalis</i> KITAM.			
ツルナシヤハズノエンドウ	Th		
<i>V. tetrasperma</i> SCHREB. カスマグサ	Th		
<i>V. unijuga</i> A. BR. ナンテンハギ	G		
<i>Wisteria floribunda</i> DC. フジ	L (D)		
Geraniaceae フウロンウ科			
<i>Geranium krameri</i> FRANCH. et SAVAT.			
タチフウロ	H		
<i>G. thunbergii</i> SIEB. et ZUCC.			
ゲンノショウコ	H		
<i>G. thunbergii</i> SIEB. et ZUCC. f. <i>pallidum</i>			
MURATA シロバナゲンノショウコ	H		
<i>G. thunbergii</i> SIEB. et ZUCC. f. <i>roseum</i>			
MURATA ベニバナゲンノショウコ	H		
<i>G. wilfordi</i> MAXIM. ミツバフウロ	H		
<i>G. wilfordi</i> MAXIM. var. <i>chinense</i> HARA			
タカオフウロ, 高尾山, 稀。	H		
Oxalidaceae カタバミ科			
<i>Oxalis corniculata</i> LINN. カタバミ	H		
<i>O. corniculata</i> LINN.			
f. <i>atropurpurea</i> V. HOUTTE			
ウスアカカタバミ	H		
<i>O. corniculata</i> LINN. f. <i>rubrifolia</i> HARA			
アカカタバミ	H		
<i>O. fontana</i> BUNGE エゾタチカタバミ	H		
<i>O. fontana</i> BUNGE var. <i>bushii</i> HARA			
ケエゾタチカタバミ	H		
<i>O. griffithii</i> EDG. et HOOK. fil.			
ミヤマカタバミ	H		
<i>O. martiana</i> ZUCC. ムラサキカタバミ			
南アメリカ原産, 帰化。	H		
Linaceae アマ科			
<i>Linum stelleroides</i> PLANCH.			
マツパニンジン, 西高尾, 稀。	Th		
Rutaceae ミカン科			
<i>Boenninghausenia japonica</i> NAKAI			
マツカゼソウ	H		

<i>Fagara ailanthoides</i> ENGLER				MEY. et LALL. ニシキノウ	Th
カラスザンショウ	M			<i>E. sieboldiana</i> MORR. et DECNE	
	(D)			ナツトウダイ	G
<i>F. manchuria</i> HONDA イヌザンショウ	N			<i>E. sieboldiana</i> MORR. et DECNE	
	(D)			f. <i>sylvatica</i> HURUSAWA オオバカンズイ	
<i>Orixa japonica</i> THUNB. コクサギ	N			東高尾, 稀。	G
	(D)			<i>E. supina</i> RAFIN. コニシキノウ	
<i>Phellodendron amurense</i> RUPR. キハダ	MM			北米原産, 帰化。	Th
	(D)			<i>Mallotus japonica</i> MUELL. ARG.	
<i>Skimmia japonica</i> THUNB. ミヤマシキミ	N			アカメガシワ	MM
	(E)				(D)
<i>S. japonica</i> THUNB. f. <i>rosea</i> HAYASHI	N			<i>M. japonica</i> MUELL. ARG.	
アケボノミヤマシキミ	(E)			f. <i>angustata</i> HAYASHI	
<i>S. japonica</i> THUNB. f. <i>rugosa</i> OHWI	N			ナガバアカメガシワ	MM
ウチダシミヤマシキミ	(E)				(D)
<i>S. japonica</i> THUNB. var. <i>intermedia</i>				<i>Phyllanthus matsumurae</i> HAYATA	
KOMATSU f. <i>repens</i> HARA				ヒメミカンソウ	Th
ツルシキミ	N			<i>P. urinaria</i> LINN. コミカンソウ	Th
	(E)			<i>Sapium japonicum</i> PAX et HOFFM.	
<i>Zanthoxylum piperitum</i> DC. (サンショウ)				シラキ	M
f. <i>corticolum</i> KUSAKA					(D)
アツカワサンショウ	N			<i>Securinega suffruticosa</i> REHD.	
	(D)			var. <i>japonica</i> HURUSAWA	
<i>Z. piperitum</i> DC. f. <i>verrucatum</i> KUSAKA	N			ヒトツバハギ	N
イボザンショウ	(D)				(D)
<i>Z. planispinum</i> SIEB. et ZUCC.					
フユザンショウ	N				
	(E)				
				Callitrichaceae アワゴケ科	
Simaroubaceae ニガキ科				<i>Callitriche japonica</i> ENGELM. アワゴケ	Th
<i>Ailanthus altissima</i> SWINGLE				<i>C. verna</i> LINN. ミズハコベ	HH
シンジュ (ニワウルシ) 中国原産, 野化。	MM				
	(D)			Buxaceae ツゲ科	
<i>Picrasma quassioides</i> BENN.				<i>Buxus microphylla</i> SIEB. et ZUCC.	
var. <i>glabrescens</i> PAMP. ニガキ	MM			var. <i>japonica</i> REHD. et WILS. ツゲ	
	(D)			東高尾, 稀。	M
Polygalaceae ヒメハギ科					(E)
<i>Polygala japonica</i> HOUTT. ヒメハギ		H		<i>Pachysandra terminalis</i> SIEB. et ZUCC.	
				フッキソウ, 北高尾, 稀。	Ch
Euphorbiaceae トウダイグサ科					(E)
<i>Acalypha australis</i> LINN. エノキグサ		Th		Coriariaceae ドクウツギ科	
<i>Euphorbia ebracteolata</i> HAYATA				<i>Coriaria japonica</i> A. GRAY ドクウツギ	
マルミノウルシ (ベニタイゲキ)				南高尾。	N
西高尾, 稀。		G			(D)
<i>E. helioscopia</i> LINN. トウダイグサ		Th		Anacardiaceae ウルシ科	
<i>E. maculata</i> LINN. オオニシキノウ				<i>Rhus ambigua</i> LAV. ツタウルシ	L
北米原産, 帰化。		Th			(D)
<i>E. pekinensis</i> RUPR. タカトウダイ		G		<i>R. javanica</i> LINN. ヌルデ	MM
					(D)
<i>E. pseudochamaesyce</i> FISCH.,				<i>R. trichocarpa</i> MIQ. ヤマウルシ	M
					(D)

<i>R. verniciflua</i> STOKES ウルシ	MM (D)	<i>E. melananthus</i> FRANCH. et SAVAT.	N (D)
中国, インド原産, 植栽, 野化。		サワダツ, 西高尾, 稀。	
Aquifoliaceae モチノキ科		<i>E. sieboldianus</i> BLUME マユミ	M (D)
<i>Ilex crenata</i> THUNB. イヌツゲ	M (E)	<i>E. sieboldianus</i> BLUME	
<i>I. integra</i> THUNB. モチノキ	MM (E)	var. <i>sanguineus</i> NAKAI	M (D)
植栽およびまれに野化。		カントウマユミ	
<i>I. latifolia</i> THUNB. タラヨウ	MM (E)	Staphyleaceae ミツバウツギ科	
植栽およびまれに野化。		<i>Euscaphis japonica</i> KANITZ. ゴンズイ	M (D)
<i>I. macropoda</i> MIQ. アオハダ	MM (D)	<i>Staphylea bumalda</i> DC. ミツバウツギ	M (D)
<i>I. macropoda</i> MIQ.		<i>S. bumalda</i> DC.	
f. <i>pseudo-macropoda</i> HARA	MM (D)	form <i>kobotokensis</i> HAYASHI	
ケナシアオハダ		ミドリミツバウツギ, 小仏(畔上氏), 稀。	M (D)
<i>I. serrata</i> THUNB. ウメドモキ	N (D)	Aceraceae カエデ科	
<i>I. serrata</i> THUNB. var. <i>argutidens</i> REHD.	N (D)	<i>Acer capillipes</i> MAXIM. ホソエカエデ	
イヌウメドモキ		高尾山 (林弥栄), 稀。	MM (D)
Celastraceae ニシキギ科		<i>A. carpinifolium</i> SIEB. et ZUCC.	
<i>Celastrus flagellaris</i> RUPR. イワウメヅル	L (D)	チドリノキ	MM (D)
西高尾, 南高尾, 稀。		<i>A. cissifolium</i> K. KOCH ミツデカエデ	MM (D)
<i>C. orbiculatus</i> THUNB. ツルウメドモキ	L (D)	<i>A. crataegifolium</i> SIEB. et ZUCC.	
<i>C. orbiculatus</i> THUNB. f. <i>papillosus</i> HARA	L (D)	ウリカエデ	M (D)
イヌツルウメドモキ		<i>A. diabolicum</i> BLUME カジカエデ	MM (D)
<i>C. orbiculatus</i> THUNB. var. <i>strigillosus</i>		<i>A. distylum</i> SIEB. et ZUCC.	
MAKINO オニツルウメドモキ	L (D)	ヒトツバカエデ	MM (D)
<i>C. stephanotiiifolius</i> MAKINO		北高尾 (畔上氏), 稀。	
オオツルウメドモキ		<i>A. japonicum</i> THUNB. ハウチワカエデ	MM (D)
(シタキツルウメドモキ)	L (D)	高尾山 (吉山氏), 稀。	
<i>Euonymus alatus</i> SIEB. ニシキギ	N (D)	<i>A. mono</i> MAXIM. var. <i>ambiguum</i> REHD.	MM (D)
<i>E. alatus</i> SIEB. f. <i>ciliatodentatus</i> HIYAMA	N (D)	オニイタヤ	
コマユミ		<i>A. mono</i> MAXIM. var. <i>marmoratum</i> HARA	MM (D)
<i>E. fortunei</i> HAND.-MAZZ.		f. <i>dissectum</i> REHD. エンコウカエデ	
var. <i>radicans</i> REHD. ツルマサキ	L (E)	<i>A. mono</i> MAXIM. var. <i>marmoratum</i> HARA	MM (D)
<i>E. japonicus</i> THUNB. マサキ, 植栽, 野化。	N (E)	f. <i>heterophyllum</i> NAKAI イタヤカエデ	
<i>E. oxyphyllus</i> MIQ. ツリバナ	M (D)	<i>A. mono</i> MAXIM. var. <i>marmoratum</i> HARA	MM (D)
<i>E. oxyphyllus</i> MIQ.		f. <i>tashiroi</i> HARA ケナシヤグルマカエデ	MM (D)
f. <i>microcarpus</i> HAYASHI		<i>A. mono</i> MAXIM. var. <i>convivens</i> HARA	MM (D)
タンザワツリバナ, 高尾山。	M (D)	ウラゲエンコウカエデ	

- A. mono* MAXIM. var. *connivens* HARA
f. *subtrifidum* REHD. ヤグルマカエデ MM
(D)
- A. nikoense* MAXIM. メグスリノキ MM
(D)
- A. palmatum* THUNB. var. *palmatum*
イロハモミジ MM
(D)
- A. palmatum* THUNB. var. *amoenum* OHWI
オオモミジ MM
(D)
- A. rufinerve* SIEB. et ZUCC.
ウリハダカエデ MM
(D)
- A. sieboldianum* MIQ. コハウチワカエデ MM
(D)
- A. tenuifolium* KOIDZ. ヒノウチワカエデ M
(D)
- Hippocastanaceae** トチノキ科
- Aesculus turbinata* BLUME トチノキ
高尾山, 北高尾, 稀。 MM
(D)
- Sapindaceae** ムクロジ科
- Sapindus mukurossi* GAERTNER ムクロジ
高尾山, 東高尾, 稀。 MM
(D)
- Sabiaceae** アワブキ科
- Meliosma myriantha* SIEB. et ZUCC.
アワブキ MM
(D)
- M. tenuis* MAXIM. ミヤマホウソウ N
(D)
- Balsaminaceae** ツリフネソウ科
- Impatiens noli-tangere* LINN. キツリフネ Th
- I. textori* MIQ. ツリフネソウ Th
- I. textori* MIQ. f. *pallescens* HARA
シロバナツリフネソウ
高尾山, 東高尾, 稀。 Th
- Rhamnaceae** クロウメドモドキ科
- Berberia racemosa* SIEB. et ZUCC.
クマヤナギ L
(D)
- Hovenia dulcis* THUNB. ケンポナシ MM
(D)
- Rhamnus davurica* PALL.
var. *nipponica* MAKINO クロツバラ N
(D)
- 南高尾, やや稀。
- R. japonica* MAXIM. var. *decipiens* MAXIM.
クロウメドモドキ N
(D)
- R. japonica* MAXIM. var. *microphylla* HARA
コバノクロウメドモドキ N
(D)
- Vitaceae** ブドウ科
- Ampelopsis brevipedunculata* TRAUTV.
var. *heterophylla* HARA ノブドウ L
(D)
- A. brevipedunculata* TRAUTV. var. *heterophylla*
HARA f. *citruloides* REHD.
キレハノブドウ L
(D)
- Cayratia japonica* CAGN. ヤブカラシ G
- Parthenocissus tricuspidata* PLANCH.
ツタ L
(D)
- Vitis ficifolia* BUNGE var. *lobata* NAKAI
エビヅル L
(D)
- V. flexuosa* THUNB. サンカクヅル L
(D)
- V. × tsukubana* F. MAEKAWA
ウスゲサンカクヅル
高尾山, 北高尾, 稀。 L
(D)
- Tiliaceae** シナノキ科
- Corchoropsis tomentosa* MAKINO
カラスノゴマ Th
- Tilia japonica* SIMONK. シナノキ MM
(D)
- 北高尾, 稀。
- T. miqueliana* MAXIM. ボダイジュ
中国原産, 薬王院境内植栽。
- Malvaceae** アオイ科
- Hibiscus mutabilis* LINN. フヨウ, 植栽。
- H. syriacus* LINN. ムクゲ, 中国原産, 植栽。
- Sterculiaceae** アオギリ科
- Firmiana simplex* W.F. WIGHT アオギリ
中国原産, 植栽, 東高尾, 野化。 MM
(D)
- Actinidiaceae** サルナシ科
- Actinidia arguta* PLANCH. サルナシ L
(D)
- A. hypoleuca* NAKAI ウラジロマタタビ L
(D)
- A. polygama* PLANCH. マタタビ L
(D)
- Theaceae** ツバキ科
- Camellia japonica* LINN. ヤブツバキ MM
(E)

<i>C. japonica</i> LINN. var. <i>hortensis</i> MAKINO ツバキ, 植栽		<i>V. grypoceras</i> A. GRAY f. <i>pubescens</i> MIZUSHIMA ケタチツボスミレ	H
<i>Cleyera japonica</i> THUNB. サカキ	MM (E)	<i>V. grypoceras</i> A. GRAY f. <i>purpurellocarcarata</i> HIYAMA オトメスミレ, 東高尾, 稀。	H
<i>Eurya japonica</i> THUNB. ヒサカキ	M (E)	<i>V. hondoensis</i> W. BECKER et BOISS. アオイスミレ	H
<i>Thea sinensis</i> LINN. チャノキ 中国原産, 植栽, 野化。	N (E)	<i>V. japonica</i> LANGS. コスミレ	H
<i>Thea sinensis</i> LINN. f. <i>macrophylla</i> SIEB. トウチャ, 北高尾などに植栽。		<i>V. japonica</i> LANGS. f. <i>albida</i> F. MAEKAWA シロバナツクシコスミレ 南高尾 (芹沢氏), 稀。	H
Guttiferae オトギリソウ科		<i>V. japonica</i> LANGS. f. <i>barbata</i> HIYAMA ヒゲコスミレ	H
<i>Hypericum ascyron</i> LINN. トモエソウ	H	<i>V. keiskei</i> MIQ. f. <i>barbata</i> HIYAMA ヒゲケマルバスマミレ	H
<i>H. erectum</i> THUNB. オトギリソウ	H	<i>V. keiskei</i> MIQ. f. <i>okuboi</i> F. MAEKAWA ケマルバスマミレ	H
<i>H. erectum</i> THUNB. f. <i>angustifolium</i> Y. KIMURA ホソバオトギリソウ	H	<i>V. kusanoana</i> MAKINO オオタチツボスミレ	H
<i>H. laxum</i> KOIDZ. コケオトギリ	H	<i>V. mandshurica</i> W. BECKER スミレ	H
<i>H. oliganthum</i> FRANCH. et SAVAT. アゼオトギリ	H	<i>V. mandshurica</i> W. BECKER f. <i>ciliata</i> F. MAEKAWA ケスマミレ	H
Violaceae スミレ科		<i>V. mandshurica</i> W. BECKER f. <i>glabripetala</i> HIYAMA ワカシュウスミレ, 高尾山, 稀。	H
<i>Viola acuminata</i> LEDEB. エゾノタチツボスミレ	H	<i>V. maximowicziana</i> MAKINO コミヤマスマミレ	H
<i>V. bisseti</i> MAXIM. ナガバノスマミレサイシン	H	<i>V. maximowicziana</i> MAKINO f. <i>rubescens</i> MAKINO アカコミヤマスマミレ	H
<i>V. bisseti</i> MAXIM. f. <i>albiflora</i> NAKAI シロバナナガバノスマミレサイシン	H	<i>V. mirabilis</i> LINN. var. <i>subglabra</i> LINN. イブキスマミレ, 北高尾, 稀。	H
<i>V. chaerophylloides</i> W. BECKER f. <i>sieboldiana</i> F. MAEKAWA ヒゴスマミレ, 北高尾, 稀。	H	<i>V. obtusa</i> MAKINO ニオイタチツボスミレ	H
<i>V. eizanensis</i> MAKINO エゾスマミレ (エイザンスミレ)	H	<i>V. obtusa</i> MAKINO f. <i>nuda</i> F. MAEKAWA ケナシニオイタチツボスミレ	H
<i>V. eizanensis</i> MAKINO f. <i>candida</i> HIYAMA シロバナエゾスマミレ	H	<i>V. obtuso-grypoceras</i> MAKINO マルバタチツボスミレ 南高尾 (芹沢氏), 稀。	H
<i>V. grypoceras</i> A. GRAY タチツボスミレ	H	<i>V. phalacrocarpa</i> MAXIM. アカネスミレ	H
<i>V. grypoceras</i> A. GRAY f. <i>albiflora</i> MAKINO シロバナタチツボスミレ	H	<i>V. phalacrocarpa</i> MAXIM. f. <i>chionantha</i> HIYAMA コボトケスマミレ 西高尾, 稀。	H
<i>V. grypoceras</i> A. GRAY f. <i>hirtella</i> HIYAMA ウワゲタチツボスミレ, 南高尾 (芹沢氏)。	H		
<i>V. grypoceras</i> A. GRAY f. <i>viridiflora</i> MAKINO ミドリタチツボ スマミレ (岸田松若氏), 稀。	H		

<i>V. phalacrocarpa</i> MAXIM.		Flacourtiaceae イイギリ科	
<i>f. glaberrima</i> F. MAEKAWA オカスミレ	H	<i>Idesia polycarpa</i> MAXIM. イイギリ	MM (D)
<i>V. phalacrocarpa</i> MAXIM.		Stachyuraceae キブシ科	
<i>f. subpubescens</i> F. MAEKAWA		<i>Stachyurus praecox</i> SIEB. et ZUCC.	
ウスゲオカスミレ, 高尾山	H	キブシ	N (D)
<i>V. × polysecta</i> NAKAI スワスミレ		Begoniaceae シウカイドウ科	
西高尾 (芹沢氏), 稀。	H	<i>Begonia evansiana</i> ANDREWS シウカイドウ	
<i>V. rossii</i> HEMSL. アケボノスミレ	H	中国原産, 高尾山, 北高尾に野化。	H
<i>V. sieboldi</i> MAXIM. フモトスミレ	H	Thymelaeaceae ジンチョウゲ科	
<i>V. tokubuchiana</i> MAKINO var. <i>tenuicornis</i>		<i>Daphne pseudo-mezereum</i> A. GRAY	
F. MAEKAWA et HASHIMOTO		オニシバリ	N (D)
ヒナスミレ	H	<i>D. pseudo-mezereum</i> A. GRAY	
<i>V. tokubuchiana</i> MAKINO var. <i>tenuicornis</i>		<i>f. atropurpurea</i> HIYAMA	
F. MAEKAWA et HASHIMOTO		ムラサキオニシバリ	
<i>f. variegata</i> F. MAEKAWA et HASHIMOTO		高尾山, 南高尾, 東高尾, 稀。	N (D)
フイリヒナスミレ	H	<i>Wikstroemia gampi</i> MAXIM. コガンビ	
<i>V. tokubuchiana</i> MAKINO var. <i>tenuicornis</i>		南高尾, 西高尾, 稀。	N (D)
F. MAEKAWA et HASHIMOTO <i>f.</i>		<i>Edgeworthia papyrifera</i> SIEB. et ZUCC.	
<i>albiflora</i> HAYASHI シロバナヒナスミレ		ミツマタ, 中国原産, 野化。	N (D)
高尾山 (畔上氏), 稀。	H	Elaeagnaceae グミ科	
<i>V. tokyoensis</i> F. MAEKAWA et HASHIMOTO		<i>Elaeagnus glabra</i> THUNB. ツルグミ	L (E)
エドスミレ (スミレ×エイザンスミレ)		<i>E. multiflora</i> THUNB. ナツグミ	M (D)
北高尾, 稀。	H	<i>E. umbellata</i> THUNB. アキグミ	M (D)
<i>V. verecunda</i> A. GRAY ツボスミレ	H	Lythraceae ミソハギ科	
<i>V. verecunda</i> A. GRAY		<i>Lythrum anceps</i> MAKINO ミソハギ	H
<i>f. violascens</i> HIYAMA		<i>Rotala indica</i> KOEHNE キカシグサ	Th
ムラサキコマノツメ, 高尾山 (芹沢氏), 稀。	H	Alangiaceae ウリノキ科	
<i>V. violacea</i> MAKINO var. <i>makinoi</i> HIYAMA		<i>Marlea plataniifolia</i> SIEB. et ZUCC.	
マキノスミレ	H	var. <i>triloba</i> MIQ. ウリノキ	M (D)
<i>V. yedoensis</i> MAKINO ノジスミレ	H	<i>M. plataniifolia</i> SIEB. et ZUCC.	
<i>V. yedoensis</i> MAKINO		var. <i>triloba</i> MIQ. <i>f. velutina</i> HARA	
<i>f. barbata</i> HIYAMA オトコノジスミレ	H	ビロウドウリノキ	M (D)
<i>V. yedoensis</i> MAKINO		Oenotheraceae アカバナ科	
<i>f. glaberrima</i> F. MAEKAWA		<i>Circaea cordata</i> ROYLE ウシタキソウ	G
ケナシノジスミレ	H	<i>C. × dubia</i> HARA var. <i>makinoi</i> HARA	
<i>V. yezoensis</i> MAXIM. ヒカゲスミレ	H	ケタニタデ, 高尾山, 稀。	G
<i>V. yezoensis</i> MAXIM. <i>f. discolor</i> HIYAMA		<i>C. erubescens</i> FRANCH. et SAVAT. タニタデ	G
タカオスミレ, 高尾山 (小泉秀雄氏), 稀。	H		
<i>V. yezoensis</i> MAXIM. <i>f. sordida</i> HIYAMA			
ハグロスミレ	H		

<i>C. mollis</i> SIEB. et ZUCC. ミズタマソウ	G
<i>Epilobium pyrricholophum</i> FRANCH. et SAVAT. var. <i>pyrricholophum</i> アカバナ	H
<i>Ludwigia prostrata</i> ROXB. チョウジタデ	Th
<i>Oenothera biennis</i> LINN. メマツヨイグサ 北米原産, 帰化。	Th
<i>O. erythrosepala</i> BORB. オオマツヨイグサ ヨーロッパ原産, 帰化。	Th
<i>O. parviflora</i> LINN. アレチマツヨイグサ 北米原産, 帰化。	Th
<i>O. stricta</i> LEDEB. マツヨイグサ 南米原産, 帰化。	H

Haloragaceae アリノトウグサ科

<i>Haloragis micrantha</i> R. BR. アリノトウグサ	H
---	---

Araliaceae ウコギ科

<i>Acanthopanax nipponicus</i> MAKINO オカウコギ	N (D)
<i>A. spinosus</i> MIQ. ヤマウコギ	N (D)
<i>A. sieboldianus</i> MAKINO ヒメウコギ 中国原産, 植栽。	
<i>A. trichodon</i> FRANCH. et SAVAT. ミヤマウコギ, 高尾山, 南高尾, やや稀。	N (D)
<i>Aralia cordata</i> THUNB. ウド	G
<i>A. elata</i> SEEM. タラノキ	N (D)
<i>A. elata</i> SEEM. var. <i>subinermis</i> OHWI メダラ	N (D)
<i>Fatsia japonica</i> DECNE et PLANCH. ヤツデ, 野化。	N (E)
<i>Dendropanax trifidus</i> MAKINO カクレミノ 東高尾に野化。	M (E)
<i>Hedera rhombea</i> BEAN キヅタ	L (E)
<i>Kalopanax pictus</i> NAKAI ハリギリ	MM (D)
<i>K. pictus</i> NAKAI var. <i>magnificus</i> NAKAI ケハリギリ	MM (D)
<i>K. pictus</i> NAKAI var. <i>magnificus</i> NAKAI f. <i>maximowiczii</i> HARA キレハハリギリ	MM (D)

<i>Panax japonicus</i> C. A. MEYER トチバニンジン	G
<i>P. japonicus</i> C. A. MEYER f. <i>dichrocarpum</i> NAKAI ソウシショウニンジン	G

Umbelliferae セリ科

<i>Angelica decursiva</i> FRANCH. et SAVAT. ノダケ	G
<i>A. hakonensis</i> MAXIM. イワニンジン 南高尾, 稀。	H
<i>A. inaequalis</i> MAXIM. ハナビゼリ 高尾山, 北高尾, 稀。	H
<i>A. polymorpha</i> MAXIM. シラネセンキュウ	H
<i>A. pubescens</i> MAXIM. シシウド	H
<i>Bupleurum falcatum</i> LINN. ミシマサイコ	F
<i>B. longiradiatum</i> TURCZ. ホタルサイコ	H
<i>Chamaele decumbens</i> MAKINO セントウソウ	H
<i>Cryptotaenia japonica</i> HASSK. ミツバ	H
<i>Heracleum moellendorffii</i> HANCE ハナウド	H
<i>Hydrocotyle japonica</i> MAKINO ミヤマチドメ	H
<i>H. maritima</i> HONDA ノチドメ	H
<i>H. javanica</i> THUNB. オオバチドメグサ	H
<i>H. ramiflora</i> MAXIM. オオチドメ	H
<i>H. sibthorpioides</i> LAM. チドメグサ	H
<i>Oenathe javanica</i> DC. セリ	HH
<i>Osmorhiza aristata</i> MAKINO et YABE ヤブニンジン	G
<i>Ostericum sieboldii</i> NAKAI ヤマゼリ	G
<i>O. sieboldii</i> NAKAI f. <i>hirtulum</i> HARA ケヤマゼリ	G
<i>Sanicula chinensis</i> BUNGE ウマノミツバ	H
<i>Seseli libanotis</i> KOCH var. <i>japonica</i> H. BOISS. イブキボウフウ	H
<i>Sium suave</i> WALT. var. <i>nipponicum</i> HARA サワゼリ (ヌマゼリ)	G
<i>Spuriopimpinella calycina</i> KITAGAWA ダケゼリ	G
<i>S. nikoensis</i> KITAGAWA ヒカゲミツバ 西高尾, 稀	G

<i>Torilis japonica</i> DC. ヤブジラミ	Th	Ericaceae ツツジ科	
<i>T. scabra</i> DC. オヤブジラミ	Th	<i>Leucothoe keiskei</i> MIQ. イワナンテン	
		高尾山, 南高尾, 稀。	(N) (E)
		Cornaceae ミズキ科	
<i>Aucuba japonica</i> THUNB. アオキ	(N) (E)	<i>Lyonia ovalifolia</i> DRUDE	
<i>A. japonica</i> THUNB.		var. <i>elliptica</i> HAND.-MAZZ. ネジキ	(M) (D)
f. <i>leucocarpa</i> OHWI シロミノアオキ	(N) (E)	<i>Pieris japonica</i> D. DON アセビ	(M) (E)
<i>A. japonica</i> THUNB. f. <i>longifolia</i> SCHELLE		<i>Rhododendron dilatatum</i> MIQ.	
ホソバアオキ	(N) (E)	ミツバツツジ	(N) (D)
<i>A. japonica</i> THUNB. f. <i>variegata</i> REHD.		<i>R. japonicum</i> SURING. レンゲツツジ	
フイリアオキ, 野生, 稀。	(N) (E)	高尾山, 南高尾, 北高尾。	(N) (D)
<i>A. japonica</i> THUNB. f. <i>viridiflora</i> MAKINO		<i>R. kaempferi</i> PLANCH. ヤマツツジ	(N) (E)
アオバナアオキ	(N) (E)	<i>R. kaempferi</i> PLANCH. f. <i>mikawanum</i> HARA	
<i>Cornus controversa</i> HEMSL. ミズキ	MM (D)	ムラサキヤマツツジ	(N) (E)
<i>C. brachypoda</i> C.A. MEY. クマノミズキ	MM (D)	<i>R. semibarbatum</i> MAXIM. バイカツツジ	(N) (E)
<i>C. kousa</i> BUERGER ヤマボウシ	MM (D)	<i>R. transiens</i> NAKAI オオヤマツツジ	
<i>Helwingia japonica</i> F. G. DIETR.		北高尾, 東高尾, 稀。	(N) (E)
ハナイカダ	(N) (D)	<i>Vaccinium oldhami</i> MIQ. ナツハゼ	(N) (D)
		<i>V. smallii</i> A. GRAY var. <i>glabrum</i> KOIDZ.	(N) (D)
		スノキ	(N) (D)
		Myrsinaceae ヤブコウジ科	
METACHLAMIDEAE 後生花被植物亜綱		<i>Ardisia crenata</i> SIMS. マンリョウ	(N) (E)
Diapensiaceae イワウメ科		<i>A. crenata</i> SIMS. f. <i>taquetii</i> OHWI	
<i>Shortia uniflora</i> MAXIM. イワウチヲ		オオバマンリョウ	
西高尾 (畔上氏), 稀。	H	高尾山, 東高尾, やや稀。	(N) (E)
		<i>A. japonica</i> BLUME ヤブコウジ	(Ch) (E)
		Primulaceae サクラソウ科	
Clethraceae リョウブ科		<i>Lysimachia acroadenia</i> MAXIM.	
<i>Clethra barbinervis</i> SIEB. et ZUCC.		ミヤマタゴボウ (ギンレイカ)	H
リョウブ	(M) (D)	<i>L. clethroides</i> DUBY オカトラノオ	G
		<i>L. vulgaris</i> L. var. <i>daurica</i> R. KNUTH	
Pyrolaceae イチヤクソウ科		クサレダマ, 高尾山 (林弥栄), 稀。	G
<i>Chimaphila japonica</i> MIQ. ウメガサソウ	H	<i>Lysimachia fortunei</i> MAXIM. スマトラノオ	G
<i>Monotropa hypopithys</i> LINN.		<i>L. japonica</i> THUNB. コナスビ	H
シャクジョウソウ, 高尾山, 東高尾, 稀。			
<i>M. uniflora</i> LINN. アキノギンリョウソウ		Ebenaceae カキノキ科	
<i>Monotropastrum globosum</i> H. ANDRES		<i>Diospyros kaki</i> THUNB. カキノキ, 植栽。	
ギンリョウソウ (マルミノギンリョウソウ)		<i>D. kaki</i> THUNB. var. <i>sylvestris</i> MAKINO	
<i>Pyrola japonica</i> KLENZE イチヤクソウ	Ch	ヤマガキ	MM (D)
<i>P. nephrophylla</i> H. ANDR.			
マルバノイチヤクソウ	Ch		

<i>D. japonica</i> SIEB. et ZUCC. シナノガキ (リュウキウマメガキ) 高尾山, 北高尾, やや稀。	MM (D)	<i>Mitrasacme pygmaea</i> R. BR. アイナエ	Th
Symplocaceae ハイノキ科		Gentianaceae リンドウ科	
<i>Symplocos chinensis</i> DRUCE var. <i>leucocarpa</i> OHWI f. <i>pilosa</i> OHWI サワフタギ	M (D)	<i>Gentiana scabra</i> BUNGE var. <i>buergeri</i> MAXIM. リンドウ	G
<i>S. coreana</i> OHWI タンナサワフタギ	M (D)	<i>G. scabra</i> BUNGE var. <i>buergeri</i> MAXIM. f. <i>stenophylla</i> OHWI ホソバリンドウ	G
<i>S. lucidus</i> SIEB. et ZUCC. クロキ 東高尾, 植栽, 野化。	MM (E)	<i>G. squarrosa</i> LEDEB. コケリンドウ 東高尾, 稀	Th
Styracaceae エゴノキ科		<i>G. zollingeri</i> FAWCETT フデリンドウ, 南高尾, 稀。	Th
<i>Pterostyrax hispida</i> SIEB. et ZUCC. オオバアサガラ, 西高尾, 稀。	MM (D)	<i>G. zollingeri</i> FAWCETT f. <i>albiflora</i> TUYAMA シロバナフデリンドウ	Th
<i>Sytrax japonica</i> SIEB. et ZUCC. エゴノキ	MM (D)	<i>Swertia bimaculata</i> HOOK. f. et THOMS. アケボノソウ, 南高尾, 東高尾。	Th
<i>S. obassia</i> SIEB. et ZUCC. ハクウンボク	MM (D)	<i>S. japonica</i> MAKINO センブリ	Th
Oleaceae モクセイ科		<i>Tripterospermum japonicum</i> MAXIM. ツルリンドウ	H (~Ch)
<i>Fraxinus lanuginosa</i> KOIDZ. var. <i>serrata</i> HARA アオダモ (コバノトネリコ)	MM (D)	<i>T. japonicum</i> MAXIM. f. <i>albiflorum</i> HONDA シロバナツルリンドウ, 高尾山	H (~Ch)
<i>F. longicuspis</i> SIEB. et ZUCC. ヤマトアオダモ, 高尾山, 東高尾, 稀。	MM (D)	Apocynaceae キョウチクトウ科	
<i>F. longicuspis</i> SIEB. et ZUCC. var. <i>latifolia</i> NAKAI ヒロハアオダモ (ツクシトネリコ) 高尾山, 稀。	MM (D)	<i>Trachelospermum asiaticum</i> NAKAI var. <i>intermedium</i> NAKAI テイカカズラ	L (E)
<i>F. sieboldiana</i> BLUME マルバアオダモ (ホソバアオダモ)	MM (D)	Asclepiadaceae ガガイモ科	
<i>Ligustrum japonicum</i> THUNB. ネズミモチ, 植栽, 野化。	N (D)	<i>Cynanchum atratum</i> BUNGE フナバラソウ 南高尾, 東高尾, やや稀。	G
<i>L. obtusifolium</i> SIEB. et ZUCC. イボタノキ	N (D)	<i>C. caudatum</i> MAXIM. イケマ	G
<i>L. tschonoskii</i> DECNE. ミヤマイボタ 高尾山, 稀。	N (D)	<i>C. subanceolatum</i> MAXIM. コバノカモメヅル (ハコネカモメヅル)	G
<i>Osmanthus heterophyllus</i> P. S. GREEN ヒイラギ	M (E)	<i>C. magnificum</i> NAKAI タチガシワ 高尾山, 西高尾, 南高尾。	G
Loganiaceae フジウツギ科		<i>C. paniculatum</i> KITAG. スズサイコ	G
<i>Buddleja japonica</i> HEMSL. フジウツギ 高尾山, 西高尾。	N (D)	<i>C. wilfordi</i> HEMSL. コイケマ	G
		<i>Marsdenia tomentosa</i> MORREN et DECNE. キジョラン	L (E)
		<i>M. japonica</i> MAKINO ガガイモ	G
		<i>Tylophora aristolochioides</i> MIQ. オオカモメヅル	G
		<i>T. nikoensis</i> MATSUM. コカモメヅル	G

Convolvulaceae ヒルガオ科		
<i>Calystegia hederacea</i> WELL. コヒルガオ	G	
<i>C. japonica</i> CHOISY ヒルガオ	G	
<i>Cuscuta japonica</i> CHOISY ネナシカズラ	Th	
Boraginaceae ムラサキ科		
<i>Ancistrocarya japonica</i> MAXIM. サワルリソウ	H	
<i>A. japonica</i> MAXIM. f. <i>albiflora</i> HARA シロバナサワルリソウ, 高尾山, 稀。	H	
<i>Bothriospermum tenellum</i> FISCH. et MEY. ハナイバナ	Th	
<i>Cynoglossum asperillum</i> NAKAI オニルリソウ	Th	
<i>C. zeylanicum</i> THUNB. var. <i>villosulum</i> OHWI オオルリソウ, 高尾山。	Th	
<i>Lithospermum erythrorhizon</i> SIEB. et ZUCC. ムラサキ 高尾山, 南高尾, 北高尾, やや稀。	G	
<i>Buglossoides zollingeri</i> JOHNSTON ホタルカズラ	G	
<i>Omphalodes japonica</i> MAXIM. ヤマルリソウ	H	
<i>O. japonica</i> MAXIM. f. <i>albiflora</i> S. OKAMOTO シロバナヤマルリソウ, 高尾山, 東高尾。	H	
<i>Trigonotis peduncularis</i> BENTH. キュウリグサ	Th	
Verbenaceae クマツツラ科		
<i>Callicarpa japonica</i> THUNB. ムラサキシキブ	N (D)	
<i>C. japonica</i> f. <i>angustata</i> OHWI ナガバムラサキシキブ	N (D)	
<i>C. japonica</i> THUNB. f. <i>taquetii</i> OHWI コバムラサキシキブ	N (D)	
<i>C. mollis</i> SIEB. et ZUCC. ヤブムラサキ	N (D)	
<i>C. mollis</i> SIEB. et ZUCC. f. <i>latifolia</i> KUSAKA ヒロハヤブムラサキ, 東高尾, 稀。	N (D)	
<i>C. mollis</i> SIEB. et ZUCC. f. <i>ramosissima</i> SUGIM. コパノヤブムラサキ	N (D)	
<i>C. mollis</i> SIEB. et ZUCC. f. <i>microphylla</i> SUGIM. ナガバヤブムラサキ	N (D)	
<i>C. shirasawana</i> MAKINO イヌムラサキシキブ 高尾山, 東高尾, やや稀。	N (D)	
<i>C. divaricata</i> MAXIM. カリガネソウ 南高尾, 西高尾, やや稀。	H	
<i>Clerodendron trichotomum</i> THUNB. クサギ	M (D)	
Labiatae シン科		
<i>Agastache rugosa</i> O. KUNTZE カワミドリ 西高尾, やや稀。	H	
<i>Ajuga</i> × <i>bastarda</i> MAKINO. キラニシキゴロモ, 南高尾, 高尾山, 稀。	H	
<i>A. ciliata</i> BUNGE var. <i>villosior</i> A. GRAY カイジンドウ, 南高尾, 稀。	H	
<i>A. decumbens</i> THUNB. キランソウ	H	
<i>A. japonica</i> MIQ. オウギカズラ	H	
<i>A. nipponensis</i> MAKINO ジュウニヒトエ	H	
<i>A. nipponensis</i> MAKINO f. <i>nivea</i> HIYAMA シロバナジュウニヒトエ	H	
<i>A. yesoensis</i> MAXIM. var. <i>tsukubana</i> NAKAI ツクバキンモンソウ	H	
<i>Chelonopsis longipes</i> MAKINO タニジャコウソウ, 西高尾, やや稀。	H	
<i>C. moschata</i> MIQ. ジャコウソウ	H	
<i>C. yagiharana</i> HISAUCHI et MATSUNO アシタカジャコウソウ 南高尾, 西高尾, 稀。	H	
<i>Clinopodium chinese</i> O. KUNTZE var. <i>parviflorum</i> HARA クルマバナ	H	
<i>C. gracile</i> O. KUNTZE トウバナ	H	
<i>C. gracile</i> O. KUNTZE var. <i>multicaule</i> OHWI ヤマトウバナ	H	
<i>C. micranthum</i> HARA イヌトウバナ	H	
<i>Elsholtzia ciliata</i> HYLANDER ナギナタコウジュ	Th	
<i>E. nipponica</i> OHWI フトボナギナタコウジュ 南高尾, 高尾山, 稀。	Th	

<i>Glechoma hederacea</i> LINN.		
var. <i>grandis</i> KUDO		
カキドウシ (カントリソウ)	H	
<i>Keiskea japonica</i> MIQ.	H	シモバシラ
<i>Lamium album</i> LINN.		
var. <i>barbatum</i> FRANCH. et SAVAT.		
オドリコソウ	H	
<i>L. amplexicaule</i> LINN.	Th	ホトケノザ
<i>L. purpureum</i> LINN.		ヒメオドリコソウ
欧州, 小アジア原産, 帰化。	Th	
<i>Leonurus macranthus</i> MAXIM.	H	キセウタ
<i>L. sibiricus</i> LINN.	Th	メハジキ
<i>Lycopus lucidus</i> TURCZ.	G	シロネ
<i>L. maackianus</i> MAKINO	G	ヒメシロネ
<i>Meehania urticifolia</i> MAKINO		
ラショウモンカズラ	H	
<i>Mentha arvensis</i> LINN.		
var. <i>piperasces</i> MALINVAUD		ハッカ
高尾山, 東高尾。	G	
<i>Mosla dianthera</i> MAXIM.	Th	ヒメジソ
<i>M. punctulata</i> NAKAI	Th	イヌコウジュ
<i>Perilla frutescens</i> BRITT. var. <i>acuta</i> KUDO		
シソ, 中国原産, 植栽, 野化。	Th	
<i>P. frutescens</i> BRITT. var. <i>acuta</i> KUDO		
f. <i>viridis</i> KUDO		
アオシソ, 中国原産, 植栽, 野化。	Th	
<i>P. frutescens</i> BRITT. var. <i>japonica</i> HARA		
エゴマ, 東南アジア原産, 帰化。	Th	
<i>P. frutescens</i> BRITT. var. <i>citriodora</i> OHWI		
レモンエゴマ, 南高尾, 高尾山, 西高尾。	Th	
<i>P. frutescens</i> BRITT.		
var. <i>hirtella</i> MAKINO et NEMOTO		
トラノオジソ		
高尾山, 西高尾, 南高尾, やや稀。	Th	
<i>Plectranthus effusus</i> HONDA		
セキヤノアキチヨウジ	H	
<i>P. inflexus</i> VAHL	G	ヤマハッカ
<i>P. japonicus</i> KOIDZ.	H	ヒキオコシ
<i>P. kameba</i> OHWI	H	カメバヒキオコシ
<i>Prunella vulgaris</i> L.		
var. <i>lilacina</i> NAKAI	H	ウツボグサ
<i>Salvia japonica</i> THUNB.	H	アキノタムラソウ
<i>S. japonica</i> THUNB. f. <i>albiflora</i> HIYAMA		
シロバナアキノタムラソウ		
東高尾, 北高尾, 稀。	H	
<i>S. lutescens</i> KOIDZ.		
var. <i>intermedia</i> MURATA		
ナツノタムラソウ	H	
<i>S. nipponica</i> MIQ.	H	キバナアキギリ
<i>Schtellaria abbreviata</i> HARA		
トウゴクシソバタツナミ, 高尾山, 北高尾。	H	
<i>S. brachyspica</i> NAKAI et HARA		
オカタツナミソウ	H	
<i>S. brachyspica</i> NAKAI et HARA f. <i>albiflora</i>		
HAYASHI et KOBAYASHI-YOSHIO		
シロバナオカタツナミソウ	H	
<i>S. indica</i> LINN.	H	タツナミソウ
<i>S. indica</i> LINN. var. <i>parvifolia</i> MAKINO		
コバノタツナミソウ		
(ビロウドタツナミ)		
<i>S. indica</i> LINN. var. <i>parvifolia</i> MAKINO		
f. <i>alba</i> HARA		
シロバナビロウドナミキ, 東高尾, 稀。	H	
<i>S. pekinensis</i> MAXIM. var. <i>transitra</i> HARA		
ヤマタツナミソウ 高尾山。	H	
<i>S. shikokiana</i> MAKINO		ミヤマナミキ
高尾山, 西高尾, 南高尾, やや稀。	H	
<i>Stachys japonica</i> MIQ.		
var. <i>intermedia</i> OHWI		イヌゴマ
東高尾。		
<i>Teucrium japonicum</i> HOUTT.	G	ニガクサ
<i>T. viscidum</i> BLUME		
var. <i>miquelianum</i> HARA	G	ツルニガクサ
Solanaceae ナス科		
<i>Datura stramonium</i> L. var. <i>chalybea</i> KOCH		
ヨウシュチヨウセンアサガオ		
熱帯アジア原産, 野化。	Th	
<i>Lycium chinense</i> MILL.	N	クコ
	(D)	
<i>Physalisstrum japonicum</i> HONDA		
イガホウズキ	H	

<i>P. savatieri</i> MAKINO f. <i>kimurai</i> OHWI タカオホウズキ, 高尾山, 稀。 H	<i>Scrophularia duplicato-serrata</i> MAKINO ヒナノウスツボ, 西高尾。 G	
<i>Physalis chamaesarachoides</i> MAKINO ヤマホオズキ, 南高尾, 高尾山, 稀。 H	<i>S. kakudensis</i> FRANCH. オオヒナノウスツボ, 高尾山, 西高尾。 G	
<i>P. alkekengi</i> LINN. var. <i>franchetti</i> HORT. ホオズキ, 野化。 G	<i>S. musashiensis</i> BONATI サツキヒナノウスツボ G	
<i>Scopolia japonica</i> MAXIM. ハシリドコロ 西高尾, 高尾山, やや稀。 G	<i>Siphonostegia chinensis</i> BENTH ヒキヨモギ Th	
<i>Solanum japonense</i> NAKAI ヤマホロシ H	<i>Vandelia angustifolia</i> BENTH. アゼトウガラシ Th	
<i>S. japonense</i> NAKAI var. <i>takaoyamense</i> HARA タカオホロシ, 高尾山, 稀。 H	<i>V. crustacea</i> BENTH. ウリクサ Th	
<i>S. lyratum</i> THUNB. ヒヨドリジョウゴ H	<i>Veronica arvensis</i> LINN. タチイヌノフグリ ヨーロッパ, アフリカ原産, 帰化。 Th	
<i>S. maximowiczii</i> KOIDZ. マルバノホロシ H	<i>V. didyma</i> TENORE var. <i>lilacina</i> YAMAZAKI イヌノフグリ Th	
<i>S. nigrum</i> LINN. イヌホウズキ Th	<i>V. komarovii</i> MONJUSCHKO var. <i>petiolata</i> NAKAI ヒメトラノオ 南高尾, 西高尾, 東高尾, やや稀。 H	
<i>Tubocapsicum anomalum</i> MAKINO ハダカホウズキ G	<i>V. miqueliana</i> NAKAI クワガタソウ H	
Scrophulariaceae ゴマノハグサ科		
<i>Deinostema violaceum</i> YAMAZAKI サワトウガラシ, 東高尾。 Th	<i>V. miqueliana</i> NAKAI f. <i>leucantha</i> NAKAI シロバナクワガタソウ, 高尾山, 西高尾。 H	
<i>Dopatrium junceum</i> HAMILT. アブノメ Th	<i>V. persica</i> POIR. オオイヌノフグリ 欧亜大陸, アフリカ原産, 帰化。 Th	
<i>Euphrasia maximowiczii</i> WETTST. タチコゴメグサ, 西高尾, 稀。 Th	Bignoniaceae ノウゼンカズラ科	
<i>Limnophila aromatica</i> MERRBERG シソクサ Th	<i>Catalpa ovata</i> G. DON キササゲ 中国原産, 植栽または野化。 MM (D)	
<i>Lindernia procumbens</i> PHILCOX アゼナ Th	<i>C. speciosa</i> WARDER ハナキササゲ, 植栽。	
<i>Mazus japonicus</i> O. KUNTZE トキワハゼ Th	Orobanchaceae ハマウツボ科	
<i>M. miquelii</i> MAKINO ムラサキサギゴケ H	<i>Aeginetia indica</i> L. var. <i>gracilis</i> NAKAI ナンバンギセル	
<i>M. miquelii</i> MAKINO f. <i>albiflorus</i> MAKINO サギゴケ H	<i>Lathraea japonica</i> MIQ. ヤマウツボ 高尾山, 稀。	
<i>Mimulus nepalensis</i> BENTH. var. <i>japonica</i> MIQ. ミゾホオズキ HH	<i>Phacellanthus tubiflorus</i> SIEB. et ZUCC. キヨスミウツボ, 高尾山, 稀。	
<i>Paulownia tomentosa</i> STEUD. キリ 植栽, 野化。 MM (D)	Gesneriaceae イワタバコ科	
<i>Pedicularis resupinata</i> LINN. シオガマガク G	<i>Conandrun ramondioides</i> SIEB. et ZUCC. イワタバコ E	
<i>P. resupinata</i> LINN. var. <i>oppositifolia</i> MIQ. ムカエバシオガマ (常谷氏)。 G	Acanthaceae キツネノマゴ科	
<i>Phtheirospermum japonicum</i> KANITZ コシオガマ Th	<i>Dicliptera japonica</i> MAKINO var. <i>subrotunda</i> MATSUDA ハグロソウ H	

<i>Justicia procumbens</i> L.		
var. <i>leucantha</i> HONDA		
f. <i>japonica</i> HARA キツネノマゴ	Th	
Phrymaceae ハエドクソウ科		
<i>Phryma leptostachya</i> LINN.		
var. <i>asiatica</i> HARA ハエドクソウ	G	
<i>P. leptostachya</i> LINN. var. <i>asiatica</i> HARA		
f. <i>oblongifolia</i> OHWI		
ナガバハエドクソウ	G	
Plantaginaceae オオバコ科		
<i>Plantago asiatica</i> LINN. オオバコ	H	
<i>P. major</i> LINN. var. <i>japonica</i> MIYABE		
トウオオバコ	H	
Rubiaceae アカネ科		
<i>Galium gracilens</i> MAKINO ヒメヨツバムグラ	H	
<i>G. kikumugura</i> OHWI キクムグラ	H	
<i>G. kinuta</i> NAKAI et HARA.		
キスタソウ, 高尾山, 南高尾, やや稀。	G	
<i>G. pogonanthum</i> FRANCH. et SAVAT.		
ヤマムグラ	H	
<i>G. pseudo-asprellum</i> MAKINO		
オオバノヤエムグラ	H	
<i>G. spurium</i> LINN.		
var. <i>echinospermon</i> HAYEK ヤエムグラ	Th	
<i>G. trachyspermum</i> A. GRAY ヨツバムグラ	H	
<i>G. verum</i> LINN. var. <i>asiaticum</i> NAKAI		
f. <i>nikoense</i> OHWI カワラマツバ	G	
<i>Hedyotis diffusa</i> WILLD. フタバムグラ	Th	
<i>Hedyotis lindleyana</i> HOOK.		
var. <i>hirsuta</i> HARA ハシカグサ	Th	
<i>Mitchella undulata</i> SIEB. et ZUCC.		
ツルアリドウシ, 東高尾, 稀。	H	
<i>Paederia scandens</i> MERRILL		
var. <i>mairei</i> HARA ヘクソカズラ	L (D)	
<i>P. scandens</i> MERRILL var. <i>longituba</i> HARA		
ツツナガヤイトバナ	L (D)	
<i>P. scandens</i> MERRILL		
var. <i>velutina</i> NAKAI		
ピロウドヤイトバナ, 東高尾, やや稀。	L (D)	
<i>Pseudopyxis depressa</i> MIQ. イナモリソウ	G	
<i>P. depressa</i> MIQ.		
f. <i>Angustiloba</i> HARA		
ホシザキイナモリソウ, 南高尾, 高尾山。	G	
<i>P. depressa</i> MIQ. f. <i>variegata</i> HARA		
ファイリイナモリソウ, 南高尾, 高尾山。	G	
<i>Rubia akane</i> NAKAI アカネ	G	
<i>R. chinensis</i> REGEL et MAACK		
var. <i>glabrescens</i> KITAGAWA.		
オオキスタソウ, 南高尾 (畔上氏), 稀。	G	
Caprifoliaceae スイカズラ科		
<i>Abelia spathulata</i> SIEB. et ZUCC.		
ツクバネウツギ	N (D)	
<i>A. tetrasepala</i> HARA et KUROSAWA		
オオツクバネウツギ (メツクバネウツギ)	N (D)	
<i>Lonicera gracilipes</i> MIQ.		
ヤマウグイスカグラ	N (D)	
<i>L. gracilipes</i> MIQ. var. <i>glabra</i> MIQ.		
ウグイスカグラ	N (D)	
<i>L. gracilipes</i> MIQ. var. <i>glabra</i> MIQ.		
f. <i>adenophora</i> HARA		
オクノウグイスカグラ	N (D)	
<i>L. gracilipes</i> var. <i>glandulosa</i> MAKINO		
ミヤマウグイスカグラ	N (D)	
<i>L. japonica</i> THUNB. スイカズラ	L (E)	
<i>Sambucus chinensis</i> LINDL.		
ソクズ (クサニワトコ)	G	
<i>S. sieboldiana</i> BLUME ニワトコ	M (D)	
<i>S. sieboldiana</i> BLUME f. <i>stenophylla</i> HARA		
ホソバニワトコ	M (D)	
<i>Viburnum dilatatum</i> THUNB. ガマズミ	N (D)	
<i>V. erosum</i> THUNB. var. <i>erosum</i>		
テリハコバノガマズミ	N (D)	
<i>V. erosum</i> THUNB. f. <i>punctatum</i>		
FRANCH. et SAVAT.		
コバノガマズミ	N (D)	
<i>V. erosum</i> THUNB. f. <i>taquetii</i> SUGIMOTO		
サイコクガマズミ, 高尾山(林弥栄), 稀。	N (D)	

- V. erosum* THUNB.
f. *Aurantiacum* HAYASHI f. nov.
タカオコバナガマズミ
高尾山 (小山芳太郎), 稀。 (N)
(D)
- V. phlebotrichum* SIEB. et ZUCC.
オトコヨウゾメ (N)
(D)
- V. plicatum* THUNB. var. *tomentosum* MIQ.
ヤブデマリ (M)
(D)
- V. sieboldii* MIQ. ゴマキ (M)
(D)
- V. wrightii* MIQ. ミヤマガマズミ (M)
(D)
- V. wrightii* MIQ. var. *minus* NAKAI
コミヤマガマズミ (N)
(D)
- V. wrightii* MIQ. var. *lucidum* HATSUSIMA
テリハマヤマガマズミ (N)
(D)
- Weigela decora* NAKAI ニシキウツギ (M)
(D)
- W. floribunda* K. KOCH. var. *nakaii* HARA
f. *kariyosensis* HARA
カリヨセウツギ (ニシキビロウドウツギ) (M)
(D)
- Adoxaceae レンブクソウ科**
- Adoxa moschatellina* LINN. レンブクソウ
北高尾, 東高尾, 西高尾, 稀。 G
- Valerianaceae オミナエシ科**
- Patrinia scabiosaefolia* FISCH. オミナエシ G
- P. villosa* JUSS. オトコエシ H
- Valeriana flaccidissima* MAXIM.
ツルカノコソウ H
- Dipsacaceae マツムシソウ科**
- Dipsacus japonicus* MIQ. ナベナ
西高尾, 高尾山。 Th
- Scabiosa japonica* MIQ. マツムシソウ
西高尾, 稀。 Th
- Cucurbitaceae ウリ科**
- Actinostemma lobatum* MAXIM. ゴキヅル
南高尾, 西高尾。 Th
- Gynostemma pentaphyllum* MAKINO
アマチャヅル G
- Melothria japonica* MAXIM. スズメウリ Th
- Trichosanthes cucumeroides* MAXIM.
カラスウリ G
- T. kirilowii* MAXIM. var. *japonica* KITAM.
キカラスウリ, 高尾山, 東高尾, やや稀。 G
- Campanulaceae キキョウ科**
- Adenophora divaricata* FRANCH. et SAVAT.
フクシマシャジン
東高尾, 西高尾, 北高尾, やや稀。 G
- A. divaricata* FRANCH. et SAVAT.
f. *albiflora* HAYASHI
シロバナフクシマシャジン
高尾山 (畔上氏), 稀。 G
- A. remotiflora* MIQ.
ソバナ, 西高尾, やや稀。 G
- A. remotiflora* MIQ. var. *hirsuta* HONDA
ケソバナ, 西高尾, 稀。 G
- A. triphylla* DC. var. *japonica* HARA
ツリガネニンジン G
- A. triphylla* DC. var. *japonica* HARA
f. *canescens* KITAM. シラゲシャジン G
- A. triphylla* DC. var. *japonica* HARA
f. *leucantha* HARA
シロバナツリガネニンジン, 西高尾, 稀。 G
- Campanula punctata* LAM. ホタルブクロ H
- C. punctata* LAM. var. *hondoensis* OHWI
ヤマホタルブクロ H
- C. maximowiczii* HONDA ツルギキョウ
高尾山, やや稀。 G
- Codonopsis lanceolata* TRAUTV.
ツルニンジン G
- C. ussuriensis* HEMSL. バアソブ
南高尾, 高尾山, やや稀。 G
- Lobelia chinensis* LOUR. ミゾカクシ Th
- L. sessilifolia* LAMB. サワギキョウ
東高尾, 稀。 H
- Peracarpa carnosa* HOOK. f. et THOMS.
var. *circaeoides* MAKINO タニギキョウ
西高尾, やや稀。 G
- Phyteuma japonicum* MIQ. シデシャジン
西高尾, 稀。 G
- Platycodon grandiflorum* DC. キキョウ

Compositae キク科		
<i>Adenocaulon himalaicum</i> EDGEW.	ノブキ	H
<i>A. himalaicum</i> EDGEW.		
f. <i>uropterum</i> HAYASHI	ヒレノブキ	H
<i>Ainsliaea acerifolia</i> SCH.-BIP.		
var. <i>subapoda</i> NAKAI	オクモミジハグマ	G
<i>A. apiculata</i> SCH.-BIP.	キッコウハグマ	H
<i>A. artemisiaefolia</i> LINN.		
var. <i>elatior</i> DESCOURTILS	ブタクサ	
北米原産, 帰化。		Th
<i>Anaphalis margaritacea</i> BENTH. et HOOK.		
ヤマハハコ		H
<i>A. margaritacea</i> BENTH. et HOOK. f.		
var. <i>yedoensis</i> OHWI	カワラハハコ	H
<i>Artemisia japonica</i> THUNB.	オトコヨモギ	H
<i>A. japonica</i> THUNB. f. <i>resedifolia</i> TAKEDA		
ホソバノオトコヨモギ		H
<i>A. keiskeana</i> MIQ.	イヌヨモギ	G
<i>A. princeps</i> PAMP.	ヨモギ (カズザキヨモギ)	H
<i>Aster ageratoides</i> TURCZ.		
subsp. <i>leiophyllus</i> KITAM.		
シロヨメナ (ヤマシロギク)		G
<i>A. ageratoides</i> TURCZ.		
subsp. <i>leiophyllus</i> KITAM.		
f. <i>purpurellus</i> HARA		
ムラサキシロヨメナ		
西高尾, 高尾山, やや稀。		G
<i>A. ageratoides</i> TURCZ.		
subsp. <i>ovatus</i> KITAM.	ノコンギク	G
<i>A. fastigiatus</i> FISCH.	ヒメシオン, 南高尾。	G
<i>A. rugulosus</i> MAXIM.	サワシロギク	H
<i>A. scaber</i> THUNB.	シラヤマギク	G
<i>Attractylodes japonica</i> KOIDZ.	オケラ	G
<i>Bidens biternata</i> MERR. et SHERFF		
センダングサ		Th
<i>B. frondosa</i> LINN.	アメリカセンダングサ	
北米原産, 帰化。		Th
<i>B. tripartita</i> LINN.	タウコギ	Th
<i>Cacalia delphinifolia</i> SIEB. et ZUCC.		
モミジガサ		G
<i>C. farfaraefolia</i> SIEB. et ZUCC.		
ウスゲタマブキ, 西高尾, 高尾山。		G
<i>C. farfaraefolia</i> SIEB. et ZUCC.		
var. <i>bulbifera</i> KITAMURA		
タマブキ, 高尾山。		G
<i>C. tebakaensis</i> MAKINO	テバコモミジガサ	
高尾山, 西高尾, やや稀。		G
<i>Carduus crispus</i> LINN.	ヒレアザミ	
北高尾, 稀。		Th
<i>Carpesium abrotanoides</i> LINN.	ヤブタバコ	Th
<i>C. cernuum</i> LINN.	コヤブタバコ	Th
<i>C. divaricatum</i> SIEB. et ZUCC.		
ガンクビソウ		H
<i>C. glossophyllum</i> MAXIM.	サジガンクビソウ	H
<i>C. koidzumii</i> MAKINO	ホソバガンクビソウ	H
<i>C. macrocephalum</i> FRANCH. et SAVAT.		
オオガンクビソウ, 高尾山, 西高尾。		H
<i>C. matsuei</i> TATEWAKI et KITAM.		
ノッポロガンクビソウ		
高尾山, 南高尾, 西高尾, やや稀。		H
<i>C. rosulatum</i> MIQ.	ヒメガンクビソウ	H
<i>C. triste</i> MAXIM.		
ミヤマヤブタバコ (ガンクビヤブタバコ)		G
<i>Centipeda minima</i> A. BR. et ASCHER.		
トキンソウ		Th
<i>Chrysanthemum boreale</i> MAKINO		
アワコガネギク (キクタニギク)		H
<i>C. × leucanthum</i> MAKINO		
シロバナアブラギク (リュウノウカンギク)		
(アワコガネギク×リュウノウギク)		
高尾山, 北高尾, 稀。		H
<i>C. makinoi</i> MATSUM. et NAKAI		
リュウノウギク		H
<i>C. makinoi</i> MATSUM. et NAKAI		
f. <i>roseum</i> HONDA		
モモイロリュウノウギク		H
<i>Cirsium nipponicum</i> MAKINO		
var. <i>incomptum</i> KITAM.	タイアザミ	H
<i>C. dipsacolepis</i> MATSUM.	モリアザミ	
西高尾, 稀。		H

<i>C. effusum</i> MATSUM. ホソエノアザミ 西高尾, 稀。 H	<i>Helianthus tuberosus</i> LINN. キクイモ 北米原産, 野化。 G
<i>C. japonicum</i> DC. ノアザミ H	<i>Hemistepta lyrata</i> BUNGE キツネアザミ Th
<i>C. japonicum</i> DC. f. <i>leucanthum</i> NAKAI シロバナアザミ, 東高尾, 稀。 H	<i>Hieracium aurantiacum</i> LINN. エフデタンポポ, ヨーロッパ原産, 帰化。 H
<i>C. microspicatum</i> NAKAI アズマヤマアザミ H	<i>Inula britannica</i> LINN. var. <i>chinensis</i> REGEL オグルマ, 東高尾。 H
<i>C. sieboldii</i> MIQ. マアザミ, 東高尾。 H	<i>I. salicina</i> LINN. var. <i>asiatica</i> KITAM. カセンソウ, 西高尾。 H
<i>C. tanakae</i> MATSUM. ノハラアザミ H	<i>Ixeris chinensis</i> NAKAI var. <i>strigosa</i> OHWI タカサゴソウ H
<i>Eclipta prostrata</i> LINN タカサプロウ Th	<i>I. dentata</i> NAKAI ニガナ H
<i>Erechtites hieracifolia</i> RAFINE. ダンドボロギク, 北米原産, 帰化。 Th	<i>I. dentata</i> NAKAI f. <i>amprifolia</i> HIYAMA ハナニガナ H
<i>Erigeron annuus</i> PERS. ヒメジョオン, 北米原産, 帰化。 Th	<i>I. dentata</i> NAKAI var. <i>stolonifera</i> NEMOTO ハイニガナ, 東高尾, 稀。 H
<i>E. annuus</i> PERS. var. <i>pseudo-annuus</i> MAKINO ヤナギバヒメジョオン, 帰化。 Th	<i>I. japonica</i> NAKAI オオジシバリ H
<i>E. canadensis</i> LINN. ヒメムカシヨモギ 北米原産, 帰化。 Th	<i>I. polycephala</i> CASS. ノニガナ Th
<i>E. philadelphicus</i> LINN. ハルシオン 北米原産, 帰化。 Th	<i>I. × sekimotoi</i> KITAM. ノジシバリ 北高尾, 稀。 Th
<i>E. sumatrensis</i> RETZ. オオアレチノギク ブラジル原産, 帰化。 Th	<i>I. stolonifera</i> A. GRAY ジシバリ H
<i>Eupatorium chinense</i> LINN. var. <i>simplicifolium</i> KITAM. ヒヨドリバナ G	<i>Kalimeris pinnatifida</i> KITAM. ユウガギク G
<i>E. chinense</i> LINN. var. <i>hakonense</i> KITAM. ハコネヒヨドリ (ホソバヨツバヒヨドリ) 高尾山, 西高尾, 東高尾, やや稀。 H	<i>K. yomena</i> KITAM. var. <i>dentata</i> HIYAMA カントウヨメナ H
<i>E. lindleyanum</i> DC. サワヒヨドリ H	<i>Lactuca indica</i> LINN. var. <i>laciniata</i> HARA アキノノゲシ Th
<i>E. lindleyanum</i> DC. f. <i>trisectifolium</i> HIYAMA ミツバサワヒヨドリ, 西高尾, 稀。 H	<i>L. indica</i> LINN. var. <i>laciniata</i> HARA f. <i>indivisa</i> HARA ホソバアキノノゲシ Th
<i>E. lindleyanum</i> DC. f. <i>villosissimum</i> HONDA ケブカサワヒヨドリ, 東高尾, 稀。 H	<i>L. raddeana</i> MAXIM. var. <i>elata</i> KITAM. ヤマニガナ Th
<i>Galinsoga ciliata</i> BLAKE ハキダメギク 熱帯アメリカ原産, 帰化。 Th	<i>L. sororia</i> MIQ. ムラサキニガナ H
<i>Gnaphalium affine</i> D. DON ハハコグサ Th	<i>L. sororia</i> MIQ. var. <i>pilipes</i> KITAM. ケムラサキニガナ H
<i>G. hypoleucum</i> DC. アキノハハコグサ Th	<i>Lapsana apogonoides</i> MAXIM. コオニタビラコ Th
<i>G. japonicum</i> THUNB. チチコグサ H	<i>L. humilis</i> MAKINO ヤブタビラコ Th
	<i>Leibnitzia anandria</i> NAKAI センボンヤリ H
	<i>L. anandria</i> NAKAI f. <i>albiflora</i> HIYAMA シロバナセンボンヤリ H

<i>Ligularia dentata</i> HARA マルバダケブキ 高尾山, 稀。 G	<i>S. flammeus</i> TURCZ. var. <i>glabrifolius</i> CUFOD. コウリンカ H
<i>L. stenocephala</i> MATSUM. et KOIDZ. メタカラコウ, 西高尾, やや稀。 H	<i>S. integrifolius</i> CLAIRVILLE var. <i>spathulatus</i> HARA オカオグルマ H
<i>Pertya glabrescens</i> SCH.-BIP. ナガバノコウヤボウキ N (D)	<i>S. nikoensis</i> MAXIM. サワギク Th
<i>P. glabrescens</i> SCH.-BIP. f. <i>impressa</i> HARA ウチダシナガバノコウヤボウキ 東高尾, 稀。 N (D)	<i>S. pierotii</i> MIQ. サワオグルマ H
<i>P. robusta</i> BEAUV. カシワバハグマ G	<i>S. vulgaris</i> LINN. ノボロギク ヨーロッパ原産, 帰化。 Th
<i>P. robusta</i> BEAUV. f. <i>rotundata</i> HAYASHI マルバノカシワバハグマ, 高尾山, やや稀。 G	<i>Serratula coronata</i> LINN. var. <i>insularis</i> KITAM. タムラソウ H
<i>P. scandens</i> SCH.-BIP. コウヤボウキ N (D)	<i>Siegesbeckia glabrescens</i> MAKINO コメナモミ Th
<i>Pelasites japonicus</i> MAXIM. フキ G	<i>S. pubescens</i> MAKINO メナモミ Th
<i>Picris hieracioides</i> LINN. var. <i>glabrescens</i> OHWI コウゾリナ Th	<i>Solidago virga-aurea</i> LINN. var. <i>asiatica</i> NAKAI アキノキリンソウ H
<i>Prenanthes acerifolia</i> MATSUM. フクオウソウ H	<i>Sonchus asper</i> HILL. オニノゲシ ヨーロッパ原産, 帰化。 Th
<i>P. acerifolia</i> MATSUM. f. <i>nipponica</i> MATSUM. et KOIDZ. フクオウニガナ, 西高尾, 高尾山, やや稀。 H	<i>S. oleraceus</i> LINN. ノゲシ Th
<i>P. tanakae</i> KOIDZ. オオニガナ, 東高尾, 稀。 H	<i>Syneilesis palmata</i> MAXIM. ヤブレガサ G
<i>Rhynchospermum verticillatum</i> REINW. シュウブンソウ G	<i>Synurus excelsus</i> KITAM. ハバヤマボクチ G
<i>Saussurea Maximowiczii</i> HERDER ミヤコアザミ G	<i>S. pungens</i> KITAM. オヤマボクチ H
<i>S. pulchella</i> FISCHER ヒメヒゴタイ 西高尾, 稀。 Th	<i>Taraxacum hondoense</i> NAKAI エゾタンポポ H
<i>S. satowi</i> KITAM. オンガタヒゴタイ 西高尾, 北高尾, 稀。 H	<i>T. platycarpum</i> DAHLST. カントウタンポポ H
<i>S. sinuatoides</i> NAKAI タカオヒゴタイ 高尾山, 西高尾, 北高尾, 南高尾, やや稀。 H	<i>T. officinale</i> WEBER セイヨウタンポポ ヨーロッパ原産, 帰化。 H
<i>S. tanakae</i> FRANCH. et SAVAT. セイタカトウヒレン, 高尾山, 西高尾, 稀。 H	<i>Xanthium strumarium</i> LINN. オナモミ Th
<i>S. ussuriensis</i> MAXIM. キクアザミ 高尾山, 南高尾, 西高尾, やや稀。 H	<i>Youngia denticulata</i> KITAM. ヤクシソウ Th
<i>Senecio cannabifolius</i> LESS ハンゴンソウ 高尾山, 西高尾, 稀。 G	<i>Y. denticulata</i> KITAM. f. <i>pinnatipartita</i> KITAM. ハナヤクシソウ Th
	<i>Y. japonica</i> DC. オニタビラコ Th
	MONOCOTYLEDONEAE 単子葉植物綱
	Typhaceae ガマ科
	<i>Typha orientalis</i> PRESL コガマ 東高尾, 稀。 HH
	Sparganiaceae ミクリ科
	<i>Sparganium japonicum</i> ROTH. ナガエミクリ HH

<i>S. stoloniferum</i> HAMIL. ミクリ	HH	<i>Shibatae kumasaca</i> MAKINO オカメザサ	
Potamogetonaceae ヒルムシロ科		植栽および野化。	N (E)
<i>Potamogeton crispus</i> LINN. エビモ	HH	Gramineae イネ科	
<i>P. distinctus</i> A. BENN. ヒルムシロ	HH	<i>Agropyron ciliare</i> FRANCH.	
Alismataceae オモダカ科		var. <i>minus</i> OHWI アオカモジグサ	Th
<i>Alisma canaliculatum</i> A. BR. et BOUCHÉ		<i>A. ciliare</i> FRANCH. var. <i>minus</i> OHWI	
ヘラオモダカ	HH	f. <i>ciliare</i> OHWI ケアオカモジグサ	Th
<i>Sagittaria aginashi</i> MAKINO アギナシ	HH	<i>A. ciliare</i> FRANCH. var. <i>pilosum</i> HONDA	
Bambusaceae タケ科		タチカモジグサ	Th
<i>Nipponobambusa sawadai</i> MUROI		<i>A. tsukushiense</i> OHWI	
var. <i>hirta</i> MUROI サヤゲハコネメダケ	N (E)	var. <i>transiens</i> OHWI カモジグサ	Th
西高尾, 稀。		<i>A. grostis clavata</i> TRIN ヤマスカボ	H
<i>Phyllostachys bambusoides</i> SIEB. et ZUCC.	MM (E)	<i>Agrostis clavata</i> TRIN var. <i>nukabo</i> OHWI	
マダケ, 中国原産, 植栽および野化。		スカボ	Th
<i>P. nigra</i> MUNRO f. <i>henonis</i> MUROI	MM (E)	<i>A. alba</i> LINN. コスカグサ	H
ハチク, 中国原産, 植栽および野化。		<i>Alopecurus aequalis</i> SOBOL.	
<i>P. heterocycla</i> MATSUM.		var. <i>amurensis</i> OHWI	
f. <i>pubescens</i> MUROI モウソウチク	MM (E)	スズメノテッポウ	Th
中国原産, 植栽および野化。		<i>A. japonicus</i> STEUD. セトガヤ	Th
<i>Pleiblastus chino</i> MAKINO アズマネザサ	N (E)	<i>Andropogon brevifolius</i> SWARTZ ウシクサ	Th
<i>P. chino</i> MAKINO var. <i>semihirtus</i> MAKINO	N (E)	<i>Anthoxanthum odoratum</i> LINN. ハルガヤ	
カタハダアズマネザサ		ヨーロッパ, シベリア原産, 帰化。	H
<i>P. fortunei</i> NAKAI f. <i>pubescens</i> MUROI	N (E)	<i>Arrhenatherum elatius</i> MERTENS et KOCH	
ケネザサ, 東高尾に野化, 稀。		オオカニツリ, ヨーロッパ原産, 帰化。	H
<i>P. shibuyanum</i> MAKINO	N (E)	<i>Arthraxon hispidum</i> MAKINO コブナグサ	Th
シブヤザサ, 西高尾		<i>Arundinella hirta</i> C. TANAKA トダシバ	G
<i>Pseudosasa japonica</i> MAKINO ヤダケ	N (E)	<i>A. hirta</i> C. TANAKA var. <i>ciliata</i> KOIDZ.	
<i>Sasa borealis</i> MAKINO		ウスゲトダシバ	G
var. <i>purpurascens</i> MUROI	N (E)	<i>A. hirta</i> C. TANAKA var. <i>glauca</i> HONDA	
スズダケ, 高尾山, 西高尾。		シロトダシバ	G
<i>Sasa hayatae</i> MAKINO ミヤマクマザサ	N (E)	<i>Asperella longe-aristata</i> OHWI アズマガヤ	H
<i>S. kariyosensis</i> NAKAI カリヨセザサ	N (E)	<i>Beckmannia syzigachne</i> FERNALEL	
西高尾, 稀。		カズノコグサ	Th
<i>S. nikkoensis</i> MAKINO ニッコウザサ	N (E)	<i>Brachypodium sylvaticum</i> P. BEAUV.	
西高尾。		ヤマカモジグサ	H
<i>S. nipponica</i> MAKINO ミヤコザサ	N (E)	<i>Bromus japonicus</i> THUNB.	
<i>S. veitchii</i> REHD. クマザサ, 野化。	N (E)	スズメノチャヒキ	Th
		<i>B. pauciflorus</i> HACK. キツネガヤ	H

<i>Calamagrostis arundinacea</i> ROTH.		<i>F. parvigluma</i> STEUD. トボシガラ	H
var. <i>brachytricha</i> HACKEL		<i>F. parvigluma</i> STEUD.	
ノガリヤス (サイトウガヤ)	H	var. <i>hirtipes</i> HONDA ケトボシガラ	H
<i>C. autumnalis</i> KOIDZ.		<i>F. rubra</i> LINN. var. <i>musashiensis</i> OHWI	
キリシマノガリヤス (ムラサキノガリヤス)	H	アサカワソウ, 南高尾, 西高尾, 稀。	H
<i>C. epigeios</i> ROTH. ヤマアワ	G	<i>Glyceria ischyronoura</i> STEUD.	
<i>C. hakonensis</i> FRANCH. et SAVAT.		ドジョウツナギ	HH
ヒメノガリヤス	H	<i>Hemarthria sibirica</i> OHWI ウシノシッペイ	H
<i>Coix lacryma-jobi</i> LINN. ジュズダマ	H	<i>Hierochloe odorata</i> P. BEAUV.	
<i>Cymbopogon tortilis</i> HITCHC.		var. <i>pubescens</i> KRYLOV コウボウ	H
var. <i>goeringii</i> HAND.-MAZZ.		<i>Imperata cylindrica</i> BEAUV.	
オガルガヤ	H	var. <i>koenigii</i> DURBND et SCHINZ.	
<i>Dactylis glomerata</i> LINN. カモガヤ	H	チガヤ	G
<i>Diarrhena japonica</i> FRANCH. et SAVAT.		<i>Isachne globosa</i> O. KUNTZE チゴザサ	H
タツノヒゲ	H	<i>Kengia hackelii</i> PACKER チョウセンガリヤス	H
<i>D. japonica</i> FRANCH. et SAVAT.		<i>Koeleria cristata</i> PERS. ミノボロ	H
f. <i>musashiensis</i> HIYAMA		<i>Leersia sayanuka</i> OHWI サヤヌカグサ	H
ヨコヤマタツノヒゲ, 東高尾, 稀。	H	<i>Lolium multiflorum</i> LAM. ネズミムギ	
<i>Digitaria adscendens</i> HENR. メヒシバ	Th	ヨーロッパ原産, 帰化。	Th
<i>D. timorensis</i> BALANSA コメヒシバ	Th	<i>Lophatherum gracile</i> BRONGN. ササクサ	H
<i>D. violascens</i> LINK アキメヒシバ	Th	<i>Microstegium japonicum</i> KOIDZ. ササガヤ	H
<i>Dimeria ornithopoda</i> TRIN.		<i>M. vimineum</i> A. CAMUS ヒメアシボン	Th
var. <i>tenera</i> HACK. カリマタガヤ	Th	<i>M. vimineum</i> A. CAMUS	
<i>Eccoilopus cotulifer</i> A. CAMUS		var. <i>polystachyum</i> OHWI アシボン	Th
アブラススキ	H	<i>Miscanthus oligostachyus</i> STAPP	
<i>Echinochloa crus-galli</i> BEAUV.		カリヤスモドキ	
var. <i>caudata</i> KITAGAWA ケイヌビエ	Th	高尾山, 東高尾 (林弥栄), 稀。	G
<i>E. crus-galli</i> BEAUV.		<i>M. sinensis</i> ANDERSS. ススキ	H
var. <i>caudata</i> KITAGAWA		<i>Muehlenbergia japonica</i> STEUD. ネズミガヤ	H
f. <i>praticola</i> T. KOYAMA イヌビエ	Th	<i>M. longistolon</i> OHWI オオネズミガヤ	H
<i>Eleusine indica</i> GAERTN. オヒシバ	Th	<i>Oplismenus undulatifolius</i>	
<i>Eragrostis curvula</i> NEES		ROEM. et SCHULT. ケチヂミザサ	H
シナダレスズメガヤ (ウィーピングラブグ		<i>O. undulatifolius</i> ROEM. et SCHULT.	
ラス), 南アフリカ原産, 植栽および野化。	H	f. <i>japonicus</i> T. KOYAMA コチヂミザサ	H
<i>E. ferruginea</i> BEAUV. カゼクサ	H	<i>Panicum bisulcatum</i> THUNB. スカキビ	Th
<i>E. multicaulis</i> STEUD. ニワホコリ	Th	<i>Paspalum thunbergii</i> KUNTH スズメノヒエ	H
<i>E. pilosa</i> BEAUV. オオニワホコリ	Th	<i>Pennisetum alopeculoides</i> SPRENG.	
<i>Eriochloa villosa</i> KUNTH. ナルコビエ	H	チカラシバ	H
<i>Festuca elatior</i> LINN. ヒロハウシノケグサ		<i>Phalaris arundinacea</i> LINN. クサヨシ	H
野化。	H		

<i>P. arundinacea</i> LINN		
var. <i>japonica</i> HACKEL		
ホソボクサヨシ (常谷氏)。	H	
<i>Phragmites commanis</i> TRIN. ヨシ	HH	
<i>P. japonica</i> STEUD. ツルヨシ	HH	
<i>Poa acroleuca</i> STEUD. ミゾイチゴツナギ	Th	
<i>P. acroleuca</i> STEUD.		
var. <i>submoniliformis</i> HONDA		
タマミゾイチゴツナギ	Th	
<i>P. annua</i> LINN. スズメノカタビラ	Th	
<i>P. hisauchii</i> HONDA ヤマミゾイチゴツナギ	Th	
<i>P. nipponica</i> KOIDZ. オオイチゴツナギ	Th	
<i>P. pratensis</i> LINN. ナガハグサ		
ヨーロッパ原産, 帰化。	H	
<i>P. sphondylodes</i> TRIN. イチゴツナギ	H	
<i>P. trivialis</i> LINN. オオスズメノカタビラ		
ヨーロッパ, 西アジア原産, 帰化。	Th	
<i>Sacciolepis indica</i> CHASE ハイヌメリ	Th	
<i>S. indica</i> CHASE		
var. <i>oryzorum</i> OHWI スメリグサ	Th	
<i>Setaria faberi</i> HERRM. アキノエノコログサ	Th	
<i>S. chondrachne</i> HONDA イヌアワ	H	
<i>S. glauca</i> BEAUV. キンエノコロ	Th	
<i>S. pycnocomma</i> HENRARD. オオエノコロ	Th	
<i>S. viridis</i> BEAUV. エノコログサ	Th	
<i>S. viridis</i> BEAUV. var. <i>japonica</i> HONDA		
カタバエノコログサ	Th	
<i>S. viridis</i> BEAUV. f. <i>misera</i> HONDA		
ムラサキエノコログサ	Th	
<i>Spodiopogon sibiricus</i> TRIN.		
オオアブラススキ	H	
<i>Sporobolus indicus</i> R. BR. ネズミノオ	H	
<i>Stipa extremiorientalis</i> HARA ハネガヤ	H	
<i>Stenofestuca pauciflora</i> NAKAI キツネガヤ	H	
<i>Themeda japonica</i> C. TANAKA メガルガヤ	H	
<i>Trisetum bifidum</i> OHWI カニツリグサ	H	
<i>Zoysia japonica</i> STEUD. シバ	H	
		Cyperaceae カヤツリグサ科
<i>Bulbostylis densa</i> HAND.-MAZZ		
イトハナビテンツキ		Th
<i>Carex aphanolepis</i> FRANCH. et SAVAT.		
エナシヒゴクサ		H
<i>C. biwensis</i> FRANCH. マツバスゲ		H
<i>C. breviculmis</i> R. BR. アオスゲ		H
<i>C. clivorum</i> OHWI ヤマオオイトスゲ		H
<i>C. conica</i> BOOTT ヒメカンスゲ		H
<i>C. curvicolis</i> FRANCH. et SAVAT.		
ナルコスゲ		H
<i>C. dickinsii</i> FRANCH. et SAVAT. オニスゲ		H
<i>C. dispalata</i> BOOTT カサスゲ		H
<i>C. dimorpholepis</i> STEUD. アゼナルコスゲ		
南高尾。		H
<i>C. dolichostachya</i> HAYATA		
var. <i>glaberrima</i> T. KOYAMA		
ミヤマカンスゲ		H
<i>C. doniana</i> SPRENG. シラスゲ		H
<i>C. duvaliana</i> FRANCH. et SAVAT. ケスゲ		H
<i>C. filipes</i> FRANCH. et SAVAT.		
タマツリスゲ		H
<i>C. filipes</i> FRANCH. et SAVAT.		
var. <i>rouyana</i> KÜKENTH.		
オオタマツリスゲ		H
<i>C. forficula</i> FRANCH. et SAVAT.		
タニガワスゲ		H
<i>C. gibba</i> WAHLENB. マスクサ		H
<i>C. heterolepis</i> BUNGE ヤマアゼスゲ		H
<i>C. incisa</i> BOOTT カワラスゲ		H
<i>C. × insolita</i> T. KOYAMA		
ケヒメカンスゲ, 南高尾, 稀。		H
<i>C. ischnostachya</i> STEUD. ジュズスゲ		H
<i>C. japonica</i> THUNB. ヒゴクサ		G
<i>C. kiotensis</i> FRANCH. et SAVAT.		
テキリスゲ		G
<i>C. lanceolata</i> BOOTT ヒカゲスゲ		G
<i>C. lenta</i> D. DON var. <i>lenta</i> ナキリスゲ		H

<i>C. mayebarana</i> OHWI モエギスゲ	H	<i>Eleocharis congesta</i> D. DON ハリイ	HH
<i>C. maximowiczii</i> MIQ. ゴウン	H	<i>E. wichurai</i> BÖCHLR シカクイ	HH
<i>C. mitrata</i> FRANCH. スカスゲ	H	<i>Fimbristylis autumnalis</i> ROEMES	
<i>C. mollicula</i> BOOTT ヒメシラスゲ	H	et SCHULT. ヒメテンツキ	Th
<i>C. morrowii</i> BOOTT カンスゲ	H	<i>F. dichotoma</i> VAHL テンツキ	Th
<i>C. musashiensis</i> OHWI		<i>F. diphyloides</i> MAKINO クロテンツキ	HH
タカオスゲ, 南高尾, 稀。	H	<i>F. miliacea</i> VAHL ヒデリコ	Th
<i>C. nervata</i> FRANCH. ef SAVAT. シバスゲ	H	<i>F. subbispicata</i> NEES et MEYEN ヤマイ	HH
<i>C. olivacea</i> BOOTT		<i>Lipocarpa microcephala</i> KUNTH	
var. <i>angustior</i> KÜKENTH.		ヒンジガヤツリ	Th
ミヤマシラスゲ	H	<i>Scirpus juncooides</i> ROXB. ホタルイ	HH
<i>C. parciflora</i> BOOTT		<i>S. wichrai</i> BÖCKLR アブラガヤ	HH
var. <i>macroglossa</i> OHWI コジュズスゲ	H		
<i>C. pisiformis</i> BOOTT ホンモンジスゲ	H	Coryphaceae ヤシ科	
<i>C. reinii</i> FRANCH. et SAVAT. コカンスゲ	H	<i>Trachycarpus fortunei</i> H. WENDLAND	
<i>C. rhizopoda</i> MAXIM. シラコスゲ	H	シュロ, 野化。	MM (E)
<i>C. rochebruni</i> FRANCH. et SAVAT.			
ヤブスゲ	H	Araceae サトイモ科	
<i>C. sachalinensis</i> FR. SCHM.		<i>Acorus calamus</i> LINN.	
var. <i>alterniflora</i> OHWI オオイトスゲ	H	var. <i>angustatus</i> BESS.	
<i>C. siderosticta</i> HANCE タガネソウ	H	シヨウブ, 東高尾, 稀。	HH
<i>C. thunbergii</i> STEUD. アゼスゲ	H	<i>A. gramineus</i> SOLAND. セキシヨウ	HH
<i>C. transversa</i> BOOTT ヤワラスゲ	H	<i>Arisaema angustatum</i> FRANCH.	
<i>Cyperus amuricus</i> MAXIM. チャガヤツリ	Th	et SAVAT. ホンバテンナンシヨウ	G
<i>C. brevifolius</i> HASSK.		<i>A. capitellatum</i> NAKAI	
var. <i>leiolepis</i> T. KOYAMA ヒメクグ	H	ノビドメテンナンシヨウ, 高尾山, 稀。	G
<i>C. difformis</i> LINN. タマガヤツリ	Th	<i>A. limbatum</i> NAKAI et F. MAEKAWA	
<i>C. globosus</i> ALL. アゼガヤツリ	Th	ミミガタテンナンシヨウ	G
<i>C. flaccidus</i> R. BR. ヒナガヤツリ	Th	<i>A. limbatum</i> NAKAI et F. MAEKAWA	
<i>C. iria</i> LINN. コゴメガヤツリ	Th	f. <i>angustifolium</i> HAYASHI	
<i>C. microiria</i> STEUD. カヤツリグサ	Th	ホソバミミガタテンナンシヨウ	
<i>C. orthostachyus</i> FRANCH. et SAVAT.		高尾山 (林弥栄), 稀。	G
ウシクグ	Th	<i>A. limbatum</i> NAKAI et F. MAEKAWA	
<i>C. rotundus</i> LINN. ハマスゲ, 野化。	Th	f. <i>viridiflavum</i> HAYASHI	
<i>C. sanguinolentus</i> VAHL. カワラスガナ	Th	キイロミミガタテンナンシヨウ	
<i>C. serotinus</i> ROTTB. ミズガヤツリ	HH	南高尾 (峯尾喜久子), 稀。	G
<i>Eleocharis acicularis</i> ROEM. et SCHULT.		<i>A. monophyllum</i> NAKAI	
var. <i>longiseta</i> SVENSON マツバイ	HH	ヒトツバテンナンシヨウ	
		高尾山, 南高尾, やや稀。	G
		<i>A. serratum</i> SCHOTT ムラサキマムシグサ	G
		<i>A. serratum</i> SCHOTT f. <i>viridescens</i> NAKAI	
		カントウマムシグサ	G

- A. takedai* MAKINO オオマムシグサ G
A. urashima HARA ウラシマソウ G
Pinellia ternata BREITENB. カラスビシャク G

Lemnaceae ウキクサ科

- Spirodela polyrhiza* SCHLEID. ウキクサ HH
Lemna paucicostata HEGELM.
 アオウキクサ HH

Eriocaulaceae ホシクサ科

- Eriocaulon parvum* KOERM. クロホシクサ Th
E. robustius MAKINO ヒロハイヌノヒゲ Th
E. sieboldianum SIEB. et ZUCC. ホシクサ Th
E. sikokianum MAXIM. シロイヌノヒゲ Th

Commelinaceae ツユクサ科

- Aneilema keisak* HASSK. イボクサ Th
Commelia communis L. ツユクサ Th
Pollia japonica THUNB. ヤブミョウガ G

Pontederiaceae ミズアオイ科

- Monochoria vaginalis* PRESL
 var. *plantaginea* SOLMS-LAUB.
 コナギ HH

Juncaceae イグサ科

- Juncus alatus* FRANCH. et SAVAT.
 ハナビゼキショウ HH
J. effusus L. var. *decipiens* BUCHEN.
 イ H
J. krameri FRANCH. et SAVAT.
 タチコウガイゼキショウ HH
J. monticola STEUD.
 コモチコウガイゼキショウ HH
J. leschenaultii GAY コウガイゼキショウ HH
J. papillosus FRANCH. et SAVAT.
 アオコウガイゼキショウ HH
J. tenuis WILLD. クサイ H
Luzula capitata MIQ. スズメノヤリ H
L. multiflora LÉJEUNE ヤマスズメノヒエ H
L. plumosa E. MEYER
 var. *macrocarpa* OHWI スカボシソウ H

Liliaceae ユリ科

- Allium grayi* REGEL ノビル G
A. monanthum MAXIM. ヒメニラ
 南高尾, 東高尾, 稀。 G
A. thunbergii G. DON ヤマラッキョウ G
Asparagus schoberioides KUNTZ
 キジカクシ, 南高尾, 西高尾, やや稀。 G
Cardiocrinum cordatum MAKINO ウバユリ G
C. cordatum MAKINO f. *sordidum* MAKINO
 ヨゴレウバユリ G
Disporum sessile D. DON ホウチャクソウ G
D. sessile D. DON
 f. *stenophylla* (FRANCH. et SAVAT.)
 HAYASHI stat. nov.
 ホソバホウチャクソウ G
D. smilacinum A. GRAY チゴユリ G
D. smilacinum A. GRAY
 f. *ramosum* (NAKAI) HAYASHI
 stat. nov. エダウチチゴユリ G
D. smilacinum A. GRAY
 f. *variegatum* (NAKAI) HAYASHI
 stat. nov. フイリチゴユリ G
Erythronium japonicum DECNE カタクリ
 南高尾, 東高尾。 G
Heloniopsis orientalis C. TANAKA
 var. *flavida* OHWI
 シロバナシヨウジョウバカマ, 西高尾, 稀。 H
H. exilis SATAKE
 ムサシノワスレグサ
 西高尾, 東高尾, やや稀。 H
H. fulva L. var. *kwanso* REGEL
 ヤブカンゾウ H
H. longituba MIQ. ノカンゾウ H
Hosta albo-marginata OHWI
 f. *lancifolia* OHWI コバギボウシ H
H. longipes MATSUM. イワギボウシ
 南高尾 (林弥栄), 稀。 H
H. montana F. MAEKAWA オオバギボウシ H
Lilium auratum LINDL. ヤマユリ G

<i>L. auratum</i> LINDL. var. <i>rubrum</i> CORR. ムラサキヤマユリ (ベニスジュリ) 東高尾, 稀。 G	<i>S. riparia</i> DC. var. <i>ussuriensis</i> HARA et T. KOYAMA f. <i>stenophylla</i> T. KOYAMA ホソバシオデ, 高尾山, 東高尾, 稀。 G
<i>L. leichtlinii</i> HOOK. fil. var. <i>tigrinum</i> NICHOLS. コオニユリ, 稀。 G	<i>S. riparia</i> DC. var. <i>ussuriensis</i> HARA et T. KOYAMA f. <i>maximowiczii</i> T. KOYAMA ザラツキシオデ, 高尾山, 東高尾。 G
<i>Liriope minor</i> MAKINO ヒメヤブラン H	<i>S. sieboldii</i> MIQ. ヤマガシユウ (L) (D)
<i>L. platyphylla</i> WANG et TANG ヤブラン H	<i>S. sieboldii</i> MIQ. f. <i>inermis</i> HARA トゲナシヤマガシユウ, 高尾山, 稀。 (L) (D)
<i>Ophiopogon japonicus</i> KER-GAWL. ジヤノヒゲ H	<i>Tricyrtis affinis</i> MAKINO ヤマジノホトトギス G
<i>O. planiscapus</i> NAKAI オオバジャノヒゲ H	<i>T. affinis</i> MAKINO f. <i>albida</i> OKUYAMA シロバナホトトギス, 高尾山。 G
<i>O. planiscapus</i> NAKAI f. <i>leucanthus</i> OKUYAMA シロバナオオバジャノヒゲ 高尾山, 南高尾, 東高尾, やや稀。 H	<i>T. macropoda</i> MIQ. ヤマホトトギス G
<i>Paris tetrphylla</i> A. GREY ツクバナソウ 高尾山, 西高尾, やや稀。 G	<i>Trillium smallii</i> MAXIM. エンレイソウ 北高尾, 高尾山, 西高尾, やや稀。 G
<i>Polygonatum desoulavyi</i> KOMAROV var. <i>azegamii</i> OHWI タカオワニグチソウ, 西高尾 (畔上氏), 稀。 G	<i>T. tschonoskii</i> MAXIM. シロバナエンレイソウ 北高尾, 高尾山, 西高尾, やや稀。 G
<i>P. falcatum</i> A. GRAY ナルコユリ	<i>Tulipa edulis</i> BAKER アマナ G
<i>P. involucratum</i> MAXIM. ワニグチソウ 南高尾, 高尾山, 西高尾, 稀。 G	<i>Veratrum maackii</i> REGEL var. <i>japonicum</i> T. SHIMIZU シュロソウ, 西高尾, 高尾山, やや稀。 G
<i>P. lasianthum</i> MAXIM. ミヤマナルコユリ G	<i>V. maackii</i> REGEL var. <i>parviflorum</i> HARA アオヤギソウ 西高尾, 稀。 G
<i>P. odoratum</i> DRUCE var. <i>pluriflorum</i> OHWI アマドコロ G	Amaryllidaceae ヒガンバナ科
<i>Reinekia carnea</i> KUNTH キチジョウソウ 高尾山, 東高尾, 北高尾 (城山), やや稀。 H	<i>Lycoris radiata</i> HERB. ヒガンバナ G
<i>Rohdea japonica</i> ROTH オモト H	<i>L. sanguinea</i> MAXIM. キツネノカミソリ G
<i>Scilla scilloides</i> DRUCE ツルボ G	<i>L. sanguinea</i> MAXIM. var. <i>kiushiana</i> MAKINO オオキツネノカミソリ, 北高尾, 稀。 G
<i>Smilacina japonica</i> A. GRAY ユキザサ 南高尾, 稀。 G	<i>L. sanguinea</i> MAXIM. f. <i>plena</i> YAMAZAKI ヤエキツネノカミソリ 高尾山, 東高尾, 稀。 G
<i>Smilax china</i> LINN. サルトリイバラ (L) (D)	Dioscoreaceae ヤマノイモ科
<i>S. nipponica</i> MIQ. タチシオデ G	<i>Dioscorea gracillima</i> MIQ. タチドコロ G
<i>S. riparia</i> DC. var. <i>ussuriensis</i> HARA et T. KOYAMA シオデ G	<i>D. japonica</i> THUNB. ヤマノイモ G
<i>S. riparia</i> DC. var. <i>ussuriensis</i> f. <i>acuta</i> (HIYAMA) KOBAYASHI- YOSHIO comb. nov. トガリシオデ 北高尾, 稀。 G	

<i>D. quinqueloba</i> THUNB. カエドコロ	G	<i>Cypripedium debile</i> REICHB. fil.	
<i>D. septemloba</i> THUNB. キクパドコロ	G	コアツモリソウ	
<i>D. tenuipes</i> FRANCH. et SAVAT. ヒメドコロ	G	高尾山, 東高尾, 北高尾, やや稀。	G
<i>D. tokoro</i> MAKINO オニドコロ	G	<i>C. japonicum</i> THUNB. クマガイソウ	
		高尾山, 南高尾, 北高尾, やや稀。	G
		<i>Dendrobium moniliforme</i> SWARTZ	
		セッコク, 高尾山, 稀。	E
		<i>Epipactis thunbergii</i> A. GRAY カキラン	G
		<i>Galeola septentrionalis</i> REICHB. fil.	
		ツチアケビ, 高尾山, 北高尾, やや稀。	G
		<i>Gastrochilus matsuran</i> SCHLECHTER	
		ベニカヤラン (マツラン), 高尾山, 稀。	E
		<i>Gastrodia elata</i> BLUME オニノヤガラ	
		高尾山, 北高尾, 東高尾, やや稀。	G
		<i>Goodyera schlechtendaliana</i> REICHB. fil.	
		ミヤマウズラ	H
		<i>G. velutina</i> MAXIM. シュスラン	
		東高尾, 稀。	H
		<i>Habenaria sagittifera</i> REICHB. fil.	
		ミズトンボ, 東高尾, 稀。	G
		<i>Lecanorchis japonica</i> BLUME ムヨウラン	
		高尾山 (常谷氏), 稀。	G
		<i>Liparis kumokiri</i> F. MAEKAWA	
		クモキリソウ	H
		<i>Listera makinoana</i> OHWI アオフタバラン	
		南高尾, 稀, (都公緑地部報告)。	G
		<i>L. shikokiana</i> MAKINO ヒメフタバラン	
		南高尾, 東高尾, 稀。	G
		<i>L. shikokiana</i> MAKINO f. <i>viridis</i> HIYAMA	
		ミドリヒメフタバラン, 東高尾, 稀。	G
		<i>Neofinetia falcata</i> HU フウラン	
		高尾山 (小山氏), 稀。	E
		<i>Neottia nidus-avis</i> L. C. RICH.	
		var. <i>manshurica</i> KOMAR.	
		サカネラン, 高尾山 (常谷氏), 稀。	G
		<i>Oberonia japonica</i> MATSUM.	
		ヨウラクラン, 高尾山, 東高尾。	E
		<i>Platanthera japonica</i> LINDL. ツレサギソウ	
		南高尾, 東高尾, やや稀。	G

Iridaceae アヤメ科

<i>Belamcanda chinensis</i> DC. ヒオウギ	
南高尾, 西高尾, 北高尾, やや稀。	G
<i>Iris ensata</i> THUNB. var. <i>spontanea</i> NAKAI	
ノハナショウブ, 東高尾, やや稀。	H
<i>I. japonica</i> THUNB. シャガ	H
<i>I. sanguinea</i> HORNEM アヤメ	
南高尾 (畔上氏採集)。	H
<i>Sisyrinchium atlanticum</i> BICKNELL	
ニワゼキショウ, 北米原産, 帰化。	H

Zingiberaceae ショウガ科

<i>Zingiber mioga</i> ROSCOE ミョウガ, 野化。	G
--	---

Orchidaceae ラン科

<i>Bulbophyllum inconspicuum</i> MAXIM.	
ムギラン, 高尾山, 稀。	E
<i>Calanthe discolor</i> LINDL. エビネ	H
<i>C. discolor</i> LINDL. f. <i>rosea</i> HONDA	
アカエビネ, 高尾山, やや稀。	H
<i>C. discolor</i> LINDL.	
f. <i>rufo-aurantiaca</i> HONDA	
ダイダイエビネ, 高尾山, 南高尾, やや稀。	H
<i>C. discolor</i> LINDL. f. <i>viridi-alba</i> HONDA	
ヤブエビネ, 高尾山, やや稀。	H
<i>Cephalanthera erecta</i> BLUME ギンラン	G
<i>C. erecta</i> BLUME var. <i>subaphylla</i> OHWI	
ユウシュンラン, 高尾山 (岸田松若氏), 稀。	G
<i>C. falcata</i> BLUME キンラン	G
<i>C. longibracteata</i> BLUME ササバギンラン	G
<i>Cremastra appendiculata</i> MAKINO	
サイハイラン	G
<i>Cymbidium nipponicum</i> MAKINO	
マヤラン, 東高尾 (峯尾林太郎), 稀。	G
<i>C. goeringii</i> REICHB. fil. シュンラン	H

<i>P. minor</i> REICHB. fil.	
オオバノトンボソウ, 北高尾, 稀。	G
<i>Sarcochilus japonicus</i> MIQ. カマラン	
やや稀。	E
<i>Spiranthes sinensis</i> AMES ネジバナ	H
<i>Taeniophyllum aphyllum</i> MAKINO	
クモラン, 高尾山, 東高尾, 稀。	E
<i>Tipularia japonica</i> MATSUM.	
ヒトツボクロ, 高尾山, 東高尾, 稀。	G
<i>Yoania amagiensis</i> NAKAI	
et F. MAEKAWA	
キバナノショウキラン, 高尾山, 稀。	G

植物目録和名索引

ア	
アイアスカイノデ	111
アイカタイノデ	111
アイノコクマワラビ	110
アイナエ	130
アオイ科	125
アオイスミレ	126
アオウキクサ	143
アオカラムシ	114
アオカモジグサ	139
アオキ	129
アオギリ	125
アオギリ科	125
アオコアカソ	114
アオコウガイゼキショウ	143
アオシソ	132
アオスゲ	141
アオダモ	130
アオツツラフジ	118
アオナラガシワ	113
アオハダ	124
アオバナアオキ	129
アオバナオオミゾソバ	115
アオハリガネワラビ	110
アオビユ	116
アオホラゴケ	108
アオフタバラン	145
アオミズ	114
アオヤギソウ	144
アカエビネ	145
アカオオケタデ	115
アカガシ	113
アカカタバミ	122
アカコミヤマスマミレ	126
アカザ科	116
アカシデ	113
アカショウマ	119
アカソ	114
アカツメクサ	122
アカネ	134
アカネ科	134
アカネスミレ	134
アカバナ	128
アカバナ科	127
アカハナワラビ	108
アカマツ	112
アカメイノデ	111
アカメガシワ	123
アキカラマツ	117
アキグミ	127
アギナシ	139
アキノウナギツカミ	115
アキノエノコログサ	141
アキノキリンソウ	138
アキノギンリョウソウ	129
アキノタムラソウ	132
アキノノゲシ	137
アキノハハコグサ	137
アキメヒシバ	140
アケビ	118
アケビ科	117
アケボノスマレ	127
アケボノソウ	130
アケボノミヤマシキミ	123
アサカワソウ	140
アサダ	113
アシタカジャコウソウ	131
アシボソ	140
アスカイノデ	111
アズキナシ	121
アスナロ	112
アズマイチゲ	117
アズマガヤ	139
アズマナシ	120
アズマネザサ	139
アズマヤマアザミ	137
アゼオトギリ	126
アゼガヤツリ	142
アゼスゲ	142
アゼナ	133
アセビ	129
アゼトウガラシ	133
アゼナルコスゲ	141
アツカワサワラ	112
アツカワサンショウ	123
アブノメ	133
アブラガヤ	142
アブラススキ	140
アブラチャン	118
アブラナ科	118
アマ科	122
アマギイノデ	111
アマクサシダ	109
アマチャヅル	135
アマドコロ	144
アマナ	144
アメリカアリタソウ	116
アメリカスズカケノキ	120
アメリカセンダングサ	136
アヤメ	145
アヤメ科	145
アラカシ	113
アリノトウグサ	128
アリノトウグサ科	128
アレチギンギシ	115
アレチマツヨイグサ	128
アワコガネギク	136
アワゴケ	123
アワゴケ科	123
アワブキ	125
アワブキ科	125
	イ
イ	143
イイギリ	127
イイギリ科	127
イガホオズキ	132
イカリソウ	118
イグサ科	143
イケマ	130
イシミカワ	115
イタドリ	115
イタビカズラ	114
イタヤカエデ	124
イチイ科	112

イチイガシ	113	イノモトソウ	109	ウスゲヌスビトハギ	121
イチゴツナギ	141	イノモトソウ科	108	ウスゲヤマザクラ	120
イチヤクソウ	129	イブキシダ	110	ウスベニアカショウマ	119
イチヤクソウ科	129	イブキスミレ	126	ウスベニリンソウ	117
イチヨウ	112	イブキボウフウ	128	ウチダシナガバノ	
イチヨウ科	112	イボクサ	143	コウヤボウキ	138
イチリンソウ	117	イボザンショウ	123	ウチダシミヤマシキミ	123
イトハナビテンツキ	141	イボタノキ	130	ウチワゴケ	108
イナモリソウ	134	イラクサ	114	ウツギ	119
イヌアワ	141	イラクサ科	114	ウツボグサ	132
イヌイワガネソウ	109	イロハモミジ	125	ウド	128
イヌイワヘゴ	110	イワイタチシダ	110	ウバユリ	143
イヌウメモドキ	124	イワウチワ	129	ウマノアシガタ	117
イヌエンジュ	122	イワウメ科	129	ウマノスズクサ	114
イヌガヤ	112	イワウメヅル	124	ウマノスズクサ科	114
イヌガヤ科	112	イワガネソウ	109	ウマノミツバ	128
イヌガラシ	119	イワガネゼンマイ	109	ウメガサソウ	129
イヌガンソク	110	イワガラミ	120	ウメバチソウ	119
イヌコウジュ	132	イワギボウシ	143	ウメモドキ	124
イヌゴマ	132	イワタバコ	133	ウラゲイワガネ	109
イヌコリヤナギ	112	イワタバコ科	133	ウラゲエンコウカエデ	124
イヌザクラ	120	イワデンダ	111	ウラゲダンコウバイ	118
イヌザンショウ	122	イワトラノオ	111	ウラゲワレモコウ	121
イヌシダ	109	イワナンテン	129	ウラシマソウ	143
イヌシデ	113	イワニンジン	128	ウラジロ	108
イヌショウマ	117	イワハリガネワラビ	110	ウラジロ科	108
イヌスギナ	108	イワヒバ	108	ウラジロガシ	113
イヌタデ	115	イワヒバ科	108	ウラジロサナエタデ	115
イヌツゲ	124	イワヘゴ	110	ウラジロノキ	121
イヌツルウメモドキ	124			ウラジロフサザクラ	116
イヌトウバナ	131			ウラジロマタタビ	125
イヌナズナ	118			ウラボシ科	111
イヌノフグリ	133	ウキクサ	143	ウリ科	135
イヌハギ	122	ウキクサ科	143	ウリカエデ	124
イヌビエ	140	ウグイスカグラ	134	ウリクサ	133
イヌビユ	116	ウコギ科	128	ウリノキ	127
イヌブナ	113	ウシクグ	142	ウリノキ科	127
イヌホオズキ	133	ウシクサ	139	ウリハダカエデ	125
イヌムラサキシキブ	131	ウシタキソウ	127	ウルシ	124
イヌヨモギ	136	ウシノシッペイ	140	ウルシ科	123
イヌワラビ	109	ウシハコベ	116	ウワゲタチツボスミレ	126
イネ科	139	ウスアカカタバミ	122	ウワバミソウ	114
イノコヅチ	116	ウスゲオカスミレ	127	ウワミズザクラ	120
イノデ	111	ウスゲサンカクヅル	125		
イノデモドキ	111	ウスゲタマブキ	136		
		ウスゲトダシバ	139		

ウ

	エ	オオカマツカ……………	120	オオヒメワラビ……………	109
		オオカモヅル……………	130	オオヒメワラビモドキ……………	109
エイザンスミレ……………	126	オオガクビソウ……………	136	オオヒロハイヌワラビ……………	109
エゴノキ……………	130	オオキツネノカミソリ……………	144	オオフジイバラ……………	120
エゴノキ科……………	130	オオキヌタソウ……………	134	オオベニシダ……………	110
エゴマ……………	132	オオキヨスミシダ……………	111	オオベニタデ……………	115
エゾエノキ……………	114	オオクジャクシダ……………	110	オオマツヨイグサ……………	128
エゾスミレ……………	126	オオケタデ……………	115	オオマムシグサ……………	143
エゾタチカタバミ……………	122	オオジシバリ……………	137	オオミゾソバ……………	115
エゾタンポポ……………	138	オオシマザクラ……………	120	オオモミジ……………	125
エゾノタチツボスミレ……………	126	オオスズメノカタビラ……………	141	オオヤマツツジ……………	129
エゾノギシギシ……………	115	オオズミ……………	120	オオヤマハコベ……………	116
エゾヤマハギ……………	121	オオタチツボスミレ……………	126	オオヤマフスマ……………	116
エダウチチゴユリ……………	143	オオタマツリスゲ……………	141	オオヤママルバウツギ……………	119
エダウチミゾシダ……………	110	オオチドメ……………	128	オオルリソウ……………	131
エドスミレ……………	127	オオツクバネウツギ……………	134	オカウコギ……………	128
エドヒガン……………	126	オオツルウメモドキ……………	124	オカオグルマ……………	138
エナシヒゴクサ……………	141	オオツクバネガシ……………	114	オカスミレ……………	127
エノキ……………	114	オオニガナ……………	138	オカタツナミソウ……………	132
エノキグサ……………	123	オオニシキソウ……………	123	オカトラノオ……………	129
エノコログサ……………	141	オオニワホコリ……………	140	オカメザサ……………	139
エビガライチゴ……………	121	オオネコヤナギ……………	112	オガルガヤ……………	140
エビヅル……………	125	オオネズミガヤ……………	140	オキナグサ……………	117
エビネ……………	145	オオネバリタデ……………	115	オクタマゼンマイ……………	108
エビモ……………	139	オオバアサガラ……………	130	オクノウグイスカグラ……………	134
エビラシダ……………	110	オオバウマノスズクサ……………	115	オクマワラビ……………	110
エフデタンポポ……………	137	オオバカンズイ……………	123	オクモミジハグマ……………	136
エンコウカエデ……………	124	オオバギボウシ……………	143	オグルマ……………	137
エンレイソウ……………	144	オオバクサフジ……………	122	オケラ……………	136
	オ	オオバコ……………	134	オサシダ……………	111
オウギカズラ……………	131	オオバコ科……………	134	オシダ……………	110
オウレンシダ……………	109	オオバジャノヒゲ……………	144	オシダ科……………	109
オオアカガシ……………	113	オオバシヨウマ……………	117	オシヤクジデンダ……………	112
オオアブラススキ……………	141	オオバタネツケバナ……………	118	オトコエシ……………	135
オオアレチノギク……………	136	オオバチドメグサ……………	128	オトコノジスミレ……………	127
オオイタチシダ……………	110	オオバナハンシヨウズル……………	117	オトコヨウゾメ……………	135
オオイスタデ……………	115	オオバノイノモトソウ……………	109	オトコヨモギ……………	136
オオイチゴツナギ……………	141	オオバノハチジョウシダ……………	109	オトギリソウ……………	126
オオイトスゲ……………	142	オオバノトンボソウ……………	146	オトギリソウ科……………	126
オオイヌノフグリ……………	133	オオバノヤエムグラ……………	134	オトメスミレ……………	126
オオウラジロノキ……………	120	オオハナワラビ……………	108	オドリコソウ……………	132
オオエノコ……………	141	オオバマンリョウ……………	129	オナモミ……………	138
オオカナワラビ……………	110	オオバヤシャゼンマイ……………	108	オニイタヤ……………	124
オオカニツリ……………	139	オオハルタデ……………	115	オニイノデ……………	111
		オオヒナノウスツボ……………	133	オニカナワラビ……………	111

オニグルミ..... 113
 オニシバリ..... 127
 オニスゲ..... 141
 オニタビラコ..... 138
 オニツルウメモドキ..... 124
 オニドコロ..... 145
 オニノゲシ..... 138
 オニノヤガラ..... 145
 オニヤブソテツ..... 109
 オニルリソウ..... 131
 オノエヤナギ..... 112
 オノマンネングサ..... 119
 オヒシバ..... 140
 オヘビイチゴ..... 120
 オミナエシ..... 135
 オミナエシ科..... 135
 オモダカ科..... 139
 オモト..... 144
 オヤブジラミ..... 129
 オヤマボクチ..... 138
 オランダタガラシ..... 119
 オランダミミナグサ..... 116
 オンガタイノデ..... 111
 オンガタヒゴタイ..... 138

カ

カイジンドウ..... 131
 カエデ科..... 124
 カエデドコロ..... 145
 ガガイモ..... 130
 ガガイモ科..... 130
 カキドウシ..... 132
 カキノキ..... 129
 カキノキ科..... 129
 カキラン..... 145
 ガクウツギ..... 119
 カクレミノ..... 128
 カゴノキ..... 118
 カサスゲ..... 141
 カジカエデ..... 124
 カシワ..... 113
 カシワバハグマ..... 138
 カズザキヨモギ..... 136
 カズノコグサ..... 139
 カスマグサ..... 122

カスミザクラ..... 120
 カゼクサ..... 140
 カセンソウ..... 137
 カタイノデ..... 111
 カタイノデモドキ..... 111
 カタクリ..... 143
 カタハダアズマネザサ..... 139
 カタバエノコログサ..... 141
 カタバミ..... 122
 カタバミ科..... 122
 カタヒバ..... 108
 カツラ..... 117
 カツラ科..... 117
 カテンソウ..... 114
 カノウツギ..... 121
 カナビキソウ..... 114
 カナムグラ..... 114
 カナメモチ..... 120
 カニクサ..... 108
 カニツリグサ..... 141
 カパノキ科..... 113
 ガマ科..... 138
 ガマズミ..... 134
 カマツカ..... 120
 カメバヒキオコシ..... 132
 カモガヤ..... 140
 カモジグサ..... 139
 カヤ..... 112
 カヤツリグサ..... 142
 カヤツリグサ科..... 141
 カヤラン..... 146
 カラクサイヌワラビ..... 109
 カラクサシダ..... 109
 カラスウリ..... 135
 カラスザンショウ..... 123
 カラスノゴマ..... 125
 カラスビシャク..... 143
 カラハナソウ..... 114
 カラマツ..... 112
 カラムシ..... 114
 カリガネソウ..... 131
 カリマタガヤ..... 140
 カリヤスモドキ..... 140
 カリヨセウツギ..... 135
 カリヨセザサ..... 139

カワチハギ..... 122
 カワミドリ..... 131
 カワラケツメイ..... 121
 カワラスガナ..... 142
 カワラスゲ..... 141
 カワラナデシコ..... 116
 カワラハハコ..... 136
 カワラマツバ..... 134
 カンアオイ..... 115
 ガンクビソウ..... 136
 ガンクビヤブタバコ..... 136
 カンスゲ..... 142
 カントウタンポポ..... 138
 カントウマムシグサ..... 142
 カントウマユミ..... 124
 カントウヨメナ..... 137
 カントリソウ..... 132

キ

キイロミミガタ
 テンナンショウ..... 142
 キカシグサ..... 127
 キカラスウリ..... 135
 キキョウ..... 135
 キキョウ科..... 135
 キクアザミ..... 138
 キクイモ..... 137
 キク科..... 136
 キクザキイチリンソウ..... 117
 キクタニギク..... 136
 キクバドコロ..... 145
 キクムグラ..... 134
 キササゲ..... 133
 キジカクシ..... 143
 ギシギシ..... 115
 キジムシロ..... 120
 ギジョラン..... 130
 キツタ..... 128
 キセフタ..... 132
 キタゴヨウマツ..... 112
 キタヤマダイスギ..... 112
 キチジョウソウ..... 144
 キッコウハグマ..... 136
 キツネアザミ..... 137
 キツネガヤ..... 141

コイケマ	130	コバノクロウメモドキ	125	ササクサ	140
コウガイゼキショウ	143	コバノタツナミソウ	132	ササバキンラン	145
コウゾ	114	コバノトネリコ	130	サジガンクビソウ	136
ゴウツ	142	コバノヒノキシダ	111	サジラン	112
コウヅリナ	138	コバノヤブムラサキ	131	サツキヒナノウスツボ	133
コウボウ	140	コバムラサキシキブ	131	サデクサ	115
コウホネ	116	コヒルガオ	131	サトイモ科	142
コウヤコケシノブ	108	コブシ	118	サトザクラ	120
コウヤボウキ	138	コブナグサ	139	サナエタデ	115
コウヤワラビ	110	コボタンヅル	117	サヤゲハコネメダケ	139
コウリンカ	138	コボトケスマレ	126	サヤスカグサ	140
コオニタビラコ	137	ゴマギ	135	サラシナショウマ	117
コオニユリ	144	コマツナギ	121	ザラツキシオデ	144
コガシワ	114	ゴマノハグサ科	133	サルトリイバラ	144
コガマ	138	コマユミ	124	サルナシ	125
コカモメヅル	130	コムカンソウ	123	サルナシ科	125
コカンスゲ	142	コミヤマガマズミ	135	サワアジサイ	119
コガンピ	127	コミヤマスマレ	126	サワオグルマ	138
ゴキヅル	135	コメナモミ	138	サワギキョウ	135
コクサギ	123	コメヒシバ	140	サワギク	138
コケオトギリ	126	コモチコウガイゼキショウ	143	サワグルミ	113
コケシノブ	108	コモチシダ	111	サワシバ	113
コケシノブ科	108	コモチマンネングサ	119	サワシロギク	136
コケリンドウ	130	コヤブタバコ	136	サワゼリ	128
コゴメウツギ	121	ゴヨウアケビ	117	サワダツ	124
コゴメガヤツリ	142	ゴズイ	124	サワトウガラシ	133
コゴメヤナギ	113	コンテリギ	119	サワハコベ	116
コシオガマ	133			サワヒヨドリ	137
コシダ	108			サワフタギ	130
ゴシュスゲ	142			サワラ	112
コスミレ	126	サイカチ	121	サワリソウ	131
コチヂミザサ	140	サイコクイノデ	111	サンカクヅル	125
コチャルメルソウ	119	サイコクガマズミ	134	サンショウ	123
コナギ	143	サイコクベニシダ	110		
コナスビ	129	サイドウガヤ	140		
コナラ	114	サイハイラン	145		
コニシキソウ	123	ザイフリボク	120	シュウカイドウ	127
コヌカグサ	139	サカネラン	145	シオガマギク	133
コハウチワカエデ	125	サカキ	126	シオデ	144
コバギボウシ	143	サギゴケ	133	シカクイ	142
コハコベ	116	サクラライカグマ	110	シキミ	118
コハシゴシダ	110	サクラソウ科	129	シギンカラマツ	117
コハナヤスリ	108	サクラタデ	115	シケシダ	109
コバノガマズミ	134	ザクロソウ	116	シケチシダ	109
コバノカモメヅル	130	ザクロソウ科	116	シシウド	128
		ササガヤ	140	シシガシラ	111

サ

シ

シシガシラ科.....	111	シロバナオオバジャノヒゲ...	144	シュロ.....	142
ジシバリ.....	137	シロバナオオミゾソバ.....	115	シュロソウ.....	144
シソ科.....	131	シロバナクワガタソウ.....	133	ショウガ科.....	145
シソ.....	132	シロバナゲンノショウコ.....	122	ショウブ.....	142
シソクサ.....	133	シロバナコアジサイ.....	119	シンジュ.....	123
シタキツルウメモドキ.....	124	シロバナサワリソウ.....	131	ジンチョウゲ科.....	127
ジタロウイノデ.....	111	シロバナ		シンミズヒキ.....	115
シデシャジン.....	135	ショウジョウバカマ.....	143		
シナダレスズメガヤ.....	140	シロバナジュウニヒトエ.....	131	ス	
シナノガキ.....	130	シロバナセンボンヤリ.....	137	スイカズラ.....	134
シナノキ.....	125	シロバナタチツボスミレ.....	126	スイカズラ科.....	134
シナノキ科.....	125	シロバナツクシコスミレ.....	126	スイバ.....	115
シノブ.....	109	シロバナツリガネニンジン...	135	スイレン科.....	116
シノブ科.....	109	シロバナツリフネソウ.....	125	スカシタゴボウ.....	119
シノブカグマ.....	110	シロバナツルリンドウ.....	130	スギ.....	112
シバ.....	141	シロバナ		スギ科.....	112
シバスゲ.....	142	ナガバノスミレサイシン...	126	スギナ.....	108
シバヤナギ.....	113	シロバナハナタデ.....	115	スギラン.....	108
シプヤザサ.....	139	シロバナヒナスミレ.....	127	スズカケノキ.....	120
シモツケ.....	121	シロバナヒロウドナミキ.....	132	スズカケノキ科.....	120
シモバシラ.....	132	シロバナフクシマシャジン...	135	ススキ.....	140
シラカシ.....	113	シロバナフジカンゾウ.....	121	スズサイコ.....	130
シラカバ.....	113	シロバナフデリンドウ.....	130	スズダケ.....	139
シラキ.....	123	シロバナホトトギス.....	144	スズメウリ.....	135
シラゲシャジン.....	135	シロバナミゾソバ.....	115	スズメノエンドウ.....	122
シラコスゲ.....	142	シロバナヤマルリソウ.....	131	スズメノカタビラ.....	141
シラスゲ.....	141	シロミノアオキ.....	129	スズメノチャヒキ.....	139
シラネセンキュウ.....	128	シロヤブケマン.....	118	スズメノテッポウ.....	139
シラヤマギク.....	136	シロヤマシダ.....	109	スズメノヒエ.....	140
シロイヌノヒゲ.....	143	シロヨメナ.....	136	スズメノヤリ.....	143
ジロウボウエンゴサク.....	118	シャガ.....	145	スダジイ.....	113
シロザ.....	116	シャクジョウソウ.....	129	スノキ.....	129
シロダモ.....	118	ジャケツイバラ.....	121	スベリヒユ.....	116
シロツメクサ.....	122	ジャコウソウ.....	131	スベリヒユ科.....	116
シロトダシバ.....	139	ジャニンジン.....	118	ズミ.....	120
シロネ.....	132	ジャノヒゲ.....	144	スミレ.....	126
シロバナアキノタムラソウ...	132	シュウカイドウ科.....	127	スミレ科.....	126
シロバナアザミ.....	137	ジュウニヒトエ.....	131	スワスミレ.....	127
シロバナアブラギク.....	136	シュウブンソウ.....	138		
シロバナイヌタデ.....	115	ジュウモンジシダ.....	111	セ	
シロバナエゾスミレ.....	126	シュウメイギク.....	117	セイタカシケシダ.....	109
シロバナエンレイソウ.....	144	ジュズスゲ.....	141	セイタカトウヒレン.....	138
シロバナオオイヌタデ.....	115	ジュズダマ.....	140	セイヨウタンポポ.....	138
シロバナ		シュスラン.....	145	セキショウ.....	142
オカタツミナソウ.....	132	シュンラン.....	145	セキヤノアキショウジ.....	132

セッコク…………… 145
 セトガヤ…………… 139
 セリ…………… 128
 セリ科…………… 128
 セリバヒエンソウ…………… 117
 センダングサ…………… 136
 セントウソウ…………… 128
 センニンソウ…………… 117
 センブリ…………… 130
 センボンヤリ…………… 137
 ゼンマイ…………… 108
 ゼンマイ科…………… 108
 センリョウ科…………… 112

ソ

ソウシショウニンジン…………… 128
 ソクズ…………… 134
 ソバ…………… 115
 ソバカズラ…………… 115
 ソバナ…………… 135
 ソメイヨシノ…………… 120

タ

タイアザミ…………… 136
 ダイコンソウ…………… 120
 ダイダイエビネ…………… 14⁵
 タウコギ…………… 136
 タカオイノデ…………… 111
 タカオコバノガマズミ…………… 135
 タカオシケチシダ…………… 109
 タカオスゲ…………… 142
 タカオスミレ…………… 127
 タカオヒゴタイ…………… 138
 タカオフウロ…………… 122
 タカオホオズキ…………… 133
 タカオホロシ…………… 133
 タカオヤブマオ…………… 114
 タカオワニグチソウ…………… 144
 タカサゴソウ…………… 137
 タカサブロウ…………… 137
 タカトウダイ…………… 123
 タガネソウ…………… 142
 タガラシ…………… 117
 タケ科…………… 139
 ダケゼリ…………… 128

タケニグサ…………… 118
 タチイヌノフグリ…………… 133
 タチガシワ…………… 130
 タチカモジグサ…………… 139
 タチクラマゴケ…………… 108
 タチコウガイゼキショウ…………… 143
 タチコゴメグサ…………… 133
 タチシオデ…………… 144
 タチシノブ…………… 109
 タチタネツケバナ…………… 118
 タチツボスミレ…………… 126
 タチドコロ…………… 144
 タチフウロ…………… 122
 タチヤナギ…………… 113
 タツナミソウ…………… 132
 タツノヒゲ…………… 140
 タデ科…………… 115
 タニガワスゲ…………… 141
 タニギキョウ…………… 135
 タニジャコウソウ…………… 131
 タニソバ…………… 115
 タニタデ…………… 127
 タネツケバナ…………… 118
 タニヘゴ…………… 110
 タブノキ…………… 118
 タマアジサイ…………… 119
 タマガヤツリ…………… 142
 タマツリスゲ…………… 141
 タマノカンアオイ…………… 115
 タマブキ…………… 136
 タマミゾイチゴツナギ…………… 141
 タムラソウ…………… 138
 タラノキ…………… 128
 タラヨウ…………… 124
 タルミヤシャブシ…………… 113
 タンキリマメ…………… 122
 ダンコウバイ…………… 118
 タンザワツリバナ…………… 124
 ダンドボロギク…………… 139
 タンナサワフタギ…………… 130

チ

チガヤ…………… 140
 チカラシバ…………… 140
 チゴザサ…………… 140

チゴユリ…………… 143
 チダケサシ…………… 119
 チチコグサ…………… 137
 チチブイワガネ…………… 109
 チチブホラゴケ…………… 108
 チドメグサ…………… 128
 チドリノキ…………… 124
 チャガヤツリ…………… 142
 チャノキ…………… 126
 チャボイノデ…………… 111
 チャセンシダ科…………… 111
 チョウジザクラ…………… 120
 チョウジタデ…………… 128
 チョウセンガリヤス…………… 140
 チョウセンキンミズヒキ…………… 120

ツ

ツガ…………… 112
 ツクシトネリコ…………… 130
 ツクシハギ…………… 122
 ツクバキンモンソウ…………… 131
 ツクバネ…………… 114
 ツクバネウツギ…………… 134
 ツクバネガシ…………… 113
 ツクバネソウ…………… 144
 ツゲ科…………… 123
 ツゲ…………… 123
 ツタ…………… 125
 ツタウルシ…………… 123
 ツチアケビ…………… 145
 ツツジ科…………… 129
 ツツナガヤイトバナ…………… 134
 ツヅラフジ…………… 118
 ツヅラフジ科…………… 118
 ツノハシバミ…………… 113
 ツバキ…………… 126
 ツバキ科…………… 125
 ツブラジイ…………… 113
 ツボスミレ…………… 127
 ツメクサ…………… 116
 ツヤナシイノデ…………… 111
 ツユクサ…………… 143
 ツユクサ科…………… 143
 ツリガネニンジン…………… 135
 ツリバナ…………… 124

ツリフネソウ……………	125	トキリマメ……………	122	ナメライノデ……………	111
ツリフネソウ科……………	125	トキワトラノオ……………	111	ナライシダ……………	110
ツルアリドウシ……………	134	トキワハゼ……………	133	ナルコスゲ……………	141
ツルウメモドキ……………	124	トキンソウ……………	136	ナルコビエ……………	140
ツルカノコソウ……………	135	ドクウツギ……………	123	ナルコユリ……………	144
ツルギキョウ……………	135	ドクウツギ科……………	123	ナワシロイチゴ……………	121
ツルキンバイ……………	120	トゲナシヤマガシユウ……………	144	ナンテン……………	118
ツルグミ……………	127	トクサ科……………	108	ナンテンハギ……………	122
ツルシキミ……………	123	ドクダミ……………	112	ナンバンギセル……………	133
ツルデンダ……………	111	ドクダミ科……………	112	ナンバンハコベ……………	116
ツルナシヤハズエンドウ……………	122	ドジョウツツナギ……………	140		
ツルニガクサ……………	132	トダシバ……………	139	ニ	
ツルニンジン……………	135	トチノキ……………	125	ニオイタチツボスミレ……………	126
ツルネコノメソウ……………	119	トチノキ科……………	125	ニガイチゴ……………	121
ツルフジバカマ……………	122	トチバニンジン……………	128	ニガキ……………	123
ツルボ……………	144	トボシラガ……………	140	ニガキ科……………	123
ツルマサキ……………	124	トモエソウ……………	126	ニガクサ……………	132
ツルマメ……………	121	トヨグチイノデ……………	111	ニガナ……………	137
ツルヨシ……………	141	トラノオジソ……………	132	ニシキウツギ……………	135
ツルリンドウ……………	130	トラノオシダ……………	111	ニシキギ……………	124
ツレサギソウ……………	145			ニシキギ科……………	124
テ		ナ		ニシキシダ……………	109
テイカカズラ……………	130	ナガエミクリ……………	138	ニシキソウ……………	123
テキリスゲ……………	141	ナガバアカメガシワ……………	123	ニシキビロウドウツギ……………	135
テバコモミジガサ……………	136	ナガハグサ……………	141	ニシキミヤコグサ……………	122
テリハコナラ……………	114	ナガバノコウヤボウキ……………	138	ニセアカシア……………	122
テリハコバノガマズミ……………	134	ナガバノスミレサイシン……………	126	ニッコウザサ……………	139
テリハノイバラ……………	121	ナガバハエドクソウ……………	134	ニッコウシラハギ……………	122
テリハミヤマガマズミ……………	134	ナガバムラサキシキブ……………	131	ニリンソウ……………	117
テンツキ……………	142	ナガバヤブマオ……………	114	ニレ科……………	114
		ナガバヤブムラサキ……………	131	ニワウルシ……………	123
ト		ナガボナツノハナワラビ……………	108	ニワゼキショウ……………	145
トウオオバコ……………	134	ナガボハナタデ……………	115	ニワトコ……………	134
トウゲヤキ……………	114	ナギナタコウジュ……………	131	ニワヤナギ……………	115
トウゴクサバノオ……………	117	ナキリスゲ……………	141	ニワホコリ……………	140
トウゴクシソバタツナミ……………	132	ナス科……………	132		
トウゴクシダ……………	110	ナズナ……………	118	ヌ	
トウダイグサ……………	123	ナツグミ……………	127	ヌカキビ……………	140
トウダイグサ科……………	123	ナツトウダイ……………	123	ヌカスゲ……………	142
トウチャ……………	126	ナツノタムラソウ……………	132	ヌカボ……………	139
トウバナ……………	131	ナツノハナワラビ……………	108	ヌカボシソウ……………	143
ドウリョウイノデ……………	111	ナツハゼ……………	129	ヌスピトハギ……………	121
トガリシオデ……………	144	ナデシコ科……………	116	ヌマゼリ……………	128
トキホコリ……………	114	ナデン……………	120	ヌマトラノオ……………	129
		ナベナ……………	135	ヌメリグサ……………	141

ヌルデ..... 123
 スリワラビ..... 109

ネ

ネコノメソウ..... 119
 ネコハギ..... 122
 ネコヤナギ..... 113
 ネジキ..... 129
 ネジバナ..... 146
 ネズミガヤ..... 140
 ネズミサシ..... 112
 ネズミノオ..... 141
 ネズミムギ..... 140
 ネズミモチ..... 130
 ネナシカズラ..... 131
 ネバリタデ..... 115
 ネムノキ..... 121

ノ

ノアザミ..... 137
 ノアズキ..... 121
 ノイバラ..... 121
 ノウゼンカズラ科..... 133
 ノガリヤス..... 140
 ノカンゾウ..... 143
 ノキシノブ..... 111
 ノゲシ..... 138
 ノコンギク..... 136
 ノササゲ..... 121
 ノジシバリ..... 137
 ノジスミレ..... 127
 ノダケ..... 128
 ノチドメ..... 128
 ノッポロガンクビソウ..... 136
 ノニガナ..... 137
 ノハナショウブ..... 145
 ノハラアザミ..... 136
 ノビドメテンナンショウ..... 142
 ノビル..... 143
 ノブキ..... 136
 ノブドウ..... 125
 ノボロギク..... 138
 ノミノツヅリ..... 116
 ノミノフスマ..... 116
 ノリウツギ..... 119

ハ

バアソブ..... 135
 バイカウツギ..... 119
 バイカツツジ..... 129
 ハイニガナ..... 137
 ハイヌメリ..... 141
 ハイノキ科..... 130
 ハイホラゴケ..... 108
 ハイメドハギ..... 122
 ハウチワカエデ..... 124
 ハエドクソウ..... 134
 ハエドクソウ科..... 134
 ハカタシダ..... 111
 ハキダメギク..... 137
 ハクウンボク..... 130
 ハグロスミレ..... 127
 ハグロソウ..... 133
 ハコネイノデ..... 111
 ハコネカモメヅル..... 130
 ハコネシケチシダ..... 109
 ハコネシダ..... 108
 ハコネヒヨドリ..... 137
 ハコベ..... 116
 ハシカグサ..... 134
 ハシゴシダ..... 110
 ハシリドコロ..... 133
 ハダカホオズキ..... 133
 ハタザオ..... 118
 ハチク..... 139
 ハッカ..... 132
 パッコヤナギ..... 112
 ハナイカダ..... 129
 ハナイバナ..... 131
 ハナウド..... 128
 ハナキササゲ..... 133
 ハナタデ..... 115
 ハナニガナ..... 137
 ハナネコノメソウ..... 119
 ハナビゼキシウ..... 143
 ハナビゼリ..... 128
 ハナヤクシソウ..... 138
 ハナヤスリ科..... 108
 ハナワラビ科..... 108
 ハネガヤ..... 141

ハハコグサ..... 137
 ハバヤマボクチ..... 138
 ハマウツボ科..... 133
 ハマスゲ..... 142
 パラ科..... 120
 ハリイ..... 142
 ハリガネワラビ..... 110
 ハリギリ..... 128
 ハリモミ..... 112
 ハルガヤ..... 139
 ハルシオン..... 137
 ハルニレ..... 114
 ハンゲショウ..... 112
 ハンゴンソウ..... 138
 ハンショウヅル..... 117
 ハンノキ..... 113

ヒ

ヒイラギ..... 130
 ヒイラギイヌシデ..... 113
 ヒオウギ..... 145
 ヒカゲスゲ..... 141
 ヒカゲスミレ..... 127
 ヒカゲノカズラ..... 108
 ヒカゲノカズラ科..... 108
 ヒカゲミツバ..... 128
 ヒガンバナ..... 144
 ヒガンバナ科..... 144
 ヒキオコシ..... 132
 ヒキヨモギ..... 133
 ヒゲケマルバスミレ..... 126
 ヒゲコスミレ..... 126
 ヒゴクサ..... 141
 ヒゴスミレ..... 126
 ヒサカキ..... 126
 ヒデリコ..... 142
 ヒトツバカエデ..... 124
 ヒトツバジュウモンジシダ..... 111
 ヒトツバテンナンショウ..... 142
 ヒトツバハギ..... 123
 ヒトツボクロ..... 146
 ヒトリシズカ..... 112
 ヒナノウスツボ..... 133
 ヒナウチワカエデ..... 125
 ヒナガヤツリ..... 142

ヒナスミレ	127	ビャクダン科	114	フジウツギ	130
ヒナタイノコズチ	116	ヒユ科	116	フジウツギ科	130
ビナンカズラ	118	ヒヨドリジョウゴ	133	フジオシダ	110
ヒノキ	112	ヒヨドリバナ	137	フジカンゾウ	121
ヒノキ科	112	ヒルガオ	131	フジキ	121
ヒメアカガシ	113	ヒルガオ科	131	フシグロ	116
ヒメアシボソ	140	ヒルムシロ	139	フシグロセンノウ	116
ヒメイタチシダ	110	ヒルムシロ科	139	ブタクサ	136
ヒメウコギ	128	ヒレアザミ	136	フタバアオイ	115
ヒメウズ	117	ヒレノブキ	136	フタバムグラ	134
ヒメウツギ	119	ビロウドウリノキ	127	フタリシズカ	112
ヒメウラジロ	109	ビロウドシダ	112	フッキソウ	123
ヒメウワバミソウ	114	ビロウドタツナミソウ	132	フデリンドウ	130
ヒメオドリコソウ	132	ビロウドヤイトバナ	134	ブドウ科	125
ヒメカナワラビ	111	ヒロハアオダモ	130	フトボナギナタコウジュ	131
ヒメガンクビソウ	136	ヒロハイヌノヒゲ	143	ブナ	113
ヒメカンスゲ	141	ヒロハウシノケグサ	140	ブナ科	113
ヒメキンミズヒキ	120	ヒロハウラジログサシ	114	フナバラソウ	130
ヒメクダ	142	ヒロハコンロンソウ	118	フモトシダ	109
ヒメクズ	121	ヒロハノイヌワラビ	109	フモトスミレ	127
ヒメコケシノブ	108	ヒロハノトウゲシバ	108	フユイチゴ	121
ヒメシオン	136	ヒロハハナヤスリ	108	フユザンショウ	123
ヒメジソ	132	ヒロハヤブムラサキ	131	フユノハナワラビ	108
ヒメシダ	110	ヒンジガヤツリ	142	フヨウ	125
ヒメジョオン	137				
ヒメシラスゲ	142				
		フ		へ	
ヒメシロネ	132	フィリアオキ	129	ヘクソカズラ	134
ヒメスイバ	115	フィリイナモリソウ	134	ベニガクウツギ	119
ヒメテンツキ	142	フィリタマアジサイ	119	ベニカヤラン	145
ヒメドコロ	145	フィリチゴユリ	143	ベニシダ	110
ヒメトラノオ	133	フィリヒナスミレ	127	ベニスジュリ	144
ヒメニラ	143	フウラン	145	ベニタイゲキ	123
ヒメノガリヤス	140	フウロソウ科	122	ベニバナゲンノショウコ	122
ヒメノキシノブ	111	フキ	138	ベニバナヤマシャクヤク	117
ヒメハギ	123	フクオウソウ	138	ヘビイチゴ	120
ヒメハギ科	123	フクオウニガナ	138	ヘビノネゴザ	109
ヒメヒゴタイ	138	フクシマシャジン	135	ヘラオモダカ	139
ヒメフタバラン	145	フクジュソウ	117	ヘラシダ	110
ヒメミカンソウ	123	フクロシダ	111	ベンケイソウ科	119
ヒメムカシヨモギ	137	フサザクラ	116		
ヒメヤシャブシ	113	フサザクラ科	116	ホ	
ヒメヤブラン	144	フサシダ科	108	ホウチャクソウ	143
ヒメヨツバムグラ	134	フジ	122	ホオズキ	133
ヒメレンゲ	119	フジイバラ	121	ホオノキ	117
ヒメワラビ	110	フジレイジンソウ	117	ホオベニオオベニシダ	110

ホシクサ..... 143
 ホシクサ科..... 142
 ホシザキイナモリソウ..... 134
 ホシダ..... 109
 ホソアオゲイトウ..... 116
 ホソイノデ..... 111
 ホソエカエデ..... 124
 ホソエノアザミ..... 137
 ホソバアオキ..... 129
 ホソバアオダモ..... 130
 ホソバアキノノゲシ..... 137
 ホソバイヌワラビ..... 109
 ホソバオトギリソウ..... 126
 ホソバガシワ..... 113
 ホソバカナワラビ..... 111
 ホソバガンクビソウ..... 136
 ホソバコケシノブ..... 108
 ホソバシオデ..... 144
 ホソバシケシダ..... 109
 ホソバテンナンショウ..... 142
 ホソバトウゲシバ..... 108
 ホソバトリカブト..... 117
 ホソバニワトコ..... 134
 ホソバノオトコヨモギ..... 136
 ホソバハナタデ..... 115
 ホソバホウチャクソウ..... 143
 ホソバミミガタ
 テンナンショウ..... 142
 ホソバヤマブキソウ..... 118
 ホソバヨツバヒヨドリ..... 137
 ホソバリンドウ..... 130
 ホソバクサヨシ..... 141
 ボダイジュ..... 125
 ホタルイ..... 142
 ホタルカズラ..... 131
 ホタルサイコ..... 128
 ホタルブクロ..... 135
 ボタンヅル..... 117
 ホド..... 121
 ホトケノザ..... 132
 ホナガイヌビユ..... 116
 ホラシノブ..... 109
 ポントクタデ..... 115
 ホンモンジスゲ..... 142

マ

マアザミ..... 137
 マキエハギ..... 122
 マキノスミレ..... 127
 マサキ..... 124
 マスクサ..... 141
 マダケ..... 139
 マタタビ..... 125
 マツ科..... 112
 マツカゼソウ..... 122
 マツグミ..... 114
 マツバイ..... 142
 マツバスゲ..... 141
 マツバニンジン..... 122
 マツブサ..... 118
 マツムシソウ..... 135
 マツムシソウ科..... 135
 マツヨイグサ..... 128
 マツラン..... 145
 ママコノシリヌグイ..... 115
 マメ科..... 121
 マメグンバイナズナ..... 119
 マメザクラ..... 120
 マメヅタ..... 111
 マヤラン..... 145
 マユミ..... 124
 マルバアオダモ..... 130
 マルバウツギ..... 119
 マルバコンロンソウ..... 118
 マルバダケブキ..... 138
 マルバタチツボスミレ..... 126
 マルバノイチャクソウ..... 129
 マルバノカシワバハグマ..... 138
 マルバノキ..... 120
 マルバノヌスビトハギ..... 121
 マルバノホロシ..... 133
 マルバハギ..... 122
 マルバベニシダ..... 110
 マルバマンネングサ..... 119
 マルバヤハズソウ..... 121
 マルミノウルシ..... 123
 マルミノギンリョウソウ..... 129
 マルミノヤマゴボウ..... 116
 マンサク..... 120

マンサク科..... 120
 マンリョウ..... 129
 ミ
 ミカン科..... 122
 ミクリ..... 139
 ミクリ科..... 138
 ミサキカグマ..... 110
 ミシマサイコ..... 128
 ミズ..... 114
 ミズアオイ科..... 143
 ミズガヤツリ..... 142
 ミズキ..... 129
 ミズキ科..... 129
 ミズタネツケバナ..... 118
 ミズタマソウ..... 128
 ミズトンボ..... 145
 ミズナラ..... 113
 ミズニラ..... 108
 ミズニラ科..... 108
 ミズハコベ..... 123
 ミズヒキ..... 115
 ミズメ..... 113
 ミズワラビ..... 109
 ミズワラビ科..... 109
 ミヅイチゴツナギ..... 140
 ミヅカクシ..... 135
 ミヅシダ..... 110
 ミヅソバ..... 115
 ミソハギ..... 127
 ミソハギ科..... 127
 ミゾホオズキ..... 133
 ミツデウラボシ..... 111
 ミツデカエデ..... 124
 ミツバ..... 128
 ミツバアケビ..... 118
 ミツバウツギ..... 124
 ミツバウツギ科..... 124
 ミツバコンロンソウ..... 118
 ミツバサワヒヨドリ..... 137
 ミツバツチグリ..... 120
 ミツバツツジ..... 129
 ミツパフウロ..... 122
 ミツマタ..... 127
 ミツモトソウ..... 120

ミドリタチツボ……………	126				
ミドリニリンソウ……………	117				
ミドリハコベ……………	116				
ミドリヒメフタバラン……………	145				
ミドリヒメワラビ……………	110				
ミドリペニシダ……………	110				
ミドリミツバウツギ……………	124				
ミノボロ……………	140				
ミミガタテンナンショウ……………	142				
ミミナグサ……………	116				
ミヤコアザミ……………	138				
ミヤコイヌワラビ……………	109				
ミヤコグサ……………	122				
ミヤコザサ……………	139				
ミヤコヤブソテツ……………	110				
ミヤマイボタ……………	130				
ミヤマウグイスカグラ……………	134				
ミヤマウコギ……………	128				
ミヤマウズラ……………	145				
ミヤマカタバミ……………	122				
ミヤマガマズミ……………	135				
ミヤマカンスゲ……………	141				
ミヤマキケマン……………	118				
ミヤマクマザサ……………	139				
ミヤマクマワラビ……………	110				
ミヤマシキミ……………	123				
ミヤマシダ……………	109				
ミヤマシケシダ……………	109				
ミヤマシラスゲ……………	142				
ミヤマタゴボウ……………	129				
ミヤマチドメ……………	128				
ミヤマタニソバ……………	115				
ミヤマタニワタシ……………	122				
ミヤマナミキ……………	132				
ミヤマナルコユリ……………	144				
ミヤマネコノメソウ……………	119				
ミヤマノキシノブ……………	112				
ミヤマハコベ……………	116				
ミヤマフユイチゴ……………	121				
ミヤマホウソウ……………	125				
ミヤマヤシャブシ……………	113				
ミヤマヤブタバコ……………	136				
ミヤマワラビ……………	110				
ミョウガ……………	145				
		ム		モ	
		ムカエバシオガマ……………	133	モウソウチク……………	139
		ムカゴイラクサ……………	114	モエギスゲ……………	142
		ムギラン……………	145	モクセイ科……………	130
		ムクゲ……………	125	モクレン科……………	118
		ムクノキ……………	114	モチノキ……………	124
		ムクロジ……………	125	モチノキ科……………	124
		ムクロジ科……………	125	モミ……………	112
		ムサシノワスレグサ……………	143	モミジイチゴ……………	121
		ムシトリナデシコ……………	116	モミジガサ……………	136
		ムラサキ……………	131	モミジバヤマガワ……………	114
		ムラサキイチリンソウ……………	117	モメンツル……………	121
		ムラサキエノコログサ……………	141	モモイロリュウノウギク……………	136
		ムラサキオニシバリ……………	127	モリアザミ……………	136
		ムラサキ科……………	131	モリイバラ……………	121
		ムラサキカタバミ……………	122		
		ムラサキケマン……………	118	ヤ	
		ムラサキコマノツメ……………	127	ヤエイチリンソウ……………	117
		ムラサキサギゴケ……………	133	ヤエウツギ……………	119
		ムラサキシキブ……………	131	ヤエキツネノカミソリ……………	144
		ムラサキシロヨメナ……………	136	ヤエクスボケ……………	120
		ムラサキニガナ……………	137	ヤエムグラ……………	134
		ムラサキマムシグサ……………	142	ヤクシソウ……………	138
		ムラサキヤマツツジ……………	129	ヤグルマカエデ……………	125
		ムラサキヤマユリ……………	144	ヤシ科……………	142
		ムヨウラン……………	145	ヤシャゼンマイ……………	108
				ヤシュウネコノメ……………	119
		メ		ヤダケ……………	139
		メイゲツソウ……………	115	ヤツデ……………	128
		メガルガヤ……………	141	ヤドリギ……………	114
		メギ……………	118	ヤドリギ科……………	114
		メギ科……………	118	ヤナギイノコツチ……………	116
		メグスリノキ……………	125	ヤナギ科……………	112
		メタカラコウ……………	138	ヤナギヌカボ……………	115
		メダラ……………	128	ヤナギバヒメジョオン……………	137
		メツクバネウツギ……………	134	ヤノネグサ……………	115
		メナモミ……………	138	ヤハズソウ……………	121
		メノマンネングサ……………	119	ヤハズノエンドウ……………	122
		メドハギ……………	122	ヤブエビネ……………	145
		メハジキ……………	132	ヤブカラシ……………	125
		メヒシバ……………	140	ヤブカンゾウ……………	143
		メマツヨイグサ……………	128	ヤブコウジ……………	129
		メヤブソテツ……………	109	ヤブコウジ科……………	129
		メヤブマオ……………	114	ヤブザクラ……………	120

ヤブシダ.....	109	ヤマゼリ.....	128	ユリワサビ.....	119
ヤブジラミ.....	129	ヤマハギ.....	122		
ヤブスゲ.....	142	ヤマハクカ.....	132	ヨ	
ヤブソテツ.....	110	ヤマハタザオ.....	118	ヨウシュチョウセン	
ヤブタバコ.....	136	ヤマハハコ.....	136	アサガオ.....	132
ヤブタビラコ.....	137	ヤマハンノキ.....	113	ヨウシュヤマゴボウ.....	116
ヤブツバキ.....	125	ヤマブキ.....	120	ヨウラクタマアジサイ.....	119
ヤブツルアズキ.....	121	ヤマブキソウ.....	118	ヨウラクラン.....	145
ヤブデマリ.....	135	ヤマボウシ.....	129	ヨグソミネバリ.....	113
ヤブニクケイ.....	118	ヤマホオズキ.....	133	ヨコヤマタツノヒゲ.....	140
ヤブニンジン.....	128	ヤマホタルブクロ.....	135	ヨゴレウバユリ.....	143
ヤブハギ.....	121	ヤマホトトギス.....	144	ヨゴレネコノメソウ.....	119
ヤブヘビイチゴ.....	120	ヤマホロシ.....	133	ヨシ.....	141
ヤブマオ.....	114	ヤマナシ.....	120	ヨツバムグラ.....	134
ヤブマメ.....	121	ヤマナラシ.....	112	ヨツシベヤマネコノメソウ.....	119
ヤブミョウガ.....	143	ヤマニガナ.....	137	ヨモギ.....	136
ヤブムラサキ.....	131	ヤマヌカボ.....	139		
ヤブラン.....	144	ヤマネコノメソウ.....	119	ラ	
ヤブレガサ.....	138	ヤマネコヤナギ.....	112	ラショウモンカズラ.....	132
ヤマアジサイ.....	119	ヤマノイモ.....	144	ラン科.....	145
ヤマアゼスゲ.....	141	ヤマタツナミソウ.....	132	ランヨウアオイ.....	115
ヤマアワ.....	140	ヤマツツジ.....	129		
ヤマイ.....	142	ヤマテリハノイバラ.....	120	リ	
ヤマイタチシダ.....	110	ヤマトアオダモ.....	130	リュウキュウマメガキ.....	130
ヤマイスワラビ.....	109	ヤマトウバナ.....	131	リュウノウギク.....	136
ヤマイモ科.....	144	ヤマトリカブト.....	117	リョウブ.....	129
ヤマウグイスカグラ.....	134	ヤマミズ.....	114	リョウブ科.....	129
ヤマウコギ.....	138	ヤマミゾイチゴツナギ.....	141	リョウメンシダ.....	111
ヤマウツボ.....	123	ヤマミゾソバ.....	115	リンドウ.....	130
ヤマウルシ.....	123	ヤマムグラ.....	134	リンドウ科.....	130
ヤマエンゴサク.....	118	ヤマヤブソテツ.....	110	リンボク.....	120
ヤマオオイトスゲ.....	141	ヤマユリ.....	143		
ヤマガキ.....	129	ヤマラッキョウ.....	143	ル	
ヤマガシユウ.....	144	ヤマルリソウ.....	131	ルイヨウボタン.....	118
ヤマカモジグサ.....	139	ヤワラシダ.....	110		
ヤマキツネノボタン.....	117	ヤワラスゲ.....	142	レ	
ヤマグワ.....	114			レモンエゴマ.....	132
ヤマコウバシ.....	118	ユ		レンゲショウマ.....	117
ヤマゴボウ.....	116	ユウガギク.....	137	レンゲソウ.....	121
ヤマゴボウ科.....	116	ユウシュンラン.....	145	レンゲツツジ.....	129
ヤマザクラ.....	120	ユキザサ.....	144	レンプクソウ.....	135
ヤマシロギク.....	136	ユキノシタ.....	120	レンプクソウ科.....	135
ヤマシャクヤク.....	117	ユキノシタ科.....	119	レンリソウ.....	121
ヤマジノホトトギス.....	144	ユクノキ.....	121		
ヤマスズメノヒエ.....	143	ユリ科.....	143	ワ	
				ワカシユウスミレ.....	126
				ワサビ.....	119

ワタゲカマツカ…………… 120	ワニグチソウ…………… 144	ワレモコウ…………… 121
ワダンウ…………… 116	ワラビ…………… 109	

植物目録学名(科名)索引

(A B C順)

A	Cephalotaxaceae……………112	Gesneriaceae……………133
Acanthaceae……………133	Cercidiphyllaceae……………117	Ginkgoaceae……………112
Aceraceae……………124	Chenopodiaceae……………116	Gleicheniaceae……………108
Actinidiaceae……………125	Chloranthaceae……………112	Gramineae……………139
Adoxaceae……………135	Clethraceae……………129	Guttiferae……………126
Aizoaceae……………116	Commelinaceae……………143	H
Alangiaceae……………127	Compositae……………136	Haloragaceae……………128
Alismataceae……………139	Convolvulaceae……………131	Hamamelidaceae……………120
Amarantaceae……………116	Coriariaceae……………123	Hymenophyllaceae……………108
Amaryllidaceae……………144	Cornaceae……………129	Hypocastanaceae……………125
Anacardiaceae……………123	Coryphaceae……………142	I
Apocynaceae……………130	Crassulaceae……………119	Iridaceae……………145
Aquifoliaceae……………124	Cruciferae……………118	Isoetaceae……………108
Araceae……………142	Cucurbitaceae……………135	J
Araliaceae……………128	Cupressaceae……………112	Juglandaceae……………113
Aristolochiaceae……………114	Cyperaceae……………141	Juncaceae……………143
Asclepiadaceae……………130	D	L
Aspidiaceae……………109	Davalliaceae……………109	Labiatae……………131
Aspleniaceae……………111	Diapensiaceae……………129	Lardizabalaceae……………117
B	Dioscoreaceae……………144	Lauraceae……………118
Balsaminaceae……………125	Dipsacaceae……………135	Leguminosae……………121
Bambusaceae……………139	E	Lemnaceae……………143
Berberidaceae……………118	Ebenaceae……………129	Liliaceae……………143
Begoniaceae……………127	Elaeagnaceae……………127	Linaceae……………122
Betulaceae……………113	Equisetaceae……………108	Loganiaceae……………130
Bignoniaceae……………133	Ericaceae……………129	Lorantaceae……………114
Blechnaceae……………111	Eriocaulaceae……………143	Lycopodiaceae……………108
Boraginaceae……………131	Euphorbiaceae……………123	Lythraceae……………127
Botrychiaceae……………108	Eupetleaceae……………116	M
Buxaceae……………123	F	Magnoliaceae……………118
C	Fagaceae……………113	Malvaceae……………125
Callitrichaceae……………123	Flacourtiaceae……………127	Menispermaceae……………118
Campanulaceae……………135	G	Moraceae……………114
Caprifoliaceae……………134	Gentianaceae……………130	Myrsinaceae……………129
Caryophyllaceae……………116	Geraniaceae……………122	
Celastraceae……………124		

	Potamogetonaceae.....139	Staphyleaceae.....124
N	Primulaceae129	Sterculiaceae125
Nymphaeaceae116	Pteridaceae.....108	Styracaceae.....130
	Pyrolaceae129	Symplocaceae.....130
O		T
Oenotheraceae127	R	Taxaceae112
Oleaceae130	Ranunculaceae117	Taxodiaceae112
Ophioglossaceae.....108	Rhamnaceae125	Theaceae125
Orchidaceae145	Rosaceae120	Thymelaeaceae127
Orobanchaceae133	Rubiaceae134	Tiliaceae125
Osmundaceae108	Rutaceae122	Typhaceae138
Oxalidaceae122		
P	S	U
Papaveraceae118	Sabiaceae.....125	Ulmaceae.....114
Parkeriaceae109	Salicaceae112	Umbelliferae128
Phrymaceae134	Santalaceae.....114	Urticaceae114
Phytolaccaceae116	Sapindaceae125	
Pinaceae112	Saxifragaceae.....119	V
Plantaginaceae134	Saururaceae112	Valerianaceae.....135
Platanaceae.....120	Schizaeaceae108	Verbenaceae131
Polygalaceae123	Scrophulariaceae132	Violaceae.....126
Polygonaceae115	Selaginellaceae108	Vitaceae125
Polypodiaceae111	Simaroubaceae123	
Pontederiaceae143	Solanaceae132	Z
Portulacaceae116	Sparganiaceae138	Zingiberaceae.....145
	Stachyuraceae127	

文 献

- 1) 秋山茂雄：極東亜産スゲ属植物，(1955)
- 2) 千葉県生物学会：千葉県植物誌，(1958)
- 3) 陳 嶸：中国樹木分類学，(1937)
- 4) 群馬県教育委員会：群馬県植物誌，(1964)
- 5) 原 寛：大日本植物誌，ユキノシタ科，(1939)
- 6) ——：日本種子植物集覧，I～II，(1948～1954)
- 7) 原 寛・金井弘夫：日本種子植物分布図集，1～2，(1958～1959)
- 8) 林 弥栄：天城国有林の森林植物，林試集報，(1952)
- 9) ——：水窪国有林の森林植生，1～2，東京林友，(1953)
- 10) ——：日本産針葉樹の分類と分布，(1960)
- 11) ——：日本産樹木新報知，1～5，林試研報，57，77，107，125，170，(1952，1955，1958，1960，1964)
- 12) 林 弥栄ほか3名：丹沢山塊の植物調査報告，(1961)
- 13) 林 弥栄ほか5名：浅川実験林内天然林の生態学的研究，林試研報，177，(1965)
- 14) 久内清孝：帰化植物，(1950)

- 15) 松山庫三：武蔵野の植物，(1965)
- 16) 本田正次ほか2名：多摩丘陵植物調査報告，(1961)
- 17) 本田正次：日本植物名彙，(1936，改訂1957，1963)
- 18) 本田正次ほか3名：原色植物百科図鑑，(1964)
- 19) 石井勇義：園芸大辞典，1～6，(1949～1956)
- 20) 石谷憲男：原色日本林業樹木図鑑，(1964)
- 21) 伊藤 洋：日本羊歯図鑑，(1944)
- 22) ————：秩父多摩国立公園高等植物目録，(1953)
- 23) 岩田利治：図説樹木学—常緑広葉樹編—，(1965)
- 24) 常谷幸雄：武州高尾山の植物，(1936)
- 25) 神奈川県博物館協会：神奈川県植物誌，(1958)
- 26) 神奈川県：丹沢大山学術調査報告書，(1964)
- 27) 刈米達夫・北村二郎：薬用植物分類学，(1965)
- 28) 河田 杰：森林生態学講義，(1933)
- 29) 河田 杰・林 弥栄：鹿島灘沿岸地方における2国有林の植物調査報告，林試研報，(1953)
- 30) 木村陽二郎：大日本植物誌，オトギリソウ科，(1951)
- 31) 吉川純幹：日本スゲ属植物図譜，1～3，(1957，1958，1960)
- 32) 吉良竜夫：植物生態学，2，(1960)
- 33) 北村四郎ほか3名：原色日本植物図鑑，上，中，下，(1957，1961，1964)
- 34) 小林義雄ほか1名：日本産ブナ科の樹木学的研究，林試研報，177，(1959)
- 35) 草下正夫・小林義雄：浅川実験林の野生植物，林試研報，63，(1953)
- 36) 工藤祐舜・正宗厳敬：日本有用樹木分類学，全改訂版，(1941)
- 37) 倉田 悟：シダ類ノート (1～38)，北陸の植物，(1954～1965)
- 38) ————：日本のイノデ類，横須賀市博物館研報，10，(1964)
- 39) 栗田 勲：森林生態学，(1964) (とう写刷)
- 40) 牧野富太郎・根本莞爾：日本植物総覧，(1931)
- 41) 牧野富太郎：新日本植物図鑑，(1961)
- 42) 正宗厳敬：森林植物生態学，(1962)
- 43) 室井 緯：竹と笹，(1956)
- 44) 中井猛之進：朝鮮森林植物編，全輯，(1915～1939)
- 45) ————：東亜植物図説，(1935～1941)
- 46) 中井猛之進・小泉源一：大日本樹木誌，巻の一，(1927)
- 47) 中島道郎ほか3名：実用樹木要覧，(1961)
- 48) 行方沼東：シダの採集と培養，(1961)
- 49) 行方沼東・倉田 悟：日本産シダ植物総目録，シダの採集と培養，p. 241～344，(1961)
- 50) 根本莞爾：日本植物総覧補遺，(1936)
- 51) 日本林業技術協会：林業百科辞典，(1961)
- 52) 沼田 真：植物生態学，I，(1959)
- 53) 緒方 健：本邦産カエデの樹木学的研究 (予報)，英文，東大農演報，60，(1965)
- 54) 岡本省吾：原色日本樹木図鑑，(1959)
- 55) 奥山春季：原色日本野外植物図譜，1～7，(1957～1963)
- 56) 大井次三郎：日本植物誌 (含シダ編)，(1953，1957，改訂1965)
- 57) REHDER, A. : Manual of Cultivated Trees and Shrubs. (1940)
- 58) 佐竹義輔：植物の分類，(1964)
- 59) 芹沢俊介：高尾山のシダ植物，(1995) (とう写刷)

- 60) 生物学御研究所：那須の植物，(1962)
- 61) 杉本順一：東海のフロラ，(1935)
- 62) ————：日本樹木総検索誌，(1961，増補改訂1965)
- 63) ————：伊豆の植物，(1962)
- 64) ————：日本草本植物総検索誌，双子葉編，(1965)
- 65) 鈴木時夫：生態調査法，(1954)
- 66) 埼玉県教育委員会：埼玉県植物誌，(1962)
- 67) 田川基二：原色日本羊歯植物図鑑，(1959)
- 68) 高木虎雄：日本産ササ・シノ・メダケ属の分類学的研究，(1965)
- 69) 寺崎留吉：日本植物図譜，(1933)
- 70) ————：続日本植物図譜，(1938)
- 71) 東京営林署：高尾山国有林，(1955) (とう写刷)
- 72) 上原敬二：樹木大図説，I～III，(1959)
- 73) 植杉春雄：山梨の植物，(1958)
- 74) 吉山 寛：八王子植物誌，(1961，追補1965)
- 75) 矢野 佐ほか1名：原色植物検索図鑑，(1962)
- 76) ————：原色樹木検索図鑑，(1964)
- 77) 矢頭献一：図説樹木学—針葉樹編—，(1964)
- 78) 矢頭献一・岩田利治：図説樹木学—落葉広葉樹編—，(1966)
- 79) 八甲田山植物実験所：生態学研究，1～23，(1935～1966)
- 80) 広島植物学研究会：Hikobia，1～4，(1959～1965)
- 81) 北陸の植物の会：北陸の植物，1～12，(1952～1966)
- 82) 国立科学博物館：自然科学と博物館，1～31，(1933～1966)
- 83) 日本植物学会：植物学雑誌，1～77，(1932～1966)
- 84) 植物分類地理学会：植物分類地理，1～21，(1932～1966)
- 85) 植物分類・生葉資源研究会：植物研究雑誌，1～39，(1916～1966)
- 86) 植物生態学会および日本生態学会：植物生態学会報，日本生態学会誌，1～14，(1951～1966)
- 87) 東亜植物学会：植物趣味，1～27，(1939～1966)
- 88) 東京都建設局公園緑地部(前川文夫調査)：都立自然公園保護植物調査書，(1959)

Ecological and Floristic Studies in the Takao Mountains.

Yasaka HAYASHI, Yoshitaro KOYAMA, Yoshio KOBAYASHI,
Toshie ÔKAWARA, Rintarô MINEO and Sigeyoshi IIDA

(Résumé)

I. Outline

Mt. Takao is situated in Hachioji City, Tokyo Metropolis, at lat. 35°37' N at a distance of some 50 km west of the center of the Metropolis and occupies a total area of 515,88 ha. The altitude ranges from 200 m a. s. l. at the lowest to 603 m a. s. l. at the highest. The base rock is of slate, and the lower portion is covered by Kanto loam over 2~3 m deep.

The soils are mostly light clay and clayey loam, and loam is found along the river.

According to the results of meteorological observations for the past 34 years, the mean

annual temperature is 13.4°C, with an extreme minimum temperature of 10.6°C and an extreme maximum temperature of 36.4°C; the mean annual precipitation is 1856.2 mm, the deepest snowfall 18 cm; and the mean wind velocity 1.9 m/s. Due to the fact that the Takao natural forest is located at the transitional zone between the warm temperate and the temperate in the classification of forest Zones, tree species originating from both warmer as well as colder regions show comparatively favorable growth.

The natural forest consists of *Abies firma*, *Fagus crenata*, *Fagus japonica*, *Quercus acuta*, *Quercus salicina* var. *stenophylla* and *Pinus densiflora* as main species, but here and there are such evergreen trees as *Torreya nucifera*, *Quercus glauca*, *Quercus myrsinaefolia*, *Quercus takaoyamensis*, *Quercus sessilifolia*, *Castanopsis cuspidata* var. *sieboldii*, *Machilus thunbergii*, *Actinodaphne lancifolia*, *Cleyera japonica*, *Camellia japonica* var. *japonica*, etc. or such deciduous as *Carpinus laxiflora*, *Carpinus tschonoskii*, *Carpinus japonica*, *Quercus serrata*, *Ostrya japonica*, *Castanea crenata*, *Zelkova serrata*, *Magnolia obovata*, *Prunus jamasakura*, *Prunus verecunda*, *Prunus grayana*, *Prunus buergeriana*, *Cladrastis platycarpa*, *Acer carpinifolium*, *Acer mono* var. *ambiguum*, *Acer mono* var. *connivens*, *Acer mono* var. *marmoratum* f. *dissectum*, *Acer nikoense*, *Acer palmatum* var. *palmatum*, *Acer palmatum* var. *amoenum*, *Kalopanax pictus*, *Cornus controversa*, *Fraxinus sieboldiana* var. *serrata*, *Fraxinus longicuspis* etc. mixed with the major species and in some places are dominant.

Some of the *Abies firma* are 100~290 years old.

Pinus densiflora 100~300 years and *Fagus crenata* 100~200 years old.

II. Forest vegetation of Takao mountain.

The forest vegetation of the Takao natural forest is divided into four types :

1. Japanese silver fir (*Abies firma*) forest.

2. Evergreen broad-leaved forest (*Quercus acuta*, *Quercus salicina* var. *stenophylla*, *Quercus glauca* etc.).

3. Japanese beech (*Fagus japonica* and *Fagus crenata*) forest.

4. Japanese red pine (*Pinus densiflora*) forest.

(1) Japanese silver fir (*Abies firma*) forest.

Usually it grows mixed with such conifers as *Pinus densiflora* and *Torreya nucifera*, and such evergreen broad-leaved species as *Quercus salicina* var. *stenophylla*, and with some of the following deciduous broad-leaved species, namely, *Kalopanax pictus*, *Prunus jamasakura*, *Prunus grayana*, *Prunus buergeriana*, *Acer palmatum* var. *amoenum*, *Carpinus laxiflora*, *Ostrya japonica*, *Fagus japonica*, and *Magnolia obovata*. However, the pure stand also occurs in northern Takao.

(2) Evergreen broad-leaved forest (*Quercus acuta*, *Quercus salicina* var. *stenophylla*, *Quercus glauca* etc.).

Usually it grows mixed with such conifers as *Abies firma* and *Torreya nucifera* and with some of the following deciduous broad-leaved species as *Quercus serrata*, *Zelkova serrata*, *Fagus japonica*, *Carpinus tschonoskii*, *Prunus jamasakura*, *Acer mono* var. *marmoratum* f. *dissectum*, and *Acer mono* var. *connivens*.

However, the pure stand also occurs in eastern Takao.

(3) Japanese beech (*Fagus japonica*, and *Fagus crenata*) forest.

It may occur in the pure stand (*Fagus japonica*), but is often mixed with such conifers as *Abies firma* and *Torreya nucifera*, and with some evergreen broad-leaved species as *Quercus acuta* and *Quercus salicina* var. *stenophylla*, and with some of the following deciduous broad-leaved species as *Zelkova serrata*, *Prunus jamasakura*, *Prunus verecunda*, *Prunus grayana*, *Prunus buer-*

geriana, *Cladrastis platycarpa*, *Acer palmatum* var. *amoenum*, *Acer mono* var. *marmoratum* f. *dissectum*, *Acer mono* var. *connivens*, *Idesia polycarpa*, *Ostrya japonica*, *Quercus serrata*, *Carpinus laxiflora*, *Carpinus tschonoskii*, and *Kalopanax pictus*.

(4) Japanese red pine (*Pinus densiflora*) forest.

Usually it grows mixed with such conifers as *Abies firma* and with some evergreen broad-leaved as *Quercus glauca*, *Quercus salicina* var. *stenophylla*, and with some of the following deciduous broad-leaved species, namely, *Prunus jamasakura*, *Prunus verecunda*, *Acer mono* var. *connivens*, *Acer mono* var. *marmoratum* f. *dissectum*, *Acer palmatum* var. *amoenum*.

However, the pure stand also occurs in southern Takao.

III. Wild plants found in Takao mountains.

Wild plants found in Takao mountains are classified into 153 families, 1,598 species.

Those plants in the taxonomical system are as follows (See Table 56):

- (1) Pteridophyta : 17 families, 174 species.
- (2) Gymnospermae : 6 families, 18 species.
- (3) Archichlamydeae : 76 families, 685 species.
- (4) Metachlamydae : 34 families, 392 species.
- (5) Monocotyledoneae : 20 families, 324 species.

Those plants are divided into 94 evergreen species and 311 deciduous species.

From the list of plants growing in the Takao mountains the biological spectrums of RAUNKIAER are obtained which are shown in Fig. 35.

IV. The type-specimens collected in Takao mountains are as follows :

Acer pictum THUNB. var. *dissectum* WESMAEL subvar. *subtrifidum* MAKINO, *Aucuba japonica* THUNB. var. *leucocarpa* MATSUM. et NAKAI, *Saussurea sinuata* KOMAR. f. *japonica* NAKAI, *Ajuga bastardia* MAKINO, *Viola maximowicziana* MAKINO f. *rubescens* MAKINO, *Polygonum thunbergii* SIEB. et ZUCC. var. *oreophilum* MAKINO, *Perilla ocimoides* LINN. f. *citriodora* MAKINO, *Prunus incisa* THUNB. var. *tomentosa* KOIDZUMI, *Prunus incisa* THUNB. var. *serrata* KOIDZUMI, *Scrophularia musashiensis* BONATI, *Perilla hirtella* NAKAI, *Ophiopogon wallichianus* HOOK. fil. var. *leucanthus* MAKINO, *Quercus takaoyamensis* MAKINO, *Celastrus articulatus* THUNB. var. *stephanotiifolius* MAKINO, *Pseudopyxis depressa* MIQ. var. *angustiloba* MAKINO, *Pseudopyxis depressa* MIQ. var. *variegata* MAKINO, *Sasa hayatae* MAKINO, *Physalistrum kimurai* MAKINO, *Solanum takaoyamense* MAKINO, *Viola yezoensis* MAKINO, var. *discolor* NAKAI, *Cornopteris musashiensis* NAKAI, *Desmodium podocarpum* DC. var. *glabrier* NAKAI, *Festuca musashiensis* HONDA, *Pyrus kunoriana* KOIDZ., *Carex musashiensis* OHWI, *Dryopteris chinensis* KOIDZ. var. *takaoyamensis* H. ITO, *Carpinus tschonoskii* MAXIM. f. *incisa* INOKUMA, *Persicaria yokusaiana* NAKAI var. *taxiflora* HARA, *Pertya glabrescens* SCHULTZ-BIPONTINUS var. *impressa* HONDA, *Smilax higoensis* MIQ. var. *maximowiczii* KITAGAWA f. *acuta* HIYAMA, *Diarrhena japonica* FR. et SAV. f. *musashiensis* HIYAMA, *Listera shikokiana* MAKINO f. *viridis* HIYAMA, *Zanthoxylum piperitum* A. P. DE CANDOLLE f. *corticosum* KUSAKA, *Zanthoxylum piperitum* A. P. DE CANDOLLE f. *verrucatum* KUSAKA, *Callicarpa mollis* SIEB. et ZUCC. f. *latifolia* KUSAKA, *Carex insolita* T. KOYAMA, *Daphne pseudo-mezereum* A. GRAY f. *atropurpurea* HIYAMA, *Viola phalacrocarpa* MAXIM. f. *chionantha* HIYAMA, *Skimmia japonica* THUNB. f. *rosea* HAYASHI, *Anemone flaccida* FR. SCHMIDT f. *rosea* HAYASHI, *Polystichum* × *takaosanense* KURATA, *Circaea* × *dubia* HARA var. *makinoi* HARA, *Chamaecyparis pisifera* SIEB. et ZUCC. f. *Crassa* HAYASHI, *Chamaecyparis obtusa* SIEB. et ZUCC. f. *hasegawana* HAYASHI, *Adenocaulon himalaicum* EDGEW. f. *uropterum* HAYASHI, *Pertya robusta* BEAUVERD. f. *rotundata* HAYASHI, *Scutellaria brachyspica* NAKAI et HARA f. *albiflora*

HAYASHI et KOBAYASHI-YOSHIO, *Arisaema limbatum* NAKAI et MAEKAWA f. *angustifolium* HAYASHI, *Leptogramma mollissima* CHING f. *takaoyamensis* HAYASHI, *Lycoris sanguinea* MAXIM. f. *plena* YAMAZAKI, *Hydrangea scandens* SER. f. *rosea* HIYAMA, *Alnus* × *peculiaris* HIYAMA, *Boehmeria sieboldiana* BL. f. *decomposita* HIYAMA, *Hydrangea involucrata* SIEB. f. *variegata* HAYASHI, *Arisaema limbatum* NAKAI et F. MAEKAWA f. *viridiflavum* HAYASHI, *Viola tokubuchiana* MAKINO var. *tenuicornis* F. MAEKAWA et HASHIMOTO f. *albiflora* HAYASHI, *Astilbe thunbergii* MIQ. f. *rosea* HIYAMA, *Polygonatum desoulavyi* KOMAR. var. *azegamii* OHWI, *Anemone nikoensis* MAXIM. f. *violacea* HAYASHI, *Clematis japonica* THUNB. f. *grandiflora* HAYASHI, *Staphylea bumalda* DC. f. *viridiflora* HAYASHI, *Viburnum erosum* THUNB. f. *aurantiacum* HAYASHI, *Adenophora divaricata* FRANCH. et SAVAT. f. *albiflora* HAYASHI, *Chaenomeles japonica* LINDL. f. *plena* HIYAMA et KOBAYASHI-YOSHIO.

V. Of the plants growing in the Takao mountains, from the "floristic plant geographical" point of view, the following are of great interest :

Diplazium hachijoensis NAKAI, *Dryopteris* × *watanabei* KURATA, *Picea polita* CARR, *Betula glossa* SIEB. et ZUCC., *Celtis jessoensis* KOIDZ, *Asarum tamaense* MAKINO, *Adonis amurensis* REGEL et RADD., *Anemonopsis macrophylla* SIEB. et ZUCC., *Thalictrum actaeifolium* SIEB. et ZUCC., *Cladrastis sikokiana* MAKINO, *Euphorbia ebracteolata* HAYATA, *Aesculus turbinata* BLUME, *Actinidia hypoleuca* MAKINO, *Acanthopanax trichodon* FRANCH. et SAV., *Angelica inaequalis* MAXIM., *Diospyros lotus* LINN. var. *glabra* MAKINO, *Fraxinus longicuspis* SIEB. et ZUCC., *Marsdenia tomentosa* MORREN et DECAISNE, *Lithospermum erythrorhizon* SIEB. et ZUCC., *Ajuga ciliata* BUNGE var. *villosior* A. GRAY, *Keiskea japonica* MIQ., *Physalis chamaesarachoides* MAKINO, *Adoxa moschatellina* LINN., *Carpesium matsuei* TATEW. et KITAM., *Arisaema monophyllum* NAKAI, *Cypripedium debile* REICHB. fil., *Yuania amagiensis* NAKAI et F. MAEKAWA.



モミ天然林
Natural forest of *Abies firma*



モミ天然林
Natural forest of *Abies firma*



ウラジロガンを主とする天然林
Natural forest of *Quercus salicina* var. *stenophylla*



ウラジロガシ, アラカシを主とする天然林
Natural forest of *Quercus salicina* var. *stenophylla*
and *Quercus glauca*



イヌブナ天然林
Natural forest of *Fagus japonica*



ブナ天然林
Natural forest of *Fagus crenata*



アカマツ天然林
Natural forest of *Pinus densiflora*



アカマツ天然林
Natural forest of *Pinus densiflora*



高尾山天然林
Natural forest of *Abies firma* and
Fagus japonica at Mt. Takao



キタヤマダイスギ人工林
Planted forest of *Cryptomeria japonica*
var. *radicans*



スギ人工林

Planted forest of *Cryptomeria japonica*



スギ人工林

Planted forest of *Cryptomeria japonica*



有名なタコスギ
Cryptomeria japonica



ヨグソミネバリの樹肌
Betula grossa



オオツクバネガシ (原木)
Quercus takaoyamensis (Type tree)



高尾山では珍木のハリモミ
Picea polita



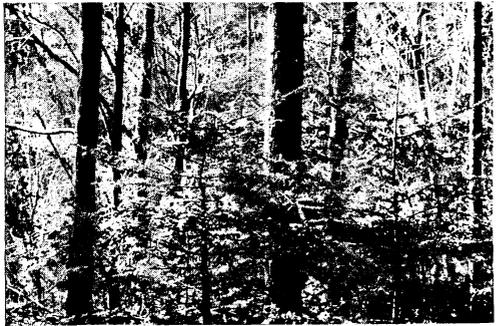
カゴノキの大木 (ケーブル清滝駅附近)
Actinodaphne lancifolia



カラマツ人工林 (蛇滝口)
Planted forest of *Larix leptolepis*



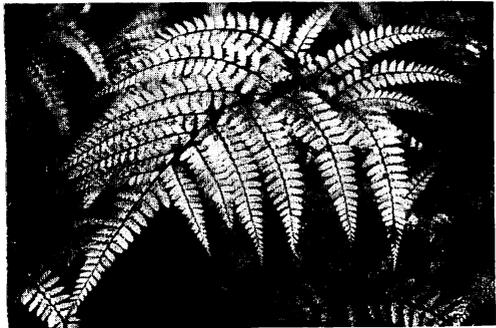
カツラ人工林 (高尾山頂上の下方)
Planted forest of *Cercidiphyllum japonicum*



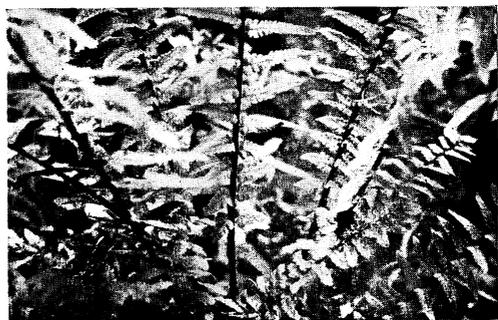
モミの稚樹 (カツラ林下)
Young growth of *Abies firma*



タカオシケチンダ
Cornopteris decurrenti-alata var. *pilosella*



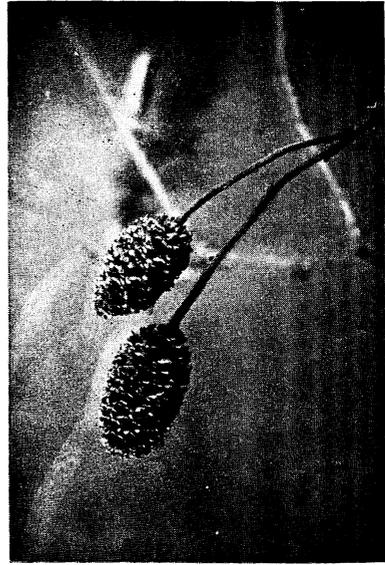
ホソバカナワラビ
Polystichopsis aristata



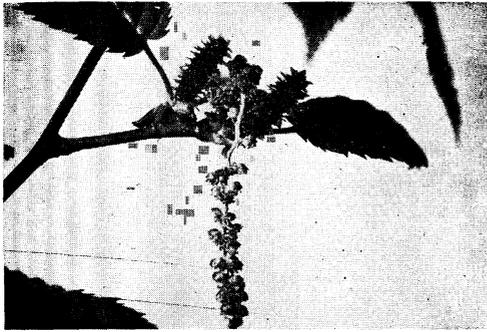
タニヘゴ
Dryopteris tokyoensis



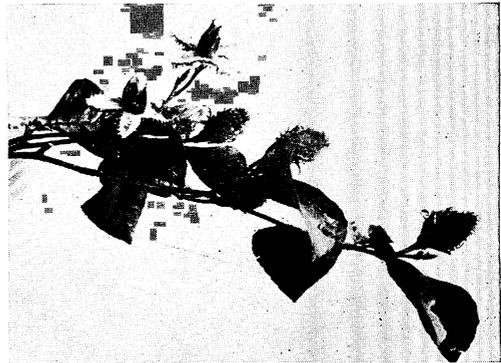
クリハラシ
Neochiropteris ensata



タルミヤシャブシ
Alnus x peculiaris



ヨグソミネバリ (ミズメ)
Betula grossa



ブナ
Fagus crenata



イヌブナ
Fagus japonica



オオツクバネガシ
Quercus takaoyamensis



マルミノヤマゴボウ
Phytolacca japonica



フクジュソウ
Adonis amurensis



コチャルメルソウ
Mitella pauciflora



ユクノキ (ミヤマフジキ)
Cladrastis sikokiana



アケボノミヤマシキミ
Skimmia japonica f. rosea



マルミノウルシ (ベニタイゲキ)
Euphorbia ebracteolata



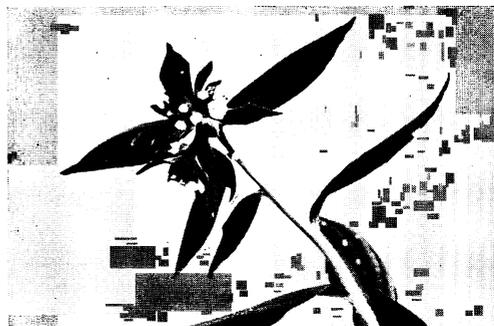
ウラジロマタビ
Actinidia hypoleuca



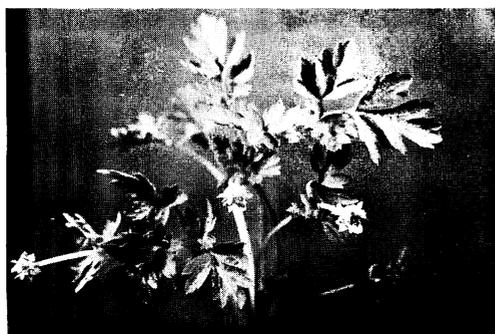
シロミノアオキ
Aucuba japonica f. *leucocarpa*



サワリソウ
Ancistrocarya japonica



ムラサキ
Lithospermum erythrorhizon



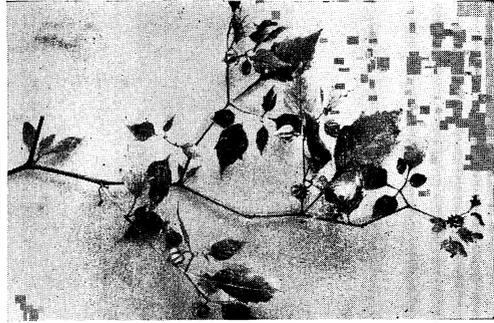
レンブクソウ
Adoxa moschatellina



カイジンドウ
Ajuga ciliata var. *villosior*



シモバシラの着氷状態
Keiskea japonica



ヤマホオズキ
Physalis chamaesarachoides



サツキヒナノウスツボ
Scrophularia musashiensis



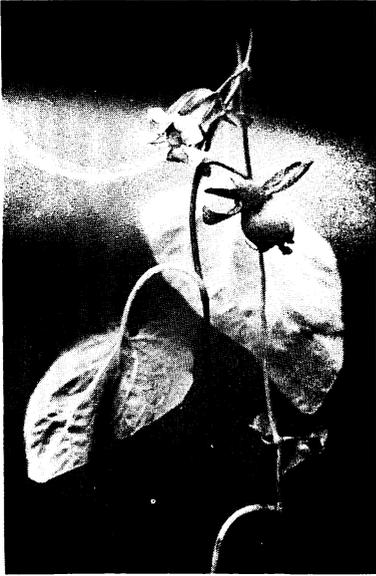
キヨスミウツボ
Phacellanthus tubiflorus



ホシザキイナモリソウ
Pseudopyxis depressa
f. *angustiloba*



フィリイナモリソウ
Pseudopyxis depressa
f. *variegata*



ツルギキョウ
Campanula maximowiczii



シロバナアブラギク (リュウノウカンギク)
(アワコガネギク×リュウノウギク)
Chrysanthemum × *leucanthum*



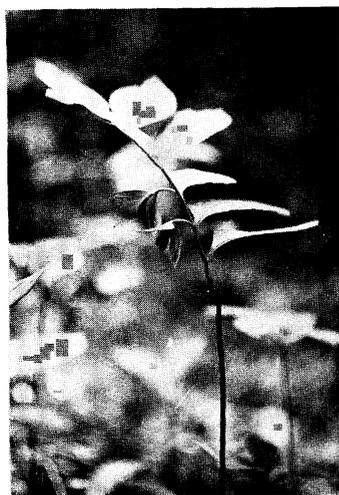
タカオヒゴタイ
Saussurea sinuatooides



アサカワソウ
Festuca rubra
var. *musashiensis*



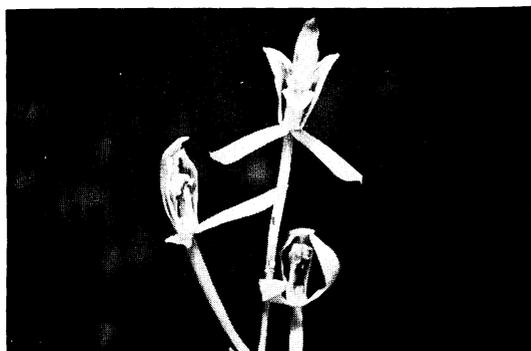
タカオワニグチソウ
Polygonatum desoulavii var. *azegami*



ワニグチソウ
Polygonatum falcatum



ムギラン
Bulbophyllum inconspicuum



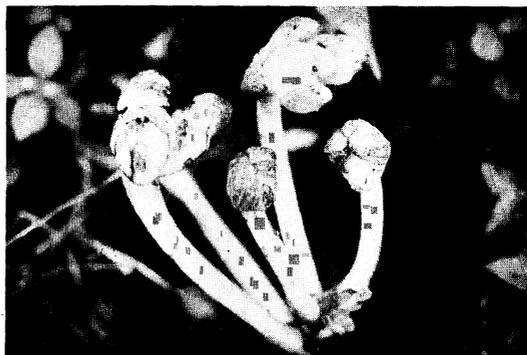
マヤラン
Cymbidium nipponicum



ツチアケビ
Galeola septentrionalis



ベニカヤラン
Gastrochilus matsuran



キバナノショウキラン
Yonia amagiensis